嵐 ライブ9P特集&相葉雅紀・山田涼介・新垣結衣・東方神起

Kindai

最終号

See you!!

November 2009 11
特別定価 620yen
昭和21年5月24日第3種郵便物認可
ISSN 1342-4149

64年間、ありがとうございました!!

重映代近→Kindai

表紙で振り返る64年



℃-ute

あの頃を振り返って+
梅田えりか卒業メッセージ

嵐 Arashi

10周年記念ライブツアー
9Pワイドレポ

秋の連ドラ+
SPドラPICK-UP

『マイガール』相葉雅紀

『ROMES/空港防御システム』大倉忠義・安田章大

『左目探偵EYE』山田涼介・石原さとみ

速報!!
亀梨和也
渋谷すばる
手越祐也
『DREAM BOYS』

NEWS『24時間テレビ32』
あの素晴らしい感動をもう一度…

ジャニーズJr.

新垣結衣/上戸 彩
井上真央/AKB48

ジェジュン&ユチョン
(東方神起)

オリエンタルラジオの
目をみて話してください!!
ゲスト:違佛美沙子
前田 愛
水野絵梨奈

ケンドーコバヤシ
トータルテンボス
森三中
NON STYLE
姫ちゃん

足立梨花/川島海荷/北乃きい/黒川智花/桜庭ななみ/西内まりや/福田沙
真野恵里菜/南沢奈央/D-BOYS(遠藤雄弥・和田正人・荒木宏文・中川真吾・牧田哲也・碓井将大・三上真
斉藤祥太・斉藤慶太/瀬戸康史/前田公輝/AA

2010 SCHEDULE BOOK

ラインナップは、充実の84点!!!
ディズニーの仲間達と楽しい2010年を過ごそう！



ミッキー型とハート型の
可愛いキルティングカバー!



スケジュールA6 キルティング DC
¥1,600 (税込¥1,680)

シルエットの表紙は、
キラリと光るメタルペーパー!!!



スケジュールA6 DC シルエット
¥1,300 (税込¥1,365)

さりげない ヒドゥンミッキーの
デザインが大人っぽい!



スケジュールA6 DC MM
¥1,300 (税込¥1,365)

ISO 9001 : 2000
QMS : D0000162
ISO14001 : 2004
EMS : D0000049
HEAD OFFICE
サンスター文具株式会社（本社）は
ISO9001とISO14001を取得しています。

6.1 挑戦の日
挑戦します 企画とアイデア

sun-star サンスター文具株式会社
本社●東京都台東区竜泉3-35-13 TEL03(3872)7101 FAX03(3871)4640
支店●札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・松山・福岡

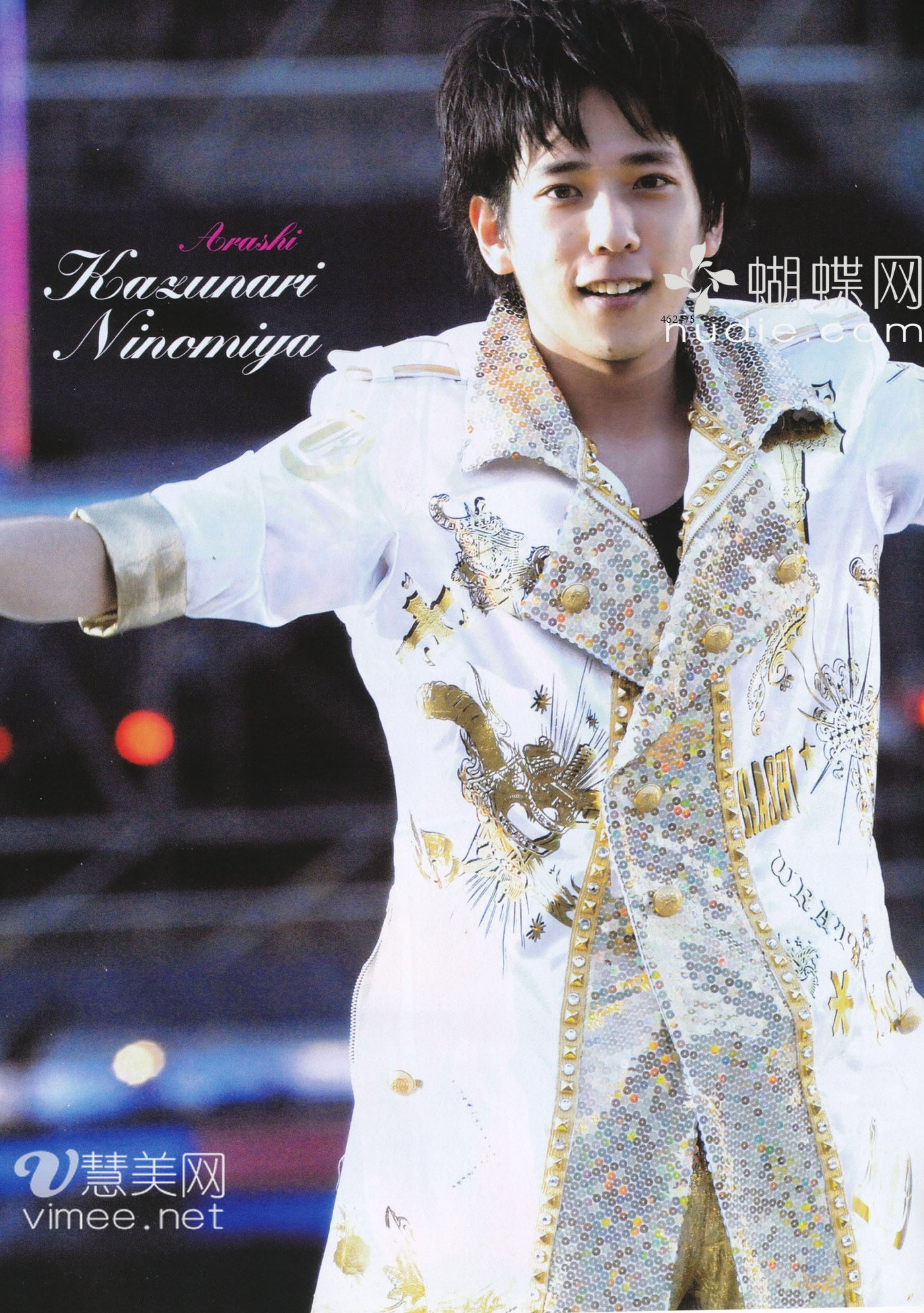


ARASHI Anniversary Tour
5×10
2009.08.28
@国立霞ヶ丘競技場

1年目で言ったけど、また言います。世界中に"嵐"を巻き起こします!!

Arashi
Masaki Aiba

嵐が8月28日、東京・国立霞ヶ丘競技場でデビュー10周年ツアー「ARASHI Anniversary Tour 5×10」をスタートさせた（5大ドームツアー。15公演・76万人を動員予定）。最新アルバム『嵐 5×10 ALL the BEST! 1999-2009』はミリオンセラーを達成。嵐が世界に嵐を起こす！


Arashi
Kazunari
Ninomiya


Jun
Matsumoto
Arashi

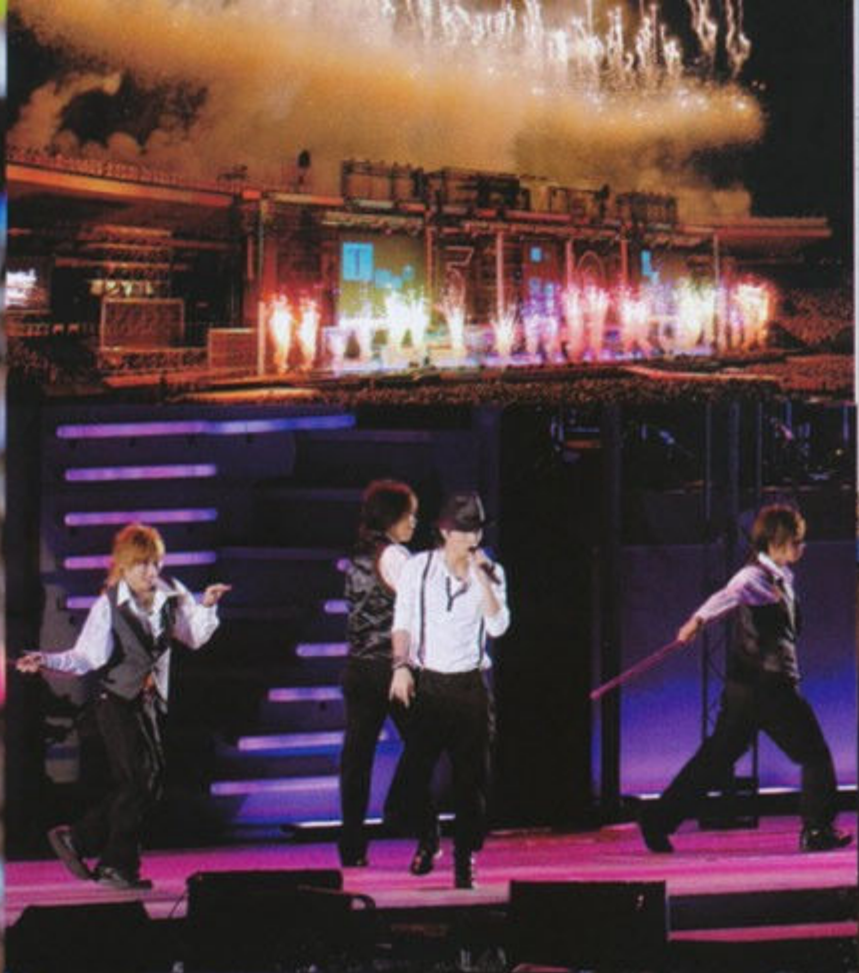

Satoshi
Ohno
Arashi

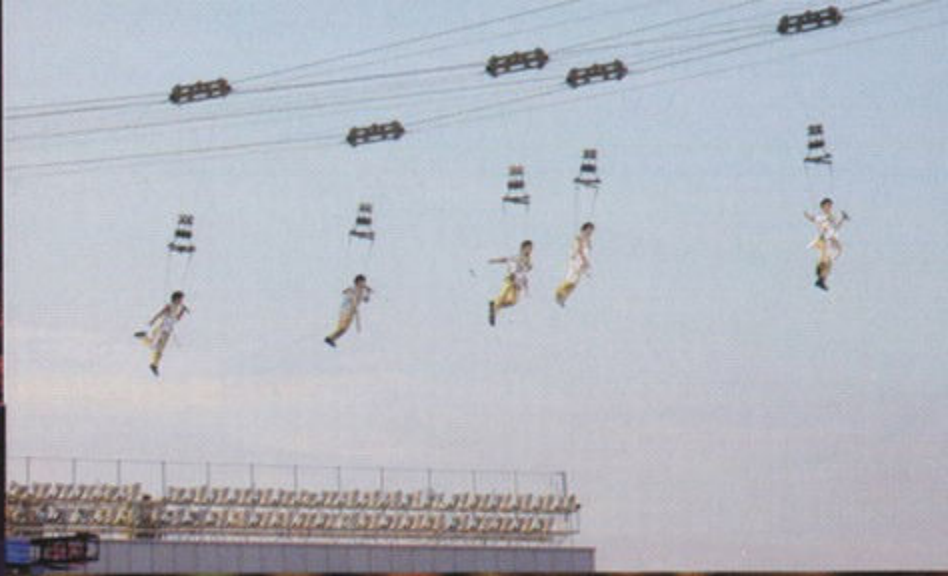

Sho
Sakurai
Arashi
翔

ARASHI Anniversary Tour 5x10



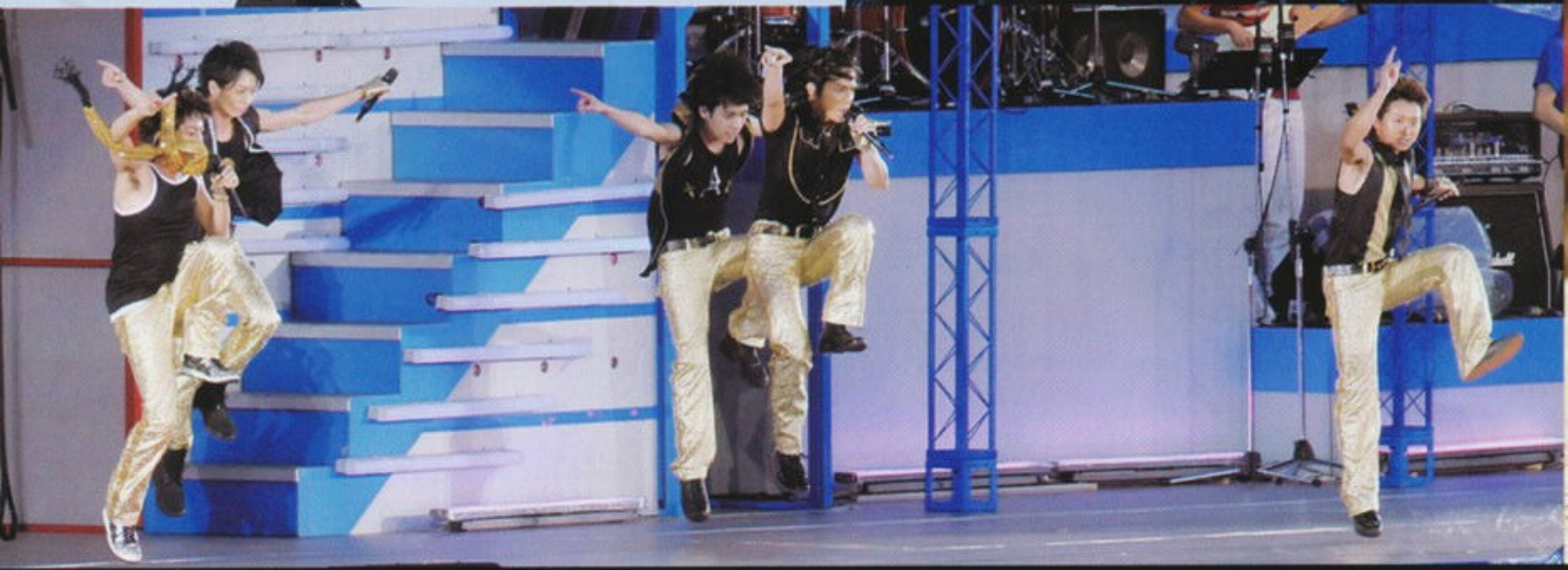












とうとうこの日が来た！ デビュー10周年記念コンサート『ARASHI Anniversary Tour 5×10』の初日が。オープニングから驚くほど圧巻だった。確かに会場中のライトはすべて点灯、爆音も鳴り響いているのに、肝心の嵐が目の前にいない。どこだろう？……ステージ上ではない！ メインステージに組まれたトラス（照明を設置する鉄塔）のてっぺんだ！ と思いきや、そこから200メートルも離れた聖火台までいきなりフライング。7万人が敷き詰める会場を見下ろして5人が叫んだ。「国立、楽しんでいこうぜ!!」。ただ、翔くんに心配事が一つ。

「飛ぶときの翔ちゃんの顔、けっこう必死ですよね？（笑）」（相葉）

「バカッ！ ここ3年間ぐらいで一番カッコつけたんだから、それを言うなよ!! だけど、地に足が着いたときには歯がカピカピでした（笑）」（櫻井）

「あれ？ 怖いんすか？」（二宮）

「怖いんでしょ？」（松本）

「ちょっと不機嫌になってるし（笑）」（大野）

「怖くないです！（笑）」（櫻井）

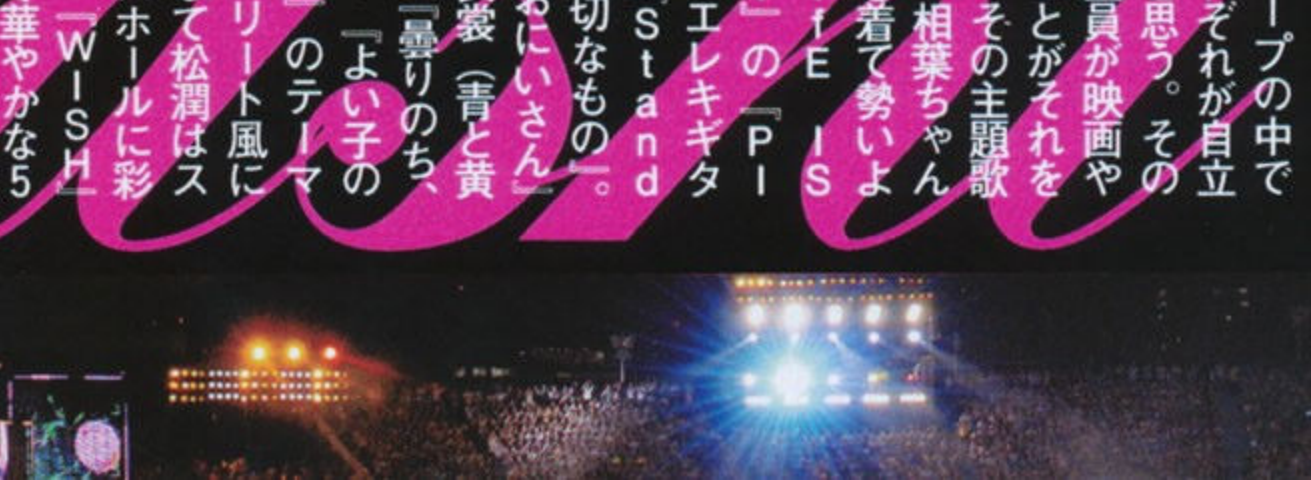
思えば、嵐はデビュー当時もド派手だったのを思い出す。「世界中に嵐を起こす」を合言葉に、1999年9月にハワイでデビュー発表会見を行った。平均年齢16・6歳だった5人は、今や最新ベストアルバムをミリオンセラーに導いたモンスター・グループと化している。「嵐が10周年！ これは楽しむしかないでしょう!!」。ファンの気持ちを松潤が代弁し、序盤は新旧織り交ぜて、ポップな曲もアグレッシヴなナンバーもバランスよく熱唱していく。開演して間もないというのに、すでに嵐と観客はコール＆レスポンスで一体感満点！ そのボルテージをいっそう爆発させるべく、『Crazy Moon～キミ・ハ・ムテキ～』では大きな花火が打ち上がった！

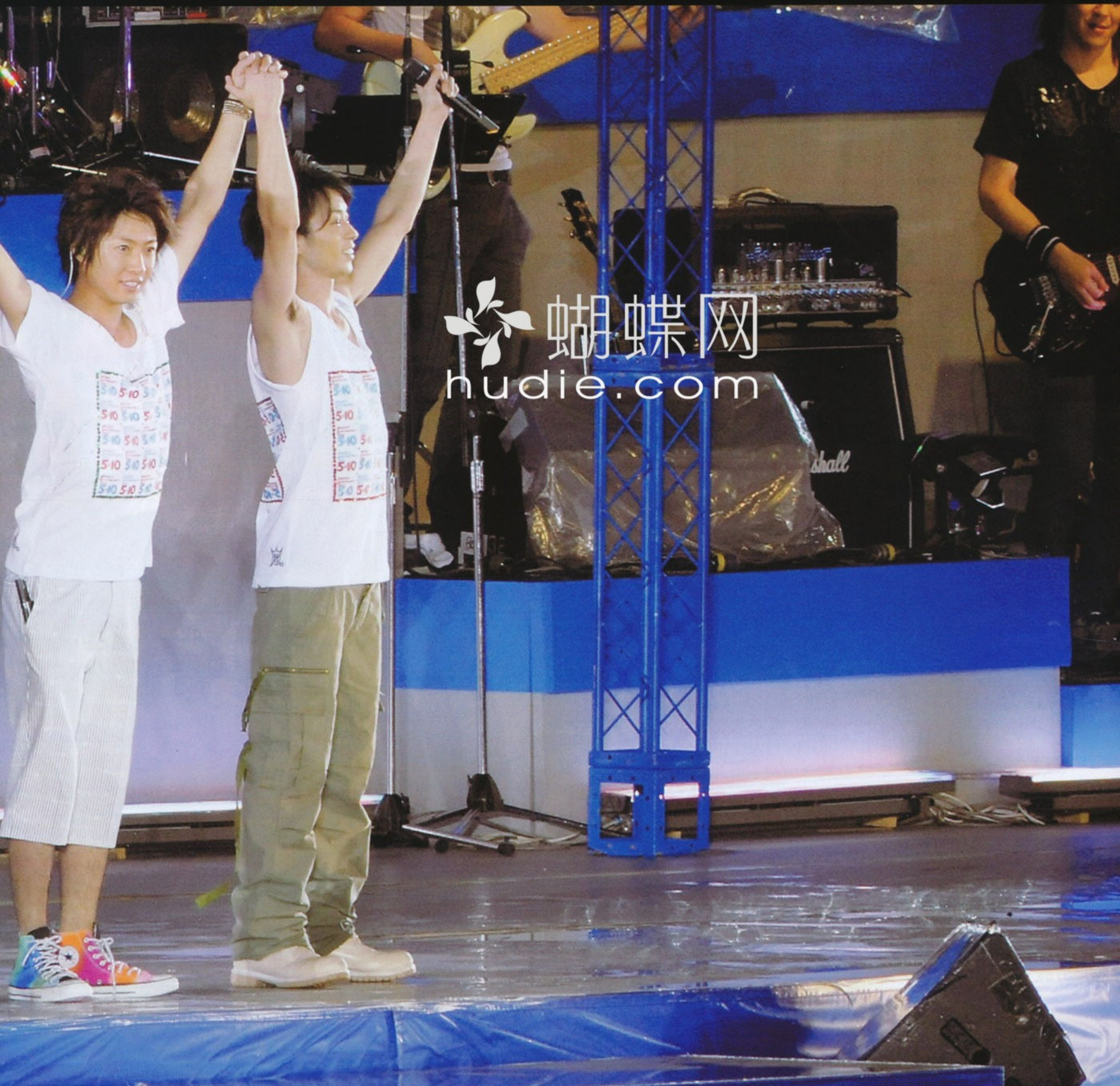
「いらっしゃいませ～！ 夏はまだ終わらないないぞ!!」（二宮）

数あるジャニーズのグループの中でも、特に嵐はメンバーそれぞれが自立し、個性が際立っていると思う。そのキャラクターを活かして全員が映画やドラマの主人公を務めたことがそれを証明している。この日は、その主題歌がソロで披露する一幕も。相葉ちゃんはポップなカラーの衣裳を着て勢いよく映画『ピカ☆ンチ LIFE IS HARDだけどHAPPY』の『PIKA☆NCHI』、ニノはエレキギターを掻き鳴らしてドラマ『Stand Up!!』の『言葉より大切なもの』。大ちゃんはドラマ『歌のおにいさん』で着用していたそのまま衣裳（青と黄の歌のおにいさん服）で『曇りのち、快晴』を、翔くんはドラマ『よい子の味方～新米保育士物語～』のテーマ『とまどいながら』をストリート風にアレンジして歌った。そして松潤はステージ上をレトロなダンスホールに彩りドラマ『花より男子』の『WISH』で魅せてくれた！ なんて華やかな5人なんだろう。

とはいえ、ここにたどり着くまでの道のりはけっして平坦ではなく、壁にぶつかっては何度も何度も「嵐らしさとは何か」を含め、グループの方向性を話し合ったという。そんな苦労を5人で乗り越えてきたからこそ、絆が強く結びついたのは間違いない。この日のステージでも、至るところで肩を組んで歌ったり、花道をすれ違うときにハイタッチするなど、あったかい気持ちになるシーンが続出だった。ここまでの嵐の歴史を映像で振り返りながら披露した10年メドレーや、アンコールで披露した、5人がジャニー[illegible]だった頃からの曲『明日に向かって』（デビューシングル『A・RA・SHI』のカップリング曲であり、嵐の初主演ドラマ『Vの嵐』の主題歌でもある）は、メンバーはもちろん、きっとファンにとっても感慨深いものがあったはず。また、その一瞬一瞬を大切に心に刻もうという意気が、汗が伝う5人の笑顔にも十分に現れていた。







愛おしい10年間を振り返ったメンバーがコメントしたとき、大野は「ここまで応援してもらえて幸せです」と、涙を浮かべた。そんな彼をすぐさま相葉がガッチリと抱きしめ、櫻井、二宮、松本が笑顔で見守る……。これが嵐だ。そして、嵐5人が作詞した新たな名曲『5×10』が誕生した。

この10年間は未来への道のりにおける通過点にすぎない。たくさんの経験、困難、感謝、そして絆を背負って、嵐の歴史はこの瞬間からまた新しい大きな一歩を踏み出した。

「幸せですね。今日、みんなの顔を見ながらこうしてコンサートをやって、本当に幸せなグループだなと思いました。10年前、まさかこんな形で、こんなにたくさんの人たちと10周年を迎えられるとは思っていませんでした。こんな形で迎えられるのは、みなさんのおかげだと思っています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします」（櫻井）

「今日はどうもありがとうございました。今、不思議な気持ちでここに立っています。10年前は、まさか自分が10年後にここに立っているなんて想像もしていなかったし、あっという間……。……泣かないよ（笑）。でも、本当に不思議というのが正直な気持ちです。本当に10年間もみなさんがコンサートに来てくれて、嵐を応援してくれて、本当に幸せです。これからも、ずっと見守ってください」（大野）

「ライブが大好きです！ 本当に8月28日のこのときを過ごせるこの場所が大好きだし、嵐はすごくいい人たちに囲まれているなと思います。みんながいてくれるから毎年コンサートができました。そして今年もコンサートができました。1年目にも言ったけど、10年目にもう1回言います。世界中に嵐を巻き起こします!! これからも嵐をよろしくお願いします」（相葉）

「相葉くん、よく言ったなぁと思って（笑）。大野くん、よく泣いたなぁと思って（笑）。やっぱり人それぞれ感じ



ARASHI Anniversary Tour 5X10



方が違うんでしょうね。僕もすごく考えたんですけど、自分が生きていて、というか生まれてきて、本気で何かを10年続けたことってないんですよ。なんとなーく15年ぐらい野球をやったりとか、なんとなーく20年ゲームをやったりとか。だから本気で10年間、何かをやり続けるというのはすごく気持ちがいいことだな、と。こうして10年を本気でやれたということは、みなさんやスタッフ、僕らと一緒に何かを創ってくれようとした人、応援してくれた人、それに……こうして一緒にいてくれるメンバーに感謝をしたいです。本当にこの人たちがいなかったら嵐は終わっていたと思います。本当に嵐でよかった、このメンバーでよかったな、と今は本気で思います。またみんなと会いたいので、これからもどんどん、いろいろなことに挑戦していきたいし、またそこで大きくなったときに、ぜひ遊びに来てほしいなと思います。今日はありがとうございました。楽しかったです！」（二宮）

「1999年にデビューして、10年が経ちました。本当にこの10年でいろいろなことがあって、ひとつずつみんなで階段を上ってきたんだと思っています。それは僕ら5人だけじゃなくてスタッフの人だったり、今日この会場にいるみなさん、そして今ここにはいらっしゃらない方を含むファンのみなさん、たくさんの方たちに支えられて10周年というものを迎えられたと思っています。すごく嬉しいことだな、とここに立っていて感じます。僕は、普段はあまり達成感というものを感じないんですけど……今日はいい日です。このステージに立たせてくださったのはみなさんです。本当に、本当にありがとうございました。でもまだ10年です。まだまだ11年、12年……これからもこの5人で、そしてみなさんと一緒に嵐を盛り上げていきたいな、楽しんでいきたいなと思っているので、また僕らと一緒に遊んでください。ありがとうございました」（松本）




慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com







Yui Aragaki



新垣結衣

“ココ”です。



Yui & Coco



Kindaiでガッキーとワンコの組み合わせは見飽きた感もありますが（笑）……いや、待てよ。超フレッシュなワンコがいるじゃないですか〜。初めて逢ったのは『スマイル』のクランクイン前。ガッキーんちのココちゃん。大きくなりました♡



——今回、ガッキーの愛犬"ココ"（♀）を連れてきてもらいました！　ところで、犬を飼う。この野望、いつぐらいから秘めてました？

「いつぐらいからだろう……。昔、実家で犬を飼っていたんです」

——大暴れをする犬……だっけ？

「そうそう（笑）。拾ってきては逃げ、拾ってきては逃げを繰り返して、最終的に家で落ち着いてくれたワンコを最後に飼わなくなって。それが私が小学校低学年ぐらいの時の話。いつかは飼いたいなっていう思いはずっとありつつ。で、高校生になって上京してから、ちょっと淋しいという思いもあって、"一人暮らしをしたら絶対に飼うぞ"という希望がわき。でも、いざ一人暮らしをはじめたら、仕事が忙しくてワンコを飼える状況ではなく。それでシーちゃん（ヒョウモントカゲモドキ）を購入したんです（笑）」

——飼いやすいという意味で。

「そう。何かしら気配が欲しくて。で、今年の明けぐらいにちょっと時間があったので、その時にこいつと出逢いました」

——カニンヘンダックスに昔から決めてたの？

「いや、"本当に飼いたいな"っていう気持ちが今までよりも強くなった時に、"本当に飼えるのか？"っていうのをネットですごい調べて。どういう種類がいるのか？とか。種類によって性質も違うじゃないですか。仕事で家を空ける事が多い人ならどういう性格の犬がいいのか？とか。そういうのを紹介しているホームページって、"犬を飼う事は決して簡単な事ではない"みたいな、現実を突き付ける文章を絶対に載せてるんですよね。それをいろんなサイトで何回も読み、調べに調べまくって」

——結論として、カニンヘンがいいらしい、と。

「カニンヘン以上に小さいチワワの方が、持ち運びしやすいから楽だろうなって思ったんですけど、人間への依存性が高いと書いてあって。トイプードルもいいなと思ったんですけど、わりと甘えん坊みたいな事が書いてあって。でも、大きいのだとやっぱり大変だろうなぁと思って。そんな中で、ミニチュアダックスの中でも一番小さいカニンヘンというのがいるんだっていう事を初めて知って。そんなある日、いつもシーちゃんでお世話になっているペットショップに餌を買いに行ったら、カニンヘンを扱っているブリーダーさんがいる、と。写真を送ってもらったら、クリーム色のすごく気弱そうな顔をしている子がいて。"あ、いいな"と思って。"今なら少しお安く……"みたいな話もあって（笑）。常連なので」

——ゴールド会員割引します、と。

「（笑）それでいろんな人に相談し。聞くと、みんな"いいよ"って背中を押してくれるんですよ。ひとつも否定的な意見がなくて。お母さんも今までは"もっと考えなさい"って言ってたんだけど、今回ばかりは"あなたの自由にすれば"みたいな事を珍しく言ったから、"このタイミングかも！"と思って、この子を飼いはじめました」

——"ココ"という名前の由来も。

「シーちゃんの名前の由来が"心"なので（"シーちゃん"は愛称。本当の名前は"心ちゃん"です）、それだったら今度は女の子だし……って事で。シーちゃん、のちのち女の子っていう事が判明したんですけど」

——女の子だったの⁉

「シーちゃん、女の子なんです（笑）。子供の頃はちょっと見分けがつかなくて……」

——今まで男の子を前提に話をしてたよね。

「いや、女の子でした。お姉ちゃんって事になるんですけど」

Yui & Coco



——で、子育て奮闘記がはじまるわけだけど、今思えば、何が一番大変でした？

「何もかも。結構私、厳しく育ててますよ。"良い子になってほしい"と思って育てていたのですが、何せ1人で飼うのは初めてだし。しつけとかも初めてだし。家に来たばかりの頃、夜鳴きがひどくてイライラしちゃったり」

——ケージに入れられて、出たいとかそばにいたいとかで鳴いちゃうんだよね。

「そうそう。"無視してください"とか書いてあるんだけど、無視したって寝れないから。それで夜中、お母さんに電話して、"どうしたらいいんだろう？"って。結局そこはお母さんなんですけど（笑）。で、湯たんぽを作って入れてあげたら鳴きやんで。さすが！って」

——温もりがほしかったんだね。でも、9カ月だっけ。今は少し落ち着いてきたでしょ？

「今もある意味大変。家に来たばっかの時は、ゆっくり動くし、人のそばにいたいしだったのが、すっかり活発になっちゃって、"あの時のココはどこ？"みたいな（笑）。トイレは思ってたより早く覚えてくれたとは思います。あと、むやみに鳴かなくなったのは良かった。でも、まだまだ目が離せない」

——親になった気分じゃない？

「ずっと赤ちゃんみたいな感じですよね。何を言っているのかわからないから」

——何かを訴えているんだけど、それが何かはわからない。

「そうそう。しぐさとかで見極めないといけない。赤ちゃんを育てるって、もしかしてこんな感じなのかな？って思いますけど。頼られている気がするし、守っている感じもするし」

——犬を飼いはじめて、ガッキー自身に何か変化は生まれました？

「気づいたら、その日悩んだ事があっても、家に帰ると考えてるヒマがなかった。あとあと思い出して、"あ、そういえばあの時……"ってまた悩んだりもするけど、家にいる間はココの事で手いっぱいなので、あんまり失敗した事とか考えてないなぁと思って。それはすごくいい変化だなって思います」

——では、ココを飼いはじめたからに限らず、昔と比べて変わってきた部分というものがあれば教えていただけます？

「笑っている事が増えたなぁって。何事も楽しんでやりたいとは、昔から思っていたんです。どんな時も笑顔で仕事をする事がじゃないですか。そういう時に作った笑顔が上手になりたくないなとか。『ニコラ』の（モデルの）時も、キメキメっていうよりはナチュラルな笑顔が多かったし、『ニコラ』を卒業した後も、わりと撮影ではナチュラルな方が多かったので。いつだってナチュラルがいいじゃないですか。そうもいかない時もあるけど、笑顔でいたいという気持ち、何事も楽しんでやりたいという気持ちは、より一層強くなったと思います」

——たしかにニコモ時代は"現場は毎回楽しい"と言ってたもんね。それでニコモを卒業する時は本気で嫌がってて。

「（笑）嫌だったぁ。"なんで高校1年で卒業という決まりがあるんだろう"と思ったし。だから今でも『ニコラ』の人たちと会うと、気分が上がりますね」

——一番最初の楽しい仕事だったからね。

「今、あの時のようなモチベーションでいたいなという気持ちが本当に強いんです。心からの笑顔で、みんなの前に立っていたいなって」

Information

- ■映画『BALLAD 名もなき恋のうた』（全国東宝系）公開中
- ■ドラマ『スマイル』DVD-BOX（TBS）10月7日発売
- ■2ndアルバム『hug』（ワーナーミュージック・ジャパン）発売中
- ■新垣結衣オフィシャルメンバーズサイトOPEN！　詳細は公式ホームページ http://www.lespros.co.jp
- ■オフィシャル携帯サイト http://lespros.mobi



フォト／久保田司　スタイリング／市井まゆ
ヘアメイク／木村ゆかこ（add mix B.G）
衣裳／レッドクローバー（03-5458-5075）、
マリン フランセーズ 梅田店（06-6344-7725）




24hour television 32nd
©Pixar

24hour television 32nd
©Pixar


24hour television 32nd
©Pixar






“一歩”を忘れない!!



24HOUR TELEVISION
24時間テレビ32「愛は地球を救う」

今年も大成功!!　8月29日～30日に生放送された、日本テレビ系『24時間テレビ32「愛は地球を救う」』はNEWSがメインパーソナリティ!! "START!一歩を踏み出そう"をテーマに愛・夢・希望をたっぷり届けてくれました。その感動のフィナーレをレポート!!



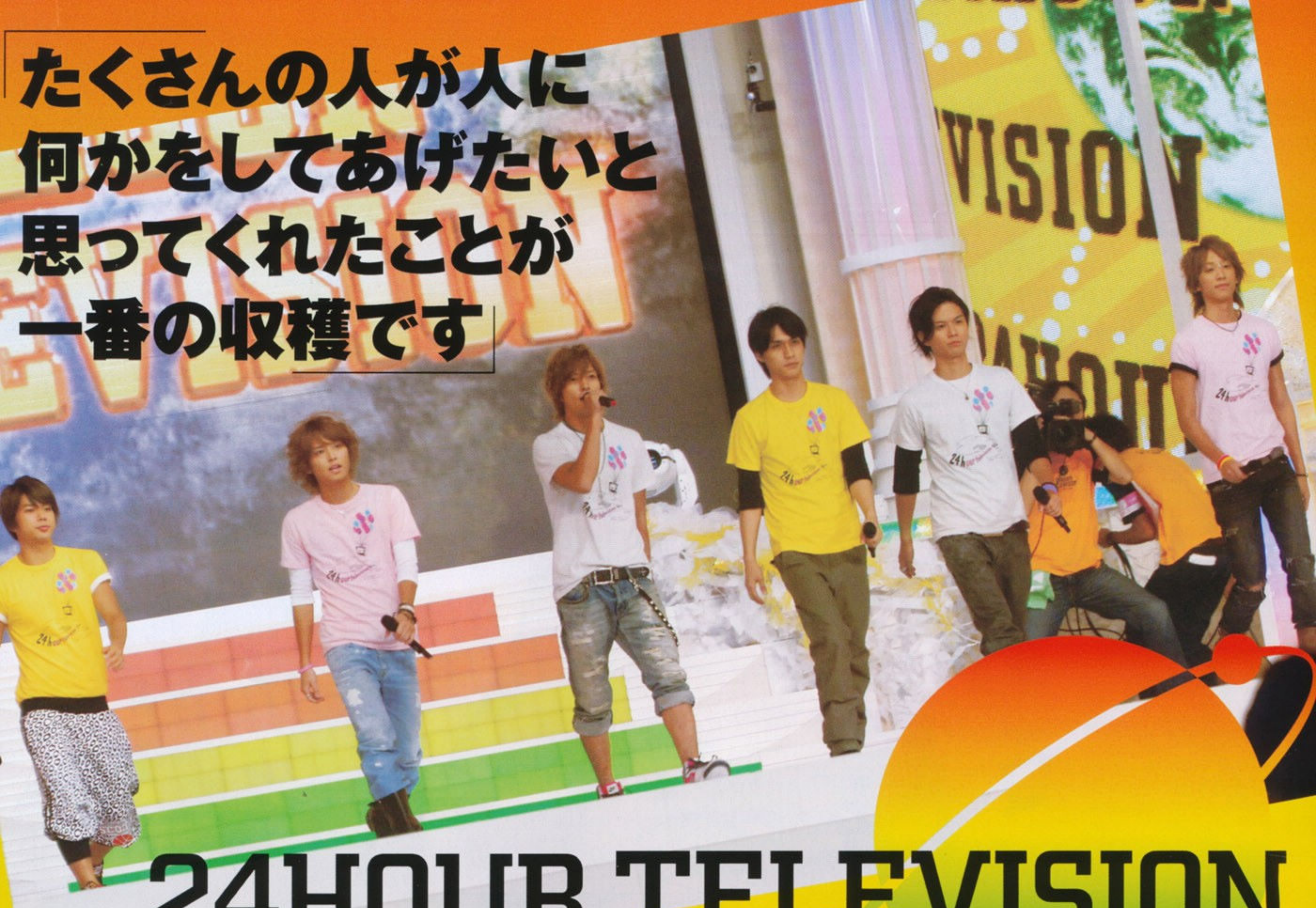
今年のテーマ

START!
～一歩を踏み出そう～



彼らの大きな

「たくさんの人が人に何かをしてあげたいと思ってくれたことが一番の収穫です」



24HOUR TELEVISION
LOVE SAVES THE EARTH

放送前から「世界では靴も履くことができない子どもたちがいます。裕福な国である日本が今、力を合わせて色々やればいい。僕も今からやる気あります！」と、山Pが語っていたり、小山を筆頭にメンバーが交代でコメントするなど気合を入れ、見事にメインパーソナリティを務めきったNEWS。

いつも一緒に遊んでいた幼なじみ、渡邉秀人くんが不慮の事故で車いすでの生活をしていることを知った山P。再会した2人は、一緒に沖縄の海で水中写真の撮影をするという挑戦を果たし、互いの友情を確かめ合いました。

全国のみんなに元気を届けたいと、トリニダード・トバゴからやって来た天才姉妹と共に、世界一元気が出る楽器スティールパンで大演奏会を実現させた加藤。

脳性マヒで普段は車椅子の生活を送る白井敦くんと共に、明法高校の男子シンクロチーム10人と男子シンクロ“ウオーターボーイズ”に挑戦したマッスー。

耳が不自由な子どもたちと出会い、手影絵ショーに挑戦。手話だけで気持ちを伝える彼らだからこその美しい手影絵の表現に魅せられて自らも手話を学び、東京ビッグサイトでパフォーマンスを披露した小山。

ベッキーと力を合わせ、3千枚もの“人生が動いたスタートの瞬間”の写真を集め、24時間マラソンランナーのイモトアヤコを迎えるためのゲートにするべく巨大なフォトアートを作り上げた手越。

15歳で脳腫瘍を発病し、23歳という若さでこの世を去った川合恵介くんの8年間を描いた感動ドラマ『にぃにのことを忘れないで』で熱演した錦戸。

個人としても活躍し、各々の存在感を打ち出しているNEWSですが、『24時間テレビ』でも個性を活かし“一歩を踏み出すSTART”を切る勇気をくれました。最初から最後まで、全力で24時間を乗り切ったNEWS。あとはマラソンランナーのイモトを迎えるだけ……という場面にKindai取材陣はお邪魔しました。

「24時間という長さを感じます。それが女性ならなおさら大変なのに……イモトさん頑張って！」（山下）

「無事に着くことを祈ってます！」（錦戸）

「ゴールしたら手越に抱き締めてもらってください！」（小山）

本人たちも体調の限界が来ているはずなのに、次々とエールを贈り、なんと『weeeek』の歌のプレゼント！ビッグサイトのお客さんが全員総立ちする、という大盛り上がり。残念ながら放送時間中にはゴールを見ることはできませんでしたが、イモトを迎えるまでずっとステージ上で待つ出演陣。NEWSはさらに『希望～Yell～』のパフォーマンスで、そのときを待ちます。そしてとうとう……両ヒザの痛みをこらえながら午後9時12分にイモトがゴ～ル！ ゴールテープを切った瞬間、手越がガッシリとイモトを抱きしめたではありませんか!! 涙をこらえきれないイモト頭をヨシヨシする手越の目にも涙が溢れていたのです。

「見ていて、イモトさんの体がボロボロになっていくのがわかったので、本当に“お疲れさま！”っていう気持ちでいっぱいで。もう天使が帰って来た、という感じでしたね！」と、『24時間テレビ』を終幕させた後でコメントしていた手越。心の底から優しい人なんだなぁ～（泣）。

山Pの一本締めで無事に終了した『24時間テレビ』。公約どおり、明日へ一歩を踏み出す力くれたNEWSへ――本当にお疲れさまでした!!

「最初から最後まで思い出に残る24時間でした！」（錦戸）

「今回、出会った人たちとこれからもつながっていきたい。とても良い出会いができました」（小山）

「みなさんが明日からも笑顔でいられる力になっていたら嬉しい」（増田）

「本当の意味での“希望”がどんなものかがわかった気がします」（加藤）

フォト／久保田司（本誌）　文／恒川めぐみ







お人よしで人に頼まれたら嫌とは言えない性格の青年、笠間正宗（相葉雅紀）は写真スタジオでアシスタントとして働いていた。そんな彼には忘れられない女性がいた。6年前、突然海外留学を決め、自分の元を去ってしまった年上の恋人・塚本陽子（優香）だ。
最初の3年間は手紙を書き続けた。たとえ一度も返事が来なくても……。
そして手紙を書くのをやめて3年が経ったある日、正宗のもとに突然陽子の訃報が届く。何年間も陽子のことが忘れられなかった正宗は、その死を受け入れることができない。さらに正宗は衝撃の事実を耳にする。陽子には5歳になる娘がいるというのだ。ショックに打ちひしがれる正宗。そして陽子との思い出がつまった図書館の近くでひとりの女の子（石井萌々果）と出会う。木の上にひっかかった糸電話を取ろうと木に登っていたところを助けた正宗は、その女の子がコハルという名前で、なんと自分と陽子の間に生まれた子供だと知る。コハルが自分の娘だとは信じられない正宗だったが……。
ある日突然自分の娘と出会い、一緒に暮らすことになる主人公の青年を演じるのは、連ドラ初主演の相葉雅紀。亡き恋人と娘への愛を貫く男の究極のラブ・ストーリーがスタートする!!

START!!

嵐・相葉雅紀が10月9日スタートの連続ドラマ『マイガール』で待望の連ドラ初主演。しかも演じるのは独身のパパ役……。さらに究極のラブ・ストーリーということで、あの相葉ちゃんが……と気になりません？実は……すごく胸キュンなドラマなんです!!







10月9日
スタート

マイガール

毎週金曜日　夜11:15～12:15　テレビ朝日系

相葉雅紀

MASAKI AIBA





MASAKI AIBA









最愛の恋人・陽子からの配達されない手紙の束を見つけた正宗。手紙に書かれていた内容は……。

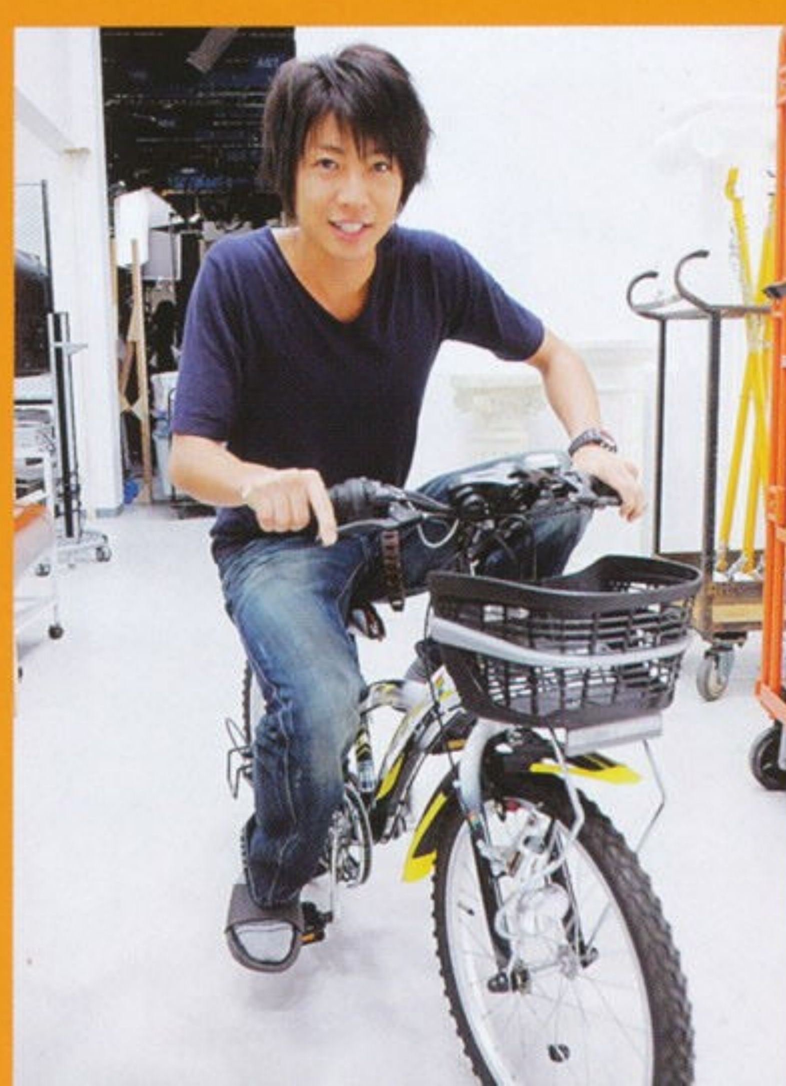


自分と陽子の間に生まれた子供・コハルの登場にとまどう正宗。そして陽子の訃報を知って……。

本当のパパのように、撮影の合間、正宗の娘・コハルを演じる石井萌々果ちゃんの面倒を見ていた相葉ちゃん。「可愛いですね。癒しです。癒されてます。それに子供は好きだし。周りに子供はいないけど、



地元に帰ったら同級生で何人かいるし、ちょっと前まで『まごまご嵐』で子供にごはんを作りに行ったりしてたから、子供だからどうしようという感じではない。一緒に楽しくやってます」そんな相葉ちゃんも童心を忘れない人です！



●『マイガール』の見どころを教えてください。

「究極のラブ・ストーリーです。でも、物語の中で起こっている出来事はせつない事が多いけど、その中にあったかいものが詰まっているので、観てくださる方に、嫌なニュースが多い世の中で、ちょっとでもあったかい気持ちになってもらえたらと思います」

●救いがある作品。

「救いがあります。突き放さない感じ」

●よくあるんだけど、イヤ〜な感じで（その回の物語が）終わらない？

「終わらない終わらない（笑）」

●正宗を演じていての感想は？

「あんまり似ているところがないから、普段とは違った相葉雅紀を見せられたらな、と思いました。パパ役は初めてだから、撮影がはじまる前から役を作んなきゃとかそういうのもなかったし。一緒にとまどいながら成長していけたらと思っています」

●似てるところは全くないの？

「一途なところは似てるかも。それは何事においても、という意味で」

●ところで、嵐の10周年記念ツアーがスタートしました！

「感謝のツアーなので、（全公演）感謝し続けます。そして……何度も言うけど（笑）世界中に嵐を起こします」

フォト／光、中村正博（P19-20）



関ジャニ∞の大倉忠義が連続ドラマ初主演。そして、同じく関ジャニ∞の安田章大が共演という話題のドラマ『ROMES空港防御システム』。空の玄関を舞台に、警備チームと犯人たちの白熱の攻防を描くノンストップサスペンスだ。大倉＆安田の活躍に乞うご期待!!

Tadayoshi Okura



——連続ドラマ初主演です！

「大役に抜擢していただき感謝しています。命燃やして頑張りたいと思います。主演というのは責任のある立場ですからもちろん意識はしますが特に気負わずに、ただ単に今回は僕の演じる成嶋のことを中心に描いてくれている作品なんだという風に考えながらやっています」

——成嶋という役柄はどうですか？

「見た目的にはちょっとだらしなく、ファッションにはそこまでこだわりがない人なのかなというくらいのイメージですね。中身はマイペースな天才という、天才以外は僕に似たようなところがあるので（笑）、そのままでやってる感じです」

——成嶋にはクールなところと、犬好きでちょっと子供っぽい部分もあったりするんだよね。

「オンとオフをはっきりというのは心がけているんですが、そのオフの部分ではあまり下品になりすぎないようにしています」

——撮影は大変ですか？

「滑走路とか普段では絶対に入れないところでの撮影は感動しました。それ以上に、現場でスタッフさん共演者のみなさんとひとつのものを作ってるという楽しみが一番大きいです」

——ドラマのみどころを教えて。

「いろんな事件が起きる中で、サプライズもたくさんあるし、とにかくストーリーがスピーディーに進行して本当にスリルのある展開が待ち受けていると思うので、僕自身もまだ完成した作品はまだ見てないですが、おもしろくなるんじゃないかという予感はしています」

——成嶋に関しては？

「ROMESチームとかかわることによって、成嶋がどう変わっていくのかも見てほしいです。成嶋の過去も段々明かされていきます。最初の方は不思議なキャラだと思うんですが、もっと感情も出てくると思うので、自分でも違いを楽しんでいきたいと思います」

大倉忠義

成嶋優弥 役

Shota Yasuda

――安田くんはROMESチームの新人・砂村多駒を演じますが。

「スタッフさんのイメージがこんな見た目の感じで、僕もなるべく砂村というイメージに近づけるようにと思って役作りをしました」

――砂村は熱い人なんでしょ？

「体当たり系で熱血な人なので、その分視野が狭くなって見えなくなくなることが多々あります。何に対してでもがつがついって喜怒哀楽が顔に出ちゃうという部分を意識して演じてます」

――安田くん自身と共通する？

「ここまで顔に出ちゃうっていうのはあまりに不器用すぎるなとは思いますけどね（笑）。自分が納得できなかったらとことん突き詰めちゃうっていうのは似てるかもしれないです」

――ちょっと3枚目の役柄？

「大倉演じる成嶋にもクールなときと子供に戻るユニークな場面があるんです。僕は逆に一生懸命やるなかでどじを踏むから、お互いに違うお笑いの感じはありますね」

――現場は楽しい？

「ワイワイとすごく雰囲気がいい現場です。でも、本番になると全然違う顔になってお芝居して、みんなでいい作品を作り上げようっていう姿勢がすごく伝わるので、僕もそこに入らせてもらってるんだっていうのを肌で感じながらやらせてもらっています」

――みどころを教えてください。

「それぞれのキャラクターがめちゃたっていて、いろんなキャラがいておもしろいと思うし、サスペンス的な要素が多いのでストーリー的にも男女ともに楽しんでもらえると思います。僕が演じる砂村は新入社員なので、初めて見るみなさんも僕と同じような感覚になると思うんです。だから砂村に気持ちを依存してもらってストーリーを楽しんでもらえると嬉しいです。ストーリーがすごくぽんぽんぽんぽん展開していくので、見てて爽快だし、ハラハラドキドキしながら見てもらえる作品になると思います」



砂村多駒役 安田章大

ROMES
空港防御システム

Story





砂村多駒
（安田章大）

ROMESチームに憧れ、自ら志望して配属されたチームの熱き新人。

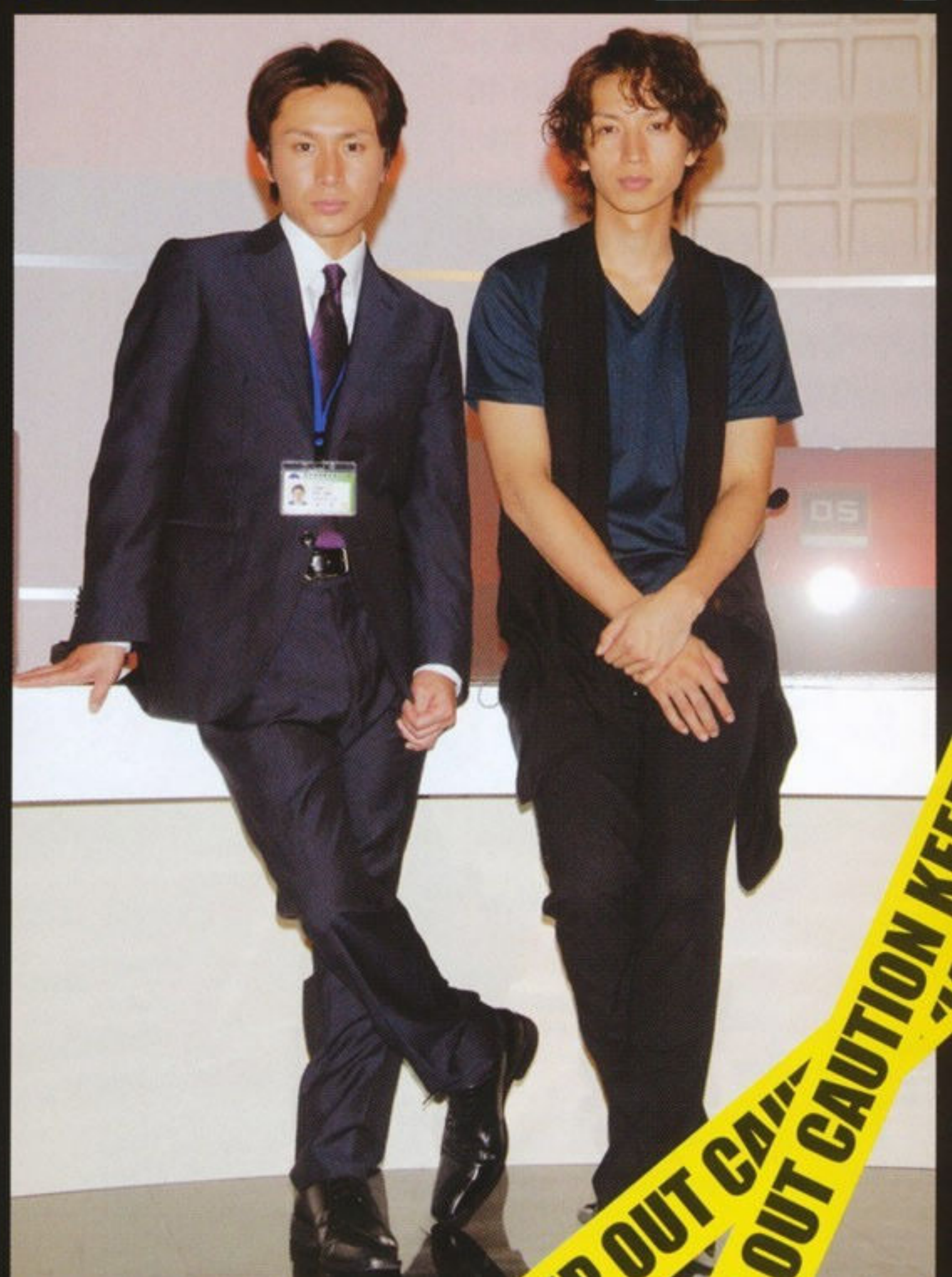


成嶋優弥
（大倉忠義）

ROMESの最高運用責任者。若き天才だが普段は超がつくほどのマイペース。

大倉、安田コンビ以外にも個性的な出演者がいっぱい。沈着冷静なROMESチームの新人で武術の達人でもある八坂葵役を国仲涼子、チームの班長・黒部[illegible]彦役に渡辺裕之、チームの若手で成島に対抗心を燃やしている江川宏役に杉浦太陽、穏やかな学究肌の日高勇作役を古館寛治、その他にも小木茂光、川村ゆきえ、池田鉄洋、近藤芳正、草刈正雄など豪華な面々が顔を並べている。





東京湾に浮かぶ人工島にオープンした東京湾国際空港・通称「湾空」は、世界最先端の施設警備システム・ROMES（ロメス）に守られた海の要塞だ。オープン1周年を控えたある日、ROMESシステムを開発したイギリスの会社から、1人の男が湾空に降り立った。成嶋優弥、27歳。世界で最もROMESシステムに精通した若き天才である。しかし湾空は、成嶋の到着以来次々と事件に見舞われる。ROMESの性能を試すかのようにエスカレートしていく事件に、ROMESを駆使して犯人に迫る成嶋。そして天才・成嶋に翻弄され時として対立しながら、最後には犯人を追い詰めていく湾空警備チーム。しかし成嶋が湾空を訪れた真の目的は、事件解決とは別のところにあった!?。敵と味方が入り乱れる中で、「バディ」として信頼関係を築き、お互い成長していく警備チームの姿をスリリングに描くエンターテインメント・ドラマなのだ。

湾空オープン1周年の記念イベント「誘惑の女神」展会場から女神像を強奪しようとした国際的窃盗団を、成嶋（大倉忠義）はROMESシステムを自在に使いこなして一網打尽にする。ROMESに憧れて警備の現場を志望した砂村多駒（安田章大）はそんな天才ぶりに憧れるが、信じるのは自らが開発・運用するシステムと愛犬・ハルのみと言ってはばからない成嶋に翻弄される。そんなある日、空港閉鎖を迫る脅迫状が届いた。空港内パトロールの車両に何者かが仕掛けを施した形跡もある。ROMESチームに配属された八坂葵（国仲涼子）にライバル意識を燃やすあまり、砂村は無許可で事件現場に足を踏み入れ、大きな爆破事件に巻き込まれてしまうのだった……。

フォト／光、久保田司（本誌）

山田涼介 Ryosuke Yamada

10月3日 O.A.

左目探偵EYE

土曜日 夜9:00
日本テレビ系



「本当にしっかりしてるんですよ。もっとキャピキャピしてるのかなと思っていました。Hey! Say! JUMPって(笑)。」

by 横山 裕

Hey! Say! JUMPの山田涼介がスペシャルドラマ『左目探偵EYE』に主演。「探偵学園Q」「古畑中学生」と推理ドラマで少年探偵を演じてきた山田。今回は特殊な能力を持つ探偵という役なので、まだまだO.A.が楽しみだ。そこでドラマの見どころを初共演の横山裕と共に語ってもらいました!!。



ねらわれた涼介

Ryosuke Yamada







恥ずかし〜！（笑）



大勢のカメラにねらわれて照れまくる涼介。隠れてもダメと悟った結果、さとみちゃんにヘルプ。「お話しません？」。気がまぎれる？



中学生・田中愛之助（山田涼介）は、研究員だった亡兄の夢人（横山裕）から角膜移植を受けるが、左目に衝撃を受けると強盗や札束など謎の映像が浮かぶようになる。それが最愛の兄の死に結びつくと推理した愛之助は、真相を探るうちに大事件に行き当たり……。Hey!Say!JUMP・山田涼介主演のSPドラマ『左目探偵EYE』。このドラマで涼介は、兄の死の真相をつきとめるために悪に立ち向かう主人公・愛之助を演じる！

――役柄から教えてください。

山田　多少自分と似てる部分もある男の子。子供っぽく感情をむきだしにしたりします。でも、どこかおとなしい部分もある。演じるのはおもしろいです。素直だからいろんな感情や表情が出るし。ザ中学生って感じの役柄です（笑）。

――兄役の横山くんの印象は？

山田　本当のお兄ちゃんみたい感じで接してくれて、誕生日が5月9日で一緒なのでその話をしたり。

横山　ひとまわり違いますけど（笑）。

――山田くんとの兄弟ぶりは？

山田　爽やかな兄弟だなと思います。

山田　こんなに仲がいい兄弟って、そうそういないと思います。本当に仲がいい。お兄ちゃんに憧れを抱いてるみたいな。

――お互い、新たな発見は？

山田　僕は、先輩に自分から話しかけたりする事って絶対に無理だなと思ってたんです。僕には話しかけてくれないだろうな……って思ってたんですよ。

横山　そんな事ないよ。僕、人見知りしますけど、15歳の子にはしたらあかんと思いましたからね。さすがに大人なんで。

山田　ちょっとドキドキしてたんですけど、本当に初日のメイク室から話しかけてくれて一気に緊張がほぐれました。

横山　本当にしっかりしてるんですよ。尊敬します。もっとキャピキャピしてるのかな〜と思ってました、Hey!Say!JUMPって（笑）。Hey!Say!JUMPってその辺で走り回ってるようなイメージがあるんですよ。見た目のイメージですが。バレーであんなに歌って。ものすごくしっかりしてびっくりしましたね。

――もし探偵になったら調べたいものは？

山田　物探しとかしてみたいです。僕、結構得意ですよ。荒らして帰りますけど（笑）。引出しとか全部開けっ放しにしちゃうんで。でも、基本的に探し物すると意外と見つけるのが早いんで。

――メッセージを。

山田　まずその推理を一緒に考えてほしい。何回も何回も見直しても絶対あきないドラマだと思います。感動するシーン、アクションシー、。コメディーとかいろんな要素が入ったドラマなので、録画もしてもらって、ぜひ何回も繰り返して見てほしいです。



演技指導に自分からもアイデアを出して応える涼介。撮影がはじまると照れ顔から一転、キリリとした表情に。



フォト／久保田司（本誌）

横山 裕が涼介の兄に!!



関ジャニ∞・横山裕が、涼介演じる愛之助の兄・夢人役で出演する。夢人は研究所で働きながら弟のために仕送りを続ける、優しい兄だ。ヨコと涼介とは初共演！
「台本を読んで、想像もつかないクライマックスに驚き、同時にこの夢人役を演じられることを光栄に思います」
愛之助の推理を支える教師・狭山瞳役の石原さとみちゃんも出演！





石原さとみ

左目探偵EYE

『左目探偵EYE』(10月3日 21時～・日本テレビ系)で保健室の先生を演じるさとみ。共演者はHey! Say! JUMPの山田くん、関ジャニ∞の横山くんと、目が離せない！

「フワフワした先生です」

satomi ishihara







――ドラマ『左目探偵EYE』はどんなストーリー？

「山田（涼介）さん演じる主人公の愛之助は生まれつき視力が悪くて、お兄ちゃん（横山裕）から角膜移植を受けたんです。そうしたら、移植を受けた左目で、見たことのない危険な光景が見えるようになり……」

――さとみちゃんはどんな役なの？

「主人公の愛之助が通う、中学校の保健室の先生・狭山瞳です。お買い物が大好きで、莫大な借金を抱えている。ある日、愛之助が自分の目について、私のところへ相談に来るんですね。その内容からお金の匂いを感じ取った瞳は、愛之助と一緒に事件を追いかけます。なんか、フワフワした感じの先生です」

――共演者の人たちとお話はする？

「山田さんに初めてお会いしたんですけど、とても明るくて、とにかくかわいいんです。あの笑顔にいつも元気をもらっています。現場のスタッフさんたちも、みんな同じ気持ちだと思う!! あれだけ癒やされる男の子は、そういないですよ！」

――あの笑顔は確かに癒やされる！　そういえば、前回のインタビューで言ってた温泉旅行は行けた？

「行きました！　お母さんとふたり、船に乗って、とっても楽しかったです。当日、花火大会があって、ホテルの目の前が打ち上げ会場だったんですけど、近すぎて首が痛くなるくらい。至近距離で花火を見たのは初めてでした！」

――首が痛くなるほど近かったんだ。

「そう。あとは、エステに行きました。お母さんはフェイシャルで私はボディーを。ゆっくりお休みすることができました。それから次の日は、生まれて初めて陶芸をしました。ビールのコップをつくったんです！　ロクロは使わずに、縄文式っていうのかな？　グルグル粘土のひもをつくって、上へ重ねていく方法でつくりました。楽しかった！！」

――お母さんと一緒につくったの？

「お母さんは、もともと形が出来ているお皿に絵付け体験をしました。私が一生懸命コップをつくる顔を描いていました」

――充実したお休みだったんだ。

「はい！　あとは、すっごく大量にお買い物をしました。今日着てきたシャツやパンツ（ズボン）、ストールでしょ、お洋服だったり、雑貨だったり」

――スッキリって感じ？

「楽しかったー。でも、もっと“欲”が出てきますね。危ない（笑）」

フォト／野々村智夫（本誌）　衣装／鳥井由里子（東京衣裳）　メイク／秋山直美



――『Kindai』の思い出を教えて。

「『Kindai』さんの撮影はとにかく楽しかったです！　特にインタビューの時間がものすごく充実していました。私の話がうまくまとまらないときも、根気強く聞いてくださって、さらにどんどん楽しい話を引き出してくれる。ついつい色んな話をしたくなっちゃうような、素敵なインタビュアーさんだったので、本当に大好きでした！」

――うれしいなぁ。

「悩み相談をしたこともありましたよね（笑）。インタビューのついでに、食事しませんか？　くらいの勢いです(笑)。デビュー当時からお世話になっていたので、本当にさみしいです。たくさんの思い出をありがとうございました」

Information

<ドラマ>『左目探偵EYE』狭山瞳役（日本テレビ系／10月3日21時～）
『裸の大将　火の国・熊本篇』（フジテレビ系／10月24日21時～）下条多美役
<舞台>『組曲　虐殺』（東京：10月3～25日／銀河劇場、兵庫公演：10月28～30日／兵庫県立芸術文化センター、山形：11月1・2日／川西町フレンドリープラザ）
<映画>『人間失格』良子役（2010年2月公開予定）、『座頭市　THE LAST』タネ役（2010年公開予定）
<PV>青山テルマ『忘れないよ』（ユニバーサル・ミュージック）出演

s a t o m i　i s h i h a r a

DREAM BOYS
ドリームボーイズ

KAT-TUN・亀梨和也、関ジャニ∞・渋谷すばる、NEWS・手越祐也らが出演する『ドリームボーイズ』が9月4日に東京・帝国劇場で開幕した。華麗かつアクロバティックなパフォーマンスに、プレミアム感たっぷりの夢のようなひとときだった。

東京　2009.9.4～9.29　帝国劇場
大阪　2009.10.13～10.25　梅田芸術劇場

プレミア感あふれる夢のひととき

KAZUYA KAMENASHI
SUBARU SHIBUTANI
YUYA TEGOSHI




KAZUYA
KAMENASHI
YUYA
TEGOSHI
SUBARU
SHIBUTANI





KAZUYA KAMENASHI
SUBARU SHIBUTANI
YUYA TEGOSHI

DREAM BOYS







2009年の『ドリームボーイズ』がとうとう開幕した！　今回のメインキャストは、2004年から連続出演しているKAT-TUN・亀梨和也、関ジャニ∞・渋谷すばる、NEWS・手越祐也という、歌唱力バツグンの3人が集結!!　A.B.C.-ZほかのジャニーズJr.たちが華を添える。

「関ジャニ∞、NEWS、そしてKAT-TUN。この3チームが揃うのは自分でも贅沢だな～と思います。今までにない迫力を感じますね！」（亀梨）

渋谷すばるは2006年の『KAT-TUN vs KANJANI∞ ドリームボーイズ』以来の出演。

「3年振りに出演しますが、僕の役は当時と一緒。（モチベーションは）変わらないです。この3人で演るのは初めてですけど、基本的には違和感はないですね！」（すばる）

そして手越祐也は3人の中では初参戦であり、最年少プレイヤーだ。

「兄2人（亀梨＆すばる）が優しく迎えてくれたので嬉しかったですね。毎日が楽しいです！」（手越）

“歌える”3人が揃ったことで、ショーの音楽が全面的に一新している。ショービジネス界で絶大な人気を誇るカズヤ（亀梨）、スバル（すばる）、ユウヤ（手越）のグループが最後のステージを行う冒頭のシーンから、いきなり書き下ろし曲を披露。ソロでパフォーマンスする曲は、それぞれの個性をそのまま映し出した名曲揃いだ。そして歌う場面は異なるが、劇中でカズヤとユウヤが歌う『愛しているから』、スバルとユウヤがボーカル・バトルさながらに歌う『Come Into My World』など、普通は見られないコラボレーションも必見！……コラボといえば後半のショウタイムでも、3人が所属しているグループの名曲を『ドリームボーイズ』バージョンとしてパフォーマンスしているため、これも絶対に見逃せない!!

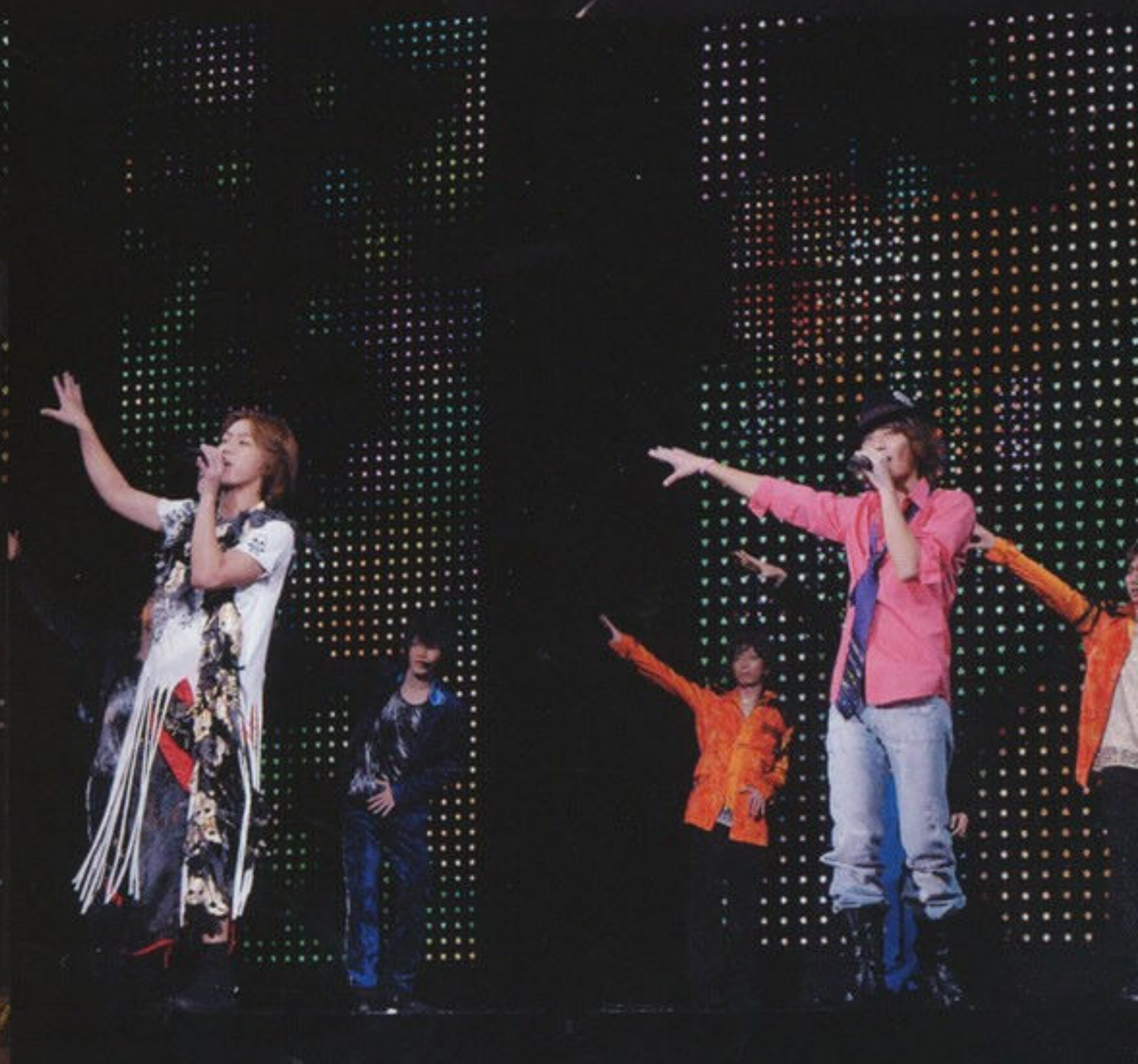
『ドリームボーイズ』といえばダイナミックなアクロバットも最大の見どころだが、今年の亀梨には、自らの記録を越える挑戦が。ゴンドラで登場するフライング、長い布を使ったフライングをはじめ、ステージ上に出現する巨大な額縁を360度歩く「フレーム・フライング」という特殊なアクションが新登場。これは強じんな身体能力を持つ亀梨以外には実現できないことだろう。しかも、全編とおしてのフライング回数が18回、トータル滞空時間が24分という新記録にはなおさら驚かされる！

「飛んでいるとすごく不思議な気分になるんですよ。フライングしないときの衣裳でも“何か（フライング用の器具）付けてなきゃ”って思ったり（笑）」（亀梨）

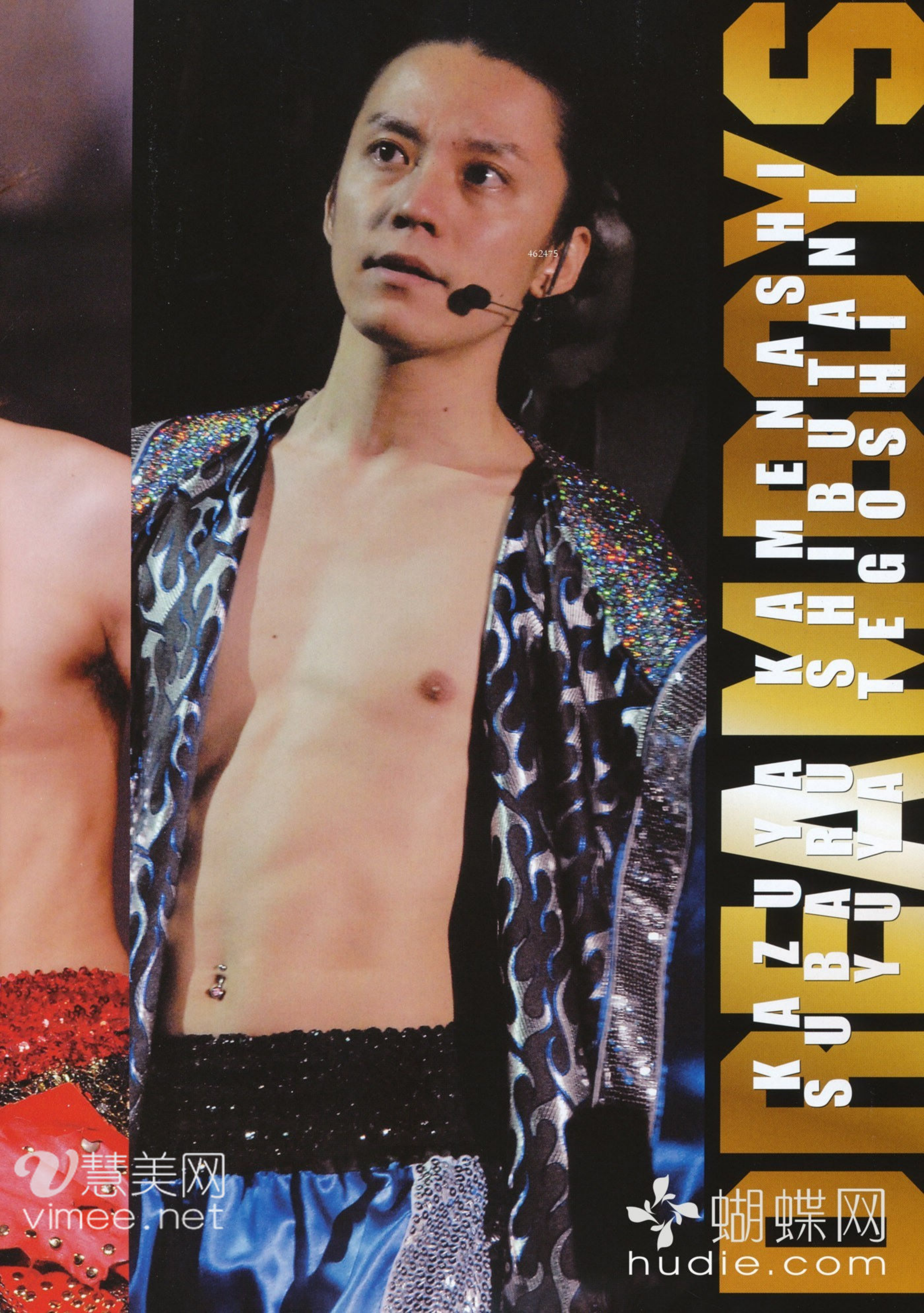
東京公演は9月29日まで、大阪・梅田芸術劇場では10月13日～25日まで。すでに見た人も、まだ見ていない人も、ぜひ『ドリームボーイズ』の飛躍を感じてほしい。きっと時間を忘れるくらい楽しませてくれるはず！







フォト／久保田司（本誌）


KAZUYA KAMENASHI
SUBARU SHIBUTANI
YUYA TEGOSHI

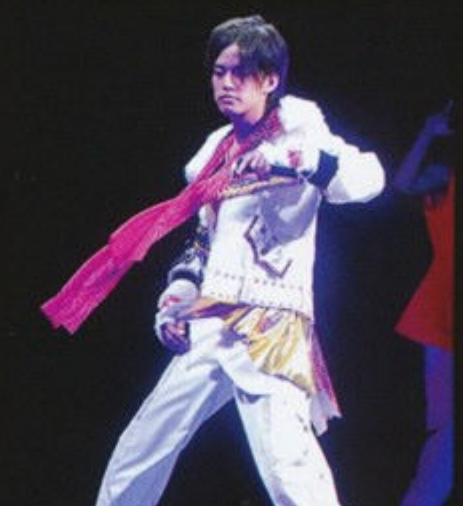






滝沢「おーい、みんな！ 準備はいいか！」予想外のタッキーのナレーションで幕を開けた、ジャニーズJr.のコンサート。でも、オープニングナンバーを聴いて、タッキーがナレーションで登場した意味を納得。『Can do!Can go』。タッキーらがジャニーズJr.だった頃の、ジュニアのコンサートでの定番曲。嵐の相葉ちゃんと松潤、関ジャニ∞のヨコが出演した映画『新宿少年探偵団』でもスクリーンで歌われた曲だ。ジャニーズJr.の伝統を継承する。今回のコンサートにはそんな意味が込められていたのかもしれない。

コンサートは圧巻の連続だ。格子状のセットに大勢のジュニアが並ぶステージでは森本慎太郎、B.I.Shadowやフレッシュなジュニアが所狭しと歌い、踊る。ダンスでA.B.C-Z、Mis Snow Manが登場し、さらに中山優馬がドラマの撮影で忙しい中駆けつけた！（B.I.～の中島健人は収録のため欠席）駆けつけた！といえば、帝国劇場（国際フォーラムのすぐ近く）で稽古中のところ、可愛い後輩のために駆けつけたKAT-TUNのカメちゃん。『離さないで愛』を歌っていた京本&植草は、このサプライズに呆然。一方、ファンは大歓声。さらにA.B.C-Zをバックに『離さないで愛』を披露してくれるサービスも！本編ラストナンバーは、これまたかつてのジャニーズJr.の定番曲で





ジャニーズJr.

夏休み ジャニーズJr. 全員集合

2009.08.18@東京国際フォーラム ホールA























〈オープニングコーナー〉
1 Can do! Can go!
2 JAM
3 悪魔の恋 / NYC
4 和太鼓～They Don't Care About
〈Hip Hop JUMPコーナー〉
5 Hip Hop DANCE&&RAP / MAGMA
〈京本大我・植草裕太コーナー〉
6 春夏秋冬 / 離さないで愛
〈Mis Snow Manコーナー〉
7 YOU / 限界メーター / No more wait!
〈中山優馬 w/ B.I.Shadow〉
8 Dial Up / I can catch the moo
〈森本慎太郎 w/ スノープリンス合唱団〉
9 ピアノ3重奏～石垣Classic演奏＆後藤バイオリン Bitter Moon / BANG!BANG!バカンス! / 蝶 / 君と僕の6ケ月
〈フレッシュJr.コーナー〉
10 キ・セ・キ / A・RA・SHI / NEWSニッポン / Real Face / Ultra Music Power
11 スクール革命
――MC――
〈増田良コーナー〉
12 コバルトブルー / 君の瞳に恋してる / Dancing Queen
〈Question?コーナー〉
13 Frozen Sky / Beast Soul
〈〈A.B.C-Zコーナー〉
14 Vanilla～INAZUMA☆VENUS / A to Z
〈少年隊メドレー〉
15 君だけに～仮面舞踏会～少年の思い出
16 罠
17 ブギウギ・キャット
18 瞳をとじて

明日に向かって

Can Do!★Can Go!★

ジャニーズJr.が夏休みの東京国際フォーラムにどどーんと大集合!! オリジナル曲はもちろん、タッキー＆翼、嵐ら憧れの大先輩がジャニーズJr.だった頃の懐かしの定番曲まで披露してくれました。









あり、タッキー自身も今も時折披露してくれる『瞳を閉じて』。さらにアンコールではこれも定番曲であり、嵐も先日の10周年ライブでアンコールに選んだ『明日に向かって』。そして『フィーバーとフューチャー』。新時代のジュニアの活躍が楽しみになってきた!



フォト／久保田司（本誌）

aya ueto

約2年ぶりのライブイベント『HappyMagic～スマイル・マイルス・マイルッス～』を8月29日Zepp Osaka、同31日Zepp Tokyoにて開催した彩ちゃん。今回はそんな彩ちゃんの東京公演の模様をお届けします。







上戸彩 | Aya Ueto Happy Magic











Aya Ueto Happy Magic



8月31日、Zepp Tokyoにてライブイベント『Happy Magic～スマイル・マイルス・マイルッス～』の東京公演を開催した彩ちゃん。新橋駅から乗ったゆりかもめ、20分ほど揺られてゆくと、Zepp Tokyoのある青海駅へ到着。外は台風11号の影響で、あいにくの雨模様。駅を出て、Zepp Tokyoを見下ろすところまで来てみると、もう下には傘を手にしたたくさんの人、遠くからは〝整理券○○番代をお持ちの方は列にお並びください〟との声。

会場のスタンド席では、開演前からところどころでペンライトが点灯。〝上戸彩〟と書かれた提灯をもつ人やコンサートグッズのタオルマフラーを首にかけた人など、みんなが開演を待ち望んでいる様子です。

会場暗転、いよいよ『Happy Magic～スマイル・マイルス・マイルッス～』の東京公演がスタート。今回の公演は2部構成にわかれていて、前半は彩ちゃんの歌と、タイトルにもある〝マイルス君〟が登場する劇が同時進行（一見うさぎ風、でも鼻にお花が咲いているという謎のキャラクターであるマイルス君。彼がいろんな人に風船と笑顔を届けるというストーリーになっています）。



☆**1曲目『つかまえて！』**

白とピンクの上下に身を包んだ彩ちゃんが登場すると、会場からは大きな歓声。スカ風のノリのいい楽曲で1曲目からフロア全体が大盛り上がり。

（蜂のトニー君と出あったマイルス。なにやらさみしげなトニーを元気づけようと……）

☆**2曲目『Honey』**

明るく軽快なリズムに、彩ちゃん、会場も一体になります。

（マイルスはトニーのため、ジャグリングをしたり、パントマイムをしたり。その後、風船で仲間の蜂を作ってあげるとトニーは大喜び。続くカノンタウンでマイルスは、またまたさみしげなポッカリーナと出会います）

☆**3曲目『心ぽかぽか』**

ポッカリーナのアコースティックギターに合わせて唄う彩ちゃん。会場もゆったり手拍子でリズムを。

（カノンタウンでもポッカリーナに笑顔をあげたマイルス。ラブリータウンでは黄色い服を着た女の子エイミーちゃんが登場）

☆**4曲目『私の太陽』**

間奏では、彩ちゃんもエイミーたちとダンスを披露します。

（ラブリータウンの後に訪れたフェアリータウンで、妖精のピクシーくんと出会ったマイルス。風船をあげようとしますが……）

☆**5曲目『君が笑うと世界が笑う』**

彩ちゃんの歌に合わせてゆれる会場。赤、青、オレンジ、緑のペンライトの波。

（ピクシーから、ほしいのは本物のひまわりなんだと告げられるマイルス。そこでマイルス一念発起、大きなひまわりを咲かせます。そんなマイルス、頭をすっぽりはずしてみたら、実は中身は彩ちゃん！）

☆**6曲目『右胸のフェアリー』**

首から下はマイルスのままで唄う彩ちゃん。うさぎ風（!?）のマイルスだけに、彩ちゃんも曲に合わせて元気よくジャンプ！ 天上からは色とりどりの風船がふってきて、会場も大喜び。彩ちゃん、力強く応援ソングを歌い上げ、ここで一旦カーテンコール。

ここからは後半戦。彩ちゃんは歌&MCで会場をさらに盛り上げてゆきます。

☆**7曲目『Smile for…』**

ギター、ベース、ドラムと女性スリーピースバンドを従え、白の上下にシルバーのベストという姿で登場した彩ちゃん。最新シングル『Smile for…』を披露すると、会場は待ってましたとばかりに大歓声。

「みなさん、おひさしぶりです。『Happy Magic～スマイル・マイルス・マイルッス～』へようこそ！ 第1部、いかがでしたか～？ 何度も打ち合わせをして作ったものなので、みなさんにいいと言ってもらえたらすごくうれしいです。風船をあげて、みんなを笑顔にしてきたのに、自分は笑ってなかったマイルス君。で、最後に笑って出てきたのが私、上戸彩だったというお話でした（笑）。それじゃあ、台風が来てちょっと蒸し暑いけど、最後まで楽しもうね！」

☆**8曲目『way to heaven』**



ダンサーが登場、彩ちゃんもダンスを披露。

☆**9曲目『笑顔のままで』**

ステージ上はオレンジ色に。〝思い出す 思い出す〟のフレーズがとても印象的なこの曲。歌詞の中には〝君の笑顔のそばで〟という、今回のライブのテーマにぴったりの言葉も。

☆**10曲目『風』**

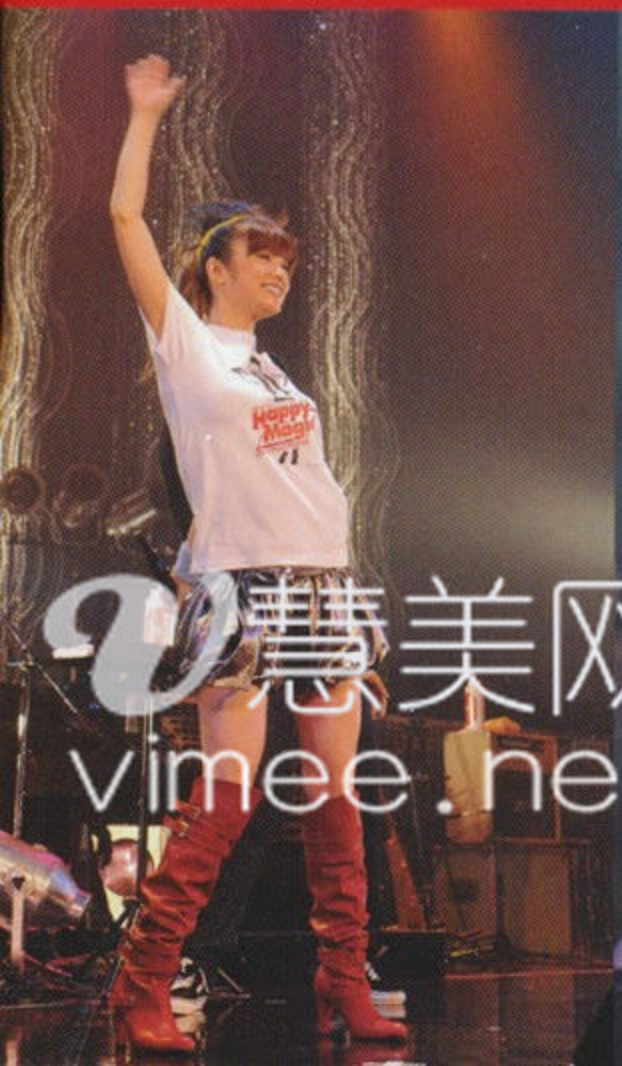
スポットライトのみになる会場。会場に響くドラム、そこにベースが重なり、ギターがさらに厚みを加えてゆきます。和風のイントロ、これはアニメ『忍たま乱太郎』エンディング・テーマでもあった名曲、『風』。チェックのシャツにパンツ、スニーカーというカジュアルな衣裳にチェンジした彩ちゃん、さわやかな〝風〟のように唄います。

「みなさん、楽しんでますか？ ライブは約2年ぶり。みなさんはこの2年間、何をしてましたか？ 私はドラマ尽くしの2年間でした。『暴れん坊ママ』で演じた川野あゆ役はすごくテンションが高い役で、撮影も毎日楽しくてしかたなかったです。続く『ホカベン』は、ドラマの内容は重かったけど、演じていてすごく勉強になった作品でした。私の演じた堂本灯は新人弁護士の役だけに難しいセリフがとても多かったので、この時期は全然遊べなかったです（笑）。美田園アリス役を演じた『セレブと貧乏太郎』は、ちいさい子がたくさん見ていてくれたみたいで、ファンレターをいっぱいもらって。中には〝アリスの服を作らされて大変です〟なんてお母さんからのお手紙もありました（笑）。そして『婚カツ！』では、ヒロインの飛田春乃役を演じました。初の月9に出演できて私もすごくうれしかったです。……というわけで、ドラマの話はこれくらいで、また唄います（笑）！」

☆**11曲目『SMILE』**

ギターはエレキからアコースティックに。やわらかい音にのせて、やさしい詞を唄う彩ちゃん。〝ラララララ～♪〟とのびやかに唄いあげます。

「この『SMILE』という曲は、友達のベッキーが『いいはなシーサー』という番組で私のことを話してくれた時に、BEGINさんが唄っていた曲なんです。ちょうど私もアルバムのレコーディングをしてるところだったので、BEGINさんにぜひにとお願いして、収録させていただくことになりました。……さてみなさん、ここから





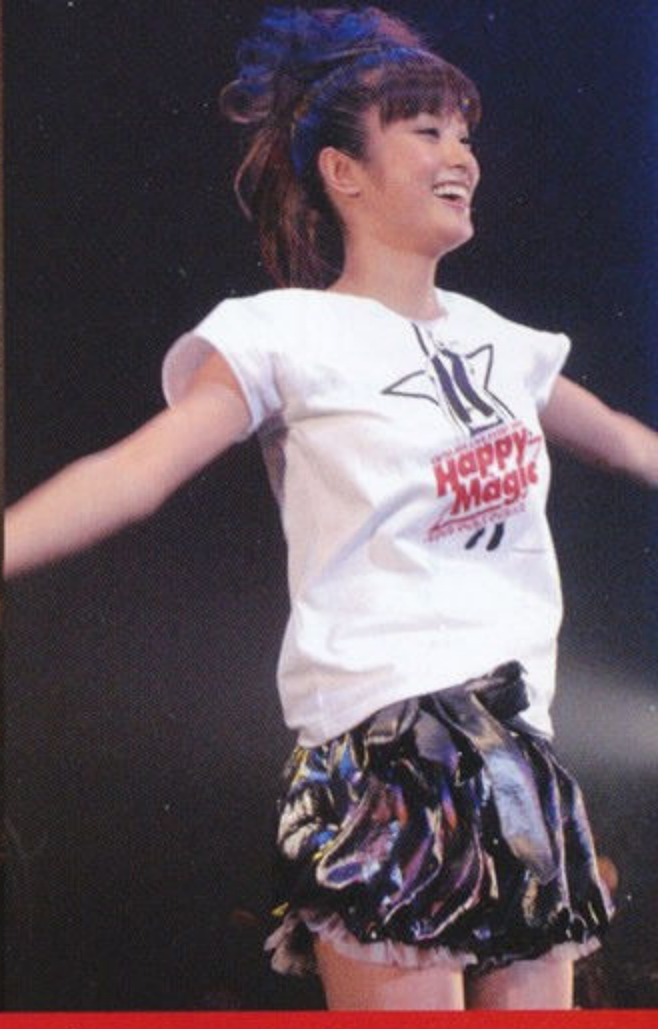
Information

<映画>現在公開中のアニメ映画『ATOM』の主人公の声を担当
<ドラマ>橋田壽賀子スペシャルドラマ『結婚』（テレビ朝日系）年内放送予定
<CD>"SMILE PROJECT 2009" ニューアルバム『Happy Magic～スマイルプロジェクト～』が好評発売中
<HP>http://www.oscarpro.co.jp/

Aya Ueto Happy Magic

フォト／保坂均



はちょっと懐かしい曲を聴いていただければと思います」

☆**12曲目『kizuna』**

彩ちゃんの2ndシングルだった『kizuna』。せつない歌詞、アップテンポな楽曲に合わせて、ステージも真っ赤な照明に。今年24歳（9月14日が誕生日）の彩ちゃんも、一瞬、17歳の頃に戻ったよう。

☆**13曲目『Hello』**

ミディアムテンポのスケールが大きな曲に合わせて、ゆれる会場。彩ちゃんが唄う〝さよならは始まり〟のフレーズが、胸にせつなく響いてきます。



「みなさん、『Happy Magic～』は聴いてくれましたか？ 今回は素敵なアーティストの方たちとコラボできてうれしかったです。みなさんのおかげで、CDデビューをして7年が経ちました。私がいつも笑顔でいられるのも、本当にみなさんのおかげ。初心に戻って、この曲を唄います」

☆**14曲目『Pureness』**

〝果てしない空に～♪〟というフレーズから始まるこの曲は、彩ちゃんにとって記念すべきデビューシングル。ステージ上の彩ちゃんに、ドラマ『3年B組 金八先生』のクールな鶴本直のイメージが重なってゆきます。

☆**15曲目『夢のチカラ』**

彩ちゃんにとって11枚目のシングルであり、主人公鮎原こずえ役を演じていた『アタックNo.1』のエンディングテーマだった『夢のチカラ』。オーケストレーションが印象的なイントロ、会場からは〝彩ちゃ～ん！〟の声。いい曲ばかりの新曲はもちろんですが、初期の曲もやっぱり全てが名曲ぞろい！

「台風の中、ライブに来てくれてありがとう。みんなの笑顔、最高でした。夏の最高の思い出をありがとう！」

笑顔で手を振りながらステージを去る彩ちゃん。すぐに会場からはアンコールの声。最初はちいさく少しずつ、次第に大きくたくさん。いつしか一体となって、ずっと鳴り止まない声。

☆**EN1曲目『もう一度だけ』**

白いTシャツ、赤いブーツ姿の彩ちゃんが登場。その澄んだ声がフロア全体にゆるやかに響くと、会場のみんなが静かにしかし強く感動。歌が終わり、ほんの一瞬の静けさの後、大きな拍手、そして〝彩ちゃん、大好き～！〟の声。

「みんな、アンコールありがとう。まだ元気？ 今、雨すごいよ～。絶対カゼひかないでね。ライブが終わる時までに、台風が行ってしまうことを祈ってます。私もみんなのことが大好きです。最後まで盛り上がってください！」

☆**EN2曲目『PUZZLE』**

デビューシングル『Pureness』のカップリングだった『PUZZLE』。〝みんな、ジャンプして～！〟とあおる彩ちゃん、それに呼応してフロアのみんなもジャンプ！ 軽快で楽しいこの曲、彩ちゃんも笑顔、ダンサーも笑顔、バンドメンバーも笑顔、そしてもちろん会場も笑顔。

☆**EN3曲目『愛のために。』**

最後はやっぱりこの曲、『愛のために。』。『PUZZLE』から続く盛り上がりは、ここで最高潮。どこを見ても、誰を見ても、見渡す限り、みんながにこにこ、笑顔の渦。マイルス君もステージに登場、彩ちゃんとともに会場をさらに盛り上げてゆきます。赤、青、オレンジ、緑のペンライト、色とりどりの風船、くるくると回されるタオル、そして、

「みんな、愛してるーー！」

という彩ちゃんの声。

「今日、みなさんに会えてすごくうれしかったです。この幸せな気分で、これからもがんばりたいと思います。また会えるように、みなさんも元気に過ごしてください。ほんとにみんなのこと、大好きだからねーーー！」

ステージ上で、彩ちゃんは最後までずっと笑顔で手を振っていました。

熱気冷めやらぬ会場。盛り上がりに盛り上がり、まだ上気した人波を抜け、一歩外に出てみると、台風は過ぎ去ったのか、雨がすっかりあがっていました。

最後に――。いつも恒例の〝彩ちゃんからのメッセージ〟ですが、今回だけは特別、Kindaiから彩ちゃんへのメッセージを。

デビュー以来ずっと、Kindaiは彩ちゃんのことを見続けてきました（実際、これを書いてる担当編集にとっても、いちばん長く担当させてもらったのが彩ちゃんでした）。映画やドラマ、歌やCMにと、さまざまなジャンルで活躍する彩ちゃん。その姿を取材しながら、実はKindai自身も、本当にたくさんの元気をもらってきたんだなってあらためて思います。それはもう、数えられないくらい。彩ちゃん、これまでどうもありがとう。体[illegible]けには気をつけて、これからもがんばってください。

ちなみに今回のライブで、ふと気づいたことがあったのでお知らせしておきます。実はKindaiのとなりの席に、ちいさな女の子がいたんです。お父さんに連れられたその子は、ライブが始まると同時に、目を輝かせて、一生懸命オレンジ色に光るペンライトを振っていました。会場が手拍子になると、女の子もちいさな手で拍手。そして時折、〝彩ちゃー[illegible]〟。ステージを一心に見つめながら、終[illegible]にこにこと笑顔だった女の子。……彩ちゃんは、本当にたくさんの人たちを笑顔に、幸せにしていますよ。







AKB48のキセキ

日本武道館の 2 DAYS公演を無事成功させたAKB48！
次の目標は夢の『TOKYO DOME』。AKB48は「夢」に向かって加速中です。

AKB48



※チームは新体制後の所属





大島 優子

YUKO OSHIMA

ニックネーム:ゆうこ
88年10月17日生まれ
栃木県出身
チームK所属

Yuko Oshima



小野 恵令奈

ERENA ONO

ニックネーム:えれぴょん
93年11月26日生まれ
東京都出身
チームK所属

Erena Ono



―『分身の術ツアー』について教えて。

小野「ツアー初日はチームKだったので、プレッシャーはすごかったです」

大島「行くときから波乱万丈でした（笑）」

―何があったの？

河西「台風が接近していたり、地震があったりして大阪へ向かう新幹線が止まったんです！　急きょ、飛行機で移動することになりました」

―大変だったね。公演には間に合った？

大島「リハーサル時間があまりなかったんですけど、でも、みんなの集中と頑張りで、最高のステージになりました！」

―大阪のノリはどうだった？　やっぱり違う？

小野「若干違いがあり、熱いような気がしました（笑）」

大島「チームであんなに広い会場でパフォーマンスするのは初めてだったので、お客さんが最高に盛り上がってくださっているのを実感しました」

河西「熱かったです」

―チームBはどうだったかな？

柏木「チームKの翌日がチームBの名古屋公演でした。大阪はすごく盛り上がったと聞いたので、少し不安でした」

指原「みんなの気合いが違ったよね！」

仁藤「緊張で泣いちゃうメンバーもいたりして」

指原「緊張がマックス！　始まってしまうと大丈夫なんですけど」

―特にハプニングはなかった？

柏木「メンバーの緊張がすごかったことがハプニングかな（笑）。でも、無事に公演をやり終え、お客さんも盛り上がってくださ

柏木 由紀

YUKI KASHIWAGI

ニックネーム:ゆきりん
91年7月15日生まれ
鹿児島県出身
チームB所属

Yuki Kashiwagi









河西 智美

TOMOMI KASAI

ニックネーム:とも〜みちゃん
91年11月16日生まれ
東京都出身
チームB所属

Tomomi Kasai

ったので安心しました」

――ツアーファイナルは、なんと日本武道館！

小野「まさか、自分が武道館に立てるとは思いませんでした」

河西「リハーサルのときから感動でウルウルしているメンバーもいるくらい」

仁藤「楽しすぎて、あっという間の時間でした」

指原「もえのちゃんとふたり、ユニットをやらせていただきました。どうなることか心配でしたが、やっぱり〝AKB48は好きだ〟って、改めて感じることができました。」

仁藤「あの大きなステージを、端から端までふたりで走りまわったんです！」

柏木「私は、なかなか〝武道館〟のイメージがつかめなくて。実際、ステージに立っているときも夢じゃないのか、ほっぺたをつねりました（笑）」

河西「たくさんの方に来ていただいて、本当に感謝しています」

大島「武道館は〝拍手が上から降ってくる〟と聞いたんですが、その意味がわかりました！」

――どういうこと？

大島「拍手の波に飲み込まれて、体全部が音と振動に包まれる感じです」

小野「すごかった！ ステージ前の〝でべそ〟を走っているときに感じました」

――そうなんだぁ。武道館ならではの感想だね。そして、突然のチームシャッフル！

小野「最初はみんな動揺したけど、楽屋に戻ってからは次のステップのための新たなスタートだとわかりました」

河西「これからAKB48はどう進化するのか、楽しみです」





指原莉乃

RINO SASHIHARA

ニックネーム：さっしー
92年11月21日生まれ
大分県出身
チームA所属

Rino Sashihara





仁藤萌乃

MOENO NITO

ニックネーム：もえの
92年7月22日生まれ
東京都出身
チームK所属

Moeno Nito

——最後に、読者にメッセージをお願いします。

大島「これからもAKB48は活躍の場を広げていくので、応援よろしくお願いします」

小野「『Kindai』さんではAKB48の成長をみていただきました。これからもAKB48はもっともっと上、『TOKYO DOME』ライブを目指します！見守ってください」

指原「また別の場所で、読者のみなさんと会えることを楽しみにしています」

柏木「『Kindai』さんは、AKB48に入る前から読んでいました。その雑誌に自分も載れて、本当にうれしかったです。AKB48はどんどん進化していきます。みなさん応援よろしくお願いします」

仁藤「今回、武道館のステージに立てて、AKB48の存在は大きいなって感じました。その大きさにのまれないよう、自分も成長できるよう頑張ります」

河西「『Kindai』さんの読者の方々には、今までAKB48を見守って頂き本当に感謝しております！ありがとうございました!! そしてこれからもAKB48をよろしくお願いいたします!!」

フォト／久保田司（本誌）

Information

<AKB48劇場ステージ>チームA5th『恋愛禁止条例』、チームK5th『逆上がり』、チームB4th『アイドルの夜明け』<AKB48シアターGロッソ公演>『夢を死なせるわけにいかない』<シングル>13th『言い訳Maybe』(KING RECORDS)<テレビ>『AKBINGO!』（日本テレビ／毎週水曜24時29～）、『AKB48 ネ申テレビ シーズン2』（CS放送ファミリー劇場／毎週金曜23時～）、『週刊AKB』（テレビ東京／毎週金曜17時30～）<イベント>『New York Anime Festival』（9月25日／アメリカ・ニューヨーク）、『mipcom』(10月5日／フランス・カンヌ)<公式HP>http://www.akb48.co.jp/

MAO INOUE

10月24日公開の映画『僕の初恋をキミに捧ぐ』。
主人公の種田繭（マユ）を井上真央ちゃん、
幼なじみであり恋人役の垣野内逞（タクマ）を
岡田将生くんが演じ、「生きる事」「愛する事」の
切なさと意味を深く瑞々しく描いています！

——まず、この映画のオファーが来たときの感想を聞かせてください。
「真っ先に“純愛”“切なさ”という第一印象を受けたので、そこを繭と逞の空気感で上手く描いていきたいなと思いましたね。逞くん役の岡田将生くんとは初共演だったんですけど、2人とも若干人見知りなところがあるので“仲良くなるのは難しそうかな？”って思っていたんですよ（笑）。でも、撮影が進むにつれて思っていた以上に波長が合ったので嬉しかったです」
——2人のデートシーンは本当に楽しそうでしたよね。
「遊園地のシーンがあるんですけど、台本を読んだときに、どんなアトラクションに乗るのかが気になって仕方がなかったんです。私、ジェットコースターが苦手で（笑）。でも実際の撮影は、本当に子どものように素で楽しめましたね。“恋人が二十歳まで生きられない”というシリアスなストーリーの中での1シーンなので、切なさと温かさを感じてもらえる場面だと思います」
——恋人の命の期限がわかっているので繭ちゃんの心情はすごく複雑なのでは？
「そうですね。でも、あえて“この役を演じるには絶対にこうしなきゃ”って肩肘を張ることはしませんでした。シーンごとに“繭ちゃんはどんな気持ちでいるのかな？”ということを常に考えて、逞くんとの自然な空気感を作っていくことの方が、この映画のメッセージを伝えるためには大事だと思ったので。切なくて重いテーマの映画だからといって“健気に元気にふるまおう！”とか“思いっきり悲しまなきゃ”と力むことはしたくなかったんです」
——逞くんの“生きているうちに別れておかなければならない”というセリフがありますが、どう響きましたか？
「本当に悲しくて切ない言葉ですけど、本当に優しい人なんだなと感じました。相手のことを一番に考えた逞くんなりの思いやりだし、もし私にも命のリミットがあって好きな人がいる状況だったら、その人に悲しい思いをさせたくない、できるだけ悲しみを和らげてあげたいと思うので、逞くんのこの選択はわかる気がしますね。でも、恋人である繭ちゃんからすると“一緒にいる間に悲しい想いをたくさんするかもしれないけど、後悔はしたくない”と考えていると思うんです。命の期限があるからこそ一緒にいたい！という真っ直ぐな気持ちはすごく素敵だなぁと思いましたね。そういう気持ちの強さも必要なんですよね」
——そんなシリアスで大切なテーマがありながら、とても爽やかで自然な空気感や、愛おしい時間の経過を感じとれる作品ですよね。
「そうですね。演じるにあたってただ重い物語にはしたくなかったし、とても劇的な原作の内容をそのまま2時間の映画で表現しようとすると、かえってメッセージがぼやけてしまう気がして。ドラマチックさをめいいっぱいフォーカスするよりは、大切な人と一緒にいる2人の、日常での一生懸命な姿を見せた方が、より切なさを感じていただけると思うんですよね。観てくださる人には命の大切さはもちろん、繭ちゃんと逞くんの気持ちの絆をメッセージとして一番伝えたかったんです」
——繭ちゃんや逞くんと同世代のKindai読者には、いっそう深くメッセージが伝わりそうですね。
「何かを感じていただけたら本当に嬉しいですね。もしかしたら命のタイムリミットがあるからこそ、繭ちゃんと逞くんは“後悔していない”と言える濃い時間を過ごせたんだと思います。そう考えると、私たちも1日1日を大事にしていかなきゃいけないんですよね。時間だったり、自分が出会う人や出来事を大切にして、もし好きな人がいるなら一生懸命に相手と向き合う。当たり前のことですけど、毎日の中の一瞬でも真剣に向き合うことがどんなに大切か。それをこの映画から感じとれると思うので、たくさんの人にぜひ観てほしいです」
——公開間近で忙しいなか、プライベートで熱中していることはありますか？
「ジムに通って泳いでいます！実は泳ぎは下手だし、すぐ疲れちゃうんですけど（笑）、夜に行って水中ウォーキングをするとリフレッシュできるんです」







10月24日公開

映画
『僕の初恋をキミに捧ぐ』



©2009「僕の初恋をキミに捧ぐ」製作委員会
©2005青木琴美／小学館

医師を父に持つ少女・繭は父の病院で入院生活を送る少年・逞と出会う。互いに恋心を抱き始める2人だが、繭は逞が病気により20歳まで生きられないことを知る。幼い2人は儚い未来に向けて「大人になったら結婚しよう」と約束。時が経ち、一途に逞を愛する繭に対し自らの余命を自覚した逞は……。全国東宝系・10月24日公開。

フォト／光　スタイリング／平林和男
ヘアメイク／牧田健史　文／恒川めぐみ


一生懸命に生きることの大切さを感じてほしい。
MAO INOUE
井上真央
蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net



J-Topi
ジャニーズトピックス
JOHNNYS' TOPICS

TV·CM　MOVIE　STAGE　CD·DVD　etc...

■国分太一／岡田准一新CM発表会
■滝沢秀明ニューシングル発売
■20th Century／Coming Century LIVE DVD発売
■KinKi Kids LIVE DVD発売
■関ジャニ∞ LIVE DVD発売

TV·CM 岡田准一 Junichi Okada
ソニー『サイバーショット』『ハンディカム』新CM発表会



V6の岡田准一が、都内でイメージキャラクターを務めるソニーの『サイバーショット』と「ハンディカム」の新CM発表会に登場した。新CMでは、千葉県の廃校で大勢の子どもたちを、岡田がカメラとビデオで撮影。「子どもたちが楽しそうで、僕も顔がゆるんで素でした」（岡田）



TV·CM 国分太一 Taichi Kokubun
日清食品『チキンラーメン』CM会見

TOKIOの国分太一と女優の仲間由紀恵が、都内で行われた日清食品『チキンラーメン』の『幼稚園おいしいしょくいくキャラバン』お披露目会に出席。会見中には国分がめん棒で原材料を押し、仲間が製めん機で伸ばしてめんを切るなど、手づくり体験を行い、国分は「麺を作るっていうのは、こういう機会じゃないと体験できない！」と声を弾ませていた。チキンラーメンの手作りデモンストレーションやチキンラーメン体操を行う同キャンペーンは2010年3月まで全国で実施。



CD·DVD 滝沢秀明 Hideaki Takizawa
シングル『ヒカリひとつ』



タッキーが連ドラ主演を務めるTBSドラマ『オルトロスの犬』の主題歌『ヒカリひとつ』が9月23日にシングル発売！（エイベックス）初回限定盤は、特典DVDがMusic Clip盤とDrama盤の2タイプ。通常盤はボーナストラックとして『愛の戦士TAKI-レンジャー』が収録！


※Music Clip盤

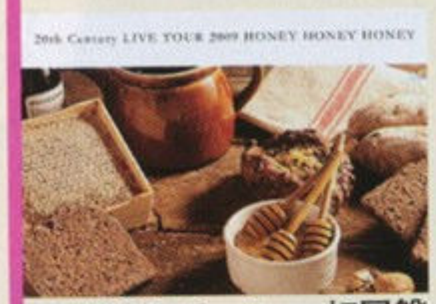

※Drama Clip盤


※通常盤

CD·DVD 20th Century Coming Century
DVD『20th Century LIVE TOUR 2009 HONEY HONEY HONEY/We are Coming Century Boys LIVE Tour 2009』



トニセン・カミセン、それぞれのライブを1つにパッケージした超豪華ライブDVDが10月7日に発売決定。『20th Century LIVE TOUR 2009 HONEY HONEY HONEY』と『We are Coming Century Boys LIVE Tour 2009』のライブ映像を一つにパッケージ。初回生産限定盤には1DISCずつの豪華特典映像を収録！4DISCが収まった豪華BOX仕様。

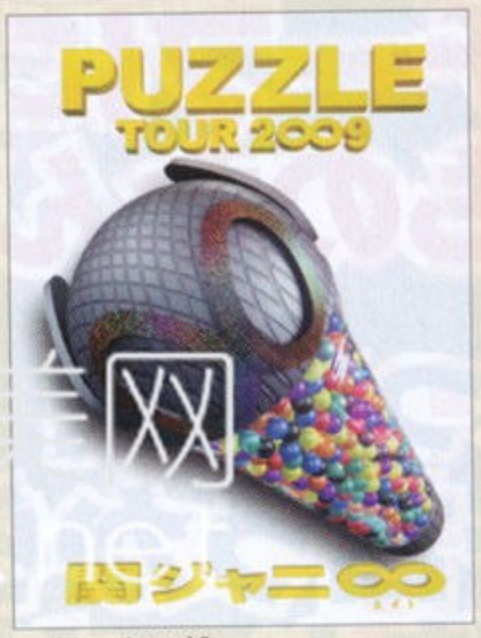

※20th Century 初回盤


※Coming Century 初回盤

CD·DVD 関ジャニ∞ Kanjanieight
DVD『TOUR 2∞9 PUZZLE』

今年7月まで行われたライブツアーのDVD『TOUR 2∞9 PUZZLE』が「∞show（エイトショー）ドキュメント盤」と「∞笑（エイトショー）ドッキリ盤」の2パターンで9月23日発売！（インペリアルレコード）


※ドキュメント盤


※ドッキリ盤

CD·DVD KinKi Kids KinKi Kids
DVD『KinKi you DVD』

KinKi Kidsのデビュー日、7月21日からスタートした昨年の全国ツアー。全国13会場を回るツアーの全貌を4枚組のDVDにまとめて9月30日にリリース！（ジャニーズ・エンタテイメント）初回限定盤は元日ライブ、通常盤は別会場をダイジェスト収録。


※初回盤


※通常盤





オリエンタルラジオの目をみてはなしてくださぃ♡

最終回

最終回となる今回は、『戦慄迷宮3D』に出演している女優陣がゲスト！　恐怖映画の裏側を聞いてきました。

GUEST 10　蓮佛美沙子、前田 愛、水野絵梨奈



慎吾「映画のタイトルとなってる“戦慄迷宮”って、富士急ハイランドにアトラクションがありますよね？」

蓮佛「あのアトラクションをモチーフに映画化したものなんです」

中田「はるな愛さんと一緒に入ったよ！あの人がギャーギャー言うから、その声が怖かった（笑）」



日本初の3D スリラー映画に 興味津々

慎吾「今回は『戦慄迷宮3D』に出演している女優さん3人がゲストです！　前田愛さんは前の仕事があるので、後から来るとして……。蓮佛さん、水野さん、ようこそいらっしゃいました」

中田「おいくつですか？」

水野「16歳です」

蓮佛「18歳です」

慎吾「ということは、まだ高校生!?」

蓮佛「私は大学生になりました」

慎吾「この『戦慄迷宮3D』は、日本初のデジタル3D映画なんですよね」

水野「そうなんですよ」

中田「ということは、メガネをかけて映画を観るんですか？」

蓮佛「はい」

中田「この『戦慄迷宮3D』は、スリラー映画なんですよね。撮影中は怖くなかったんですか？」

水野「楽しかったですよ」

蓮佛「照明を使っていたので明るいから怖くないし、監督がすごく面白い方だったので、本当に楽しかった！」

慎吾「この〝戦慄迷宮〟という名前、富士急ハイランドにも同じアトラクションがありますよね？」

蓮佛「あのアトラクションをモチーフに映画化したものなんです」

中田「ああ、あのお化け屋敷！　あれは怖かったな〜」

水野「入ったこと、あるんですか？」

中田「ロケで一度、はるな愛さんと一緒に入りました。あの人がギャーギャー言うから、その声が怖くてソッコーで出たかった(笑)」

慎吾「いや〜、映画は怖そうだね！」

中田「でも慎吾くんは、怖い映画とか大好きでしょ」

慎吾「僕は平気。この映画も観に行きたいな。ちなみに3Dスリラーって、どんな感じなんですか？」

中田「普通のホラーものと違います？」

水野「最初は〝臨場感があるな〟と思うんですけど、途中から映画の世界に入り込んじゃって、メガネをかけてることも忘れちゃいます」

慎吾「怖すぎて、メガネをはずしちゃうことはないの？」

水野「ちょっと目はつぶりました(笑)」

中田「僕はめちゃめちゃ恐がり！」

慎吾「そう、あっちゃんは怖いのダメだよね。でも逆に恐がりだと、自然と女の子の手を握ったりできるじゃん。そういうシーン、あるかな？」

中田「オジサンの質問だよ！(笑)」

前田愛さんの大ファンだったあっちゃん

（ここで前田愛さん登場）

前田「よろしくお願いします」

中田「はじめまして。前田さんは僕らとひとつ違いですか？　僕らは今、27歳なんですけど」

前田「そうですね、26歳です」

中田「すごく前から知っているので、もっと先輩なのかと思ってました」

慎吾「あっちゃんは前田さんのことが大好きで、写真集も持ってたよね。あっちゃん家で見たことあるもの」

中田「そこまで言わなくていいよ！(笑)。妹さんも芸能活動してますよね」

前田「はい、しています」

慎吾「詳しいな〜」

中田「いろんな作品に出演していらっしゃいますよね」

慎吾「ごめんなさいね、うちのあっちゃんが今、『戦慄迷宮』より怖い状態になってますけど(笑)」

中田「ちなみに3Dだと、撮影方法も違うんですか？」

前田「小さいカメラが右目左目というように、2つ並んでいて、それで1つのカメラになっているんです。その毎カットごと、2つの焦点を合わせてから撮影だったので、スタッフさんが大変そうでしたね」

中田「この映画の観どころを教えてもらえますか？」

蓮佛「3Dなので奥行きがすごくあって、本当に目の前に登場人物がいるような気持ちになれます。ただ怖がらせるだけじゃなくて、恋愛だったり、嫉妬やねたみから生まれる恐怖を描い

今月のGUEST



水野絵梨奈
MIZUNO ERINA

'93年2月8日生まれ、東京都出身
血液型：A型
身長：160cm
趣味：読書、スキー、和太鼓
特技：華道、ダンス
活動歴／＜映画＞『ゼラチンシルバーLOVE』『のんちゃんのり弁』＜舞台＞『恋と革命LOVE&REVOLUTION』、『SAMURAI7』、『エブリリトルシング』ほか



蓮佛美沙子
RENBUTSU MISAKO

'91年2月27日生まれ、鳥取県出身
血液型：O型
身長：163cm
趣味：歌うこと、ギター、音楽を聴くこと
特技：極真空手、英会話、ピアノ、水泳
活動歴／＜映画＞『犬神家の一族』、『バッテリー』、『転校生　さよならあなた』＜ドラマ＞『七瀬ふたたび』(NHK)、『二重裁判』(TBS)＜映画＞『いけちゃんとぼく』ほか　蓮佛美沙子オフィシャルサイト
http://www.renbutsumisako.com/



前田　愛
MAEDA AI

'83年10月4日生まれ、東京都出身
血液型：B型
身長：157cm
趣味：映画&音楽鑑賞、日本舞踊
特技：英会話、ピアノ、殺陣
活動歴／＜ドラマ＞『科捜研の女』(日本テレビ)、『法廷サスペンスSP3量刑』(テレビ朝日)、『おみやさん』(テレビ朝日)、『めぞん一刻』＜DVD＞『旭山動物園物語　ペンギンが空をとぶ』ほか



ているので、ホラーが苦手な人でも楽しめると思います」

中田「どんな役どころなんですか？」

蓮佛「私は10年前に行方不明になった少女・由紀で、10年後に戻ってくるんです。物語の鍵を握っています」

水野「私は由紀の妹です。両親に可愛がられていた姉が急にいなくなって、後悔や嫉妬など複雑な感情を抱いている役ですね」

前田「そして私は由紀の幼なじみのひとりです。同じグループに柳楽優弥くんや勝地涼くんがいて、そのグループが事件に巻き込まれるんです」

慎吾「面白そう！ ぜひデートで行ってみたいなぁ」

中田「僕は怖いのが苦手なので、観られるかな……」

前田「大丈夫だと思いますよ。私も怖いのは苦手なんですけど、試写会で観ても大丈夫でしたから」

水野「私も怖いのがダメで、次の日は筋肉痛になるんじゃないかというくらい身体に力が入っちゃうんですけど、この作品はストーリーに引き込まれるので大丈夫だと思います。もちろん怖いシーンもありますけどね」

中田「じゃあ、頼りになる女性と観に行こうっと」

藤森「現場はどうだったんですか？ 出演者も柳楽くんや勝地くん、松尾スズキさんと個性派揃いですよね」

蓮佛「楽しかったですね」

前田「松尾さんとは少しだけしかご一緒できなかったのですが、柳楽くんや勝地くんとはずっと一緒でした」

中田「一番しゃべるのは誰ですか？」

3人「柳楽さんです（笑）」

慎吾「この3人でよく話す人は？」

蓮佛「愛さんが姉御って感じで、よく話してくれるし頼りになりました」

前田「やめてくださ～い！」

慎吾「ごはんを食べに連れて行ったりしてあげたんですか？」

前田「そこまではしてないです（笑）」

3人の美女から選ばれる男はどっちだ？

前田「ごはん、行きたかったけど……。富士急ハイランドで撮影していて、撮影が終わるのは朝食の時間帯なんです。だから食べに行ける場所がなくて」

中田「確かに富士急の周りって、何もなさそうだもんなぁ」

前田「なかったですね」

慎吾「富士急ハイランドで、ほかのアトラクションには乗れました？」

水野「乗れなかったんですよ」





オリエンタルラジオ
ORIENTALRADIO

中田敦彦…'82年9月27日生まれ、大阪府出身。(左)
藤森慎吾…'83年3月17日生まれ、長野県出身。(右)

<テレビ>『笑っていいとも!』(フジテレビ系／毎週金曜12時?)、『ヤリキレナイ川』(TBS系／毎月1回・日曜24時55分?)、『億万長者!?S?1バトルへの道?』(日本テレビ系／毎週月曜24時59分?)、『地元応援バラエティ このへん!!トラベラー』(東北放送テレビ／毎週木曜24時59分?)、『エムエム オリエンタルラジオのおいでよ!ドレミの森』(MUSIC ON! TV／火曜?日曜22時?)
<ブログ>http://oriental.laff.jp/blog/



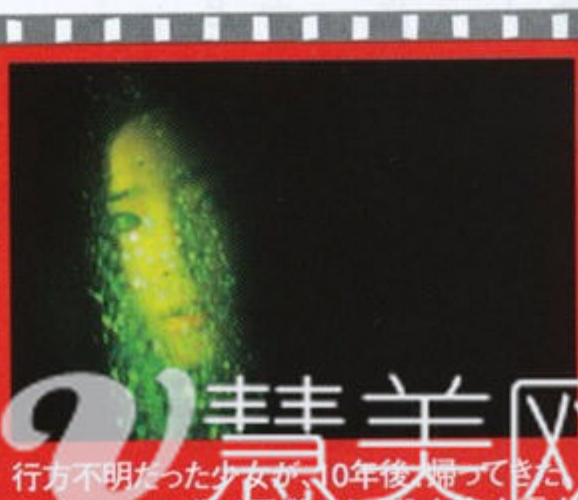


中田「“1時間待ちだから、ちょっとドドンパ乗ってこようか”とはならなかったんだ」
前田「撮影が閉園後だったんですよ」
蓮佛「本当は“みんなで乗ろうね”と言ってたんですけど……」
慎吾「じゃあ、絶叫系のアトラクションはみんな乗れるんだ?」
蓮佛「私は好きですね」
水野「私はダメです」
前田「私も無理です。胃が浮く感じがダメなので」
中田「さっき、“みんなで乗ろう”とキャッキャッ言ってたけど、絶叫系が大丈夫なのは1人だけなんだ(笑)」
慎吾「それではこの連載恒例の質問をさせてください! オリエンタルラジオ、恋人にするならどっちを選ぶ?」
水野「私は……、藤森さん」
慎吾「やったぁ! 決め手は?」
水野「第一印象の雰囲気で」
慎吾「ありがとう! 絶対に楽しませるからね、僕は」
蓮佛「私は中田さんです」
中田「ありがとうございます」
蓮佛「お化け屋敷が苦手と聞いたので、どれくらい苦手なのか見てみたい」
慎吾「意外とSだね～(笑)」
中田「これで1票ずつ。最後は前田姐さんに決めてもらいましょう」
前田「えっと……、中田さんです」
慎吾「あっちゃん、よかったな! 理由はなんですか?」
前田「わからないです」
慎吾「好きだけど、理由はわからない!? それは恋かもしれないね(笑)」
前田「う～ん、一緒にいると楽しそうかな、って。怖いのがダメなところも似ていますし。私、藤森さんと一緒にいたらケンカになりそう(笑)」
中田「絶叫系アトラクションに連れ回されそうだものね(笑)」
慎吾「ということで、時間が来てしまいました。今日の対談、どうでした?」



水野「あまりうまく話せなくてすみません……。でも、楽しかったです」
蓮佛「こういう対談は初めてだったので緊張したんですが、実際に話してみたら楽しかったですね」
前田「ずっとテレビで観ていたふたりなので、お会いできてよかったです。うん、とても楽しかった」
慎吾「ありがとうございます、僕らも本当に楽しかった!」
中田「ただ時間が短すぎるっ! いつもはもうちょっと長いのに」
慎吾「そうだよね、プライベートの話とかももっと聞きたかったな～。ということでみなさん、ありがとうございました!」
3人「どうもありがとうございました」
慎吾「さてあっちゃん、この連載も最終回となりました」
中田「今回が10回目ということは、10ヵ月かぁ。普段話せないような人と話せて楽しかったね。特に林原めぐみさんなんて、この連載じゃなければ出会えなかったはず。学生時代から会いたかった人なので、会えて良かった」
慎吾「僕が印象的なのは田代さやかさんをおんぶしたこと。これはなかなかできないよ～」
中田「僕が人の目を見て話さないって、第1回目で石原さとみさんに指摘されて初めて自覚したよ。その結果、タイトルにもなったけど」
慎吾「それで、目を見て話せるようになったの?」
中田「まだムラはあるね。30分くらい経って、やっと見られる程度」
慎吾「じゃあ、時間がなかった今日の対談なんて……」
中田「目を見られずじまいですよ。今日は前田さんのファーばかり見てた」
慎吾「最終回でもダメだったか～」
中田「でも多少はリハビリできたと思います(笑)」
慎吾「また違う雑誌でこういう企画ができたらいいね。読者のみなさん、ぜひ署名活動をお願いします!」
中田「もしくはプライベートで読者のみなさんと対談したいね。よかったらおハガキください」
慎吾「合コンじゃねぇかよ!(笑)」





『戦慄迷宮3D』

10月17日(土)東京・新宿バルト9、大阪・梅田ブルク7 ほか、全国ロードショー

行方不明だった少女が、10年後に帰ってきた。ある遊園地の“巨大な廃病院”の姿をしたお化け屋敷から。殺人鬼も霊も存在しない“あの場所”に、ふたたび連れ戻される4人。そこで体感する、10年前の事件のある【事実】。迷い込んだら出口なし。驚愕(きょうがく)の一夜が【START】した。

フォト/川上一生　文/しのぴー



AAA

TAKAHIRO NISHIJIMA / MITSUHIRO HIDAKA / SHINJIRO ATAE

9月22日、「AAA 4th Anniversary LIVE」を横浜アリーナで開催したAAA。LIVEは間違いなく大成功だったはず。メンバー愛もますます深まっているようで……という訳で今回は、ニッシー、日高、真司郎に、いろーんな愛について語ってもらった。やっぱり愛がなくちゃね。

面倒だから、5つ子にしない?(笑)

與 真司郎
SHINJIRO ATAE

SHINJIRO ATAE

——最近、「愛」を感じた瞬間は?

西島隆弘 「愛」を感じた瞬間……。

與真司郎 「愛」を感じた瞬間……。

日高光啓 「愛」を感じすぎて、どれをピックアップして良いのかがわからない(笑)。

與 ……あ、はい。実家に帰った時、犬が超~なついてきました。

——もともと実家で飼っていた犬?

與 そうです。飼い始めたのが、俺が中学の頃からだから、もう5、6年。「風(ふう)」と「雷(らい)」っていうんですけど、久しぶりに会うと跳んでくるんで、「愛」を感じました。

日高 「実家愛」いいね。僕は、友達が最近風邪をひきまして、「これは大変だ!」と思って看病しに行きまして……俺って「愛」に溢れてるなぁと思いました。

與 「自己愛」じゃん(笑)。

——どういう風につくすんですか?

日高 俺、結構なんでもします。換気に始まり換気に終わり。お粥を作る事もあり。西島にお粥を作った事もあります。なっ?

西島 あぁ。作られた事あります。

日高 リンゴの皮を剥いてあげた事もあります。

西島 剥かれた事あります。

日高 おいおいっ(笑)。お前の事、人生で二度看病してるんだから。

西島 俺だって、お前の部屋掃除してあげただろ。

日高 大昔にな。それじゃまだ、俺の「愛」に応えてきれてない(笑)。

西島 じゃあ、風邪ひけ(笑)。俺はやっぱりスタッフさんですね。気づかないところでのフォロー。こっちが予測してなかった気遣いに「あ!」って思う事があって。そういう時に「愛」を感じます。

——では、AAAの中で最近、「愛」を感じた出来事は?

日高 また看病話なんですけど、宇野(実彩子)がa-nationで野外でライブをした後に、急に涼しい場所に行ったら、くらっ……ときちゃってバタッ!といっちゃって。で、みんなで必死に大看病して。「自己愛」抜きで(笑)。

西島 さすがに焦ったからね。

日高 あの時は「Aラブ(えぇラブ)」だったね(笑)。

——5年目に突入し、今のAAAっていろんな面で「愛」が深まってると思うんですけど、振り返って、デビュー当時の関係ってどんな感じでした?

西島 (メンバーの)ひとつひとつの気遣いに、こっちも丁寧に気を遣っていた感じはしますね。「ありがとう」と声に出して言わないと、こっちの気持ちは伝わらないだろうなっていうような。でも今は、そういう気遣いがなくなって。それは感謝の気持ちがマンネリ化しているんじゃなくて、言わない事が当たり前のラインに達してきている。メンバーが、家族、兄弟と同じような存在になりました。

日高 これだけ長く一緒にいるから、必然だとは思うんですけどね。

——今のAAAを家族の関係に例えると、どうなります?

日高 親父からいきましょうか。

與 そこは(浦田)直也くんでしょ。

西島 お母さんはいないな。

日高 もしくは直也くんがお母さん。

西島 それだ!

與 (末吉)秀太は末っ子だね。で、ニッシーと日高は双子。

日高 俺ら、双子!?

與 そう(笑)。それで俺は仲良しの兄弟をあたたかく見守っている親戚のおっちゃん(笑)。

日高 いや、お前も兄弟に入れ。

與 じゃあ、中堅で(笑)。

日高 (伊藤)千晃、孫でどう?(笑)で、宇野は……どうしよう?

西島 難しいね……。

與 面倒だから、千晃と宇野で5つ子にしない?(笑)

日高 おいおいっ(笑)。

西島 次回までに考えまーす(笑)。

MITSUHIRO HIDAKA



AAAを家族に
例えてみよう!!

日高光啓
MITSUHIRO HIDAKA



次回までに
考えまーす(笑)。

西島隆弘
TAKAHIRO NISHIJIMA

TAKAHIRO NISHIJIMA

Infcrmation

■ニューシングル『Hide-away』(エイベックス)10月21日発売決定!
■ライブDVD『AAA TOUR 2009 -A depArture pArty-』(エイベックス)発売中
■公式ホームページ　http://avex.jp/aaa

フォト/本多誠


AAA
TAKAHIRO NISHIJIMA
MITSUHIRO HIDAKA
SHINJIRO ATAE

ARTIST NEWS

Pick Up!

話題のアーティストの最新ニュースがいっぱい!

misono

NEW SINGLE「うる星やつらのテーマ-ラムのラブソング-」MINI ALBUM「misonoカバALBUM」発売中（エイベックス・トラックス）



ソロ活動3年目に入り着実にファンを広げているmisono。女優・バラエティなどの活動でも注目される中、彼女が彼女らしくある為に居れる場所、それがアーティスト"misono"。アーティスト"misono"を知らない新しいファンへ感じてもらうべく、「day after tomorrow」のリメイク1曲プラス、アニメ・メドレー2曲を収録したニューシングルと、カヴァー曲6曲の全9曲を熱唱したミニアルバムを同時リリース!! 世代を超えて楽しめる楽曲に加え、彼女の魅力のひとつでもある"歌の上手さ"、"声の良さ"が存分に味わえるよ!!

B'z

NEW SINGLE「MY LONELY TOWN」10月14日発売（VERMILLION RECORDS）



今夏、全国各地で行なわれたライブ公演で未発表の新曲として披露されていた「MY LONELY TOWN」を遂にリリース!! ソリッドなギターとストリングスが共鳴するサウンドに深淵なメッセージが溶け合い情感溢れるメロディーが心に響く、珠玉のロックナンバー。また、大ヒット中のニューシングル「イチブトゼンブ」のBallad versionも収録！初回限定盤には、今年35年振りに上陸が解禁となった長崎・軍艦島で初の大規模撮影を決行。音と映像が結実した豪華DVD付き!!

BREAKERZ

LIVE DVD「BREAKERZ LIVE 2009 "WISH" in 日本武道館」10月14日発売（ZAIN RECORDS）



チケット即日SOLD OUTとなった、BREAKERZデビュー2周年記念ライブを初となるLIVE DVDでリリース!! ライブ本編18曲プラスアンコール4曲に、初の日本武道館ライブまでの道のりと当日の密着ドキュメントを映像収録。超フルボリュームな2時間半にも及びライブ映像と貴重なドキュメンタリー映像、見応え120%の熱くSEXYなBREAKERZの魅力がたっぷり詰まった記念的DVD!!

絢香

BEST ALBUM「ayaka's History 2006-2009」発売中（ワーナーミュージック・ジャパン）



年内をめどに無期限の活動休止を発表した絢香。彼女がアーティストとして歩んできた3年7ヶ月のヒストリーを辿る、珠玉のシングルA面全曲収録ベストアルバムが完成。その内容は驚異のタイアップ曲全15曲＋5万枚限定シングル「melody」と、彼女のアーティストとしての完成度の高さを物語る充実ぶり！初回限定盤は10万を超える投票により決定した10曲を収録した特典DISC付き!!

安室奈美恵

NEW LIVE DVD「BEST FICTION TOUR 2008-2009」発売中（エイベックス・トラックス）



50万人が体感した、あの"最高のフィクション"が遂に蘇る。女性ソロアーティスト史上最多動員数64公演／約50万人を動員を記録し、安室史上最大規模のアリーナツアーが待望のDVDリリース!! 今作は、海外公演を初映像化。台北アリーナ公演（台湾）で見せた完璧なるパフォーマンスと1万人のオーディエンスは必見!! 特典映像は台湾公演のオフショット映像を収録！

清木場俊介

NEW ALBUM「FLYING JET」9月30日発売（ビクターエンタテインメント）



移籍第2弾となるオリジナルアルバムを超ハイペース・リリース!! ニューシングル「JET」を含む全12曲を収録。ライブ発表済みのナンバーを中心に、全曲が新録オリジナル！根岸孝旨、弥吉淳二ら新たなROCKプロデューサー陣も迎え、大きく翼を広げた清木場ROCKが全開!! 新天地を得た彼のエネルギーは誰にも止められない！

mihimaru GT

NEW SINGLE「アン｜ロック」NEW ALBUM「The Best Selection of ASIA」発売中（ユニバーサルJ）



シングル＆アルバム同時リリース!! 読売テレビ系ドラマ『猿ロック』主題歌として書き下ろされたニューシングルは爽快感溢れるロックチューン!! また、"アジア初！"、ベストアルバムでもあるニューアルバムは収録曲14曲中13曲のタイアップベスト!! 韓国、台湾にて楽曲投票上位14曲をコンパイルしたスペシャル版!!

Every Little Thing

NEW SINGLE「DREAM GOES ON」発売中（エイベックス・トラックス）



約1年ぶりとなる今作は、話題のNHK金曜ドラマ『派遣のオスカル～「少女漫画」に愛をこめて』主題歌。9年振りにELTオリジナルメンバー五十嵐充がサウンドプロデューサーとして参加!! 切なく強い今の時代の空気を取り込んだサウンドは、頑張っている女性へ向けた力強いメッセージ！10月より待望の全国ツアーも決定!!

一十三十一

NEW ALBUM「Letters」発売中（GARURU RECORDS）



昨年、喉のポリープ手術、結婚、出産と人生の大きな転機を超え、スケールアップした新生、一十三十一が新たな伝説へスタート。FM Nack5のレギュラー番組で好評の手紙にまつわる名曲をリクエストをもとに彼女がカバーするという番組と連動した初のコンセプトアルバム。"媚薬系"と評される彼女の歌声を曽我部恵一がプロデュース！

GARNET CROW

NEW ALBUM「STAY ～夜明けのSoul～」9月30日発売（GIZA studio）



オリコンウィークリーチャートで初登場5位を記録した前作「LOCKS」から約1年6ヶ月ぶりとなるニューアルバムが完成!! ヒットシングル「夢ひとつ」「百年の孤独」「Doing all eight」を始め、ニューシングル「花は咲いて、ただ揺れて」のアルバムバージョンも収録。定評のあるミディアムバラードも粒ぞろいな名曲を満載だよ!!

Do As Infinity

NEW ALBUM「ETERNAL FLAME」9月30日発売（エイベックス・トラックス）



Do As Infinityの新たなる旅が始まった。4年7ヶ月振りとなるオリジナルアルバムは、テレビ東京系『ヒカルの碁セレクション』オープニングテーマ曲「最後のGAME」他、記念すべき10th Anniversary Yearの幕開けを飾るにふさわしい渾身の全12曲を収録。全曲亀田誠治サウンドプロデュース!!

Monthly

人気スターの TV&Music etc... 最新情報を Check!!! Check!!! Check!!!

9月→10月

スター情報通り

star

9月25日（金）京セラドーム大阪
9月26日（土）京セラドーム大阪
9月27日（日）京セラドーム大阪
11月14日（土）札幌ドーム
11月15日（日）札幌ドーム
12月 4日（金）東京ドーム
12月 5日（土）東京ドーム
12月 6日（日）東京ドーム
2010年1月16日（土）ナゴヤドーム
2010年1月17日（日）ナゴヤドーム

…★石原さとみ★…

【スペシャルドラマ】
『左目探偵EYE』（日本テレビ系・10月3日・土曜21：00～22：54）
『裸の大将　熊本編』（フジテレビ系・10月放送予定）
【レギュラーラジオ】
『SAY TO ME!』（ニッポン放送・毎週日曜23:30～24:00）
【舞台】
『組曲　虐殺』（10月3日～25日・銀河劇場/10月28日～30日・兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール　他）

…★上戸　彩★…

【スペシャルドラマ】
橋田寿賀子スペシャルドラマ『結婚』（テレビ朝日系 ※年内放送予定）
【CD・DVD】
アルバム『Happy Magic～スマイルプロジェクト～』（ポニーキャニオン）発売中
【映画】
『ATOM』（公開中　※主人公の声を担当）

…★AKB48★…

【レギュラーTV】
『AKBINGO!』（日本テレビ系・毎週水曜24:29～24:59）
『すイエんサー』（NHK教育・毎週火曜19:25～19:55）
『週刊AKB』（テレビ東京系・毎週金曜17：30～18：00）
『AKB48 ネ申テレビ シーズン2』（CS放送ファミリー劇場・毎週金曜23：00～23：30）
【レギュラーラジオ】
『ON 8』（bayFM・毎週月曜20:00～21:25）
『AKB48 明日までもうちょっと。』（文化放送『レコメン』内・毎週月曜23:35～23:50）
『AKB48の全力で聴かなきゃダメじゃん!!』（スカパー! STARdigio・毎週水曜23:30～24:00）
『AKB48 今夜は帰らない…』（CBCラジオ・毎週月曜

…★新垣結衣★…

【レギュラーラジオ】
『SCHOOL OF LOCK!』（T-FM・毎月第3週目月-木曜22:15頃）
【CD・DVD】
アルバム『hug』（ワーナーミュージック）発売中
【映画】
『BALLAD 名もなき恋のうた』（公開中）

…★嵐★…

【レギュラーTV】
●嵐
『嵐の宿題くん』（日本テレビ系・毎週月曜23:58～24:28）
『ひみつのアラシちゃん!』（TBS系・毎週木曜22:00～22:54）
『VS嵐（『バニラ気分!』第2部）』（フジテレビ系・毎週土曜12:59～13:30　※10月から毎週木曜19：00～19：57 10月22日よりO.A.）
●櫻井 翔
『NEWS ZERO』（日本テレビ系・毎週月曜22:54～23:58）
●大野 智
『0号室の客』（フジテレビ系・10月23日スタート・全4話・毎週金曜25：05～25：20）
●相葉雅紀
『マイガール』（テレビ朝日系・10月9日スタート・毎週金曜23：15～24：15　※主演）
『天才! 志村どうぶつ園』（日本テレビ系・毎週土曜19:00～19:57）
●二宮和也
『天国で君に逢えたら』（TBS系・9月24日・木曜21:00～ ※主演）
【レギュラーラジオ】
●大野 智
『ARASHI DISCOVERY』（FM横浜・毎週月-金曜6:50～6:55）
●相葉雅紀
『嵐・相葉雅紀のレコメン! アラシリミックス』（文化放送・毎週金曜24:00～24:30）
●二宮和也
『BAY STORM』（BAY FM・毎週日曜22:00～22:30）
●松本 潤
『嵐 JUN STYLE』（NACK5・毎週土曜10:20～10:50）
【CD・DVD】
シングル『Everything』（ジェイ・ストーム）発売中
アルバム『All the BEST! 1999-2009』（ジェイ・ストーム）発売中
【コンサート】
「ARASHI Anniversary Tour 5×10」

タート 毎週木曜20：00～20：43 ※主演)
【レギュラーラジオ】
●横山 裕・村上信五
『関ジャニ∞ 横山裕・村上信五のレコメン!』(文化放送・毎週木曜22:00～25:00)
●村上信五
『村上信五の週間! 関ジャニ通信』(ABCラジオ・毎週日曜24:00～24:30)
【CD・DVD】
DVD『TOUR 2009 PUZZLE』(インペリアルレコード) 9月23日発売
【舞台】
●渋谷すばる
『DREAM BOYS』(9月4日～29日・帝国劇場 / 10月13日～25日・梅田芸術劇場メインホール)

…★北乃きい★…

【レギュラーラジオ】
『SCHOOL OF LOCK!』(T-FM・毎月第4週目 月-木曜22:15頃)
【映画】
『BANDAGE バンデイジ』(来年1月16日公開)

…★℃-ute★…

【レギュラーラジオ】
●矢島舞美
『℃-ute矢島舞美の｜My Me♡まいみ～』(FM PORT・毎週金曜23:00～24:00)
【CD・DVD】
●℃-ute
シングル『EVERYDAY 絶好調!!』(アップフロントワークス / ゼティマ) 発売中
DVD『℃-ute コンサートツアー2009 春～AB℃～』(アップフロントワークス / ゼティマ) 発売中
●Buono!(鈴木愛理)
シングル『Take it Easy!』(ポニーキャニオン) 発売中
●ガーディアンズ4(中島早貴)
シングル『School Days』(ポニーキャニオン) 発売中
【コンサート】
「℃-uteコンサートツアー2009夏 秋～キューティJUMP！～」
9月23日(祝) ハーモニーホール座間
9月27日(日) Zepp Sapporo
10月3日(土) 愛知県勤労会館
10月4日(日) 愛知県勤労会館
10月12日(祝) 新潟県民会館
10月17日(土) 中野サンプラザ
10月18日(日) 中野サンプラザ
10月24日(土) NHK大阪ホール
10月25日(日) NHK大阪ホール
【舞台】
『ロマンチックにヨロシク』12月2日～6日・池袋あうるすぽっと

20:00～20:30)
『渡り廊下走り隊の青い未来へ初恋ダッシュ!!』(CBCラジオ・毎週土曜22:00～22:30)
【CD・DVD】
●AKB48
シングル『言い訳Maybe』(You,Be Cool! / キングレコード) 8月26日発売中
●SKE48 teamS
シングル『強き者よ』(ランティス) 発売中

…★KAT-TUN★…

【レギュラーTV】
●KAT-TUN
『cartoon KAT-TUN 第三章』(日本テレビ系・毎週水曜23:58～24:29)
●中丸雄一
『ザ少年倶楽部』(NHK-BS2・毎週第1・2日曜18:00～18:50)
【レギュラーラジオ】
●亀梨和也
『亀梨和也のKスバイKス』(ニッポン放送『銀河に吠えろ! 宇宙Gメン TAKUYA』内・毎週金曜22:40～22:55)
『亀梨和也のKスバイKス(KAT-TUNスタイル フライデースペシャル)』(ニッポン放送『銀河に吠えろ! 宇宙Gメン TAKUYA』内・毎週金曜23:30～23:40)
●田口淳之介・田中 聖
『KAT-TUNスタイル』(ニッポン放送『銀河に吠えろ! 宇宙Gメン TAKUYA』内・・毎週月-金曜23:30～23:40)
●中丸雄一・上田竜也
『R-One KAT-TUN』(文化放送・毎週火曜24:00～24:30)
【舞台】
●亀梨和也
『DREAM BOYS』(9月4日～29日・帝国劇場 / 10月13日～25日・梅田芸術劇場メインホール)

…★関ジャニ∞★…

【レギュラーTV】
●関ジャニ∞
『関ジャニ∞のジャニ勉』(関西テレビ・毎週水曜24:35～25:05)
『関ジャニ∞の地球救出大作戦 Can!ジャニ～彼らはそれを可能にする～』(テレビ朝日・毎週土曜16:00～16:30)
●村上信五
『マイガール』(テレビ朝日系・10月9日スタート・毎週金曜23：15～24：15)
『モモコのOH!ソレ!見～よ!』(関西テレビ・毎週土曜13:55～14:25)
●村上信五・丸山隆平・安田章大
『ありえへん∞世界』(テレビ東京系・毎週火曜24:12～24:50)
●横山裕
『0号室の客』(フジテレビ系・10月23日スタート・毎週金曜25：05～25：20 ※ストーリーテラー)
『左目探偵EYE』(日本テレビ系・10月3日・土曜21：00～22：54)
●丸山隆平
『愛の修羅バラ!』(読売テレビ・毎週日曜11:40～12:35)
●大倉忠義・安田章大
『ROMES／空港防御システム』(NHK総合・10月15日ス

●中山優馬 w/ B.I.Shadow／NYC boys
シングル『悪魔な恋／NYC』（ジャニーズ・エンタテイメント）発売中
【コンサート】
●Kis-My-Ft2
「Kis-My-Ft2 ファースト全国ツアー09」
10月3日（土）大分・iichikoグランシアタ
10月4日（日）鹿児島市民文化ホール
10月9日（金）仙台イズシティ21
10月10日（土）仙台イズシティ21
10月17日（土）石川・本多の森ホール
10月18日（日）新潟県民会館
10月31日（土）ウェルシティ広島
11月1日（日）ウェルシティ広島
11月13日（金）神戸・ワールド記念ホール
11月14日（土）神戸・ワールド記念ホール
11月22日（日）ウェルシティ札幌
12月19日（土）横浜アリーナ
12月20日（日）横浜アリーナ
【舞台】
●A.B.C.-Z
『DREAM BOYS』（9月4日～29日・帝国劇場 / 10月13日～25日・梅田芸術劇場メインホール）
『シー・ラヴズ・ミー』（12月12日～2010年1月31日・シアタークリエ）
●Kis-My-Ft2・A.B.C-2
『新春 滝沢革命』（2010年1月1日～27日・帝国劇場）
『新春 人生革命』（2010年1月8日～28日・帝国劇場）

…★タッキー＆翼★…

【レギュラーラジオ】
●滝沢秀明
『タッキーの滝沢電波城』（ニッポン放送・毎週土曜22:30～23:00）
●今井 翼
『翼のto base』（文化放送・毎週木曜24:00～24:30）
【CD・DVD】
●滝沢秀明
シングル『ヒカリひとつ』（エイベックス）9月23日発売
●今井 翼
DVD『TSUBASA IMAI ★ Dance and Rock ★ Tour'09』（エイベックス）発売中
【舞台情報】
滝沢秀明
『新春 滝沢革命』（2010年1月1日～27日・帝国劇場）
『新春 人生革命』（2010年1月8日～28日・帝国劇場）

…★D-BOYS★…

【レギュラーTV】
●瀬戸康史
『オトメン（乙男）』（フジテレビ系・毎週土曜23:10～23:55）
●鈴木裕樹
『その男、副署長』（テレビ朝日系 10月15日スタート・毎週木曜20：00～20：53）
●中村優一
『ラストメール2いちじく白書』（BS朝日・10月15日スタート・毎週木曜23：00～23：30）
●中川真吾

…★KinKi Kids★…

【レギュラーTV】
●KinKi Kids
『新堂本兄弟』（フジテレビ系・毎週日曜23:15～23:45）
●堂本剛
『堂本剛の正直しんどい』（テレビ朝日系・毎週水曜24:15～24:45）
【レギュラーラジオ】
●KinKi Kids
『KinKi Kids どんなもんヤ！』（文化放送・毎週月-火曜24:35～24:50 / 水曜23:15～23:45）
【CD・DVD】
●KinKi Kids
DVD『KinKi you DVD』（ジャニーズ・エンタテイメント）9月30日発売
●堂本光一
シングル『妖～あやかし～』（ジャニーズ・エンタテイメント）発売中
【コンサート】
「KOICHI DOMOTO CONCERT TOUR 2009 -Best Performance and Music-」
10月10日（土）横浜アリーナ
10月11日（日）横浜アリーナ
10月12日（祝）横浜アリーナ

…★桜庭ななみ★…

【レギュラーラジオ】
『SCHOOL OF LOCK!』（T-FM・毎月第2週目 月～木曜22:15頃）
【映画】
『サマーウォーズ』（公開中 ※声の出演）

…★ジャニーズJr.★…

【レギュラーTV】
●ジャニーズJr.
『裸の少年』（テレビ朝日系・毎週土曜17:00～17:30）
『ザ少年倶楽部』（NHK-BS2・毎週第1・2日曜18:00～18:50）
●戸塚祥太・藤ヶ谷太輔・山下翔央・真田佑馬・高田翔
『百識王』（フジテレビ系・毎週火曜25:08～25:38）
●戸塚祥太
『はなまるマーケット』（TBS系 毎週水曜8:30～9:55）
●関西ジャニーズJr.
『関ジャニ∞のジャニ勉！』（関西テレビ・毎週水曜24:35～25:05）
●中田大智・濱田崇裕・室龍規
『あほやねん！すきやねん！』（NHK総合・毎週金曜16:50～18:00 ※関西地域向け）
●MA
『ザ少年倶楽部プレミアム』（NHK-BS2・毎月第3日曜18:00～18:50）
【レギュラーラジオ】
●関西ジャニーズJr.
『関ジャニの男前をめざせ！』（ABCラジオ・毎週土曜24:30～25:00）
『関西ジャニーズJr. もぎたて関ジュース』（ラジオ関西・毎週土曜19:20～19:35）
【CD・DVD】

MONTHLY STAR JOHO DORI

22:30)
【CD・DVD】
シングル『太陽と砂漠のバラ／スベニール』(ジェイストーム)発売中
【コンサート】
「TOKIO LIVE TOUR 2009 OVER 30'S WORLD」
9月23日(祝)日本武道館
9月30日(水)大阪城ホール
10月1日(木)大阪城ホール
10月8日(木)名古屋日本ガイシスポーツプラザ ガイシホール

…★AAA★…

【レギュラーTV】
●伊藤千晃
『女神サーチ』(TBS系・毎週木曜24:29〜25:29)
【レギュラーラジオ】
●浦田直也
『AAA浦田直也の「いけ! 浦田直也」』(東北放送・毎週月曜20:00〜21:30)
●日高光啓
『DANCING GROOVE-HOT JAM WOOFER BREAKERS!-内「Attack And Act the fool!」』(FM横浜・毎週火曜24:30〜25:00)
【CD・DVD】
シングル『Hide-away』(エイベックス)10月21日発売
シングル『Break Down / Break your name / Summer Revolution』(エイベックス)発売中
DVD『AAA TOUR 2009 -A depArture pArty-』(エイベックス)発売中
【舞台】
●西島隆弘
『リンダリンダラバーソール』12月2日〜6日・全労済ホール/スペースゼロ

『仮面ライダーW』(テレビ朝日系・毎週日曜8:00〜8:30)
【レギュラーラジオ】
●D-BOYS
『D-RADIO BOYS featuring D-BOYS』(bay-fm・毎週土曜23:00〜23:30)
【舞台】
●D-BOYS
『D-BOYS STAGE vol.3 鴉〜KARASU〜』(10月20日〜25日・青山劇場/31日〜11月1日・シアターBRAVA!)
●髙橋龍輝・橋本汰斗
ミュージカル『テニスの王子様「The Final Match 立海 First feat. 四天宝寺」』(9月26日〜27日・福岡市民会館大ホール/10月1日〜4日・JCB HALL)
【映画】
●中村優一
『湾岸ミッドナイト THE MOVIE』(公開中 ※主演)
『風が強く吹いている』(10月31日公開)

…★TOKIO★…

【レギュラーTV】
●TOKIO
『5LDK』(フジテレビ系・毎週木曜23:00〜23:30)
『THE! 鉄腕! DASH!!』(日本テレビ系・毎週日曜18:55〜19:58)
●城島茂
『0号室の客』(フジテレビ系・10月23日スタート 全4話・毎週金曜25:05〜25:20)
『リーダー's ハウトゥ Book』(テレビ朝日系・毎週月曜24:45〜25:15)
●山口達也
『魔女たちの22時』(日本テレビ系・毎週火曜22:00〜22:54)
●国分太一
『タイノッチ』(TBS系・毎週火曜23:54〜24:29)
『ぐるぐるナインティナイン』(日本テレビ系・毎週金曜19:00〜20:00)
『解体新ショー』(NHK総合・毎週金曜23:00〜23:30)
『たけしのニッポンのミカタ!』(テレビ東京系・毎週金曜22:00〜22:54)
『オーラの泉』(テレビ朝日系・毎週土曜19:00〜20:54 ※「サタスペ」内)
『すぽると!』(フジテレビ系・毎週土曜24:15〜25:05)
『太一×ケンタロウ 男子ごはん』(テレビ東京系・毎週日曜11:25〜11:55)
『ザ少年倶楽部プレミアム』(NHK-BS2・毎月第3日曜18:00〜18:50)
【レギュラーラジオ】
●城島茂
『ゴチャ・まぜっ!』(MBSラジオ・毎週月曜23:30〜24:20)
『城島茂のどっち派?!』(TBSラジオ・毎週金曜24:00〜25:00)
●山口達也
『TOKIO WARKER』(NACK5・毎週日曜10:00〜10:55)
●国分太一
『TOKIO・ザ・ライト』(文化放送・毎週木曜23:35〜23:50)
『国分太一のRadio Box』(JFN系・毎週金曜21:00〜21:55)
●松岡昌宏
『TOKIOナイトCLUB』(ニッポン放送・毎週土曜22:00〜

ミニアルバム『Hello-Goodbye』(エイベックス)発売中
●20th Century / Coming Century
DVD『20th Century LIVE Tour 2009 HONEY HONEY HONEY / We are Coming Century Boys LIVE Tour 2009』
【コンサート】
●V6
「V6 ASIA TOUR in 韓国＆台湾」
11月14日(土)ソウルオリンピック公園 オリンピックホール
11月15日(日)ソウルオリンピック公園 オリンピックホール
11月21日(土)台北アリーナ
11月22日(日)台北アリーナ
【舞台】
●坂本昌行
『ALL SHOOK UP』(10月4日～17日・青山劇場 / 23日～25日・シアターBRAVA! / 11月7日～8日・愛知県芸術劇場大ホール)

…★福田沙紀★…

【CD・DVD】
シングル『明日への光』(EMIミュージック)発売中
【映画】
『火天の城』(公開中)

…★Hey!Say!JUMP★…

【レギュラー番組】
●Hey! Say! JUMP
『ザ少年倶楽部』(NHK-BS2・毎週第1・2日曜18:00～18:50)
『裸の少年』(テレビ朝日系・毎週土曜17:00～17:30)
●Hey! Say! BEST
『Hi! Hey! Say!』(テレビ東京系・毎週土曜18:30～19:00)
●岡本圭人
『百識王』(フジテレビ系・毎週火曜25:08～25:38)
●山田涼介・知念侑李・八乙女光
『スクール革命!』(日本テレビ系・毎週日曜11:45～12:45)
●山田涼介
『左目探偵EYE』(日本テレビ系・10月3日・土曜21:00～22:54 ※主演)
【レギュラーラジオ】
●Hey! Say! 7
『Hey! Say! 7 Ultra Power』(文化放送・毎週月-木曜22:15～22:25)
【CD・DVD】
●NYC boys
シングル『NYC／悪魔な恋』(ジャニーズ・エンタテイメント)発売中
【舞台】
●薮宏太
『シー・ラヴズ・ミー』(12月12日～2010年1月31日・シアタークリエ)

…★Berryz工房★…

【レギュラーラジオ】
●嗣永桃子
『桃子のぷりぷりプリンセス』(文化放送・毎週火曜23:35～23:50)

…★NEWS★…

※錦戸亮の情報は関ジャニ∞欄に
【レギュラーTV】
●NEWS
『24時間テレビ32「愛は地球を救う」』(日本テレビ系・8月29日・土曜18:30～30日・日曜20:54)
●山下智久
『ブザー・ビート～崖っぷちのヒーロー』(フジテレビ系・毎週月曜21:00～21:54 ※主演)
●小山慶一郎
『Hi! Hey! Say!』(テレビ東京系・毎週土曜18:30～19:00)
『ザ少年倶楽部』(NHK-BS2・毎週第1・2日曜18:00～18:50)
●手越祐也
『世界の果てまでイッテQ!』(日本テレビ系・毎週日曜19:58～20:54)
『誰かが嘘をついている』(フジテレビ系・10月6日・金曜21:00～23:08)
【レギュラーラジオ】
●小山慶一郎＋メンバー1人
『KちゃんNEWS』(文化放送・毎週月曜24:00～24:30)
●増田貴久
『増田貴久のMASTER HITS』(BAY-FM・毎週金曜23:00～23:30)
【CD・DVD】
●テゴマス
アルバム『テゴマスのうた』(ジャニーズ・エンタテイメント)発売中
【舞台】
●手越祐也
『DREAM BOYS』(9月4日～29日・帝国劇場 / 10月13日～25日・梅田芸術劇場メインホール)
●増田貴久
『雨の日の森の中』(11月4日～23日・東京グローブ座 / 26日～30日・梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ)

…★V6★…

【レギュラーTV】
●V6
『VVV6 東京Vシュラン2』(フジテレビ系・毎週金曜23:00～23:30)
『新知識階級 クマグス』(TBS系・毎週金曜24:35～25:25)
●井ノ原快彦
『タイノッチ』(TBS系・毎週火曜23:59～24:29)
『百識王』(フジテレビ系・毎週火曜 25:08～25:38)
『新・警視庁捜査一課9係』(テレビ朝日系・毎週水曜21:00～21:54)
【レギュラーラジオ】
●三宅健
『三宅健のラヂオ』(BAY-FM・毎週月曜24:00～24:30)
●20th Century
『V6 Next Generation』(JFN系・毎週土曜21:00～21:55)
●岡田准一
『GROWING REED』(J-WAVE・毎週日曜24:00～25:00)
【CD・DVD】
●V6
シングル『GUILTY』(エイベックス)発売中
●Coming Century

MONTHLY STAR JOHO DORI

シングル『なんちゃって恋愛』(アップフロントワークス/ゼティマ)発売中
アルバム『モーニング娘。全シングル　カップリングコレクション』(アップフロントワークス/ゼティマ)10月7日発売
DVD『モーニング娘。コンサートツアー2009 春～プラチナ 9 DISCO～』(アップフロントワークス/ゼティマ)発売中

●ガーディアンズ4(光井愛佳)
シングル『School Days』(ポニーキャニオン)発売中

【コンサート】
「モーニング娘。コンサートツアー2009秋～ナインスマイル～」
9月23日(祝)神戸国際会館 こくさいホール
9月26日(土)愛知県勤労会館 講堂
9月27日(日)愛知県勤労会館 講堂
10月3日(土)宇都宮市文化会館 大ホール
10月4日(日)よこすか芸術劇場
10月11日(日)四日市市文化会館 第1ホール
10月12日(祝)長良川国際会議場 メインホール
10月17日(土)静岡市民文化会館 大ホール
11月 1日(日)仙台市民会館 大ホール
11月 3日(祝)長野県松本文化会館 大ホール
11月 7日(土)中野サンプラザ
11月 8日(日)中野サンプラザ
11月14日(土)広島厚生年金会館
11月15日(日)ウェルシティ小倉
11月28日(土)鳴門市文化会館
11月29日(日)神戸国際会館　こくさいホール
12月 5日(土)東京厚生年金会館
12月 6日(日)東京厚生年金会館

【CD・DVD】
●Berryz工房
DVD『Berryz工房コンサートツアー2009春～そのすべての愛に～』(アップフロントワークス/ピッコロタウン)発売中

●Buono!(嗣永桃子・夏焼雅)
シングル『Take it Easy!』(ポニーキャニオン)発売中

●ガーディアンズ4(熊井友理奈・菅谷梨沙子)
シングル『School Days』(ポニーキャニオン)発売中

【コンサート】
「Berryz工房コンサートツアー2009 秋～目立ちたいっ!!～」
10月11日(日)ハーモニーホール座間
10月12日(祝)ハーモニーホール座間
10月17日(土)Zepp Sendai
11月 3日(祝)東京厚生年金会館
11月 7日(土)愛知県勤労会館
11月 8日(日)大阪厚生年金会館 大ホール
12月 5日(土)静岡市民文化会館大ホール

【舞台】
劇団ゲキハロ第7回公演『サンク ユー ベリー ベリー』(9月17日～23日・池袋サンシャイン劇場/26日～27日・大阪サンケイホールブリーゼ)

…★真野恵里菜★…

【レギュラーラジオ】
『MANO-DELI』(FMFUJI・毎週日曜16:30～17:00)

【CD・DVD】
シングル『この胸のときめきを』(アップフロントワークス/ハチィマ)9月30日発売

【舞台】
『恋するハローキティ』(11月11日～19日・青山円形劇場)

…★南沢奈央★…

【レギュラーラジオ】
『南沢奈央のビビッとコイ!』(ニッポン放送・毎週水曜21:30～21:50)

…★モーニング娘。★…

【レギュラーTV】
●亀井絵里
『ジュエルペット』(テレビ東京系アニメ・毎週日曜9:30～10:00 ※声優出演)

●久住小春
『おはスタ』(テレビ東京系・毎週火曜6:45～7:30)

【レギュラーラジオ】
●高橋 愛・道重さゆみ
『ヤングタウン』(MBSラジオ・毎週土曜22:00～23:30)

●道重さゆみ
『今夜もうさちゃんぴーす』(CBCラジオ・毎週木曜24:00～25:00)

●新垣里沙・亀井絵里
『FIVE STARS』(インターFM・毎週月曜19:00～19:29)

●田中れいな
『FIVE STARS』(インターFM・毎週水曜19:00～19:29)

【CD・DVD】
●モーニング娘。
シングル『気まぐれプリンセス』(アップフロントワークス/ゼティマ)10月28日発売

新写真続々登場!!

Johnny's Shop Information



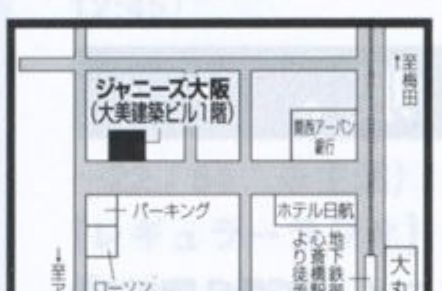
V6

嵐



…オリジナルフォト…
サイズ：9×13cm（約）　仕様：光沢　価格：一律150円（税込）

大阪



●インフォメーション・コール／06-6243-2220
●営業時間／10：30am～6：30pm（月～金）
10：00am～7：00pm（土・日・祝）
●〒542-0086　大阪市中央区西心斎橋1-12-8
大美建築ビル1F
●行き方／梅田から地下鉄御堂筋線で心斎橋駅下車、8号出口徒歩3分。

原宿

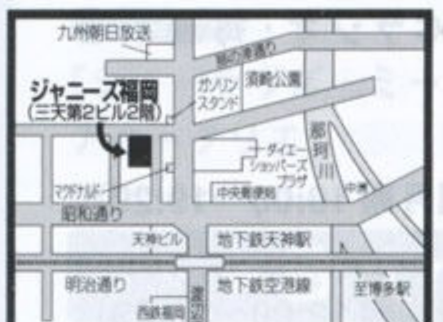


●インフォメーション・コール／03-5474-2034
（かかりにくいことがありますがご了承下さい。）
●営業時間／10：00am～7：00pm
●〒150-0001　渋谷区神宮前1-14-21
イルサリチェビル1F
●行き方／JR原宿駅の表参道口改札を出て10m程先、左手の地域看板をご覧下さい。

GO!GO! Johnny's Shop

ジャニーズショップマップ!

福岡



●インフォメーション・コール／092-716-3970
●営業時間／10：30am～6：30pm
●〒810-0001　福岡市中央区天神3-15-17
三天第2ビル2F
●行き方／地下鉄空港線で天神駅下車、中央改札口より天神地下街を昭和通り方面へ進み、西1出口より徒歩5分。西鉄バスでショッパーズ前もしくは天神北下車、徒歩5分。

名古屋



●インフォメーション・コール／052-934-2873
●営業時間／10：30am～6：30pm
●〒461-0005　名古屋市東区東桜2-14-7
プロト東桜ビル2F
●行き方／地下鉄東山線で新栄町駅下車、1番出口より徒歩7分。地下鉄東山線で栄駅下車、4番出口より錦通りを徒歩15分。

・全国4店舗・
ジャニーズショップ
★原宿★大阪★
★名古屋★福岡★
にて販売中!!

ドラマ『救命病棟24時』第4シリーズに
新人看護師・鴨井千夏役で出演した北乃きいちゃん。

little wing

ドラマの撮影を通して、たくさん学んだことが
あったのだとか。今回の経験を活かして、
さらに飛躍したいというきいちゃんです。

Kie Kitano

北乃きい





Kie Kitano

little wing

——ドラマ『救命病棟24時』シーズン4で新人看護師・鴨井千夏役を演じたきいちゃん。振り返ってみてどう。

「千夏は私にとって、記念すべきターニングポイントとも言える役になりました。これまで学生役を演じることが多かった私にとっては初の社会人役でもあるし、この役を通じてたくさんのことを学べたので、千夏役に出会えてほんとに良かったと思います」

——演じていて大変だったことってある？

「セリフがほとんど敬語で、むずかしい医療用語もいろいろあったんですが、それも含めて全部が楽しかったです（笑）。この『救命病棟24時』は、出演している方もスタッフの方も、みなさんがすごい方ばかり。そんなみなさんと出会えて、いっしょにひとつの作品を作れたことは、私にとって何物にも変えられない貴重な経験になりました」

——ちなみにきいちゃんが実際に救急救命の現場に携わることになったら……。

「う〜ん、大変だろうなって思います（笑）。看護師の役を演じて、改めて現場のみなさんの苦労もわかって。“こんな思いをしながらがんばってるんだ”と思うと、私も感謝の気持ちでいっぱいになります。今回の作品では、心臓マッサージの仕方やAED（自動体外式除細動器）の使い方も教えていただいたので、いざという時に自分も役立てるよう、ずっと覚えておこうと思ってます」

——では話をかえて、現在好評発売中の2010年度版カレンダーのお話も少し。今回のカレンダー、きいちゃんもかなりお気に入りなんだってね。

「2010年度版はカレンダー用に全部が撮りおろした写真で構成されているので、いつも以上に思い入れがあります。カレンダーとして使えるのは1年間だけど、使い終わった後もずっと大切にとっておきたい作品になったと思います」

——中でもいちばん好きなカットは？

「どれも大好きなのでなかなか選べないんですけど、いちばんはやっぱり、9月10月のフードをかぶっている写真です。カレンダーの撮影したのが髪を切る前だったので、女の子っぽい雰囲気もあるし、衣裳もいろんなタイプのものがあるので、まだご覧になってない方はぜひチェックしていただけるとうれしいです」

——では最後にメッセージを。

「これからも映画やドラマ、ラジオ、雑誌と、いろんな場面でみなさんに見て、聴いていただけるようがんばりたいと思います。ブログ『チイサナkieのモノガタリ』(http://ameblo.jp/kie-kitano/)もがんばって更新してますので、みなさん、遊びに来てください！」

フォト／本多誠（YOLK&Co.）　スタイリング／阿井真理
ヘアメイク／大波彰宏（ZACC）　衣裳／トコ パシフィック青山店（TEL03-5411-0589）


little wing



Tomoka Kurokawa
黒川智花

久しぶりの登場となる智花ちゃん。8月1日に20歳の誕生日を迎え、これからどんな大人の女性へと変わっていくのか楽しみなところ。そんな智花ちゃんの昨年上演された主演舞台『君の心臓の鼓動が聞こえる場所』が映像化。その作品のみどころや近況など最新インタビュー！

20歳からのはじまり

『大切な作品です』

演劇集団キャラメルボックスが、2008年クリスマスツアーで上演した舞台をデジタルシネマ化。演出・脚本を担当する成井豊が17年ぶりに書き下ろした同名小説を原作に、久々に再会した父と娘に訪れる聖夜の奇跡をファンタジックに描く。この娘役を智花ちゃんが、ドラマ『雨と夢のあとに』『てるてるあした』などでも共演した西川浩幸が父親役を演じる。俳優たちの表情や息づかい、舞台の臨場感をスクリーンで味わえる作品となっているよ。10月24日～新宿ピカデリー、11月21日～丸の内TOEI②ほか、全国順次ロードショー。

Livespire「君の心臓の鼓動が聞こえる場所」





　photo：伊東和則



With You
Special version



PROFILE

'89年8月1日生まれ。[illegible]読書。[illegible]土曜ドラマ『小公女セイラ』（10月17日スタート・1[illegible]系・毎週土曜19:56～）[illegible]田薫子役で出演。最新情報はhttp://www.ken-on.co.jp/kurokawa/index.htm

Tomoka Kurokawa

――久しぶりの登場です！

「みなさん、お元気ですか？ 私は8月1日に20歳になりました！」

――おめでとうございます!! 記念すべき20歳の誕生日は？

「家族と一緒に過ごしました。お酒にも挑戦したんですが、あまりおいしくなかったです……」

――そうなんだ。他にも20歳になったんだという実感ある？

「この間選挙があったじゃないですか。ちゃんと投票に行って来ました。あとは、来年成人式があって、着物のカタログが家に送られてくるんです。それを見ながらどういう着物がいいか考えてる時にも感じます」

――いや～、月日が流れるのは早いもので……。そんな智花ちゃんですが、昨年やった舞台『君の心臓の鼓動が聞こえる場所』が映像化されて10月24日から公開になります。

「この前観たんですが、思ってた以上に自分の声が大きくてびっくりしました（笑）」

――それが第一印象なの？

「そうです（笑）。舞台が映画化ってあまりなじみがないことですよね。私もどんな風になるんだろうって思ってたんですが、すごく見やすかったです。表情とかもアップがあったりして、登場人物の心境がわかりやすいんです。舞台ならではのお芝居を、映画感覚で見るのってとても新鮮だと思います」

――舞台を観た人も楽しめるよね。

「舞台ではステージまで遠いから、表情まで見えないじゃないですか。これでは細かい表現も見てもらえるし、劇場では自分の座席の角度しか見れないけど、この作品はいろんな角度から撮ってるからそういった面でも楽しめると思います」

――なるほど。ストーリー的には？

「お父さんに対しては普段思ってるんだけど、ありがとうってなかなか口にしないですよね。だから、この作品を観て、お父さんはもちろん家族、兄弟の大切さをあらためて感じてもらえたら嬉しいです」

――涙なしでは観られません！

「もうひとつの見どころは、オープニングです。少しだけど私のダンスしてるので注目です（笑）」

――ところで最近の智花ちゃんは？

「花火に興味があって、どういう風にできてるんだろうって調べてみようと思ってるんです。職人さんが作ってるわけじゃないですか。どんな風に作るのか不思議ですよね？」

――あれ、智花ちゃんって20歳?!

「子供っぽいですか（笑）。お仕事面では20歳になっていままで以上に役の幅も広がると思うので、1つのイメージだけにこだわらずいろんな役を演じていろんな顔を見せていきたいと思ってます。頑張ります！」

フォト／久保田司（本誌）　スタイリング／城田望　ヘアメイク／SHIZUE
衣裳／Vert Dense 03-5467-4641、エセヤージュ(THE FIRST Style 有楽町マルイ店) 03-6738-3870

夏～秋。充実した日々の中で。

南沢奈央

Nao Minamisawa

**今年の夏はドラマ『ダンディ・ダディ～恋愛小説家・伊崎龍之介～』の撮影で毎日が充実したという奈央ちゃん。
そんな夏の思い出と、今年の秋のことをいろいろきいたよ。
奈央ちゃん超最新インタビューです!!**

nao minamisawa

――今年の夏、思い出はできましたか？

「ドラマですね。ずっと舘（ひろし）さんと一緒にいて、いろいろと驚かされることばかりでした。昼休憩、夕休憩のたびごとに、共演者やスタッフさんを楽屋に呼んでくれて、みんなで一緒に食事をしてたんです。だから、すぐに仲良くなれました。それに、（石原軍団名物の）炊き出しも体験しました。感動しました（笑）」

――どんなメニューだった？

「2回やっていただいたんです。1回目は焼肉に豚汁で、2回目がすき焼きでしたね。1度はスタジオのセットでやったんですが、使ってなかったスタジオを1個借りてそこでやったんです。スケールが大きいですよね」

――それはなかなか体験できないからね。ドラマの打ち上げは参加できた？

「今回、初めて2次会にも参加できました。舘さんが歌を歌ってくれたんですよ。それも3曲連続で。最高にかっこよかったです」

――奈央ちゃんは歌わなかったの？

「舘さんに"奈央"コールをされて、すごく恥ずかしかったんですが歌いました……」

――元合唱部の実力を発揮できましたか？

「いや～、私、ほんとにああいう場が苦手なので緊張して自分が歌ってる時には全然楽しめなかったです（笑）」

――個人的には何か印象に残る出来事はあった？

「どこかに旅行に行きたかったんですが……。夏休みは映画やDVDをよく観ました。多分1日1本くらいのペースで観てたんです」

――観た中でお薦めの作品は？

『『サマーウォーズ』『時をかける少女』や『スカイ・クロラ』がおもしろかったです。私、いままではあまりアニメは観てなかったんです。新鮮だったし、すごくよかったです」

――いろんなジャンルの作品を観たんだ？

「父が映画好きなので、家にたくさんDVDがあるんです。父のお薦め映画も間違いないんですよ（笑）。マットデーモンのボーンシリーズにはまりました。秋の夜長にお薦めです」

――今後の大学生活の抱負は？

「何かスポーツをやりたいなと思っています。後期の授業でスポーツ系を選択しようか考え中です。やっぱりテニスをやってみたいですね。大学に入る前もスポーツ系のサークルに入るならテニスかなって考えていたので。それから、後期には多分授業の中で映画を撮るんじゃないかと思うので、それが楽しみですね」





――そういうこと習ってるんだもんね。
「どのくらい本格的にやるのかはわからないけど、秋から実践的なことが始まるんです。2年生になると脚本を書く授業もあるんです」
――じゃあ、将来は監督、脚本、主演、南沢奈央っていう映画が観られるのかな？
「監督は無理だと思いますが、いつか脚本は書いてみたいと思っています」
――最後に、これからやってみたい役を教えて？
「いままでは学生ばかりだったので、職業的な役柄にも挑戦できたらいいなと思っています。獣医さんがいいですね。小さい頃になりたかった職業だし、動物と触れ合うこともできますからね」
――これからの活躍にも期待していま す!!!







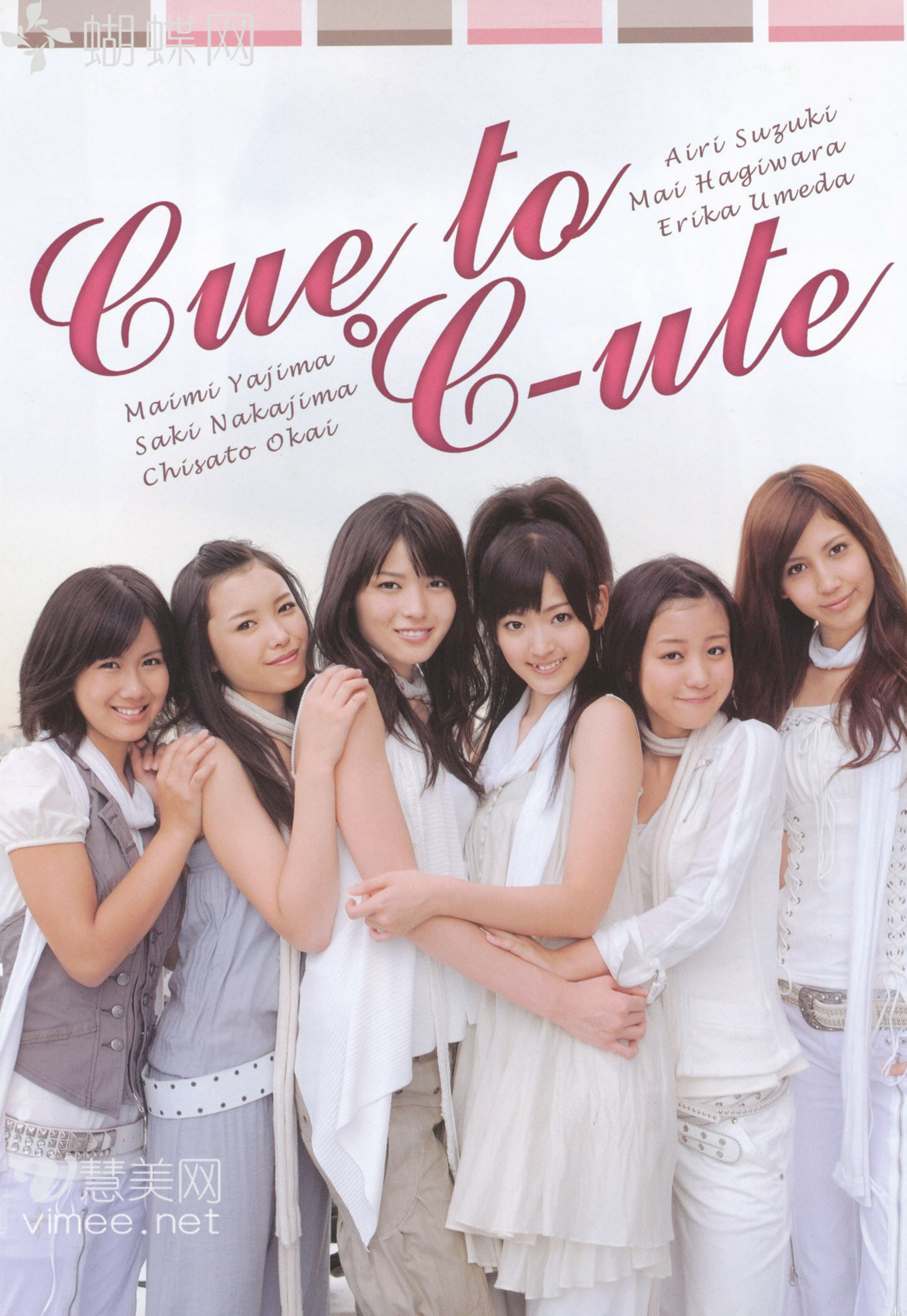
Profile

'90年6月15日生まれ。埼玉県出身。身長163cm。血液型O型。
『南沢奈央のビビッとコイ！』（ニッポン放送・毎週水曜21:30〜21:50）放送中。
[HP]『Nao's Way』http://www.naosway.net
レターの宛先→〒158-8691 東京都世田谷区玉川郵便局私書箱51号

フォト／久保田 司



nao
minamisawa


Cue to C-ute
Airi Suzuki
Mai Hagiwara
Erika Umeda
Maimi Yajima
Saki Nakajima
Chisato Okai


蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net




蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net


慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com





Cue to °C-ute

Erika Umeda
Maimi Yajima
Saki Nakajima
Airi Suzuki
Chisato Okai
Mai Hagiwara

今年も9月10日「°C-uteの日」にイベント開催!! そこで、①4年前、初の「°C-uteの日」の頃を振り返って。②『EVERYDAY 絶好調!!』のココイチ推し。③梅田えりか卒業メッセージ。ファン必読です!! (ネット上じゃなく、誌上で読んでね)





萩原舞
Mai Hagiwara

①みんな変わったと思います。プロ意識も変わったし、最初の頃のコンサートの映像を観ると全然違うなって思うし。当時は何をするにもいっぱいいっぱいだったけど、今はいい意味で余裕が出てきたなって思います。(見た目も大人っぽくなったよね？) そう言ってくださる方は……はい。よくいます(笑)。「そんなに身長伸びないだろうな」って思っていたんですよ。だから牛乳を1日2杯飲んで頑張ったんです。だから……なっちゃん(中島)とか抜かせて良かったです！(笑)

②すごく元気になれて、ダンスもカッコイイ感じ曲です。「あいつよりほんのちょっと頑張るしかないのさ」とか、共感できる言葉もいっぱいあるので、皆さんにも共感してもらえたらと思います。

③えりかちゃんは私にとってお姉さん的な存在で、教えてもらった事もたくさんあったんです。オシャレはもちろん、私より長く生きてるから(笑) 知ってる事もいろいろあるし。えりかちゃんに教えてもらいたい事はまだまだたくさんあるんですけど、えりかちゃんのモデルという夢、応援しているので頑張ってください。そして°C-uteの事を忘れずに。たまにはオシャレの事も教えてください。





岡井千聖
Chisato Okai

①正直、昔は外見とか気にしてなかったというか、髪型とかもほったらかしにして(笑)、前日何もしなくても学校とか行けたんですけど、今は毎朝アイロンをしたり、そういうところは変わったかな〜と思います。(女の子らしくなったという事？) ですかね？ たまに「どうでもいいや！」って思う時もあるんですけど(笑)。あと、昔はただがむしゃらに頑張っていたんですけど、今は歌ってて「これでいいのかな？」って考えたり、ダンスも「どうすればカッコよくなるのかな？」って考えたり、ひとつひとつの事を考えてやるようになりました。

②新曲はダンスの振りもみんなで揃えるところが多いし、歌もみんなで合わせるところが多いんです。そのユニゾンの声を聴いてもらいたいし、ダンスでバシッとキメた°C-uteを観てもらいたいです。

③えりかちゃんは私にとって、家族と同じぐらい大切な存在なんです。だから、えりかちゃんがいなくなる事はすごく大きな事なんだけど、えりかちゃんが卒業した後も5人で頑張って、えりかちゃんの自慢になる°C-uteでいたいなって思っています。お互いにパワーアップして、いつかどこかで一緒にお仕事がしたいです。





鈴木愛理
Airi Suzuki

①少しは声が太くなったかなって思います。昔は薄くて細い声で、それがすごく嫌で、ずっと太くしたいなって思ってたんです。だから声の出し方とかいろいろ考えて。そうしたら変わってきたんじゃないかなぁ……って。歌に対する姿勢も変わりましたね。洋楽を聴くと良いと奨められたので聴くようになったり。あと、外見も変わりました。小学生から中学生なので、当然といえば当然なんですけど。でも、身長は思ったほど変わってないんです(笑)。

②初回生産限定盤に付いているDVDに、たこ焼きやお好み焼きを作る場面が入ってるんですよ。そこは°C-uteの素の部分が出ていると思うので、ぜひ観てもらいたいです。

③えりかちゃんは、°C-uteのメンバーの中でもキッズのメンバーの中でも、一緒にいる時間が一番長くて、一番お互いを知ってるから、いろいろ話を聞いてもらう事ができました。お姉ちゃんなんですけど、おもしろくて優しくて。それにオシャレだから、えりかちゃんに洋服とか「可愛いね」って言われると自信を持って着れるんです。卒業まで楽しい思い出をたくさん作っていきましょう。あと、横浜に連れてってくれるの、忘れないでね。





中島早貴
Saki Nakajima

①以前は人見知りが激しくて、全然しゃべらない子だったんです。キッズのオーディションの時、控室で私が1人でポツンと座ってたんですよ。そうしたら舞ちゃんか千聖かな？　隣に座ってくれたんですけど、私が人見知りすぎて、イスをずらしちゃったんです。だから寄ってきては離れて、寄ってきては離れてみたいになっちゃって（笑）。でも今は、みんなから「なっきぃ、すごく変わったね」って言われるぐらい人見知りが治って、すごくしゃべるようになりました。あと、昔は表現が苦手だったんです。PVも全部笑顔だったり。でも最近は、曲の雰囲気に合わせて、自分で考えて表現ができるようになったなとは思います。

②今回のPVは屋上にステージを組んで踊っているんですけど、クレーンとか使って撮影をして、自分で観てても「いいな！」って思うぐらいカッコイイんです。PVは必見ですね。

③えりかちゃんはファッションも、ダンスや写真の撮られ方もすごくカッコよくて、憧れのお姉さんのような存在だったんです。でも、メンバーみんなでいる時は笑わせてくれて。モデルの道に進んでも、そんなえりかちゃんのままでいてください。





矢島舞美
Maimi Yajima

①以前はみんなから「ちゃんと食べてるの？」って心配されるぐらい、すっごく細かったんです。昔はごはんの時間が大嫌いだったんですよ。食べるなら遊んでたかった。でも、今はごはんの時間が大好きで、ちゃんとお肉も付いてきました（笑）。あと、表現もいろいろできるようになりました。ZYXで初めてのジャケット撮影の時、「カッコイイ曲だからカッコイイ表情で」って言われたんですけど、その表情の作り方がわからなくて。カッコイイ表情＝真顔だと思っていたので……（笑）。

②新曲は爽やかで元気な曲なんですけど、PVのダンスショットは青空の中で踊っていて、曲のイメージにピッタリなんです。ぜひ観てもらいたいです。

③えりが卒業するって聞いた時、私、メールをしたんです。そしたら、えりが「メンバーが生意気な事を言ったらガツンと言っていいと思うよ。そんなんで崩れるような関係じゃないから」みたいな返事をくれて、わかってるな〜ってすごく感じたんです。えりが卒業してからも、℃-uteは頑張っていかなきゃなって思うし、えりがモデルになりたいという夢は昔から聞いていたから応援したいし。えりが出た雑誌は全部買うので、頑張ってください。





梅田えりか
Erika Umeda

①昔はとにかく落ち着きがなかったです。今もそうなんですけど、当時ははしゃぎっぷりがハンパじゃなくて。コンサートのMCでは、ガハガハ笑って、マシンガンのようにしゃべって（笑）。自分だけしか見えてないんじゃないかっていうぐらい（笑）。でも、4年経った今は、周りを見て、ちゃんと空気を読んで、「あ、ここは私がしゃべる」「あ、ここは誰かがしゃべるから相槌だけにして」とか、そういった切り替えができるようになったかな〜って思います。

②私のイチ押しは歌詞です。今の自分だから共感したのかなって思うんですけど、どんどん新しい事にチャレンジして前向きにっていう歌詞なんですよ。だからこの曲で、私は卒業しても頑張っていこうと思ったし、勇気や元気をもらえた気がして。だから皆さんも『EVERYDAY 絶好調!!』を聴いて、勇気や元気を感じてもらえたらと思います。

③舞美へ。舞美は同い年という事もあって一番話せた仲だと思うんです。私が卒業した後は舞美が1人でメンバーをまとめていく事になると思うけど、何かあったら連絡してきてね。

なっきぃへ。なっきぃは淋しがり屋な面もあるけど、強がりで。でも、しっかりしてるから心配はしてないです。みんなをまとめる力も持ってるから、舞美の助け舟として頑張ってほしいなと思います。

愛理へ。愛理は愛されキャラだと思うので、今の愛理のままでいてほしい。誰かに惑わされたりしないで、自分らしさを失わずに頑張ってください。

千聖へ。千聖は誰かが具合が悪くなったらスタッフさんにすぐ体温計や湿布をもらいに行ったり、気を遣ってくれるところがあるんです。一方でみんなを笑わせてくれるムードメーカーなところもあって。これからもそんな千聖で頑張ってください。

舞ちゃんへ。舞ちゃんは最少年らしい甘えん坊な面もあるんですけど、みんなに追いつかなきゃ、お姉さんになんなきゃって思っている面もあって。もし悩んだりした時は、素直に周りのお姉さんを頼って頑張ってほしいなって思います。

ファンの皆さんへ。皆さんのあたたかい声で何度も勇気づけられました。今の自分があるのもファンの皆さんのおかげだと思っています。本当に感謝しています。皆さんが応援してくれているという事を忘れないで、これから新しい道に進んでいきたいと思います。ありがとうございました。



※初回生産限定盤



※通常盤



※シングルV

NEW SINGLE
『EVERYDAY 絶好調!!』
アップフロントワークス／ゼティマ
発売中

フォト／久保田司（本誌）　ヘアメイク／VANITES



愛はたくさん

4thシングル『この胸のときめきを』を
9月30日にリリースするまのえり。
11月9日～19日・青山円形劇場で
上演する『恋するハローキティ』で
舞台初主演＆初挑戦する事も決定!!
そんなまのえりが家族を語ります!!

真野恵里菜
erina mano

――えーと。真野ちゃん、何人兄弟だっけ？

「2人です。5歳離れたお兄ちゃんがいます」

――兄弟仲は？

「最近は仲良い方です（笑）。小学生の頃は毎日ケンカして、お兄ちゃんがお父さんに叱られて。"お前、兄ちゃんだろ！"みたいに」

――よくあるパターンだ（笑）。原因は？

「オモチャの取り合いとか、テレビをどっちが観るかとか。あと、車の中でCD何聴くかでケンカしたり」

――それが仲良くなったというのは、お互いに大人になったから？

「そうですね。"どっちから聴く？"じゃあ、ジャンケンしようか"って。いつも私が負けるんですけど（笑）」

――ご両親との仲は？

「友達は"珍しいね"って言うんですけど、お父さんとお母さんと遊園地に行ったりとか」

――遊園地に行ったのはいつ頃？

「6月です。デビューコンサートが終わった後に、"遊園地に行きたい"って言って、お兄ちゃんは行けなかったから3人で。パーク内でも、お父さんとお母さんと普通に腕組んで歩いたり、一緒に乗り物に乗ったり」

――へ～、今どきの女の子では珍しいね。

「全然平気なんですよ、私。お父さんが歩くのが速いんですよ。だから（お父さんの）服つかんだり」

――その仲の良さは昔から？

「昔からです。家族旅行もよく行ってたし」

――ちなみに真野ちゃんのパパとママって、どんな人？

「お母さんはちょっと厳しくて、"部屋かたづけなさい""勉強しなさい"が多いです（笑）。お父さんは私のお仕事の事を気にかけてくれて、"困った事があればすぐ言うんだよ"とか、コンサートを観終わったらメールをくれたり。"今のは70点かな"とか」

――ダメ出しされるの？

「"笑顔が足りないかな"とか（笑）。"緊張してたのがわかったよ"とか、そういうメールが入ってきます」

――でも、それは"愛"だね。お父さん、お母さんからの"愛"って感じる？

「感じますね。私が仕事で遅くなった時、お父さんが車で迎えにきてくれたり、お母さんも"おなか空いてない？　何か作ってあげようか？"とか言ってくれたり。朝、早く出かける時も必ず見送ってくれるし。たくさんの"愛"を感じます」

――家族での思い出話を聞かせてください。

「なんだろうなぁ……。いっぱいあるんですけど、中学３年生の3月に家族旅行で堂ケ島に行ったんですよ。今のところ、それが最後の家族旅行なんですよ」

――家族4人で出かけた旅行が。

「そうです。その時に恋人岬に行って。周りはカップルばかりなのに、私たちは家族4人で。そこで私は、お父さんとお母さんのツーショット写真を撮ったんです」

――あら。気を利かせて。

「（笑）はい。嫌がったんですけど、"撮ってあげる"って」

――照れてた？

「お母さんが照れてました。お父さんはなんだかんだ言って、すごい笑顔で写ったんですよ。ピースとかして。お母さんはちょっと照れちゃって顔が笑ってませんでした（笑）」

――で、ニューシングルのカップリング曲の話からしちゃうんですけど、「ハッピーバースデイ・ママ」は、タイトルの通り、バースデー・ソング。でも、よくあるバースデー・ソングと違うのは、恋人や友達をお祝いするんじゃなくて、ママの誕生日をお祝いしてるところ。どうですか、この曲は？



NEW SINGLE



※初回生産限定盤A



※初回生産限定盤B



※初回生産限定盤C



※通常盤

『この胸のときめきを』

アップフロントワークス／ハチャマ　9月30日発売





愛はたくさん



「アップテンポで元気な曲です。ダンスをするんですけど、間奏でケーキを作るような振りがあるんですよ。そこが楽しいです。歌詞は気持ちがよくわかります。でも、ちょっと照れくさいです。"ありがとう"とかそんなに言えないので……」

——この曲って、ただ[illegible]だけじゃなく、ママ以外にも友達にも置き換えて歌う事ができるよね。

「できますね。[illegible]なかなか言えない言葉が詰まっている曲なので、ぜひ大切な人の誕生日に置き換えて歌ってください」

——ちなみに、ママの誕生日に何かしてあげた事は？

「今年はちょっと高いケーキを買って帰りました。ウサギの形をした可愛いチーズケーキを。"ただいま～"って帰って、夜遅かったから"あ、寝てるんだ……"と思って。だから、"ケーキ買ってきたよ。明日食べてね"って」

——置き手紙を残して。

「直接言いました。もう、言いたくて。反応が見たくて（笑）」

——喜んでくれた？

「喜んでくれました。お父さんとお兄ちゃんに"俺の分は？"って言われて、"だって、ママの誕生日じゃん！"って（笑）」

——そして、ニューシングル『この胸のときめきを』。また随分と落ち着いた雰囲気の曲ですね。

「しっとりとした曲です。セカンド、サード（シングル）とダンスをしたんですけど、今回はピアノに戻ります。ファンの皆さんから"もうピアノは弾かないの？"とかすごい言われてて、"えーとえーと、弾くけど……今は言えな"ってすごく思ってて（笑）。"そんな事ないですよー"みたいに言ってて。この前、イベントで初披露したんですけど、その時は1番だけだったんです。それで歌い終わったら、一瞬"シーン……"となっちゃって、"あれ？"って思ったら、その後に拍手がきて、嬉しかったです」

——その拍手も、また"愛"だね。

「そうですね。あたたかい"愛"です」

——でも、この曲って大サビとかなく、最近にしては珍しいぐらい簡潔な曲だよね。

「そうですね。でも、こういう曲って、覚えてもらいやすいだろうなって思いました」

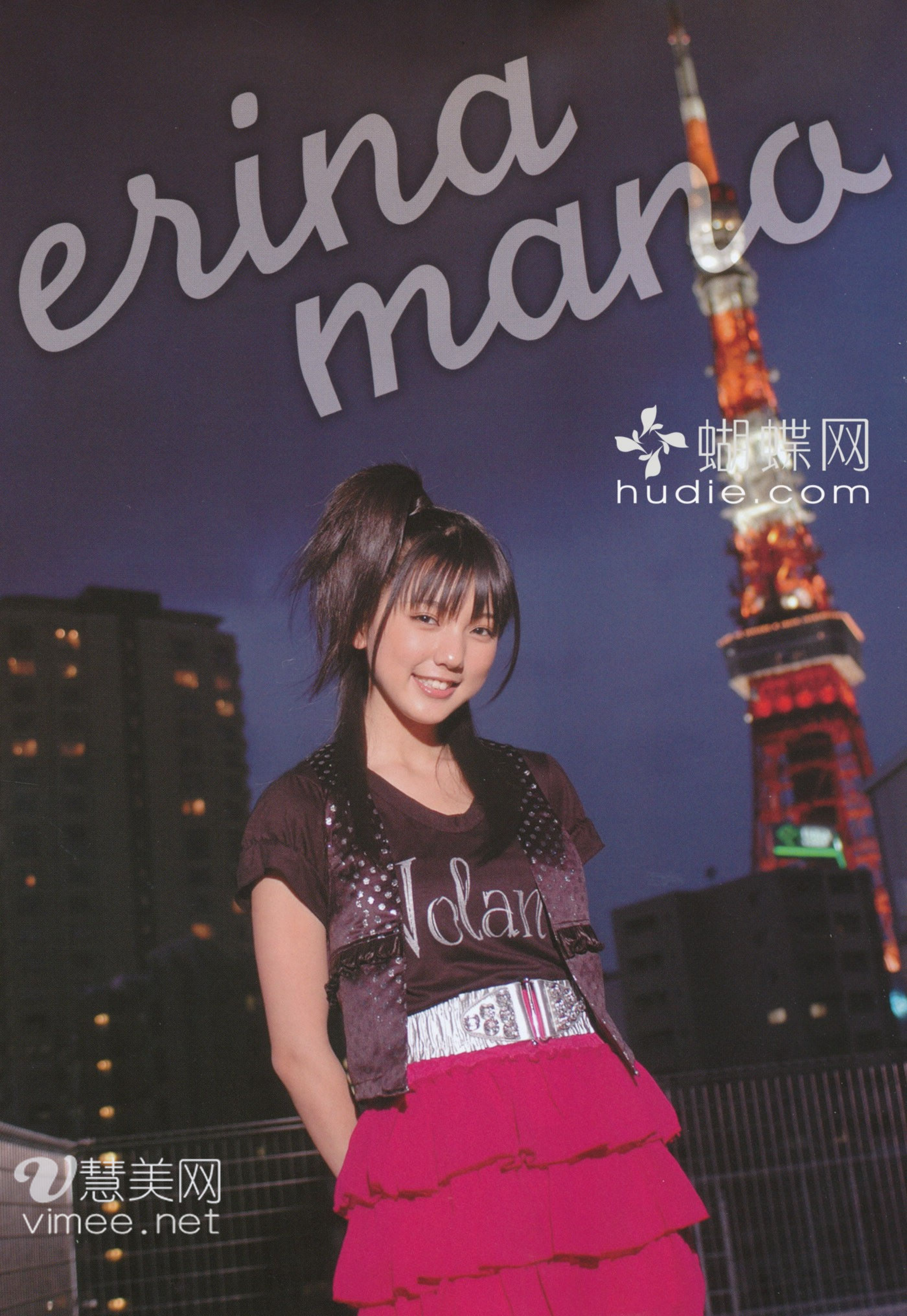
——主人公はもちろん同世代の女の子

「そうですね。ちょっとおとなしめの女の子で、"好き"っていう気持ちが言えなくて泣いちゃう。可愛いなぁって思います」

——この曲の聴きどころは？

「歌詞がせつなくなっているので、せつなさを表現するためにレコーディングで頑張ったので、歌詞を見ながら歌を聴いてほしいのと、イントロのメロディーがすごく大好きなんですよ。そこも聴いてもらいたいです」

フォト／野々村智夫（本誌）
スタイリング／三浦一樹（スタイルカンパニー）
ヘアメイク／高草木剛（VANITES）


erina
mano

Umika Kawashima

おとなっぽく見られる事が
高校生になって、
多くなってきました。
今も“成長進行中”です(笑)。

現在最も熱い注目を集めている女優・川島海荷ちゃんが、10月24日公開作品『携帯彼氏』で待望の映画初主演!! スピード感があって、ドキドキハラハラなこの話題作。そこで海荷ちゃんに映画について語ってもらいました!!



川島海荷

Umika Kawashima



——映画『携帯彼氏』で初主演を務める海荷ちゃん！

「お話をいただいた時は信じられませんでした。うれしいけど、プレッシャーや不安が大きくて、まさか自分が主人公なんて、ビックリです。原作は、実は携帯小説の時に読んでいたので、このお話は映画化してほしいと思っていました。ただ、原作では主人公がOLだから、私には関係ないかな……と（笑）。でも、映画では高校生の設定なので、自分にピッタリで驚きました」

——役作りで苦労した点は？

「主人公の上野里美は高校生なんです。私は撮影時中3だったので、高校生の感じがわからなくて難しかったです。あとは、なるべく自然体で演じました」

——里美に共感する部分は？

「友達を大切にするところです」

——どんなところを観てもらいたい？

「物語の中で主人公が成長していくので、その成長を観てほしいです。あと、ラストに向けて一気に展開が動くシーンはポイントです。スピード感があって、ドキドキハラハラな作品。皆さん、ぜひ観てください」

——この作品でまた成長したみたいだね。

「今現在も"成長進行中"です（笑）。『携帯彼氏』の現場は同世代の出演者が多くて、今までと雰囲気が違いました。いろいろと吸収できたと思います」

——プライベートでも成長……というか、大人っぽくなってきたよね。

「[illegible]よく[illegible]ます。高校生になって、大人っぽく見られる事が多くなってきま[illegible]

——[illegible]メッセージを！

「次から次へと新しい事に[illegible]湧いてくるので、どんどん走り続けたいと思います。これからも自分らしく、マイペースに進んで行くので、応援よろしくお願いします」

10月24日 公開

人気恋愛シミュレーションゲーム「携帯彼氏（ケーカレ）」をダウンロードした人が次々と怪死していく。その謎に迫る女子高生、里美にも死の恐怖がふりかかり……。謎のメールを残して自殺した友人の真相を探る謎解きを軸に繰り広げられる純愛サスペンス。
10月24日、新宿ピカデリー他、全国ロードショー。

映画『携帯彼氏』





©2009「携帯彼氏」フィルム・パートナーズ

Profile & Information

'94年3月3日生まれ。埼玉県出身。映画：『携帯彼氏』10月24日公開（主演）
CM：NTT東日本『FLET'S光』、カルピス『カルピスウォーター』、味の素「クノールカップスープ」
ガールズユニット9nineとしても活躍中（P90）。公式ホームページ　http://www.lespros.co.jp/　携帯サイト　http://lespros.mobi/



Smile Again

9nine（ナイン）の最新シングル『Smile Again』が10月21日に発売！男の子目線で描かれた歌詞は切なくて、でもとっても元気になれる曲なんだって！



9nine

Informatino／新曲『Smile Again』（Victor／Babe Star Label）10月21日発売。『Happy×2 Eyes』が着うたフル(R)配信中！<ラジオ>『9nineなんです』（FM NACK5、毎週土曜22時～22時30分）詳しくはhttp://dc.lespros.co.jp、携帯サイトhttp://lespros.mobi

——新曲『Smile Again』はどんな曲？

西脇「最初聴いたとき、誰かを元気づける、元気になれる曲だと思いました。今までの9nineの曲より、メッセージ性が強いかな」

佐武「歌詞がすごくいいんです。前作の『Happy×2 Eyes』のような、女の子目線の曲じゃなくて、今回は、男の子目線なんです。〝大人になっても君を忘れない〟のフレーズとか、切なくて大好き！」

下垣「ノリはいいんだけど、秋の雰囲気もあって切ない感じの曲です。今までの9nineではあまりない感じなので、新しい9nineが出せればいいかな」

三浦「聴いていると安心して眠れるような、そんな曲です」

川島「すっごくいい曲だと思いました。心に残るメロディーで、1回聞くと頭から離れない曲。男の子目線の詞を女の子の9nineが歌うとどんな感じになるのか、ぜひ聴いてください」

——ところで、イベント「GIRLS×BEAT×SUMMER2009」の反響はどうだった？

三浦「レベルアップしたって言われちゃいました～（笑）。あと、大人っぽくなったとか」

西脇「うん、言われた！」

佐武「この日は『Happy×2 Eyes』の初披露で不安がいっぱいだったけど、お客さんが盛り上げてくれてうれしかったです！『Happy×2 Eyes』が一番盛り上がってなかった？」

下垣「そう!! すっごく盛り上がったよね。緊張はしたけど、楽しかった」

西脇「お客さんが楽しんでいる感じが伝わって、自分でもおもいっきり楽しめた！」

——では最後に『Kindai』との思い出を教えて。

川島「初めて雑誌連載をやらせていただいたのが『Kindai』さんでした。初期の頃の〝お悩みコーナー〟では、メンバー同士のガールズトークがすごかったです（笑）。女の子からの恋の話とか、学校の話とか聞けて、本当に楽しかった」

三浦「私も毎回、読者のみんなの相談にのるのが楽しみでした。毎月〝キンダイ！ キンダイ！〟って感じで。この経験は自分にとって、とても勉強になったし、心のフィルムに残りました」

佐武「9nineは『Kindai』と一緒に成長したと思います。9nineの裏話もたくさん話したし」

下垣「同世代の女の子の相談を受けて、メンバーみんなで共感して、いいアドバイスができたかな。『Kindai』を見て、いろんな人に9nineを知ってもらえて、感謝しています」

西脇「この連載をやらせていただいて、自分たちの自信につながりました。内容も毎回楽しくて、9nineの成長を見守っていただいた感じです。これからも9nineはどんどん成長するので、応援よろしくお願いします!!」

フォト／久保田司

人と人とのつながり、
絆の大切さを教えてくれる作品です。

saki fukuda

福田沙紀



現在絶賛公開中の映画『火天の城』(東映)。織田信長の命を受け、安土城築城に挑む宮番匠・岡部又右衛門を主人公にしたこの作品、福田沙紀ちゃんはそんな主人公の娘・凛役で出演。時代劇初挑戦の沙紀ちゃんが、役名の通り、"凛"とした少女を熱演しています。


Saki
fukuda



——現在公開中の映画『火天の城』。今回沙紀ちゃんが演じている凛は、主人公・岡部又右衛門の娘で、映画オリジナルのキャラクターでもあるそうだけど。

「凛は名前の通り、とても〃凛〃とした女の子でした。何事に対してもひたむきで真っ直ぐなので、物語の中でも感情をストレートに出す場面が多くて。映画の撮影中は凛役として、ほんとによく笑い、よく泣いていたという印象です」

——沙紀ちゃんにとっては今回が時代劇初挑戦の作品だけど、どうだった？

「衣裳が着物というところは普段とはちがうんですけど、お芝居をするという点では、時代劇も現代劇も本質的にはやっぱり同じなんだなって思いました。ただ、凛は走るシーンがけっこうあったので、わらじをはいて走らないといけないのは、ちょっとだけ大変でしたね（笑）」

——撮影は京都で行われたんだってね。

「京都のスタッフのみなさんは職人気質の方が多くて、ひとつひとつの作品を作るため、情熱を注いでいる方ばかりなんです。そんなみなさんとごいっしょできて私もすごくうれしかったし、勉強になることも多かったです。続くドラマ『メイド刑事』の撮影も京都だったので、映画の撮影の時にお世話になったスタッフの方に再会したりと、うれしいハプニングもありました」

——主人公・岡部又右衛門役の西田敏行さん、その妻・田鶴役の大竹しのぶさんとの共演も、貴重な体験だったんじゃない？

「お2人とも包容力がすごくあって、私がどんな風に演じても、全てをどんと受けとめて演技をかえしてくださるんです。役者として人間として、すごく尊敬できる方たちで、私にとっては憧れの存在です」

——ちなみに映画『火天の城』のテーマは〃安土城の築城〃。お城と言えば、沙紀ちゃんの地元熊本にも熊本城があるけど……。

「熊本城は季節によって表情を変えるので、1年を通じて、見ていてあきない場所ですね。お城のモノトーンに桜のピンク色と芝生の緑が映える春はもちろん、風が冷たく、ピンとはりつめた空をバックにお城がより壮大に見える冬もまたすごくいいんです。今回の映画の撮影を通して、またあらためて熊本城の良さもわかった気がします」

——では映画の中で注目してほしいところを。

「ひとつひとつが思い入れのあるシーンばかりなんですが、特に川原で撮影した場面は思い出深いですね。大きな石がごろごろある中での撮影だったので、リハーサルの時に転んでしまって。ひざに絆創膏をいっぱい貼りながらがんばったシーンなので（笑）、ぜひ注目していただけたらと思います」

——それでは最後にメッセージを。

「家族の絆、番匠たちの絆、たくさんの絆がこの映画には出てきます。人と人とのつながりがだんだん薄くなってきている今、本当に大切なのは何かを教えてくれる作品だと思うので、できるだけ多くの方に見ていただけたらうれしいです」

フォト／小澤太一　スタイリング／藤井エヴィ　ヘアメイク／小坂沙織
衣裳／FROM FIRST Musée（TEL03-5248-8877）、chocorouge（ASH & DIAMONDS／TEL03-5784-4552）、チャイルド ウーマン（TEL03-3481-5881）、BABY PURE（TEL03-3847-0753）

Nanami Sakuraba

Eternal Smile

桜庭ななみ

『恋する悪魔～ヴァンパイア☆ボーイ～』の高木香織役が好評だったななみちゃん。現在、ファースト写真集『N・P』が大絶賛発売中！　オーストラリアのケアンズと沖縄の石垣島で撮影されたこの作品。いままでに見たことがないななみちゃんの素顔が満載なのです。





Nanami Sakuraba

Profile

'92年10月17日生まれ。鹿児島県出身。身長161cm。血液型O型
活動歴／<TV>『恋する悪魔～ヴァンパイア☆ボーイ～』、『ふたつのスピカ』(NHK)ほか。『赤い糸』(フジテレビ)彩良役、『ゴーストタウンの花』ほか。
<ラジオ>TOKYO FM『SCHOOL OF LOCK!「GIRLS LOCKS!」』(毎月第2週 月～木22:15～)。
レターの宛先→〒158-8691 東京都世田谷区玉川郵便局私書箱51号

――今年の夏は思い出たくさんできましたか?

「ドラマ『恋する悪魔～ヴァンパイア☆ボーイ～』の撮影がすごく楽しかったので一番の思い出です」

――具体的には?

「花火をしたりプールのシーンがあったりしたんですが、私の出番はなかったんです…。でも、ほんとの学校みたいにクラスメイトのみんなと仲良くなれたし、空き時間にはいっぱいいろんなことを話したりできました。終わってしまってすごく寂しいです」

――そんな雰囲気が画面からも伝わってきたよ。

「あとは映画『サマーウォーズ』のキャンペーンで、物語の舞台になっている長野県上田市に行って舞台挨拶をさせてもらったのが印象に残っています。映像の中に入っている大自然がいっぱいな景色が、そのまま目の前にあったりして感動しました。私、そういうのが好きなんです」

――そういうのって?

「例えば、『恋する悪魔――』のスタジオの中に、餃子屋さんのセットがあったんです。私はそこに入ったことがなかったから、あ、ドラマで見たことがあるセットだと思って、感動しちゃいました(笑)」

――まだまだ初々しいんだね。長野では何かおいしいもの食べることができた?

「ドライフルーツが有名らしくて、いちごやオレンジ、りんごとか食べました。すごくおいしかったです」

――なるほど。そんななななみちゃんですが、ファースト写真集『N・P』が発売中です。

「今年の3月の後半にオーストラリアのケアンズと、6月中旬に石垣島に行って撮影してきました。ケアンズではいままでに誰も行ったことがないところで撮ろうってことになって、車で4時間かけて移動して大自然の中で撮影したりしました。移動中ですか? もちろん寝てました(笑)」

――どんな場所だった?

「鉱山の跡地だったり自然がいっぱいのところでした。私、そういう場所が好きなので楽しかったです。空が青かったり景色が素晴らしかったので、それに負けないように私も頑張りました。いままでとは違う私が出てると思います。ポーズの数も増えました。ちょっとへんなポーズばかりですけどね(笑)」

――石垣の思い出は?

「ソウキそばが好きなのでそればかり食べてました(笑)」

――ちなみに『N・P』ってタイトルの意味は?

「Nanami Powerの略で、私のパワーを詰め込んだ作品です。見てくれた人がパワーを感じて、元気になってくれたら嬉しいです」

――お気に入りの衣裳は?

「全部好きですが、沖縄のビーチで撮った赤いワンピースがお気に入りです」

――秋は[illegible]秋にしたい?

「いますごくテニスをやりたい気分なんです。もう[illegible]年位やってないので…。テニスじゃなくても何かまたスポーツを始めたいですね。学校生活も頑張[illegible]と思います。いまはま[illegible]が少ないので、クラスのみんなと仲良くなれたらいいなと思っています。これからも頑張るので応援してください」

フォト／光


Eternal Smile
Nanami Sakuraba



Sara Takatsuki

12歳、飛び級で高校生になります!

高月彩良

ドラマ『オトメン（乙男）』（フジテレビ系）に続き、10月17日スタートのドラマ『小公女セイラ』（TBS系・毎週金曜22:00〜）に朝比奈真琴役で出演する彩良ちゃん。現在小学6年生の彩良ちゃんは、中学校を飛び越えて何と高校生役にチャレンジするのだ!

――『小公女セイラ』ではどんな役を演じるの?

「志田未来さん演じるヒロインのセイラが学校でいじめられたりするんですが、私の演じる朝比奈真琴はいじめられる方でもいじめる方でもなくて、そういうのを見てくだらないわね〜て言ってる女の子です。でも裏ではセイラとすごく仲良くしているという個性のある役柄に挑戦します」

――彩良ちゃんはまだ小学6年生でしょ。

「そうです。今度のドラマでは高校1年生なのですごく飛び級しますね（笑）」

――未来ちゃんはじめ共演者とは会ったの?

「志田さんはまだですが、衣裳合わせの時に何人かお会いしました。クラスメートの中では多分私が1番年下だと思いますが、みなさんやさしく接してくれたので頑張れそうです」

――真琴と彩良ちゃんの共通点はある?

「舞台がお嬢様学校なので真琴もお嬢様なんですが、私は普通の庶民なので（笑）、言葉使いも普段とは全然違うので気をつけて演じないといけないと思って、いまからすごく緊張しています」

――どこに注目して見てもらいたい?

「今まで役で着た中で一番好きな制服なんです。ワンピースっぽくてグレイで女の子らしいくてかわいいんです。その制服姿と、他の生徒はお嬢様だからいろんなアクセサリーをつけているのに、私はお嬢様だけどあっさりしてるのでそういう部分も見てほしいですし、もちろん演技も見てほしいです」

――ドラマ楽しみにしてます! ところで、ガールズ・グループ〝bump・y〟の抱負を教えて。

「普段ダンスレッスンとかやってるんですが、なかなかみんなでは集まれないので、この活動が始まればみんなともっと仲良くなれるんじゃないかなと楽しみです。ダンスですか? 苦手です……。今年はこれから6人でドラマをやる予定もありますし、〝バンピー〟の秋になればいいなと思っています」

bump・y 誕生!!



スウィートパワー所属の若手ガールズグループ〝bump・y（バンピー）〟。松山メアリをリーダーに、桜庭ななみ、高月彩良、有里ひかり、宮武美桜&祭姉妹の6人組。今後は、6人でドラマに出演したり、歌活動の予定も!!

フォト／本多誠

Kintomo CLUB

みんなあつまれ!!
キントモクラブ

涙、涙のキントモクラブ最終回。
みんな、今までどうもありがとう！ 今月はスペシャルバージョンでお届けするよ。ではラスト１回、行ってみよ～！

【イラストが採用された方には「☆マーク」を進呈。10コ貯まると500円分の図書券を贈呈します。】

Kindai 似顔絵道場

Special Version

大賞



千葉県　みや（知念侑李＆岡本圭人）
チカ　色がとってもきれいなイラスト！ アクセサリーまで細かく描いてくれました。『24時間テレビ』みんな見た？ チカはもちろん徹夜！　★★

千葉県　姫（鈴木愛理）
ダイ　目の輝き、まつ毛がキュート。唇のキラキラ伝わるかな？　★



兵庫県　メロンパン☆（中山優馬＆山田涼介＆知念侑李）
チカ　「女子バレーボールワールドグランプリ」は燃えたね～。NYC boysの応援ソングのおかげで、応援にも熱が入りました。　★



北海道　あきこ（知念侑李）
チカ　かわいい！　この表情で見つめられたい……（妄想中）　★



福岡県　隼　（前田敦子）
ダイ　「近くで応援できないからイラストを描きました」だって。こういう応援もアリだね。　★



長野県　市川学（上戸彩）
チカ　市川さんは作家志望だとか。すごく素敵なイラスト（もはや絵画！）ありがとう。　★



秋田県　やきりんご（瀬戸康史）
チカ　表情がかわいい～！　瀬戸くんは元気色の黄色が似合うよね。　★



埼玉県　真輝（北乃きい）
ダイ　ピース！　大きな目のきいちゃんを描いてくれました！　★



広島県　真弓（堀北真希）
チカ　きれいなイラスト～。真希ちゃんの華麗さにうっとりしちゃった。美人はお花が似合うね。　★



愛知県　カマスマン（Berrys工房）
ダイ　みんなの特徴をつかみすぎてて、ビックリだよ。　★





●表紙こぼれネタ●
℃-ute

Kindai最終号の表紙を飾ってくれたのは、℃-ute！
たまたまなんだけど、最終号の表紙と梅田えりかちゃんの卒業と時期が重なりまして……長く連載を担当してくれたえりかちゃんの取材も、これが最後なんだよね〜……………
というわけで、取材現場の雰囲気はいつもと違って、しんみりと…………淋しい気分につつまれて…………なーんて事は、一切なし！（笑）
撮影現場にあったポラロイドカメラを使って撮影会をはじめて大ノリノリ！ファンクラブのイベントでハワイに行ってきたばかりとの事で、テンション高い高い！ 楽しく笑う声がスタジオ内にこだました事は言うまでもない。
それともうひとつ。スタジオにワンコがいたのさ。編集Tが飼っているワンコで、Kindaiではガッキーの取材で℃-uteのページでおなじみなんだけど（℃-uteの取材の後が、ガッキーの取材でした。特にえりかちゃんとなっきぃが、ワンコLOVEに……いや、スタッフさんの方が夢中だったような（笑）。

Kindai キントモ ワークショップ
Kintomo Work Shop

『キントモワークショップ』は読者のみんなと一緒に作るページ。ワークショップは"勉強のための集会"という意味なんだ。今月は引き続き、イラストを紹介！



兵庫県　M!ka（Buono!）
ダイ　今月も素敵なイラストをありがとう！　M!kaさんのイラストが見れなくなると思うと淋しいよ。　★



奈良県　まりっぺ（NEWS）
ダイ＆チカ　まりっぺ〜！　今月も力作をありがとう。お便り読ませてもらったよ。超感動した。「『Kindai』と共に青春時代をおくってきました」なんて、泣かせないでよ（涙）。これからがSTART。またどこかで会えるといいね。　★★



山口県　浩子（福田沙紀）
ダイ　一生懸命沙紀ちゃんを描いてくれました。ドラマ『メイド刑事』はダイのお気に入り。　★



奈良県　紫姫（新垣結衣）
チカ　10月号のガッキーを描いてくれたのかな？　リンゴがいっぱいで、かわいいイラスト！　★



島根県　亮二（篠田麻里子）
チカ　メッセージがいっぱい詰まったイラスト！　AKB48『涙サプライズ』はチカのカラオケ定番曲です。　★

〜11月号 にがおえポイント Ranking
★マークを10コ貯めてネ！ みんなFight!!

1	レモンタルト	★★★★★★★★★
1	真輝	★★★★★★★★★
1	セイコ	★★★★★★★★★
1	月埜古人	★★★★★★★★★
1	まりっぺ	★★★★★★★★★
2	けやき	★★★★★★★★
2	リカッチ	★★★★★★★★
3	朝野朔良	★★★★★★★
3	あす★光	★★★★★★★
3	キューティー ジャッキー	★★★★★★★
3	もも	★★★★★★★
3	M!ka	★★★★★★★

ダイ　キントモクラブもとうとう最終回。今までたくさんのイラストやお便りを紹介してきたね。
チカ　学校での出来事、恋愛相談……。本当にいろんなお話を聞かせてもらった。恋愛相談はふたりとも真剣で、こだけの話、言い合いになったこともあったよね（笑）。
ダイ　そんなこともあったっけ（笑）。あの頃は若かったからな。
チカ　キントモクラブは私の青春！　長い間みんなと一緒に過ごしてきたんだもん。毎月イラストを見るのが楽しみでさ。もう見れなくなるのかぁ。
ダイ　今月は特別バージョンってことで、イラストをたくさん採用したよ。
チカ　どれも心がこもった力作で、選ぶのが大変。送ってくれたのに載せられなかったみんな、ごめん！
ダイ　お便りや応援メーセージもいっぱいいただいて。みんなのメッセージは、全部しっかり読ませてもらったよ。
チカ　みんな『Kindai』の思い出がいっぱいで……（涙）。
ダイ　ヤバかった。超感動した！
チカ　思い出を語るときりがないね。
ダイ　残念だけど、そろそろお別れしなくちゃ。『Kindai』は少しの間、お休みをします。でも、きっと戻ってくるから！
チカ　そのときは、またキントモクラブにイラストやお便りを送ってね！
ダイ＆チカ　今までどうもありがとう！　またね!!



…Kindai 10月号 読者アンケート結果発表…

Go! Go! アンケート調査隊

読者のみんなの、アンケートハガキの集計結果発表！今月は9月12日に集計した10月号のハガキだよ。

好きなテレビ番組 favorite TV program ★★★★

1	『クイズ！ヘキサゴンⅡ』	毎週水曜・19:00～19:54 フジテレビ系
2	『爆笑レッドシアター』	毎週水曜・22:00～22:54 フジテレビ系
3	『ひみつのアラシちゃん！』	毎週木曜・22:00～22:54 TBS系
4	『AKBINGO！』	毎週水曜・24:29～24:59 日本テレビ系
5	『世界の果てまでイッテQ！』	毎週日曜・19:58～20:54 日本テレビ系
6	『スクール革命！』	毎週日曜・11:45～12:45 日本テレビ系
7	『嵐の宿題くん』	毎週月曜・23:58～24:29 日本テレビ系
8	『ザ少年倶楽部』	毎週日曜・18:00～18:50 NHK BS-2
9	『カートゥン KAT-TUN』	毎週水曜・23:58～24:29 日本テレビ系
10	『美女放談』	毎週木曜・25:00～25:30 テレビ東京系

好きなテレビ番組……………

＊珍解答が面白い。クイズ番組なのに、キャラが濃い人たちがいっぱい出てて笑える。（神奈川県　香織）

＊ 笑いが止まらないから。（佐賀県　大地）

＊ フジモンとクリスさんのコント?? サイコー☆（岩手県　至）

＊ 毎週観ていて、家族でも楽しめて面白いから。（熊本県　弥佐樹）

『爆笑レッドシアター』

＊ ショートスタイルのネタが大好きだから。（京都府　直人）

＊ 芸人さんのキャラクターなどが楽しみ★（岩手県　ひかる）

＊ お笑いが大好き！　しずるが大好き!!（埼玉県　裕美）

＊ジャルジャルの考えるネタが私のツボ。（兵庫県　ひとみ）

『ひみつの嵐ちゃん』

＊ いろんなゲストが登場して毎週楽しみ。（千葉県　絵里）

＊ おもしろいし、嵐が大好きだから！（愛知県　円香）

＊ 嵐のメンバーが楽しんでる感が伝わるから。（神奈川県　由紀子）

好きな歌 favorite song ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

1	『NYC』	NYCboys
2	『言い訳 Maybe』	AKB48
3	『Take It Easy！』	Buono！
4	『なんちゃって恋愛』	モーニング娘。
5	『悪魔な恋』	中山優馬 with B.I.Shadow
6	『うつし絵』	新垣結衣
7	『Everything』	嵐
8	『涙サプライズ！』	AKB48
9	『青春バスガイド』	Berryz工房
10	『B'z』	イチブトゼンブ

好きな歌……………………

＊ 7人の美しい声がカッコいい。（大阪府　慶三）

＊ テンポがよくて、すごい盛り上がれる曲だからです。（三重県　美貴子）

＊ バレーの応援歌でもあるし、元気が出るからです。（愛媛県　清佳）

＊ 曲のノリが私的に好きだから。（静岡県　紗希）

『言い訳 Maybe』

＊ ちょっと切ないけど、さわやかな曲なので！（茨城県　菜摘）

＊ 歌詞が超カワイイし、メンバーもスキだから。（北海道　智子）

＊ 胸がキュンとなるから。（北海道　光）

＊ 聞いていると、テンションが上がる。（兵庫県　聖吾）

『Take It Easy！』

＊ さわやかなロックでいい！（千葉県　功志）

＊ 聞くと落ち着けて、さぁ頑張ろうと思えるから。（東京都　綜吾）

＊ 癒やされるから。この一言に尽きます。（福岡県　貴則）

印象に残っているページやプレゼントが当たったなど、あなたと『Kindai』との思い出を教えてね！

幼稚園の頃から買っています。私のアイドルの歴史＝近代映画だったのに……。
（大阪府　良子）

戸田恵梨香ちゃんのファイルが当たりました！すごく大切に使っています！
（京都府　さくら）

10月号の表紙は最高でした。ガッキーかわいかったです。
（愛媛県　龍之介）

AKB48やモーニング娘。など、大好きなアイドルが載っていて、本当に良い雑誌でした。
（愛知県　浩子）

2009年5月号での忽那汐里ちゃん！ こんなに可愛い子がいるんだ！と改めて発見!!
（京都府　奈緒）

思い出といえば南沢奈央ちゃんの記事がみんないい！
（栃木県　昌弘）

Kindai 6月号で北乃きいちゃんのポラが当選したことは、一生の思い出であり宝物です。
（埼玉県　航）

折りたたみ傘が当たって、とても嬉しかったです。
（埼玉県　直子）

Kindaiは写真がきれい、紙が厚い、だから好き。
（愛知県　由奈）

山Pのドラマのたびに楽しみに買っていました。写真がすごくキレイで、インタビューも良くて、ほかの雑誌と比べて一番良かった！思い出のページをずーっとファイルして保存してあります。
（東京都　優）

ジャニーズJr．をよくピックアップしてくれて、中でもHey! Say! WESTを扱ってくれたのが嬉しかった。
（愛知県　舞香）

似顔絵道場はホント似てて！ 毎月楽しみにしていました！
（埼玉県　友梨）

全部！（笑）。1つなんて選べませんよ～。でも、しいて選ぶなら、大好きなJUMPやベリキュー、Buono！がいっぱい載ってたとき!!
（埼玉県　雪乃）

10月号のHey！Say！JUMPコンレポ、山田涼介くんの表情がステキでした。
（東京都　由貴子）

モーニング娘。高橋愛さんがインタビューで言っている言葉を読み、胸にグッとくるものがあって号泣しました。
（東京都　萌乃）

大好きな女優さんのポラが当たったこと。本当にうれしかったです。
（福岡県　里菜）

過去に前田くんのポラが当たった！ すごくうれしかった!!
（神奈川県　理澄）

似顔絵道場に掲載していただいたこと。自分の絵が雑誌に載ってる！ と家族に自慢しています！
（千葉県　浩美）

明治乳業『明治北海道十勝スマートチーズ』CMや
雑誌『non-no』（専属モデル）などで活躍中の
日向千歩ちゃん。そんな千歩ちゃんが、
Amebaデイドラ『夏休みの恋人～フィルムの中の
彼と彼～』（webドラマ）に出演。
千歩ちゃんにとっては、演技がより好きになる
きっかけになった作品なんだそうです。

演技って楽しいなと思いました。

日向千歩

chiho hinata



Amebaブログ上で8月1日～31日まで毎日配信されていたAmebaデイドラ『夏休みの恋人～フィルムの中の彼と彼～』（webドラマ）に出演した千歩ちゃん。※現在も視聴可能　この『夏休みの恋人～』は、ドラマを観ている人が主人公という新しい試みの作品で、〝主人公が見ている景色〟がそのまま〝画面〟。主人公の見る人や物や風景が、その心の動きに合わせて画面に映し出されるという形式になっています。

「『夏休みの恋人～』のテーマは〝ひと夏の恋〟です。主人公は高校の映画研究会に所属する女の子で、夏休みに自分が監督する映画を映研のメンバーと撮影しようとしていて。そんな中、映画のヒロインとして彼女につれてこられるのが、私の演じるリカ。天真爛漫で自分の気持ちに素直なリカは、主人公が密かな恋心を抱いていた映研部長・坂口知之（加藤慶祐）を好きになって、はからずも恋のライバルになってしまうんです」

恋に積極的なリカは、坂口に甘えたり、すねてみたり。時には〝お姫さまだっこして〟なんて言ったりもするのだそう（笑）。

「リカの行動はかなりストレートなものが多かったので、演じていてもちょっとはずかしくて（笑）。でも逆に、普段とはちがう自分になれて、楽しくもありました」

作品中、主人公たちが撮影する映画『胸中花』。ボリス・ヴィアンの『日々の泡』（名作！）を下敷きにしたこの映画の撮影風景もドラマの中では描かれています。

「『胸中花』は文字通り、胸の中にお花が咲く病気にかかったヒロインと、そんな彼女を愛する主人公の物語です。とてもピュアな愛情が描かれていて、最初に台本を読んだ時は私も思わず泣いてしまったくらい、素敵なお話でした。この『夏休みの恋人～』は、出演者の年齢がみんな近かったせいか、撮影中もとてもわきあいあいとした雰囲気で。みなさんの演技を見たり、いろいろとお芝居について話したりしながら、私もたくさん勉強することができました」

さてそんな千歩ちゃん、10月22日には初の写真集『Chiho』を発売することも決定。ロケは沖縄と東京の2カ所で行われたのだとか。

「沖縄では海はもちろん、森や川、さとうきび畑と、自然の中にいる姿を中心に撮影してきました。ちなみに東京では、お祭りに参加して、私の特技でもある〝阿波踊り〟中の姿を撮影。写真集全体を通して、私のいろんな面が見られる一冊になったんじゃないかなって思います」

中でも千歩ちゃんのお気に入りの一枚は……。

「さとうきび畑の中で撮影した写真です。畑の中を駆け回ってちょっと汗をかいた後、ふと上を見ている時の顔なんですが、どこか少年のような、今まで自分も知らなかった表情をしてるのですごく気に入ってます」

最後に、そんな千歩ちゃんからメッセージを。

「『夏休みの恋人～』は、きっとだれもが胸がきゅんきゅんするような、せつない恋を描いた作品です。まだご覧になってない方は、ぜひチェックしていただければと思います。写真集は、私のことをより身近に感じていただける一冊です。初の水着姿はちょっとはずかしいけど（笑）、多くの方に見ていただけるとうれしいです」

Profile..........

生年月日／'91年2月17日　出身地／徳島県　血液型／AB型　身長／167cm　活動歴／<webドラマ>Amebaデイドラ『夏休みの恋人～フィルムの中の彼と彼～』（http://ameblo.jp/natsukoi-girl/）<CM>明治乳業『明治北海道十勝スマートチーズ』<写真集>1st写真集『Chiho』が10月22日発売。同25日にはイベントも予定。詳細はHPにて<雑誌>『non-no』専属モデル<ブログ>http://ameblo.jp/hinata-chiho/<HP>http://www.incent.jp/　ファンレターの宛て先→〒107-0062 東京都港区南青山5-12-6青山第2和田ビル7F インセント

　撮影／久保田司

連載最終回

noriko iriyama

入山法子の love♥cinema



私の中のあなた

My Sister's Keeper

この連載『入山法子のlove♥cinema』では、現在映画やドラマ、CMなどで幅広く活躍中の法子ちゃんが新作映画をご紹介。さて最終回となる今回は、法子ちゃんも大絶賛のニック・カサヴェテス監督作品『私の中のあなた』をとりあげます。



Noriko Iriyama

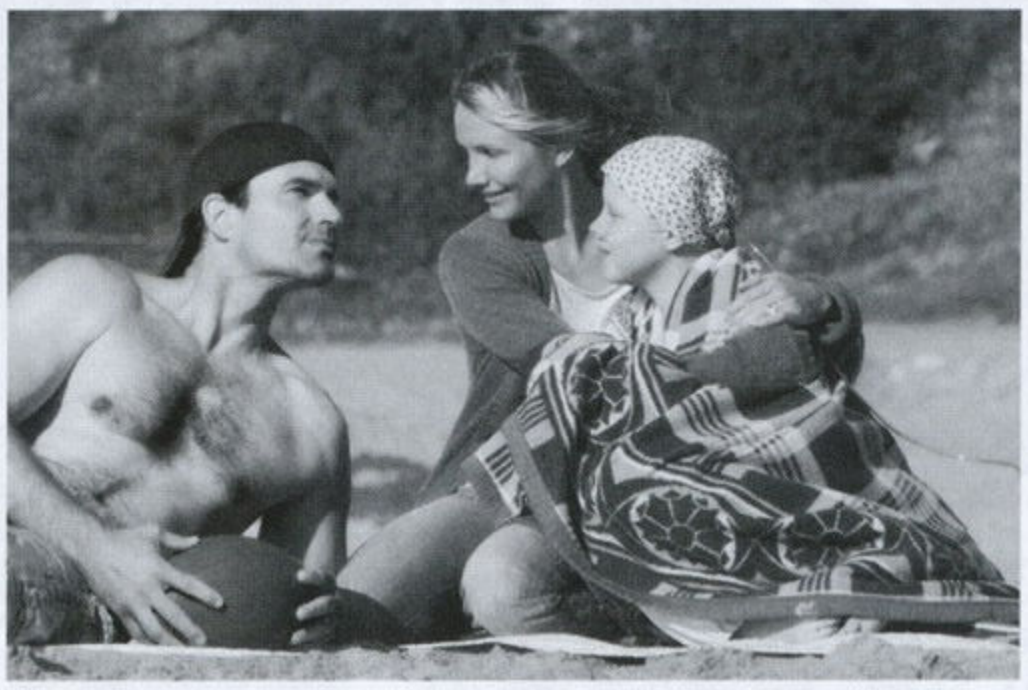
入山法子のプロフィール

noriko iriyama

<ドラマ>『Sweet Room－Room Service－』(Bee TV ※9/26、10/3、10/10OA)
<CM>ヤマザキ『ランチパック』、資生堂『UNO』
<ブログ>『のりんご飴』(http://ameblo.jp/iriyama-noriko/)
<HP>http://www.incent.jp/

STORY

アナ・フィッツジェラルド（アビゲイル・ブレスリン）、11歳。白血病の姉・ケイト（ソフィア・ヴァジリーヴァ）を救うため、臓器を提供するドナーとして遺伝子操作で創られてこの世に生まれてきた。彼女は、生まれた時から姉のために体のあちこちを切り刻まれていた。愛する家族のためなのだから当然と疑わなかった母サラ（キャメロン・ディアス）は、ある日、衝撃的な知らせを受ける。「もう姉のために手術を受けるのは嫌。自分の体は、自分で守りたい。」と、アナが突然母のサラや父のブライアン（ジェイソン・パトリック）を訴訟したのだ。病気と闘いながらも幸せだった家族に訪れた、突然の出来事。いったいなぜ、アナは大好きな姉を救うことをやめる決意をしたのか？　アナの決断の裏には、驚くべき真実が隠されていた……。



みなさん、こんにちは。入山法子です。朝の穏やかな青空や、夜の涼しい風に秋の訪れを感じる今日この頃。そんな中書いている『love cinema』がみなさんのお手元に届く頃には、もっともっと秋めいて、芸術の秋・食欲の秋・運動の秋など、それぞれに楽しんでいる時期でしょうね◎　学生のみなさんは運動会や文化祭の準備もありますよね。うわぁー、懐かしい……!!　放課後残って練習したり、途中衝突する出来事があったり、クラス全員で取り組む行事は大変だったけど、本当に楽しかったな。みなさんも、かけがえのない秋の思い出をたくさんつくってくださいね！

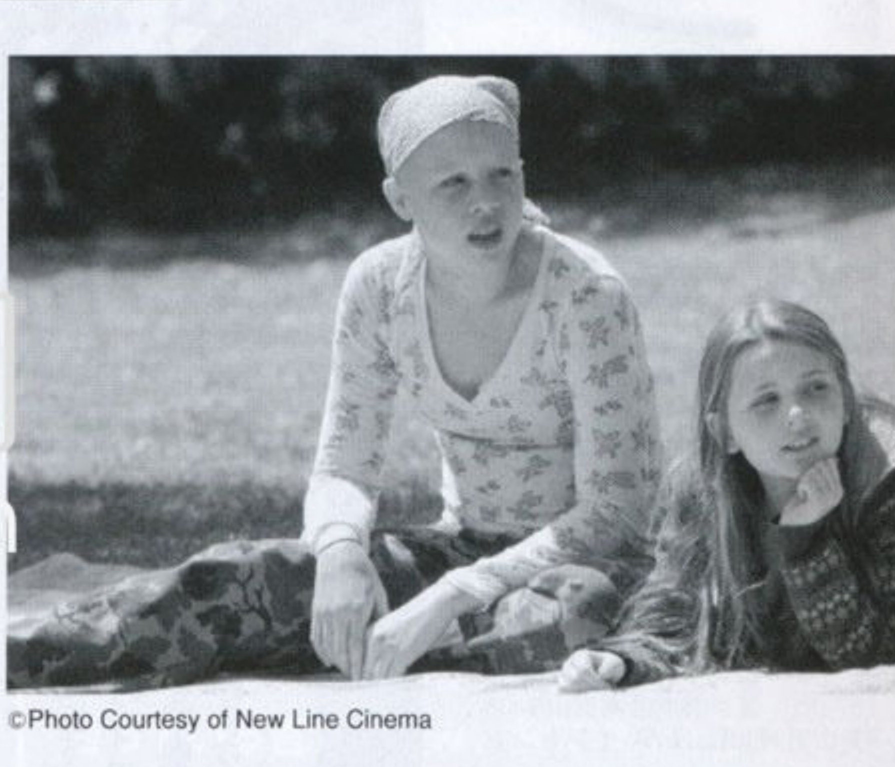
……こんなふうに、私たちは風景や行事から季節の移り変わりを感じたり、自分の大切な仲間と、楽しく過ごすことが日常になっていますよね。でも、もし自分に、または自分の大切な人に、〝明日〟がないかもしれないと宣告されたら、今のみなさんはどうしますか？　まずなにを思うでしょうか？

今回紹介するのは、〝生きる〟とはなにかを問いかけてくれる作品、『わたしの中のあなた』です。

タイトルだけ見たとき、私は男女の甘いラブストーリーかと思いました。でも、それは想像とは全く違う、深い〝家族の愛情〟を描く美しい物語だったのです。

11歳のアナ。彼女は、白血病を患う姉のケイトを救うために、ドナーとして〝計画的に創られて〟生まれてきたことを知ります。大好きな、仲の良い姉。でも自分の身体は、自分で守りたい。そんな決意から、アナは両親を訴えるのです。

姉のために何度も入退院をくりかえし、小さい身体で耐えてきたアナ。2歳で白血病という病魔に侵され、自由に出かけることも出来ない姉のケイト。ケイトの命を救うために、仕事をすて、遺伝子操作で子供を産む決断をした強い覚悟を持つ母のサラ。ケイト中心の家族に、自分は忘れられていると悲しみ、疎外感を抱く弟のジェシー。ケイトの命のために一生懸命になりすぎ、周りの見えなくなったサラを支え続ける一方、アナを理解しようとする父のブライアン。



©Photo Courtesy of New Line Cinema

家族ひとりひとりの、それぞれの視点で物語は進み、語り手が変わるたび、その登場人物の想いが痛いほど伝わり、〝もし自分だったら……〟と考えると、涙せずにはいられませんでした。訴えたことも、わがままを言ったことも、怒鳴ったことも、すべて大好きな、大切な〝家族〟のためだった……。衝撃的で、優しいラストシーンは、本当に心が震えました。

監督は『きみに読む物語』で有名なニック・カサヴェテス監督。独特の色遣い、カメラワークで、スタートと同時に一気に気持ちが引き込まれます。今後、「好きな映画はなんですか？」と聞かれたら、この作品を答えるでしょう。それくらい、映画が投げかける問題に、胸を打たれました。

生きるとは？　家族とは？　見た後は、みなさんもぜひご家族と話し合ってみてください。私もそんな機会をつくりたいと思いました。

さて、連載『love cinema』も、今月で最終回です。大好きな〝映画〟を自分の言葉で話すということは、とても緊張しましたが、毎月素晴らしい作品に出会うたび、幸せな気分でいっぱいになり、楽しく書くことが出来ました◎　そんな時間をくれた『Kindai』。また、小・中学生の頃は私も本屋さんに駆け込んで買っていた『Kindai』。休刊すると聞いたときは、びっくりして、正直信じられませんでした……。復活を心から祈っています！　そのときはまた、みなさんに映画の話が出来たら良いな。それまで、私も努力して、自分に磨きをかけたいと思います！

今まで、本当にどうもありがとうございました～!!!!

（ギャガ配給／10月9日TOHOシネマズ日劇ほか全国ロードショー）

最終回
水崎綾女
Ayame Misaki

AYAME CAFE
綾女カフェへようこそ

『すごく成長できたと思います』



毎回さまざまな分野で活躍する方々をお招きする『綾女カフェへようこそ』。最終回となる今回は、「Kindai編集部へようこそ」ということで、綾女ちゃんが編集部へ来てくれました～！

最終回はゲストをお呼びせず、〝自分自身との対話〟ということで、『Kindai』編集部へおじゃましました。この連載では本当にいろいろな方とお会いして、対談させていただきました。どれも思い出深いけど、特に印象に残っているのは、やっぱり第1回かな。自分が仕切らなきゃいけないってプレッシャーがすごくて（笑）。でも、始まってしまえば仲良しの（原）幹恵ちゃんがゲストだったので、とても楽しくお話することができました。4回目の監督（横山誠）のときはすっごい緊張！「お前に足りないのは自信だ」と言われたときは、図星すぎて……。監督は何でも見抜いちゃうんです。撮影中に厳しかった監督に、この対談で優しくされて泣いちゃいました。そして、第18回では、私のお誕生日パーティーに潜入ですね！ゲストの人数が一番多いという（笑）。21人の方に登場していただきました（笑）。こんなアットホームなイベントは初めてだったので、楽しかったな。質問コーナーなんかもあったりして。こうやって振り返ると、どれも思い出がいっぱい。

『綾女カフェ』が始まってからは約1年だけど、その前の連載から考えると、デビューした16歳のころから『Kindai』さんにはお世話になっていて。そこから考えると、自分でもすごく成長できたと思います。どんなに仕事が忙しくても、この連載だけは楽しみでした。仕事であって仕事じゃないみたいな（笑）。本当に〝カフェ〟でした。でも、ゲストに1回もお茶を出したことはないんですけど（笑）。ちなみに、現在『綾女カフェ』はフリードリンク制1000円です（笑）。第11回では700円とお話しているので300円アップ（笑）。でも、安いでしょ？（笑）。この連載でゲストの方とお話させていただいて、自分自身も成長したし、テレビやグラビアとは違った素の私をお見せすることができたと思います。これからも水崎綾女は女優として頑張ります！ みなさん、応援よろしくお願いします。

Profile

'89年4月26日生まれ、兵庫県出身。血液型B型。身長163cm。
＜ドラマ＞土曜ドラマ『再生の町』（NHK総合・毎週土曜21時～）
＜DVD＞『「超」怖い話 フィクションズ 平山夢明の眼球遊園 Ⅰ～Ⅲ』発売中。
<ブログ>綾女、心のむこうに。↓
http://ameblo.jp/misakiayame/
ファンレター宛て先→〒153－8660 目黒区下目黒1－2－5 （株）ホリプロ 水崎綾女宛て



フォト／久保田司

パンクブーブー&どりあんずの ブーブー言わずに考えなさいよ!!

最終回

最終回となる今回は、過去を振り返りつつも『リセット男子』に挑戦。
パンブーとどりあんずは最後にビシッと当てて、ラストを美しく飾れるでしょうか？



TODAY'S WORD リセット男子

黒瀬「この連載も、今回がラスト。いろんな問題があったな〜」
佐藤「今でも忘れられないのは〝ロンパース〟。答えが言葉を変えたとかじゃなく、〝この服がロンパースです〟だもの。そんなの、実物知らなきゃ当てられないよ！」
平井「一回目に出た〝小悪魔巻き〟は、その後コンパでよく〝この言葉、知ってる？〟と使ったなぁ」
黒瀬「それでモテた？」
平井「い〜や、モテん！（笑）」
堤「僕も〝小悪魔巻き〟は印象的。第一回目だったし、本当はパンブーさんだけの取材だったのに、偶然この場に僕らがいたから、こうして隔月で出させてもらった。終わるのは本当に悲しい……」
平井「2ヵ月に一度の〝取材〟という言葉が本当に嬉しかった！」
黒瀬「僕が印象的なのは〝ぜる〟」
佐藤「ああ、サイゼリアで食事することね。ファミレスかも、というところまでは行ったのに、サイゼリアが出てこなかった！」
黒瀬「ということで最終回の〝リセット男子〟は、せっかくだからビシッと当てたいね」
平井「できれば4人全員、正解したいところですよね」
佐藤「僕が思うに、これは男のくせして化粧直しするヤツだね」
堤「哲さん、それが正解ですよ」
佐藤「じゃあ、帰ろうか（笑）」
黒瀬「でも男が化粧する？」
堤「髪型を直したりとか、そういう人も含むんですよね」
黒瀬「僕はね、よりを戻した恋人のことだと思う。一度別れてリセットして、またつきあうの」
堤「僕もそれだと思いました」
平井「僕はケータイの溜まっているメモリの中で、もう電話しない人の番号を消すことかな、と。正月とかに携帯のメモリを整理するとき、〝リセット男子しよっと〟と使う」
黒瀬「なるほどね〜」
平井「ナンパされたはいいけど、その後一度も電話がかかってこない、みたいなヤツのことです」
黒瀬「じゃあ、堤は？」
堤「僕、ホントに黒瀬さんと一緒だったんです。先に言われちゃったので、なんとか答えを絞り出してるんですけど……、ない！（笑）」
黒瀬「（堤）太輝のそのスタンス、最後まで変わらないなぁ（笑）」
堤「やる気はあるのにな〜」
黒瀬「ただ、プライベートでは一番変わったよね。なにしろ結婚したんだから」
佐藤「とかいいながら、もうすぐリセット男子になるかもだけど」
堤「そんなことありません！　スイッチオン男子です（笑）」
平井「もしかしたら合コンで好みの男がいない場合、〝リセット男子しようよ〟と隠語で使うのかも」
佐藤「その言葉が広まれば、バレるって（笑）」
編集「ちなみにここまでで、すでに正解が出ています」
黒瀬「絶対に俺だな」
佐藤「いや、俺でしょ」
平井「いえいえ、僕ですって」
堤「いいえ、僕ですよ」
堤以外「オマエ、まだ何も挙げてないじゃん（笑）」
堤「そうだなぁ……、小さな男の子がふたりで、〝リトルセット男子〟の略。それか、裏表のある男子のことだと思います！」
佐藤「確実に不正解だけどね（笑）」

若い子の言葉はようわからんなぁ。ごちゃごちゃしよるな〜

正解して嬉しいけど、これで終わるのは寂しいです



ありがとうございました。またどこかでお会いしましょう！

リセット男子にだけはなりたくないと思います！



お答えは○○○!?

リセット男子とは、携帯電話を機種変更するたびに関係を整理（リセット）する男のこと。男子諸君よ、リセット男子は女子に嫌われるぞ。平井さん大正解！

Information

【パンクブーブー】
単独ライヴ「おパンク村」9月26日（土）渋谷公演通りシアターD、ルミネ the よしもとに出演中。

【どりあんず】
ヨシモト∞ホール、ヨシモト∞ホールに出演中。

フォト／杉田重男
文／しのぴー

Information Flash

ドラマ『イケ麺そば屋探偵～いいんだぜ！～』OA中！



07年4月からなぜか在京キー局を除く全国24局で1年間に渡りOAされた噂の『ホレゆけスタア☆大作戦』が、藤木直人、生瀬勝久、古田新太というレギュラー陣とスタッフはそのままに、コメディー・ミステリー・ドラマになって日本テレビに登場。毎回ゲストがもたらす奇妙奇天烈な難事件を、イケ麺そば屋探偵が颯爽と解決！それが『イケ麺そば屋探偵～いいんだぜ！～』（毎週土曜24時50分～）だ。現在DVD化されて発売中（DNDP・キューブ・アミューズソフトエンタテインメント）なので見逃した人は要チェック。現在はSeason2『イケ麺新そば屋探偵～いいんだぜ！～』としてOA中。Season2では、イケ麺そば屋バイトがユニットを組んでネタを披露する「イケ麺漫才」コーナーも話題だ！ 姜暢雄、木戸邑弥、海老澤健次、川原一馬、冨森ジャスティン、冨森アンドリュー、君沢ユウキ、金子直史ら若手のイケメンを青田買いしちゃうなんて、どう？ DVD化が楽しみ！



▶8月18日都内スタジオにて、映画『ATOM』（10月10日公開）のアフレコ取材が行われ、主人公アトムの声を務める上戸彩が登場。





◀8月24日東京都千代田区の九段会館で中村優一主演映画『湾岸ミッドナイト』の完成披露試写会が開催された。試写会の前には、Dreamが主題歌『Perfect Girls』を熱唱。その後、中村優一、小林涼子、加藤和樹、米原幸佑、バッドボーイズの佐田正樹、松本莉緒、室賀厚監督が登壇し挨拶した。

中村「人気コミックの映画化に出られてとても興奮しています。撮影が真冬でエンジンが凍ったりして大変でした。現場では、加藤（和樹）さんがまだ使っていない高速道路でギターを弾いてくれたことがすごく印象に残っていますね」

小林「完成披露でこんなに多くの人に見ていただけて嬉しいです。是非車好きの方に広めて欲しいです」

加藤「出演者たちのよいところが画面から出ていると思います」

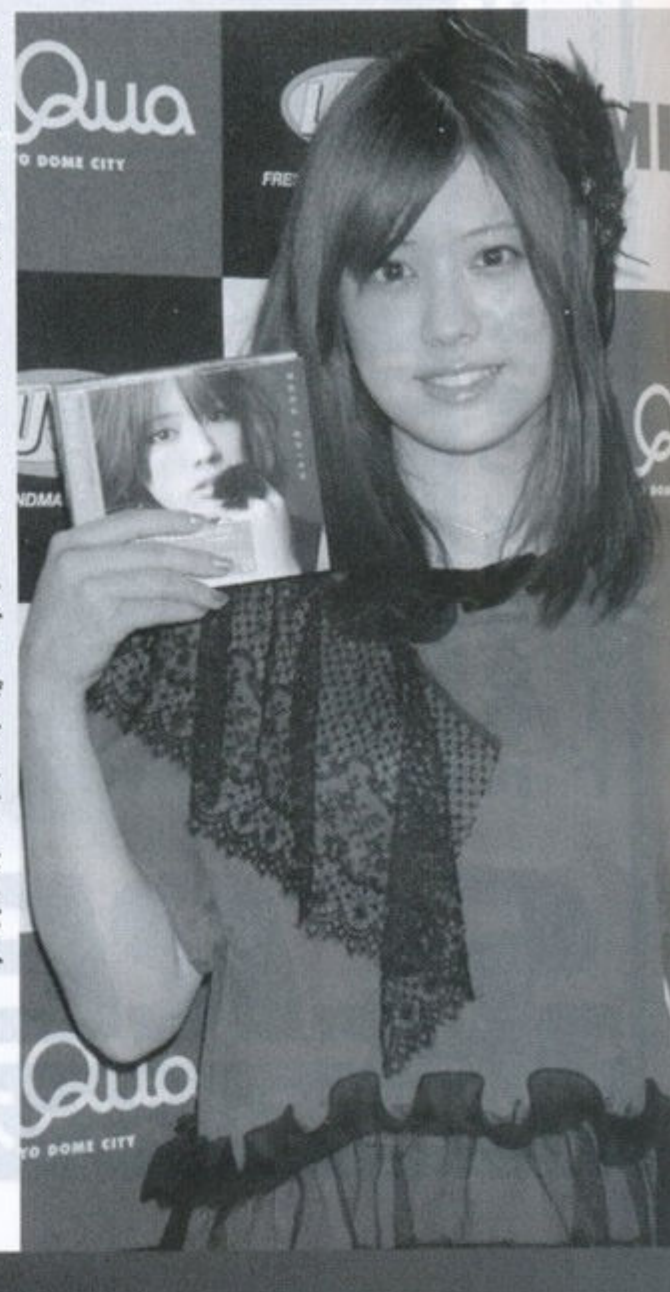
新宿ミラノほか全国公開中。



▲9月7日、恵比寿ガーデンホールにて、江崎グリコ「Pocky」新作TV-CM記者発表会が開催され、2009ポッキープリンセスの忽那汐里、益若つばさ、IMALUの3人が登場。



▶9月3日都内ホテルにて第6回「The Beauty Week Award」授賞式が行われ、フレッシュビューティーアワードを福田沙紀が受賞。



▶8月12日東京ドームシティ ラクーアガーデンステージにて、福田沙紀が約3年ぶりとなるニューシングル『明日への光』のCD発売記念イベントを行った。

Kindai

今月の読者アンケート 11月号
Questionnaire

下記のアンケートに全問答えてくれた方の中から抽選で、P162-163の読者プレゼントに載っているサイン入りポラ&グッズをプレゼントしちゃいます。アンケートハガキに記入して、ぜひGETしてね!!

● 9月号プレゼント当選者発表 ●

♥新垣結衣ポラ
和歌山県 増谷孝文
♥石原さとみポラ
茨城県 寺田菜摘他
♥上戸 彩ポラ
大阪府 山本龍人他
♥夏帆ポラ
兵庫県 小寺澤優希他
♥北乃きいポラ
長野県 池谷秀美他
♥福田沙紀ポラ
岡山県 天野奈々他

その他（10月号11月号分を含む）の当選者の方には、賞品の発送をもって発表にかえさせて頂きます。

01 Kindai 11月号で、おもしろいと思ったページを3つまで、下の中から番号で答えてください。

1.表紙 **2.**嵐 **3.**新垣結衣 **4.**NEWS『24時間テレビ32「愛は地球を救う」』 **5.**相葉雅紀『マイガール』 **6.**大倉忠義・安田章大『ROMES空港防御システム』 **7.**山田涼介『左目探偵』 **8.**石原さとみ **9.**亀梨和也・渋谷すばる・手越祐也『DREAM BOYS』 **10.**ジャニーズJr. **11.**上戸 彩 **12.**AKB48 **13.**井上真央 **14.**J-Topi **15.**オリエンタルラジオの目をみてはなしてください! **16.**AAA **17.**ARTIST NEWS **18.**MONTHLYスター情報通り **19.**ジャニーズショップ情報 **20.**北乃きい **21.**黒川智花 **22.**南沢奈央 **23.**℃-ute **24.**真野恵里菜 **25.**川島海荷 **26.**9nine **27.**福田沙紀 **28.**桜庭ななみ **29.**高月彩良 **30.**キントモクラブ **31.**日向千歩 **32.**入山法子の love cinema **33.**水崎綾女の綾女カフェへようこそ **34.**パンクブーブーのブーブー言わずに考えなさいよ!! **35.**Information&Flash **36.**ケンドーコバヤシ・NON-STYLE **37.**トータルテンボス **38.**チーモンチョーチュウ **39.**森三中 **40.**姫ちゃん **41.**是近敦之 **42.**坂原山笹 **43.**彩と唯のSunriseSunset **44.**RUN&GUN **45.**JEJUNG&YUCHUN from 東方神起 **46.**瀬戸康史 **47.**D-BOYS **48.**前田公輝 **49.**大江 裕 **50.**入江甚儀 **51.**斉藤祥太・斉藤慶太 **52.**足立梨花 **53.** 西内まりや **54.**汐里＋咲の表参道通信 **55.**スタ☆プレ **56.**大川 藍 **57.**JURIAN BEAT CRISIS **58.**表紙でふりかえる64年

02 Kindai11月号の中で、つまらなかったページを3つ、1の中から番号で答えてください。

03 あなたが好きなタレント、アーティスト、お笑い芸人を3人（組）まで書いてください。

04 Kindai11月号に登場していないタレント、アーティスト、お笑い芸人で、登場してほしい人を3人（組）まで書いてください。

05 あなたが現在一番好きな曲を書いてください。

06 5の理由は?

07 現在放送中のテレビ番組で、一番面白いと思う番組名を書いてください。

08 7の理由は?

09 Kindai 11月号を購入した理由を教えてください。

C'mon & Join us

わいわいわい Version 2

『わいわいわい』もとうとう最終回。このページで少しでもお笑いを好きになってくれた人がいたなら、Kindaiも幸せです。では行ってみよー！

よしもと the NEWS

六大都市で放送している『このへん!!トラベラー』から、出演芸人がCDデビューします！　東京編に参加しているケンドーコバヤシさんと、大阪編担当のNON STYLEのトークは、やっぱりワイワイ大盛り上がり！

『このへん!!トラベラー』出演芸人がCDデビュー



ケンドーコバヤシ
NON STYLE

――人気芸人21組が集まってCDデビュー！　地元応援バラエティ『このへん!!トラベラー』に出演している芸人さんが『HOME　TOWN』を歌います。レコーディングはどうでした？

井上「全芸人、レコーディングの一時間前にこの歌を初めて聴いたと思います」

石田「練習時間わずか一時間で、よくあそこまで持っていったなと（笑）」

井上「〝付け焼き刃〟という言葉を、身をもって体感しました」

ケンコバ「僕なんて一時間もないですよ。レコーディング体勢に入って、一秒前に流したサンプルのメロディを追って歌ったね。そういう意味では天才ですよ、僕」

井上「それはさすがに無理でしょ！」

――六大都市をテーマに歌うこの曲で、コバヤシさんは東京編、NON STYLEは大阪編に参加していますね。

井上「僕は前に大阪、今は東京に住んでいますが、東京はいまだに怖い！　変な人がいっぱいおるし……」

石田「東京は電車が多すぎてよくわかりません。あと地下鉄が地下すぎて、不安になります」

ケンコバ「俯瞰（ふかん）の目で見て、大阪が東京に優れているところはないんとちゃいますか。東京の緑は、大阪の小田舎より多い。これは間違いなく行政の差でしょう」

石田「コバさん、アイドル誌ですよ！」

井上「〝行政〟いわれてもわからんて！」

――各地域の特徴を歌っていますが、自分がこの歌詞に何か追加するとしたらどんなことを入れますか？

井上「大阪ならではの〝全身アニマル柄オバチャン〟とか入れてほしかったかな」

石田「新世界の露店話。ラジコンのコントローラーだけが売られてました（笑）」

ケンコバ「東京編で僕のパートは〝渋谷に代官山　銀座に新橋〟という歌詞ですが、〝吉原、五反田〟にしてもらいたかったですね。大人のトラベラーズです」

井上「エロい街ばっかりや！（笑）」

CD『HOME TOWN』　¥1,000（税込）

北海道編：蛍原徹（雨上がり決死隊）、タカアンドトシ
宮城編：トータルテンボス、オリエンタルラジオ
東京編：ケンドーコバヤシ、次長課長
名古屋編：ブラックマヨネーズ、はんにゃ
大阪編：チュートリアル、NON STYLE
福岡編：博多華丸・大吉、エド・はるみ

YOSHIMOTO R and C CO.,LTD.より9月30日発売！

フォト／野々村智夫　文／しのびー



生徒手帳

丸高愛美
MANAMI MARUTAKA

1990年6月12日、東京都生まれ。O型。【週刊プレイボーイ×avexグラビアアイドル発掘企画】『TOP OF GRAVURE』グランプリ受賞。<ブログ>オフィシャルブログ「まるたかのまなみんち」http://ameblo.jp/avex-marutaka/

トータルテンボスの お悩み風紀委員会

最終回

好評連載『トータルテンボスのお悩み風紀委員会』。毎回ゲストの方のお悩みをお聞きし、大村、藤田の2人が明快、かつ適切（?）にアドバイスをしちゃいます！ 最終回のゲストは、グラビアアイドルの丸高愛実ちゃん19歳の登場です。



食べ物の好き嫌いをどうしたら治せますか?





丸高「好き嫌いが激しくて、とくにトマトがダメなんです。トマト味のスパゲティは大丈夫ですが、トマトジュースもダメで」
大村「俺と全く一緒だ!」
藤田「でもトマトが食べられないと、芸能界である程度までしか成功できないんだよね」
大村「じゃあ、トータルテンボスもダメじゃないか!（笑）」
藤田「他のダメな食べ物は?」
丸高「セロリ、ブロッコリー」
大村「（藤田に）ちょっと部屋から出て行ってもらえるかな?」
藤田「俺がブロッコリーなら、オマエはアスパラだ!」
丸高「アスパラもダメです（笑）」
大村「この悩みを解決するには、野菜を好きな人の名前に呼び代えればいいと思うよ。トマトを仮に山田くんと呼べば、愛情がわいてくると思うんだ」
藤田「トマトを山田くん、セロリを竹下くん、とひとつずつ代えたら、覚えるのが面倒だぞ」
丸高「そうですね、覚えられないかもしれないです」
藤田「ほら、夢に出てきた人を好きになることってあるでしょ。だから枕の下にトマトを置く! そうすればトマトが夢に出てきて、気になる存在に……」
丸高「枕カバーが汚れちゃいそうですね（笑）」
藤田「味が嫌いなら、変えちゃえばいいんです! プリンにしょうゆをかけたらウニ味になる。メロンと生ハム、意外な組み合わせがうまくなる。それ同様、トマトに何かをかけたら、別の味になるはず」
大村「何をかけたらいいの?」
藤田「それは知らないです!」
大村「オマエ……（呆）」
藤田「あっ、トマトジュースとサイダーを混ぜるとうまい!」
大村「僕が提案するのはわんこそば方式。あれは勢いでどんどん食べるもの。34杯目くらいにトマトが入っていても、勢いでつるんと食べちゃいます!」

藤田
組み合わせで味を変えろ!

"わんこそば"方式! 勢いで食べろ!
大村

ズバット解決!?



藤田「どっちの解決法を選ぶ?」
丸高「わんこそば方式は勢いで飲み込むだけなので、味を克服はしてないと思うんです。だから藤田さん方式で!」
大村「トマトジュースとサイダーがなかったら、どうなっていたことか……。マジメに考えろといったはずだ!」
藤田「マジメに考えてコレだ!」

Information

ルミネ the よしもとに出演中。最新情報はブログでチェックしてね! 公式ブログ『トータルテンボスの底知れねぇ伝説』→http://total.laff.jp DVD漫才ベストライブ『しのびねぇな。かまわんよ。』が好評発売中!!

フォト／杉田重男 文／しのぴー

神保町花月への道

話題の芸人が続々登場している劇場『神保町花月』。今回は9月30日～10月4日に行われる公演『オスメス』で主演を務めるチーモンチョーチュウさんの登場です。

今月は チーモンチョーチュウ さん



（左）白井鉄也さん（右）菊地浩輔さん

――チーモンチョーチュウの主演公演が9月末からありますね。
白井「これがですね、僕らの9月のスケジュールが地方だらけで……。お稽古できません！　多分、アドリブだらけの舞台になりそうな予感がします」
菊地「その直前に名古屋、沖縄、埼玉、新潟、千葉に行くんです。各地をほぼ日帰りで戻り、稽古することになるのかなぁ……」
白井「それがイヤなので、僕は失踪するかもです（笑）」
菊地「眠れないと話にならないからね。ぜひとも相方はセリフ少なめでお願いしたい。悲しさで言葉を失った少年役とか」
白井「今まで地方の仕事なんてほとんどなかったのに、よりによってこの時期に、だよね」
――なんだかブルーなコメントばかりですが……（笑）。
菊地「唯一救われるのは、メンバーが気を遣わなくていいヤツばかりなんです。ノンスモーキンさんとはユニットライブをやっていたし、ブロードキャストは仲良しだし、ピクニックは同期だし。だから稽古は楽しくなりそうですね」
白井「ブロードキャストは菊地の子分みたいな存在です（笑）」
菊地「ピクニックは神保町花月に出倒しているので、彼に全てを任せようかと（笑）。彼とノンスモーキンさんとは神保町だと初共演なので、楽しみですね」
白井「それぞれ忙しいメンバーなので、なかなか稽古が出来なさそう。お客さんが〝どんな風になるんだろ〟と怖い物見たさで来てくれるのが理想的です」
菊地「逆に芸人の底力が見られるかもしれませんね。僕ら自身、どんな舞台になるのか見当もつかないので……」
白井「僕の舞台衣装を楽しみにしていてください。今回の『オスメス』はクリスマスの話で、ロボットも出てくる予定です」
菊地「何なの、そのウソ（笑）」

Information
●『オスメス』　9月30日～10月4日　神保町花月にて公演
出演：チーモンチョーチュウ、ブロードキャスト、ピクニック、ノンスモーキン、国崎恵美、松崎映子　ほか　チケット料金　前売：2500円、当日：2800円　お問い合わせ：神保町花月03―3219―0678

フォト／野々村智夫　文／しのぴー

ぼくたちにも会いに来てね！



犬の心
『「かつて」の意味』
10月14日（水）～19日（月）



川島邦裕（野性爆弾）
『肉糞亭特別公演 肉糞華劇団 ～コサジー杯の鳥の中身～』
10月7日（水）～12日（月）



吉田大吾（POISON GIRL BAND）
『チャレンジ特別公演 東京大吾組 君の瞳がまぶしくて…』
9月28日（月）～10月5日（月）



もう中学生
『ぼのほの』
10月21日（水）～25日（日）

森三中の姫道！

最終回

森三中の3人が、イケてる女子を目指す『森三中の姫道！』。2003年10月号から始まったこの連載も、今回が最終回。はたして、森三中が選ぶキング・オブ女子とは？



大島「いい女になろうって連載でしたね。最近は、先生の話をしたり、現実から目をそむけてたわ（笑）」
村上「大島さんと私はいい感じに仕上がったけど、黒沢さんはどうだろう？」
黒沢「出会いが全然ないわ！」
大島「しかし黒沢さん、第1回のころからだいぶ変わったね」
村上「こんなに太ると思わなかったでしょ」
黒沢「いやー、思わないっスよ。ただ、この連載を6年続けて、女性の生き方がわかった気がする。女性ってのは、〝顔〟だけじゃない。いい意味で、抜けてていいんだみたいな。30代になって気が楽になった」
村上「確かに、抜けてる人の方がいい、みたいなのあるよね」
大島「黒沢さんの場合は、すべて抜けてるというか（笑）」
村上「それはそれで問題だけど（笑）」
黒沢「あと、自分を認めるようになった。〝それほどかわいくない〟と認めます（笑）。いやー、人間は変わるよ。昔はむちゃしてたからね」
大島「どんなむちゃ？」
黒沢「ポケットに手を入れて歌舞伎町を歩くぐらい（笑）」
2人「むちゃじゃねーよ！」
黒沢「でも、20代より30代、30代より40代だと、シルクさんが言ってたから希望がもてる」
大島「説得力ある！」
黒沢「私もこれからシルクさんみたいに、いろいろなことに挑戦するわ！」
大島「Tバック買わないと（笑）」
村上「この展開だと、理想の女子はシルクさんになるよ（笑）」
黒沢「綺麗だし、優しいし、シルクさんは女性の憧れ！」
大島「年齢不詳なんだけどね（笑）」
村上「森三中が選ぶ、イケてる女子はシルクさんです（笑）」

フォト／野々村智夫

CATCH UP!! "街"芸人

姫ちゃん

元春日部のキャバガール、「今夜アナタを逆指名☆」
姫ちゃんがやって来た！　芸人になったきっかけから、
かわいさのヒミツまで、姫ちゃんの素顔がわかります。
「読みたくない」とか言わないの～♪

――芸人さんになったきっかけは？
「春日部に引っ越す前は、大阪や広島に住んでいたんです。当時はよしもと新喜劇を見ていて、さらに一度生でも見たんですね。子供心に感動して、"ああなりたい"と思ったことです
――その後NSCに入学。大きくなっても芸人に気持ちは変わらずですね。
「はい。私は高校を中退したんですが、モスバーガーでのバイトでお金を貯めて両親に"NSCに行きたい"と言いました。それまで自分からやりたいと言ったことがなかなかなかったので、親は全く反対しませんでした」
――"姫ちゃん"という芸名の由来は？
「中学時代のニックネームだったので、そのままつけました」
――人気の実感はありますか？
「全くなくて……。知らない人から街中で"姫ちゃんですよね"と言われると、"なんで知ってるんだろう"と不思議な気持ちになります（笑）」
――姫ちゃんの人気の秘密に、そのメイクや髪型もあると思います。どれくらい時間をかけてますか？
「家を出る2時間前に起きて、顔を洗って化粧して髪の毛やって……という感じですね」
――姫ちゃん流メイクのポイントは？
「つけまつげは絶対につけます！　髪型は、夏場は暑かったのでアップにしてました。巻くのに結構時間がかかって、面倒くさい髪型です（笑）」
――仲のいい芸人さんは誰ですか？
「田畑藤本やボーイフレンドなど、同期の芸人です。先輩にも"13期生は仲がいいな"と驚かれるくらい仲良し。仕事で地方に行った時は、必ず同期の芸人にお土産を買ってきていますね」
――今ハマってることは？
「ご当地キティちゃんを集めること。パッケージを開けずに、ずらりと並べたものを見るのが楽しいんです」
――そんな姫ちゃんの望とは？
「ディズニーランドに行きたい！　開園と同時に行きたいので、まる一日の休みがないと行けないんですよ～」



姫ちゃん ・ HIME CHAN



●生年月日
88年7月17日
●身長
165cm
●血液型
B型
●趣味
ご当地キティちゃん集め、ゲーム
●特技
水泳、書道
●好きな食べ物
ぎょうざ
●好きな言葉
努力夢現
●好きな異性のタイプ
クォン・サンウさんみたいな人
●活動場所
爆笑レッドカーペット
エンタの神様
JET GIG・needs

Information

＜テレビ＞『爆笑レッドカーペット』（フジテレビ系・毎週土曜日19時～）、『エンタの神様』（日本テレビ系・毎週土曜日22時～）に出演中。

フォト／野々村智夫　文／しのびー

よしもと 俳優図鑑

Vol.17



11月24日より全国ロードショー、映画『笑う警官』に出演している是近敦之さんの登場です。役者としての考え方をたっぷり聞きました！

夢に挑戦してください

是近敦之
KORECHIKA ATSUSHI

映画『笑う警官』は、警察内部の汚職を正義感のもとに暴こうとする作品で、僕は、主人公・大森(南朋)さんの警察学校時代の後輩役を演じています。大森さんをしたって汚職の謎を解く手伝いをする、真っ直ぐな男の役です。製作・脚本・監督の全てを角川(春樹)さんがやられて、現場は角川さんの男気というか、勢いで進んでいる感じでしたね。あまり本番に向けてのテストをしすぎると臨場感がなくなるという理由から、僕のシーンではなかったのですが、テストなしの一発撮りもあったようです。監督からの演技指導は、役に対して気持ちをぶつける感じでやればいいと言われました。技術のことはあまりおっしゃらず、腹の中から出てくる気持ちを大事にするようにと。いい勉強をさせていただきました。
この作品は、正義とは何か、悪とは何かを問うような、人間模様の縮図をみれる映画だと思います。みなさんのお父さん、お母さんにもじっくり楽しんでいただける内容なので、ぜひご家族で観ていただきたいです。
撮影中のエピソードですか？　警察官という役柄、白バイに乗りましたが、何度も同じ場所を行き来していたら、本物の警察が来たことがありました(笑)。「怪しい」と思った地元の方が通報されたみたいです(笑)。
大型免許を持っていたおかげで白バイにも乗れましたが、僕は趣味がたくさんあって。将来、現代アクションをやりたいと思っていて、殺陣やムエタイも習いました。役者の仕事は、どんな役がまわってくるかわからないですし、チャンスがあればいろいろな役をやらせていただきたい。だから、日々新しいことに挑戦しています。仲間とも『Imetuhizer-hhirrosshi holic(イメック　ハイザーホリック)」という映像制作集団をやっていて。来年のコンテストに向けて今、ショートフィルムを撮っている最中です。僕は今回、役者ではなく制作として参加なんですが(笑)。制作の仕事はADみたいな感じです。常に動きまわっています。本当にじっとしてるのが嫌なんです(笑)。
みなさんもいろいろなことに挑戦する気持ちを忘れずに、まずはやりたいことをやってみてください。若い多感な時期は、無限の可能性があります。一生懸命頑張ることを忘れないで、夢に挑戦してくださいね。必ず道は開かれます！

Information

映画『笑う警官』
2009年11月4日、全国ロードショー。
原作はシリーズ累計100万部を超える大人気小説『道警シリーズ』第一段。実際に起こった北海道警察の事件をヒントに、警察内部のダークな部分を描く！　製作・脚本・監督：角川春樹（「天と地と」「男たちのヤマト／YAMATO」）出演：大森南朋／松雪泰子／宮迫博之／大友康平／鹿賀丈史　ほか

Profile

78年1月5日生まれ、神奈川県出身。
活動歴／<舞台>『ゼブラ』『産隆大学応援団』<ドラマ>『セレブと貧乏太郎』『ハチミツとクローバー』など。
ブログ→http://korechika.laff.jp/

フォト／野々村智夫



笹丘明里……… Akari Sasaoka
PROFILE…..
生年月日／'90年6月20日　出身地／東京都　身長／158cm　血液型／A型　活動歴／<テレビ>『BSブランチ』(BS-TBS)レギュラー<ブログ>http://ameblo.jp/sasaoka-akari/

坂田 彩……… Aya Sakata
PROFILE…..
生年月日/'90年12月26日　出身地/神奈川県　身長/159cm　血液型/O型　<映画>『が～るず★ねくすと』(来年公開予定) <ブログ> http://ameblo.jp/sakata-aya/

原 嶺衣奈……… Reina Hara
PROFILE…..
生年月日/'90年1月6日　出身地/東京都　身長/161cm　血液型/A型　活動歴/<映画>『が～るず★ねくすと』(来年公開予定) <ブログ>http://ameblo.jp/hara-reina/

山内映美莉…… Emiri Yamauchi
PROFILE…..
生年月日/'91年3月28日　出身地/東京都　身長/161cm　血液型/B型　活動歴/<舞台>パルコ・プロデュース公演いのうえmeetsシェイクスピア『リチャード三世』エリザベス役<ブログ>http://ameblo.jp/yamauchi-emiri/

最終回

坂原山笹
～Kindai version～

最終回 これからもよろしくお願いします！

1年半続いてきたこの連載『坂原山笹～Kindai version～』も今回がいよいよ最終回。というわけで、坂原山笹メンバーの坂田彩ちゃん、原嶺衣奈ちゃん、山内映美莉ちゃん、笹丘明里ちゃんが全員登場。連載の思い出話を語ってくれました。

SAKA HARA
YAMA SASA

原嶺衣奈　連載が始まって1年半。

坂田 彩　ちょうど私たち4人が出演した舞台（2008年3月公演の舞台『TDS≒USJ』）が終わってすぐからだよね。

笹丘明里　私、いつかKindaiに載ってみたいなって思ってたの。だから自分たちの連載が始まった時はすごくうれしかった。

嶺衣奈　私も。ずっと自分の連載をもつのが夢だったから。本の発売日はいつもうきうきしてた（笑）。

山内映美莉　私、載っているのをたまたま見つけた友達から連絡があったこともあったよ。その子とは中学校卒業以来だったから、とっても感動したことを覚えてる。

彩　友達から〝見たよ〟ってメールをもらったりすると、すごくうれしいよね。

明里　私、3人の近況も、この連載でチェックしたりしてたんだ（笑）。直接聞くこともできるんだけど、本で読むのはまたちがう楽しみがあったりして……。

嶺衣奈　それ、すごくわかるなぁ（笑）。本ってずっと形に残るものだし、やっぱりちょっとちがうよね。ちなみに私は、いちばん最初にタイトルを聞いた時、びっくりして。でも、だんだんいい名前だなって思うようになった（笑）。

映美莉　タイトル、おもしろいよね（笑）。全員の名前から一文字ずつとって、〝坂原山笹〟だもん。

明里　そういえば、連載第1回目は私からだったんだ。いちばん最初の撮影は、すごく緊張したことを覚えてる。本屋さんで自分が掲載されてるのを見て、ちょっと泣きそうになったし。〝あ、ほんとに自分が載ってる〟って（笑）。

彩　私も最初の撮影の時のことはよく覚えてるな。

嶺衣奈　インタビューでは基本的に自分の近況を話すことが多かったから、自分自身を見つめ直すいいきっかけでもあったよ。

彩　私、もっと自分のことを知らないといけないんだなって何度も思った。

映美莉　自分の順番がまわってくるのは4カ月に1回なんだけど、長いと思ってたら意外とすぐにまわってきたよね。

明里　あ、私、連載のインタビュー中に泣いちゃったことを思い出した。ちょうど卒業シーズンの号だったから、インタビューもそのお話が中心で。質問に答えたりしてるうち、どんどんさみしくなってきて、思わず涙ぐんちゃったんだよね。

映美莉　もう何年か後にこの連載を読み返したら、〝ああ、若いなぁ〟ってきっと思うんだろうな（笑）。

明里　私は将来、子供に見せようと思ってる。〝これ、お母さんなんだよ〟って（笑）。

彩・嶺衣奈・映美莉　（笑）

彩　ブログのコメントに〝Kindai読みました〟って書いてあったこともあった。

明里　おじいちゃん、おばあちゃんが本を見て、喜んでくれるのもうれしかったな。

嶺衣奈　きっと誌面から、私たちの素顔が見えてたと思うよ。

映美莉　うん。読み返すと、自分で読んでもおもしろいくらいだったから。

彩　4人の色がたくさん出てたよね。

明里　きっとね。

嶺衣奈　じゃあ最後にこれまで読んでくださったみなさんへメッセージ。

彩　ではタイトルの順番で、まずは〝坂〟の私から（笑）。この連載で自分のことをより知ることができて、ほんとに良かったなと思います。これからもがんばりますので、みなさん応援よろしくお願いします。

嶺衣奈　次は〝原〟の私。みなさん、これまで連載を読んでくださってありがとうございました。少しでも私たちの素顔が伝わってたらいいなと思います。またいろんな場面で注目してもらえるようにがんばります。

映美莉　あっ、次は〝山〟の私だ（笑）。この連載では、自分自身の成長がよくわかって楽しかったです。最初の頃と最後では、自分でも全然ちがうなって思うくらいでした。これからもみなさんに成長している姿をお見せできたらいいなと思います。

明里　それじゃあ最後に、〝笹〟の私ね（笑）。連載が始まった時はまだ私、彩、映美莉は高校生、嶺衣奈ちゃんも大学生になりたてで。それが今では、それぞれ大学生になったり、進級したり、社会人になったり。連載開始の時から考えると、みんな、すごく大人になったんじゃないかなって思います。もう帰ってこない時間がぎゅっと詰まってるという意味で、この連載は私にとってはかけがえのない宝物でした。また、いろんなところで私を見ていただけるように、これからもがんばりたいと思います。

彩・嶺衣奈・映美莉・明里　これまで読んでくださったみなさん、本当にありがとうございました！

フォト／久保田司　●ファンレターの宛て先→〒150-0041 東京都渋谷区神南1-8-17 横山ビル3F イトーカンパニーリセ　●HP…http://www.itoh-c.com

彩と唯の Sunrise Sunset 最終回

これからも頑張ります！

彩野ちゃんは、2003年の7月号から6年以上もこのコーナーに登場してくれました。大大感謝です！　唯ちゃんはまだ始まったばかりでしたが……。「これからもいろんなところに元気を届けていきたいです!!」





彩野　唯はどんな夏を過ごした？　私は、海に2回、プールに1回、お祭りや花火大会にも行ったよ。
唯　私もこの前逗子の海に行って来た。でもまだ花火も見てないし……
彩野　実家には帰らなかったの？
唯　お盆の大分前に帰った。だから、地元の友達とは1人しか会えなくて。
彩野　私は、ミスマガのフットサルチームのメンバーがわざわざ千葉の実家まで遊びに来てくれたのが嬉しかったな。山形でおいしい物食べなかった？
唯　家で食べる分の野菜を作ってるんだけど、その野菜がすごくおいしかった。でも、今年の夏は天気がよくなかったでしょ。山形帰ったときもほぼ天気が悪くて残念だったなあ。東北は今年梅雨明け宣言しないままに秋になるんだよ。
彩野　びっくりだよね。でも、そのおかげか千葉の御宿の海が綺麗だった。
唯　逗子も。そうだ、彩野ちゃんが毎年夏になると御宿、御宿って言ってたから私もすごく行きたいと思ってたの。
彩野　来年一緒に行こう。ところで秋は？　私はスポーツの秋ということでフットサルをマジで頑張るよ。
唯　私はスポーツじゃなくて食欲の秋。ぶどうがりやなしがりに行きたいな。
彩野　今って土日高速料金が安いから車でどっか行けるよね。
唯　私もたまにレンタカー借りて富士急ハイランドとか行く。
彩野　運転するんだ？
唯　前が見えるのとか言われがちだけど、座高を高く体を前に押し出して（笑）。
彩野　じゃあ今度、ドライブしがてらフットサルの試合見に来て。やっとミスマガチームも心から優勝目指して頑張りますって言えるようになったから。
唯　うん。私はレギュラー番組も頑張ります。あと、私がイメージキャラクターを務める「Chip Slim Konnyaku」（チップ スリム コンニャク）をぜひ食べてみてください！
彩野　ところでみなさん突然ですが今回で最終回です。長い間ありがとうございました。（柳沢）なな、（稲生）美紀、唯と6年以上もこのコーナーを担当させていただき、いっぱい思い出があります。すごく寂しいです。
唯　私はまだ始まったばかりだったのに……。今後も2人の応援をお願いします。

佐藤唯　*yui sato*



'86年3月29日生まれ。山形県出身。身長152ｃｍ。血液型Ｂ型。『にじいろジーン』（フジテレビ系）、東京ＭＸ『東京シティ競馬中継』（アシスタントＭＣ）、航空会社『Jetstar Airways』CMなどに出演中。［ブログ］『ゆいの元気予報！』ameblo.jp/yui-sato/

立花彩野　*ayano tachibana*



'88年3月8日生まれ。千葉県出身。身長158.5cm。血液型Ｂ型。CS朝日チャンネル『世界制服！竹山塾』に出演中。9月27日「ミスマガmixフットサル大会」に出場（フットサルクラブNAS聖蹟桜ヶ丘）。BS日テレ『フットサル・ガールズ（仮）』10月11日スタート。

レターの宛先→〒160-8501 東京都新宿区左門町4番地四谷アネックス　サンミュージックプロダクション

フォト／野々村智夫（本誌）

雄也「『Kindai』には我々、ものすごく長い間お世話になってて、4人でのインタビュー撮影はもちろん、それぞれ個々の活動でも取り上げていただいて。8周年を迎えられたのも『Kindai』のおかげです！ファンの子も、この連載からランガンの情報を知ることが多かったみたい」

竜司「俺、毎号ファイルに残してるよ。〝『Kindai』ファイル〟があるから！毎号、楽しく取材させていただきました」

彬「俺は実家に〝『Kindai』ファイル〟あるわ。俺より、おかんのほうが喜んでて（笑）。掲載された号が発売になると、必ずおかんから電話ある！」

幸佑「『よしもと俳優図鑑』のころから考えると、かなり長く取り上げていただいたね」

雄也「この連載では、もぎたての情報を載せようとする会社の方針から、ここだけの話し、全く何も決まってない舞台の話しとかインタビューも多々ありました（笑）」

彬・幸佑「あー、あった（笑）」

竜司「いいこと言えよ（笑）。ま、この雑誌の情報がどこよりも早かったってことだね」

幸佑「ランガン結成から8年、この連載が3〜4年。本当にいろいろなことがあった。俺は小説を書かせていただいたし」

雄也「そう、幸佑は知的になった！ランガンで一番の漢字王！」

幸佑「そういう雄也は雑学王だし」

彬「あと、雄也は七不思議ね」

雄也「何？（笑）。それを言うなら都市伝説やろ。まあ、俺は雑学王で、しゃべり仕切らせてもらってます。彬はランガンのクールポジション。ランガン唯一、顔が小さい（笑）」

幸佑「シャンプーでいったら〝アジエンス〟みたいな感じやな」

竜司「その例えお前だけや（笑）」

彬「竜司は熱血リーダーって言葉がぴったりだね」

幸佑「熱きリーダーです！」

竜司「我々、この連載でかなり成長できたんじゃない？」

雄也「今までの連載を振り返って、成長を確認したいね。『Kindai』は俺らの中で、ずっと残っていくもの。本当にありがとうございました」

彬「ファンの方から〝青春を一緒に過ごしてきたRUN&GUNをこれからも応援します〟と手紙をいただいて。ファンの方と共に俺らも生きてきたんだなと、つくづく思った。これからも末永く、応援よろしくお願いします」

幸佑「RUN&GUNは、まだまだ成長します！またお会いしましょう！」

竜司「詩をひとつ。〝『Kindai』と歩んできた道『Kindai』と編んできた未知〟今までありがとうございました。これからもRUN&GUN、応援よろしくお願いします！」

ランガンはまだまだ成長します！

結成8周年を迎えたRUN&GUN。
舞台に映画、ドラマにと大忙しの4人が、
『Kindai』を振り返る。

宮下雄也
YUYA MIYASHITA

上山竜司
RYUJI KAMIYAMA

米原幸佑
KOSUKE YONEHARA

永田彬
AKIRA NAGATA



RUN&GUN

Information

竜司 <舞台>『赤と黒』2009年10月1〜11日／赤坂RED/THEATER
<DVD>『[illegible]ZERO』
彬 <ドラマ>『[illegible]』10月2日スタート（テレビ東京系・24時12分〜）<DVD>『[illegible]屋ZERO』
雄也 <舞台>『輝け！主婦バンドFOUR RIVERS スモーク・オン・ザ・ウォーター2009』2009年11月7〜15日／ル テアトル銀座byPARCO ほか
米原 <舞台>『三世代に贈る、未来へのメッセージ〜ノッポさんのちいさな音楽劇〜「ありがとう！グラスホッパー」』2009年10月10・11日／サンシャイン劇場 ほか<映画>『湾岸ミッドナイト』

フォト／久保田司

JEJUNG & YUCHUN
（from 東方神起）

ANGELS WHO CAN'T FORGET...

JEJUNG & YUCHUN（from 東方神起）として9月30日に、両A面シングル『COLORS～Melody and Harmony～／Shelter』がリリースされる。そこでジェジュンとユチョンにロング・インタビューを敢行。DVD『4TH LIVE TOUR 2009-THE SECRET CODE-FINAL IN TOKYO DOME』が同時リリースなので要チェキ！




JEJUNG


YUCHUN



蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net



―9月の9日から「Pinky」のCMソングとして流れている配信曲『甘く果てしなく』は、日本で初めての配信曲だね。（9月23日から配信中）

ジェジュン「そうですね。韓国では、配信というスタイルはよくあるけど、日本で配信曲としてリリースするのは初めてですね」

ユチョン「東方神起の存在は知っているけど、曲はあんまり聴いたことないっていう人たちにも、気軽に聴いてもらえるスタイルでもあると思うので、この機会に多くの人に聴いてもらえたら嬉しいです」

―そうだね。ジュンスの歌い出しの部分もすごく爽やかだよね。

ジェジュン「そうなんですよ。この『甘く果てしなく』は、配信されるのは9月だけど、とても夏のイメージが強い爽やかな曲ですよ。そんな爽やかさにジュンスの声がすごく合っていると思います。東方神起の夏の曲は、歌い出しが僕からなことが多いんですけど、この曲はジュンスから始まるので、とても新鮮な感じがしますよ！ でもね、コマーシャルで使われる部分はジュンスのパートよりも、僕のパートの方が多いんです（笑）。せっかく歌い出しを担当したのに、可哀相なんですよ、ジュンス（笑）」





JEJUNG YUCHUN
FROM TOHOSHIKI

ユチョン「あぁ～、ジュンスだからね、それは仕方ないね（笑）」

―キャラ的にね（笑）。でも、ジェジュンが言うように、ジュンスの歌い出しが、とても爽やかで、サビと並ぶぐらい印象的だったよ。

ユチョン「そうですね。本当に爽やかですよね。本当に新鮮だった。たまには、そういうチェンジもいいなぁ～って思いました。パートを変えてみるだけで、曲の印象が変わるって、グループの強みでもあると思うから。そんな5人の個性を改めて感じた曲になりましたよ」

―そうだね。そして。今回、JEJUNG＆YUCHUN from 東方神起というスペシャル企画ユニットで、シングル『COLORS～Melody and Harmony～』がリリースされる訳だけど。

ジェジュン「はい。そうです。この曲は、アルバムに自分たちが作った曲が入れたらいいなぁと思って、少し前に作っていた曲だったんですけど、今回のアルバムの曲の流れの中に入れるには、ちょっと違うかなと思った曲だったんで、ストックしてあったんですよ。そしたらユチョンが"あの曲、ちゃんと作って東京ドームコンサートで一緒に歌おうよ！"って言ってきたんです」

―おぉ、そうだったの？

ユチョン「そうそう。僕のおかげ（笑）」

ジェジュン「そうそう（笑）。この曲が生まれたのは、ユチョンのおかげ（笑）」

―（笑）。この曲の歌詞はH．U．B．さんが書いてくれたんだよね？

ユチョン「そう。本当は、自分たちで歌詞も書きたかったんだけど、アジアのコンサートツアーとも重なっていて、時間がなかったこともあり、今回は、H．U．B．さんにお願いして書いてもらうことにしたんです。H．U．B．さんは、いつも僕たちの歌詞を手掛けてくれているし、僕たちの個性もとてもよく理解してくれているから、安心してお願い出来ると思ったんです」

―H．U．B．さんには、どんな歌詞にしてほしいってお願いしたの？

ユチョン「"恋愛的ではない、もっと大きな愛を歌いたい"ってお願いしたんですよ」

―理想どうりの歌詞だった？

ユチョン「はい。僕たちが歌いたかった想いがそのまま言葉になってて、本当に嬉しかったです！」

―曲との相性もすごくいいよね。

ジェジュン「はい！ 僕もそう思います！ やっぱり、人に歌詞をお願いすると、自分たちで書くよりも、直接的じゃなくなることもあって、少し心配したんですけど、初めてこういう挑戦をしてみて、また、自分たちになかった可能性をみつけられた気がしました」

―そうだね。それって素敵なことだね。

ユチョン「でもね。PVがね（笑）、ハローキティ35周年テーマソングになったこともあって、東京ドームのときに、みんなのことを思って書いた曲だったのに、キティちゃんがいっぱい出て来てて（笑）、また、音源になったからこその新しい魅力が生まれることになったんですよ！」

―あははは。それも素敵なことなんじゃない？

ジェジュン「ですよね（笑）。作った人と、聴いてくれる人とで、いろいろと受けとめ方が違ったり、それぞれの思い出や、背景で曲が変化していくことも、楽しいと、僕は思います！ だから、キティちゃん、35周年おめでとう！」

ユチョン「おめでとう！」

ジェジュン＆ユチョン「（何故か、ここで固い握手を交わす2人……）」

―あはははは。ところで、2人で作った曲は何曲くらいあるの？

ユチョン「何曲くらいかな？」

ジェジュン「2人では、いまのとこ、形になってるのは5曲くらいかな。この曲は、4曲目くらいに出来た曲」

―一番最初に出来た曲はどれだったの？

ジェジュン「一番最初の曲はね、『Kissしたまま、さよなら』かな」

―あの曲もいい曲だったね。

ユチョン「切ない曲だったね～（涙）」

―『Shelter』も片想いの曲で、ちょっと切ないよね。

ユチョン「うん。でもね、『Shelter』は、切な怖いでしょ。相手は、自分がこんなに好きだっていうことを知らないからね。ちょっと怖いの（笑）」

―そっかそっか。この曲はどういうふうに作られたの？

ユチョン「頑張って」

―へ？

ユチョン「頑張って作りました！ "どうやって？作ったか？" "頑張って作りました！"です（笑）」

ジェジュン「あははは。そうそう、頑張って作りました（笑）！」

―あ、いやいや……。そうじゃなくて……（苦笑）。どのような状況で、作られていきましたか？っていうね……。

ユチョン「知ってますよ～（笑）。ちょっとからかいました（笑）。この曲はジェジュンとジュンスが一緒に作ったんですよ」

ジェジュン「そうそう。『COLORS～』のカップリング曲用に作った曲なんです。『COLORS～』とはテイストが全然違う曲にしたいなと思って、すごく考えて作ったんです。僕が最初にテーマとなる雰囲気を考えて、そこからアレンジを考えていって、サビをジュンスが考えてくれたんですよ。『9095』も、そうやって、雰囲気から攻めて作った曲だったんです」

―なるほど。『9095』もそうだったけど、『Shelter』も、不思議な雰囲気の曲だもんね。

ユチョン「そうですね。すごくジェジュンらしくていい曲だと思いました」

ジェジュン「ん～。うっそぉ～。ユチョンに、この曲を最初に聴かせたときの、本当の言葉を知りたいですか？」

ユチョン「あははは」

―ん？ 今言ってくれたこととは違うの？

ジェジュン「うん。ホントはね、"あぁ～。ジェジュン～。また同じ感じの曲じゃぁ～ん。もうちょっと違う感じがいいよぉ～"って、言ったんですよ！ 良くないって（へこむ）」

ユチョン「あははは。"良くない"とは言ってないでしょ（笑）。愛でしょ。愛～（笑）。『忘れないで』のときは、超褒めたじゃん！ "ジェジュン！ コレ、マジヤバいよ！ めっちゃいい曲じゃぁ～ん！"って、いっぱい褒めたじゃん！」

ジェジュン「あれ？ そうだったっけ（笑）」

ユチョン「そうだよ！ いっぱい褒めたよ！」

ジェジュン「あははは。覚えてるよ。ユチョンは本当に『忘れないで』を聴かせたとき、すごく興奮して、"ジェジュン！ めっちゃいい曲じゃん！"って大絶賛してくれたんですよ！ 嬉しかった。でもね、『Shelter』は、最初あんまり[illegible]て悲しかったんですう」

―でも、全部を"いいよ"って言うのが愛じゃないもんね。ちゃんと正直な意見を言ってこそ、本当の愛だもんね。

ユチョン「そうそうそう！ ホントにそう！ ジェジュンの曲は、すごく、冷たくて切なくて、でも不思議とあたたかくて、ちょっと透明感のある曲が特徴だと

思うんですけど、最初ちょっとあまりにも雰囲気が『9095』に似てたから、もうちょっとアレンジを変えた方がいいんじゃない？って言ったんです。曲自体は、すごくメロディの高いモノで、雰囲気もすごく良かったから、もったいないなと思って。ちょっとアレンジを変えたら、もっと良くなると思ったんです。だから、完成した今の状態は、すごく好きな曲になりました」
ジェジュン「ホントに？（かなり嬉しそう）」
ユチョン「ホント、ホント、ホントー！ だって、僕には絶対に作れない曲調だもん。ホントにいい曲になったと思ってるよ。僕も、曲を作るときは、だいたいピアノで作るんですけど、ジェジュンと同じで、アレンジから作っていくんですけど、でも曲って、作る人の感性そのものが出ると思うから、やっぱりどうしても近くなりがちなんですよね。だから、いろんなスパイスを入れていくように心がけてて。そういうときに、"こうしてみたら？"っていう他の人の意見ってすごく重要だったりするんですよ」

——たしかにね。真っ白なところから作り上げていく訳だから、難しいよね、曲作りは。ユチョンも曲を作る人間として、その立場が解るからこその本当の言葉だったんだよね。なんかすごく新鮮な話だな。やっぱり、自分たちで曲を作るようになったからこその言葉だもんね。すごく音楽人らしい言葉だと思う。

ジェジュン「うん。そうですね。でもね、褒められる方が好きだから……」
ユチョン「あはははは。解る解る（笑）」
ジェジュン「あんまり厳しい意見をされると、へこんで曲が作れなくなっちゃうんですよ（笑）」

——あははは。褒められて伸びるタイプなんだ、ジェジュンは（笑）。

ジェジュン「そうそう。完璧にそう！ 褒められると、頑張っちゃう！ もっともっと頑張っちゃう！ でもね、褒められないとへこんじゃう（笑）」

——ユチョンも？

ユチョン「うん。僕も褒められて伸びるタイプ！」

——2人とも一緒じゃん（笑）。んじゃ、褒めていこー！（笑）

ジェジュン「そうだよ、褒めていこ〜よぉ！（ユチョンに向かって）もっと褒めて〜」
ユチョン「あはははは。（ここで再び固い握手を交わす2人）2人はライバルでもあるからね（笑）。時に褒めて、時にへこませていこ（笑）」

——あははは。でも、そうだよね。いいライバルであり続けることで、よりお互いが成長出来るもんね。じゃぁ、ジェジュンもユチョンのこと褒めてあげなくちゃ。

ジェジュン「僕が？ ユチョンを？ うん。褒めてる褒めてる。結構褒めてますよ」
ユチョン「ホント？ 褒めてくれたことある（笑）？」
ジェジュン「あるあるある。あるじゃぁ〜ん。忘れちゃってる〜（じたんだを踏む）」

——最近何褒めてあげたの？

ジェジュン「（考える）……最近……褒めてないすねぇ（笑）」
ユチョン「ほらぁ〜っ！！！」
ジェジュン「でもね、『Shelter』のラップはすごく頑張って作ってましたよ」
ユチョン「うん。頑張った頑張った！」

——ユチョンのラップにはすごく感情を強く感じるからね。

ユチョン「ありがとうございます！ イエイ！ 褒められた（万歳）」
ジェジュン「いいなぁ〜、褒められて〜」

——よし。じゃあ、今、お互いを褒めてみて。

ユチョン「え!? 今!? 難しいなぁ（笑）」
ジェジュン「難しくないじゃぁ〜ん！ ユチョンはいいラッパーになりますよ。あとね、プライベートでは、約束をちゃんと守りますよね〜ユチョン！」
ユチョン「これね、ズルいよ〜（笑）。僕が、この前、1回だけ約束を破ったから、もう絶対に約束を破らないように、こうやって言ってるんですよ、ジェジュンは（笑）。褒めてないよ〜。それは！」
ジェジュン「あははは。さすがユチョン！ バレてましたか（笑）。僕も褒めて〜」
ユチョン「僕は、ジェジュンが大好きです！」

——それ、褒めてないし……。

ジェジュン「ホントホント（横目でユチョンをにらむ）」
ユチョン「うきゃきゃ（ジェジュンに巻き付くユチョン）」

——なんでいきなり懐いてるの？（笑）褒めて褒めて。

ユチョン「ん〜〜〜（考え込む）」
ジェジュン「ないですか!? あぁ〜〜（ため息）。酷いですぅ……（へこむ）」

——早く褒めないと、本当にへこむから（笑）。

ユチョン「大好き！」
ジェジュン「褒めてない！」

——じゃぁ、大好きな理由は？

ユチョン「話すと長いから（笑）」
ジェジュン「いいからぁ。とりあえず言ってみて！」
ユチョン「僕はね、ジェジュンに憧れてるし、尊敬してるよ」
ジェジュン「（にやける）」

——あ、ジェジュンが上がってきた（笑）。解りやすいなぁ〜、ジェジュンは（笑）。

ユチョン「あはははは。そうそう、そうなんですよ。そういう素直なところが大好きです！ 本当に優しいんですよ。僕ね、この前、韓国ですごく悲しいことがあって、夜、独りでずっと泣いてたんですよ。そしたらね、ジェジュンが、その日の僕を1日見てて何かを感じたみたいで、励ましのメールをくれたんです。そのメールが本当に優しくて、またいっぱい泣いちゃったんです」

——いい話だね。

ジェジュン「いい奴だね、ジェジュン」

——自分で褒めない（笑）。

ジェジュン「あははは。ユチョンもね、すっごくいい奴ですよ」
ユチョン「何処が？（笑）」
ジェジュン「今から褒めるから、ちょっと待ってて。焦っちゃダメ（笑）。ユチョンはね、あぁ〜〜〜〜〜！ 酷い！ 今、褒めようとしてるのに、ユチョンあくびしましたよ！」

——ん？（おもわずユチョンのあくびがうつる）あ。あくびうつっちゃった（笑）。

ジェジュン「あぁ〜、2人してあくびして、酷いですね、僕の話がそんなにつまらないですか？（と、言いつつ、今度はジェジュンにあくびがうつる）あ。僕もうつっちゃった（笑）」
ユチョン「あははは。あ、僕もまたうつった（笑）。あくびだらけ（笑）」

——あははは。でもね、あくびがうつる同士は、敵じゃないらしいよ。

ユチョン「ホントに？ なんか、そういう話はいろいろありますね。おもしろい！ 日本では、くしゃみすると、誰かが噂してるってことでしょ？ 韓国では、耳がかゆいと、誰かに噂されてるっていうことなんですよ！」

——そうなんだ。おもしろいね。で、ジェジュン、ユチョンを褒めてね。

ジェジュン「はいはい。ユチョンは、人を惹き付けて、虜にしちゃう魅力がありますよ。本当にそれは才能だと思います！ 本当にすごく素敵な人だと思いますよ。いろんなことに積極的だし。僕は、ユチョンがやろうとすることに、ついていくことが多いんですけど、すごくパワーを感じるし、自分にないところをいっぱい持ってる人だから、本当に尊敬しますね」
ユチョン「褒め合ったから、絆が深まった深まった（笑）」

——じゃぁ、東方神起のファンを褒めてあげて。誇れることってある？

ジェジュン「うん！ あるある！ すごくパワーを感じる！ 東方神起への強い愛を感じますよ。東方神起のファンのみんなは、本当に情熱的です」
ユチョン「東方神起のファンはね、綺麗な人が多いと思います！ 顔も綺麗だし、心も本当に綺麗。僕たちは、いつも、そんな綺麗な心とファンの優しさに助けられてるなぁって思いますね。東方神起を思ってくれるあたたかさは、どこのファンにも負けないと思ってます。本当に感謝してます」

——でも、本当にそうだね。日本のファンも、韓国のファンも、すごくあったかいよね。

ジェジュン「そう。日本のファンと韓国のファンが、僕たちを通して仲良くなってくれているのを見ると本当に嬉しいんです」
ユチョン「そう。お互いを近く感じてくれて、東方神起が共通の知り合いみたいになってくれているのが、本当に嬉しい」

——そうだね。昔、まだ5人が日本活動を始めたばかりの頃、ずっと日本で生活してて、韓国に居なかったでしょ。そのとき、韓国のファンがみんなで集まって、メンバーのお誕生日を祝ってくれている写真を送ってくれていて、それを5人がすごく大切そうに見せてくれたことあったよね。

ジェジュン「はいはい。見せましたね！ あれは本当に嬉しかった」
ユチョン「うん。懐かしいなぁ〜」

——そんなこともあったから、東京ドームで、最後に、日本のファンにお礼を言った後、韓国のファンに向けて言った"カムサハムニダ"が、すごく大切で想いの深いモノだと感じたんだよね、私。

ユチョン「うん。本当にそうですね。僕たちにとって大切な存在の日本で叶えた夢を、韓国のファンたちにも伝えたかったんです」
ジェジュン「逆に、韓国のコンサートでも、毎回、ちゃんと日本語で"ありがとう"を言ってるんですよ。実際に韓国までコンサートを観に来てくれてる日本のファンも居るし、来れなくても、僕たちは、いつも心に日本のファンの存在を感じていますから。だから、そんな日本のファンにありがとうを、いつも言うようにしてるんです」

——なるほどね。本当にすごく素敵な話だね。ユンホとチャンミンが韓国でドラマの撮影が始まったから、少しの間韓国での活動が中心になるみたいだけど、また、元気な東方神起5人に会える日を楽しみにしてるね。

ジェジュン「はい！ それまでに、またいい曲を作っておきますよ！ だから、ユチョン、いっぱい褒めてね！」
ユチョン「あはははは。またそこ!?（笑）分かりました〜（笑）。みなさんも元気で。風邪には注意して下さいね！」

NEW DVD



『4th LIVE TOUR 2009 〜The Secret Code〜 FINAL in TOKYO DOME』
rhythm zone　9月30日発売

■Disc1〜Disc2
Secret Game
Share The World
どうして君を好きになってしまったんだろう？
Take Your Hands
Stand Up!
9095
FORCE
Purple Line
呪文 〜MIROTIC〜
Heart,Mind and Soul
忘れないで
XIAHTIC / JUNSU （from 東方神起）
COLORS 〜Melody and Harmony〜 / JEJUNG & YUCHUN （from 東方神起）
CHECKMATE / YUNHO （from 東方神起）
WILD SOUL / CHANGMIN （from 東方神起）
Begin
Nobody Knows
TAXI
Forever Love
"O"-正・反・合
Choosey Lover
Sky〜Somebody To Love
Summer Dream
Survivor

[ENCORE]
The way U are
ウィーアー！〜Break up the shell
Stand by U
Kiss The Baby Sky
Bolero

NEW SINGLE



※CD+DVD



※CD

『COLORS 〜Melody and Harmony〜』
rhythm zone　9月30日発売







　フォト／野々村智夫（本誌）　文／武市尚子


KOUJI SETO
Harvest Season



現在、ドラマ『オトメン（乙男）』（フジテレビ系）に、有明大和役で出演中の瀬戸くん。さらに、10月20日開幕の舞台『D-BOYS STAGE vol.3 鴉〜KARASU〜』の稽古など大忙しの毎日を送っているのだ。そんな瀬戸くんは、最近読書をして気分転換をしているらしい。

Information

舞台『D-BOYS STAGE vol.3 鴉〜KARASU〜』『鴉〜KARASU〜 10』10月20日〜25日東京・青山劇場、10月31日〜11月1日大阪・シアターBRAVA!。現在立見席のチケット発売中！ 詳細は［HP］http://www.d-boys.com

―プライベートでの夏の思い出は？

「今年は残念ながら夏らしいことがまったくできませんでした……」

―そのかわり仕事で？

「そうですね。『オトメン』での海ロケがあったのでそこで楽しみました」

―最新撮影エピソードを教えて。

「大人数のヤンキーさんたちに追いかけられました……（苦笑）」

―今後の大和のみどころは？

「磯野（かつお／澤部佑（ハライチ））とのからみに注目です（笑）」

―ドラマ全体としては？

「マンガはまだ終わってないのですが、ドラマならではのエンディングを迎えると思うので期待しててください！」

―舞台『鴉〜KARASU10〜』の稽古もスタート。瀬戸くんが演じる木こりの"竜"は、母親が病気を患っており、その薬代を稼ぐためにカラス組に入隊するんだよね。愛用の斧ドラゴンと話をするところがあったりして、ユニークな役柄です。

「そのドラゴンとのからみが（笑）、一番不安に思ってるところです。楽しみなのはメンバーみんなともっと深い関係を築くことかな。後輩とももっと話したいと思っています」

―舞台の意気込みを！

「竜を男らしく演じたいと思っています。04よりもパワーアップするのでぜひ楽しみに待っていてください」

―秋も夏同様に忙しそうなんだけど、読書の秋はしてる？

「けっこう読んでます。僕のお薦めの1冊は湊かなえさんの『告白』です。絶対に1度は読んだ方がいいと思います。めっちゃはまると思いますよー」

―というわけで、長年登場していただいた『Kindai』も最終回です……。

「今まで連載を楽しみにしてくれてありがとうございます。『Kindai』はまた復活すると思うので、その時はまたお会いしましょう！ いつも楽しい現場でした。また一緒にやりたいです。ぜひ、やりましょー！」

フォト／光　スタイリング／手塚陽介　ヘアメイク／松樹（else..）



10月20日に開幕する舞台『D-BOYS STAGE vol.3 鴉～KARASU～10』。この日は残念ながら別の仕事の都合により来られなかった中村優一、瀬戸康史の2名を除くD-BOYS出演メンバーが集結。あらためて舞台へ向けての意気込みを高らかに宣言した!!

D-BOYS

YUYA ENDO / MASATO WADA / HIROFUMI ARAKI / SHINGO NAKAGAWA
TETSUYA MAKITA / MASAHIRO USUI / MASASHI MIKAMI /// D-BOYS ///

鴉
KARASU

鴉KARASU 10 決起集会!!





遠藤雄弥
YUYA ENDO

'87年3月20日。神奈川県出身。身長171cm。血液型 B型。

A 1　細谷十太夫直英。鴉組隊長です。
A 2　木刀を振りかざしていました。
A 3　殺陣。やることがたくさんあります。
A 4　武士としての生き方。
A 5　遠藤雄弥が細谷役を演じるところ。
A 6　全員。もっともっとみんなの人としてのおもしろさを知りたいので。
A 7　ピエロでいたい。周りのバランスを大切にしたいから。
A 8　今回のメンバーみんなに注目してもらいたい。みんなの良いところ、人間としての面白味をみなさまにご覧いただきたいです。
A 9　やはり俳優として色んな所に視点を置いて生活していきたいです。
A10　特にな
A11　僕が17歳くらいの時から大変お世話になったKindai。本当に本当に残念でなりませんが、いつか絶対復活することを僕は願っています。みなさまもどうぞよろしくお願いします。鴉10回頑張ります!!

YUYA ENDO

＜Question＞

Q1 Dステの役名と役柄を教えてください。
Q2 稽古に入る前にこの舞台のために自主的にやってたことは？
Q3 稽古でいま一番苦労してるところは？
Q4 役作りで今後やっていこうと思っていることは？
Q5 04とはここが違うという自分の役柄のポイントは？
Q6 稽古でもっと交流を深めたいメンバーとその理由は？
Q7 今回のメンバーのなかで自分の立ち位置は？(例えばリーダー、つっこまれ役など)
Q8 どこに注目して観てもらいたいですか？
Q9 プライベートではどんな秋にしたい？
Q10 舞台以外でお仕事の告知をどうぞ。
Q11 残念ながらKindai休刊で最終号となります。読者にメッセージを。

YUYA ENDO
MASATO WADA
HIROFUMI ARAKI
SHINGO NAKAGAWA
TETSUYA MAKITA
MASAHIRO USUI
MASASHI MIKAMI
/// D-BOYS ///

Information

D-BOYS STAGE vol.3　鴉～KARASU～10
東京(青山劇場)：10月20日～25日
大阪（シアターBRAVA!）：10月31日～11月1日
現在立見席のチケット発売中! 詳細は［HP］http://www.d-boys.com

フォト／久保田司（本誌）　スタイリング／手塚陽介
ヘアメイク／小林ちえ、松樹（else..）





荒木宏文
HIROFUMI ARAKI

HIROFUMI ARAKI

'83年6月14日生まれ。兵庫県出身。身長175cm。血液型O型。
主演映画『華鬼』は今秋公開予定。10月23日DVD「D-BOYS BOY FRIEND series vol.4荒木宏文」発売。『ズキアラファイナル！ 鈴木裕樹・荒木宏文写真集』発売中。

A１　寅吉。バクチ好きなヤクザ。
A２　特にありません。稽古に入った時、気持ちを切り替えられるようにフラットにいるようにしていました。
A３　自分とまったく違うカラーを持った寅吉との和解です（笑）。
A４　はみだした人生を送ること。
A５　ありません。ちゃんと寅吉にします!!
A６　いません。一定の距離感は保っていたいです。
A７　ある意味、ムードメーカー。
A８　全体の流れですね。
A９　ゆっくりした生活。
A10　11月に映画『華鬼』が公開!!　よろしく！
A11　Kindai読んでいただたことにより僕たちD-BOYSを知っていただけたと思います。この出会いを大切に、これからも頑張りますのでまたどこかでお会いしましょう。そしてまたKindaiという素敵な場所でお会いしましょう。

和田正人
MASATO WADA

MASATO WADA

'79年8月25日生まれ。高知県出身。身長172cm。血液型O型。
bayfm『D-RADIO BOYS featuring D-BOYS』（毎週土曜23:00～23:27）OA中。

A１　吾郎。誰よりも人情に厚いおちゃめなおっさんです。
A２　実際にどれだけ真剣な気持ちで愛を持って人と関われるか。
A３　キャラクター同士の関係性。
A４　距離感を見せる作業。
A５　どこか憎めない、人情に厚いおちゃめさです。
A６　瀬戸康史。人としての奥深さに興味がある。
A７　縁の下の力持ち……になれるように努力します（笑）。
A８　戦がまだ当たり前のようにある世にあった、人情を重んじる人間たちのハートウォーミングなドラマに期待してて下さい。
A９　プライベートがないくらい、どっぷりと鴉10の空気につかります。
A10　まだ内緒！
A11　次にお会いするするときは、僕たちも読者の皆さんもそしてKindaiさんも更に更に成長した姿でお目にかかれることを楽しみにしてまーす。





牧田哲也
TETSUYA MAKITA

'84年6月7日生まれ。愛知県出身。身長175cm。血液型B型。
NHK『趣味の園芸』（日曜 8:30〜）、テレビ東京系『和風総本家』（毎週月曜20：00〜）。
映画『書の道』今冬劇場公開予定。

A1　堀田半兵衛。
A2　時代劇のDVDを観ました。
A3　薙刀の扱い方です。
A4　やっぱり薙刀をしっかり扱えないと役として説得力がないと思うので、しっかりやっていきたい。
A5　意識しないようにしてるので自分ではわかりません。観てくれる方がそれを観て感じて楽しんでくれればうれしいです。
A6　10メンバーみんなです。みんなで稽古や本番を楽しみたい！
A7　つっこみ担当です。
A8　鴉という脚本の新しい魅力を出したいし、それを観てもらいたいです。
A9　本当は北海道の秋を感じたかった……。
A10　『書の道』という映画がもうすぐ公開なのでぜひ観てください。めちゃくちゃおもしろくなってますよ！
A11　今までありがとうございました。休刊ということで復活を心待ちに僕は頑張っていきたいと思います。復活する頃にはもっともっと上に行っていたいです。これからも宜しくお願いします。

中川真吾
SHINGO NAKAGAWA

'83年5月8日生まれ。栃木県出身。身長171cm。血液型AB型。
『仮面ライダーW』（テレビ朝日系・毎週日曜 8:00〜）に出演中。

A1　大嶽修造役。長州藩士・騎兵隊第十三小銃隊隊長です。
A2　筋トレ。
A3　殺陣。
A4　神道無念流の師範代の腕と言われるほどの達人なので、とにかく殺陣を頑張って説得力のある人になっていきたいと思います。
A5　それはお客さんの判断におまかせして、自分ではあまり意識しないでいきます。
A6　山口賢貴(D2)くん。部下であり副隊長の久我との信頼関係を作っていきたいし、お互いを知っていきたいです。
A7　癒し!?（と、マッキーに言われました）
A8　細谷との対決シーンです。
A9　食欲の秋！
A10　『仮面ライダーW』に出演しています。ぜひ観てください！
A11　ありがとうございました！　また会える日を楽しみにしています。





三上真史
MASASHI MIKAMI

'83年6月20日生まれ。新潟県出身。身長177cm。血液型A型。
映画『アンダンテ～稲の旋律～』は今冬公開予定。

A 1　乾進之介。副隊長です。
A 2　筋トレ。
A 3　殺陣。
A 4　自分の中にある侍の魂を引き出すこと。
A 5　武士以外認めないという武士の中の武士です。とことん冷徹な男を演じます。
A 6　全員です。カンパニーが一致団結してこその舞台なので。
A 7　役柄は冷徹な副隊長ですが、心は誰よりも熱血な侍です。そこは俺自身と同じです。
A 8　鴉組の生き様。そこにある現代の若者へのメッセージ。
A 9　鴉一色の秋となるので自分の時間を大切にして、オンオフ、メリハリのついた秋にしたいです。
A10　映画『アンダンテ～稲の旋律～』が今冬公開予定です。
A11　皆さん、Kindaiさん、本当にお世話になりありがとうございました！　休刊は寂しいですが、必ずまたKindaiさんとお仕事できるのを楽しみにしています。またこちらでお会いしましょう！

碓井将大
MASAHIRO USUI

'91年12月3日生まれ。東京都出身。身長175cm。血液型B型。

A 1　宗次。武士に消極的な農民役です。
A 2　半日くらい水を飲まなかった。
A 3　お芝居全般です。
A 4　周りとの距離、兄ちゃん（中村優一）との距離。
A 5　僕は考えて動く人だから、何か……わかんない（泣）。
A 6　10メンバー全員！　10ファミリー全員!!
A 7　最年少。足を引っ張り役かも（苦笑）。
A 8　オープニング。私。
A 9　鴉10中心の秋！
A10　……。
A11　Kindaiでは１年以上もの連載を頂いていました。知ってる方もいるかな??　僕なりに頑張ってきて、自身のこともいっぱい話して、読者の皆さまに伝えてきました！　これだけ頑張ってこれたのもKindaiの読者の皆さま、スタッフさんのおかげだと思っています！　これからの碓井将大にも注目して頂けると嬉しいです。See you again...

フォト・コレクション

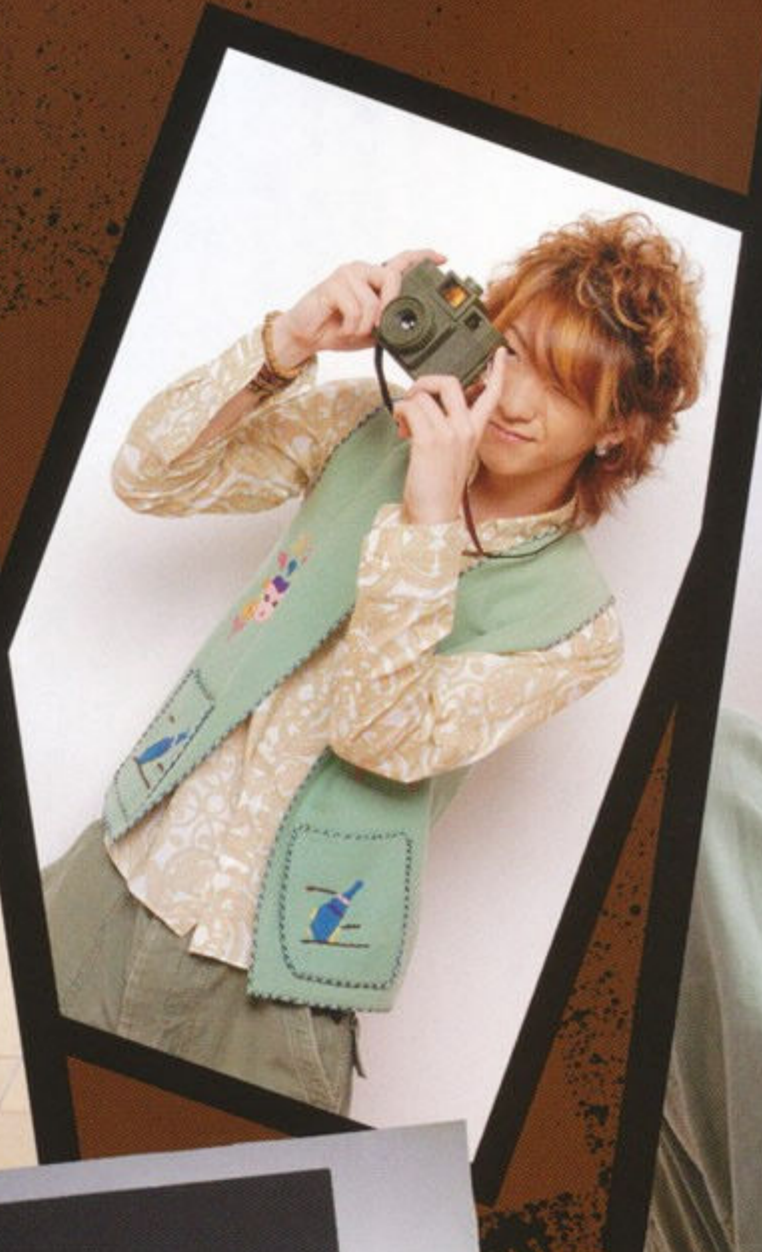
最近トイカメラにハマっている公輝。
お気に入りのカメラ片手に「ハイ、ポ～ズ」

前田公輝



GOKI MAEDA







GOKI MAEDA





――これがお気に入りのトイカメラ？

「〝Ｈｏｌｇａ120〟です。映画の打ち上げでいただいて。被写体は風景が多いですね。あと逆光写真」

――実験的な感じなんだ。

「このカメラ自体おもしろくて、フラッシュの色が変えられるんです。ダイヤルを回せば、赤や青のフィルターをかけることができて。空を撮るときに、手をかざして赤色のフラッシュにすると、手だけ真っ赤で空は青く撮れるんです」

――おもしろいね。いつも持ち歩いてるの？

「ロケに行くときは持ち歩いてます。撮影の待ち時間とかに撮ったり」

――あとは何を撮る？

「駅にある行き先の看板を、真っ赤で撮ったりしましたね」

――公輝くんのセンスだ。

「いつも例えに出すんですけど、和洋折衷みたいのが好きでなんです。金閣寺の前にいる外国人とかを撮りたいんです（笑）。そんな組み合わせが好きです」

――このカメラ以前にハマっていたものはある？

「小さいころから年中無休、はやっているのはボーリングです。ボーリングは永遠の趣味（笑）。あまり上手じゃないから、趣味なんですけど」

――何ゲームぐらいするの？

「6ゲームはしますね！」

――すごいなぁ。疲れない？

「結構疲れます（笑）。だから、最後の6ゲームめは、すごいカーブ（笑）」

――手袋とか、ボーリンググッズは持ってる？

「実はマイボールを持ってるんです！　使ったことはないんですけど（笑）。ポイントカードが溜って、2000円で購入しました。あるボーリング場に、僕のマイボールがありますよ（笑）」

――まさか、マイボールとは思わなかった（笑）。

「あと、場内がブラックライトになって〝ストライクをとったらプレゼント！　行きますよー〟みたいなパフォーマンスタイムがあるんですけど、そのときにストライクをとったことがあって、ボーリングの玉の形をした時計とか、写真立てをもらいました」

――上手なんだ。

「いや、ブラックライトになったことで、盛り上がって（笑）。僕はそのマイクの人と、会話するんです。肩を組んで一緒にマイクパフォーマンスですよ。隣のレーンの人とも仲良くなります（笑）。そのとき以外はあまりスコアが良くないんですけど、景品がかかると強いみたいです（笑）」

――そうなの（笑）。では『Ｋｉｎｄａｉ』の思い出を教えて。

「お台場の〝マッスルパーク〟に行ったのは印象に残っていますね（２００９年6月号）。そのとき、雑誌の力はすごいなと思いました」

――どういうこと？

「失敗しても、何度も挑戦できる（笑）。」

――（爆笑）。

「次の日も筋肉痛になるぐらい、本当に楽しくて。周りのみんなも〝いける！　いける！〟って僕をあおるので。大量の汗をかいたのを覚えています。この汗のせいで、100パーセントの力を出せなかったのは残念。筋肉キャラでもないのに、がんばりました（笑）」

――最後に、読者にメッセージを。

「この1年間、髪型がいっぱい変わって、毎号新しい僕を見てもらえたんじゃないでしょうか。この雑誌でプライベートな部分をたくさんお見せできたと思います。これからも応援よろしくお願いします！」

Information

<テレビ>『ペット大集合！ポチたま』（テレビ東京系・毎週金曜19:00～）<DVD>『ひぐらしのなく頃に』、『愛流通センター』（発売中）<ケータイ公式サイト>http://horipro.jp/mg/



フォト／久保田司　ヘアメイク／KEIKO　スタイリング／田中栄治
衣裳／EAT（TEL03-5256-2821）

恐れ入りますぅ。大江裕(ゆたか)と申します〜ぅ。

『さんまのSUPERからくりTV』で注目を浴びて以来、コンサートには高校生の姿も見られるなど若い世代にもウケている「恐れ入ります〜ぅ」の演歌歌手、大江裕。デビューシングル『のろま大将』（日本クラウン）を9月2日に再発売しました〜！

――今年の2月にシングル『のろま大将』で念願のデビューを果たした大江くんですが、9月2日にはその曲をプロモーションビデオ付きでニュー・リリースされますね！

「おかげさまでありがとうございます〜ぅ。北島三郎先生が作ってくださった曲ですが、僕の普段の姿が表現されています。僕はやることが普通とはずれていたり、失敗が多いんです。高校生のときに出場したカラオケ大会では8回も落選して挫折を味わった経験もありますし、兄弟なのにお兄ちゃんと弟の名前を間違えたり（笑）。本当に“不器用でごめんなさいね”という感じなんです（笑）。だから、自分への応援歌としても歌わせていただいていますし、聴いてくださる方にも“また明日から頑張るぞ！”と思っていただけたら嬉しいです」

――プロモーションビデオはどんな仕上がりですか？

「大阪へ里帰りをしたときに撮影したんですが、僕の思い出の場所が全部ギュッと詰まっています。大阪城、通天閣、僕が毎年参加していた、だんじり祭の映像も入っています」

――おみこしを担いでいたんですか!?

「いえ。お母さま方と気が合うようですし、お料理をするのも好きなので婦人会で炊きだしをしていました（笑）。DVDには婦人会の方も出演していただきましたので、大阪での僕の生活を知っていただけると思います。ぜひご覧ください！」

――『のろま大将』は、演歌になじみの少ない若い世代でも、とても聴きやすくてすぐに覚えられる曲ですよね。これからも素敵な演歌を聞かせてください！

「1曲1曲を100％の力で歌って少しでも早く多くの人に認めていただき、みなさんも僕と一緒に歌ってくださるような、お客さんとキャッチボールができる歌手を目指します。そして、みなさんがどんなときも何かを目指して輝く力を少しでも与えてあげられるよう、人の心をふるわせられる歌手になるために、これから一歩ずつ歩いていきたいと思っております。どうぞ応援よろしくお願いいたします〜ぅ」

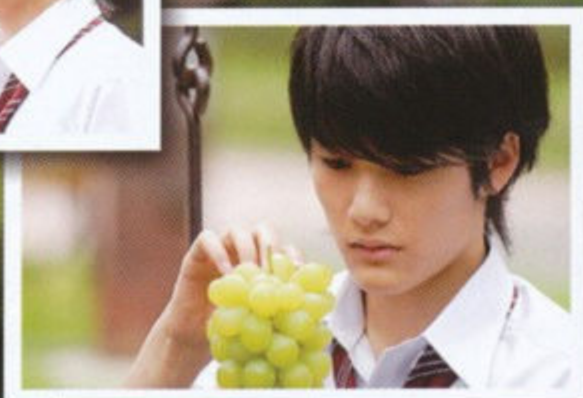


Profile／1989年11月16日生まれ。
大阪府岸和田市出身
さんまのSUPERからくりTV
（TBS系　毎週 日曜 19:00 - 20:00）
<ブログ>恐れいります〜ぅ。大江裕です
http://ameblo.jp/oeyutaka/

YUTAKA OOE
大江裕

フォト／野々村智夫　文／恒川めぐみ





明日への第一歩!!

10月よりTBSネット放送goomoで放送される『キラキラ☆男子学園』（10月より毎週更新）の第一回目に出演する甚儀くん。ドキュメンタリータッチなこの番組では素顔の甚儀くんがいっぱい。初収録の現場におじゃましました!



●今日は『キラキラ☆男子学園』の初収録日でした。この番組はTBSネット放送goomoでOAされる、ドラマとドキュメンタリーがミックスされたものになっています。僕たちキラキラ男子学生が今どんなことに興味を持ち、何を考えているかを知ってもらえるはずです。まず始めにこの学園に入るオーディションがありました。「あなたがしていて一番キラキラすることは何ですか？」や「自分のどこがキラキラしてますか？」とか質問を受けたり、写真を撮ったり特技を披露したりしました。

●ただ、質問はやっぱり女性に関することが多いんです。僕はまだ高校1年生で人生経験も浅いので（笑）、だから、何とか答えを搾り出して頑張ったんですが……（苦笑）。これからは、まだ恋愛経験がない純白な感じを全面に押し出していこうかなと思っています。もっと個性を出していきたいし、共演者の方たちともコミュニケーションをとって頑張っていきたいです。

●今年の夏休みはなかなか時間が合わなかったので、友達と1度も遊べませんでした……。前半は1人で出かけて、洋服やDVD買ったりしてました。あ、『ブルーマン』観に行きました。すごくおもしろかったですね。異次元の世界にいるような、普段の人間の生活の視点では見ないところをついてるんです。でも、夏休みも後半になると宿題が終わっていないというモヤモヤ感で遊びに行く気がしなかったです。近所を散歩したくらいです（笑）。ただ、最近ものの見方が変わって、ここの場所で撮影したらおもしろそうだなとか想像しながら歩いてます。

●ハロウィンにディズニーランドに行くのが夢だったので、今年こそ行きたいです。『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』っていうディズニーのアニメーションがあるんです。小学校1年生のときに観て主人公の骨のジャックにはまって、それ以来いろんなグッズを集めてるんです。ハロウィンのときはジャックが主役なんですよ。ひとりで？ 寂しすぎますね（笑）。



PROFILE

'93年5月18日生まれ。東京都出身。身長181cm。血液型O型。映画『ごくせん THE MOVIE』に松下直也 役で出演。携帯サイト「研音Message」で日記、オリジナルギャラリーなど携帯サイト限定のコンテンツを多数配信中！

JINGI IRIE
入江甚儀

フォト／久保田司（本誌）

永遠の青春BOYS

箱根駅伝を目指しす若者たちを描く映画『風が強く吹いている』（10月31日より全国ロードショー）に、ジョータ（城太郎）とジョージ（城次郎）の双子役で出演する祥太＆慶太。相変わらずやんちゃな2人は、永遠の青春BOYSなのだ！

斉藤祥太×斉藤慶太





KEITA SAITO ……… 斉藤慶太



SHOTA SAITO …… 斉藤祥太

'85年11月18日生まれ。神奈川県出身。身長170cm。血液型AB型。TBS『王様のブランチ』。ユニバーサル ピクチャーズ制作『Scott Pilgrim vs the world』（エドガー・ライト監督／主演　マイケル・セラ　メアリー・エリザベス・ウィンステッド／カタヤナギ　ブラザース ケイル役　2010年公開予定）。[ブログ] 斉藤慶太の浜っ子ブログhttp://blog.freak-web.jp/keita/

'85年11月18日生まれ。神奈川県出身。身長170cm。血液型AB型。TBS『王様のブランチ』。ユニバーサル ピクチャーズ制作『Scott Pilgrim vs the world』（エドガー・ライト監督／主演　マイケル・セラ　メアリー・エリザベス・ウィンステッド／カタヤナギ　ブラザース ケン役　2010年公開予定）。[ブログ] 斉藤祥太のメンカタ http://blog.freak-web.jp/shota/

――まずは、映画『風が強く吹いている』について教えて。この作品は故障のために走ることをあきらめた元天才走者と、事件を起こし競技から遠ざかった天才走者、そして陸上経験のないド素人の総勢10人が、箱根駅伝を目指す青春ストーリーだよね。撮影は大変だったでしょ？

祥太「大変っていっても走るのみですから。ただそれが一番苦労したところでもありました。慶太には負けたくなかったですからね。それはいくつになっても変わりません（笑）」

慶太「初日にいきなり5キロ走ったんです。走る大変さを改めて感じた日でした。調子にのって最初飛ばしてたんですよ。無事に走れきりましたが、走るのってほんと大変なんだなと思いました。息が苦しいとかそういうことじゃなくて、もう一歩も足が前に出ないんです」

祥太「小さい頃にマラソン大会に出たことがあったし、けっこう自信がありました。でも気分が悪くなり精神的にも体力的にもへこんで、このままではまずいな思い〝祥太、お前はそんな男だったのか？〟と火がついて走りこみが決定しました（笑）。ただ、撮影期間が合計半年くらいだったんですが、途中で2カ月くらい開いたんです。その期間はそれぞれ自主トレなんですけどそれがきつかったですね」

慶太「撮影がないのに走るんですよ」

祥太「他のメンバーみんなが走ってるので気を抜くわけにはいかないんです。10キロのマラソン大会も控えてたし」

慶太「タイムも1時間きらないといけないと決まってたから頑張りました。ホームページに今日自分は何キロ走ってどんなコンディションだったかというのを登録しないといけなかったんです。プレッシャーでしたね」

――小出恵介、林遣都、中村優一、川村陽介、ダンテ・カーヴァーほかの共演者のみなさんとのコミュニケーションは？

慶太「寮生活みたいな感じだったので息はぴったりでした。みんなの中にダンテとかがいてもまったく違和感がなかったんですよ」

祥太「空き時間にはトランプや将棋をやったりもしましたが、実は走ってる時にコミュニケーションがすごくとれることに気づきました」

――みどころを教えて。

慶太「みんなでいるときのジョータとジョージと、2人だけのシーンとは違う空気感が出てると思うのでそこに注目してほしいです。あとはそれぞれ区間20キロ走ってるので、その20キロをどう戦ってるか見てほしいですね」

祥太「走ってるところもそうですけど、僕はハナちゃん（水沢エレナ）に恋をして、彼女のために箱根駅伝を走るくらいの勢いなんです。だから、そっちの芝居も見てほしいです」

祥太「2人ともけっこう好き勝手にやっていい役だったので、台本に書いてあること以外のアドリブを入れたりもしてました」

祥太「辛い思いをして走ってるみんなの姿には絶対感動してもらえると思います」

慶太「寛政大学の駅伝部に密着したドキュメンタリー映画という面もありますが、最終的には熱くなれる映画になりました」

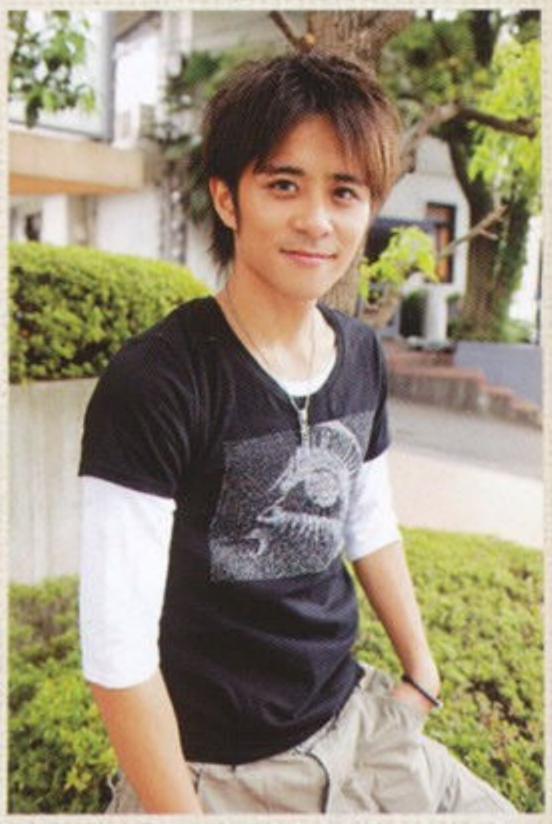
祥太「いままで箱根駅伝にはあまり興味がなかったんです。お正月はいつも旅行に出かけてたので（笑）。でもこの作品をやったことで、箱根駅伝に関するいろんな知識が入ってくるじゃないですか。最後には箱根駅伝が大好きになりました。早くもお正月が待ち遠しいです（笑）」

慶太「共演者のみんなとすごく仲良くなれたしこの映画と出会えてよかったです。あとは、僕たちの頑張りをみなさんにみていただくだけだと思いますので、ぜひよろしくお願いします」

祥太「青春を分かち合いましょう」

KEITA ………… SHOTA





フォト／光

今月は「芸術の秋」をテーマに、
あだっちぃーのお気に入りグッズをご紹介！
マンガ『風神怪盗ジャンヌ』は
みんな知ってる？

あだっちぃーのお気に入り

足立梨花
Rika Adachi

Rika's favorite!





――まずは、マンガ『風神怪盗ジャンヌ』について教えて？

「女子高生が主人公のお話なんですけど、普通の女子高生じゃなくて、ジャンヌは怪盗で、絵の中の悪魔を退治するんです。説明が難しいなぁ。『りぼん』で連載していたマンガなんです」

――あだっちぃーは『りぼん』派？

「『りぼん』大好きです！ 特に『風神怪盗ジャンヌ』を書いた種村有菜さんの作品が好きで、コミックはほとんど持っています！」

――『ママレード・ボーイ』は？

「最近、2巻までをもらって。読んだらすっごくおもしろいから、あと3冊を自分で買いました。今はお気に入りのマンガです！」

――音楽はB'zがお気に入りなんだ。

「お母さんがB'zさんを大好きで、アルバムCDは全部あります。車で出かけるときには、必ずB'zさんをかけていたので、私も自然と好きになりました」



――ライブに行ったことはある？

「まだないんです（涙）。なかなかチケットが取れなくて。ステージから席が遠くて、稲葉さんがちっちゃくしか見えなくても、〝生歌〟を一度聴いてみたい！」

――AKB48は？

「映画『愛流通センター』でAKB48のともちん（板野友美）ちゃんと共演して、そのときに曲のこととか、いろいろ教えてもらいました。ともちんかわいい！ ともちんが推メンです（笑）。AKB48の曲はノリがよくて、振りも覚えやすいから全曲好きです。カラオケに行ったら、みんなで振りを踊る！みたいな（笑）」

――（笑）。

「日本武道館ライブも行ったんです。なんとアリーナ1列目！ メンバーみんなの顔がばっちり見えて、超感動しました！」

――すごいね！ 映画は『パイレーツ・オブ・カリビアン 呪われた海賊たち』が好きなんだ。これは第1作目だよね？

「全シリーズ観たけど、家族と話しても〝呪われた海賊たち〟がやっぱりいいよねって」



――家族で観に行ったの？ 仲がいいんだ。

「そう、全シリーズ家族で観に行きました。〝デッドマンズ・チェスト〟と〝ワールド・エンド〟は話がつながってるけど、〝ワールド・エンド〟を観るまで間があいてたから、ちょっと……、ストーリーを忘れちゃって（笑）」



――ははは（笑）。

「この映画は、字幕で観た初めての映画なんです。この映画のおかげで、字幕で映画を観れるようになりました。日本語吹き替えだと、声のイメージが違うから、字幕を目で追う方が好きです」

――いろいろ紹介してもらったけど、この中でひとつだけ選ぶとしたら？

「どれも好きだから難しいなぁ。うーん、『風神怪盗ジャンヌ』かな。本当に『りぼん』っ子なんで。この前、どれだけ残っているのか、家にある『りぼん』の付録を集めてみたんです」

――（笑）。うんうん。

「そうしたら、紙袋いっぱいになりました（笑）。自分でもビックリ。応募者全員プレゼントでもらった帽子とかもあって。しかも、いまだに使ってるんです！」

――あだっちぃーが全プレの帽子を使ってるの！

「これが意外といけるんです（笑）」

――最後に『Kindai』との思い出を教えて！

「毎回撮影が楽しかったです。私が納豆やいちごの物が好きだとインタビューで言ったら、次の撮影現場に納豆の差し入れや、いちごの小道具を用意していただいて」

――編集も楽しんでいました（笑）。

「あと、毎月『Kindai』を楽しみにしていただいている方々から、ブログに書き込みがあるんです。〝Kindai〟かわいかったよ〟って。すごく嬉しい！ みんな見てくれてるんだなぁって励みになりました。これからも応援よろしくお願いします！」



Information

<CM>『あいのり』コンピレーションアルバム<映画>『非女子図鑑』<DVD>『スクラップ・ティーチャー〜教師再生〜』、『愛流通センター』<ブログ>http://rika-adachi.blog.so-net.ne.jp/

フォト／杉田重男(SUGITA PHOTO OFFICE)　ヘアメイク／香藤恭子（アルール）　スタイリング／奈雲恵里



西内まりや

mariya nishiuchi

ナルミヤ・インターナショナルの
新ブランド『Lindsay（リンジィ）』の
イメージモデルに決定した
西内まりやちゃん。今回はそんな
まりやちゃんに定番の質問。"○○の秋と言えば？"
ということで、食欲、スポーツ、
芸術、行楽、そしてファッションの秋
について聞いてみました。

fruitful days





まずはやっぱり食欲の秋。

秋と言えば、まずは食欲の秋（笑）。私、お鍋が大好きなので、1年を通してお鍋を食べてます。もちろん、真夏でも関係なく。暑い時期は汗をたくさんかいてフーフー言いながら食べるのが、またいいんです（笑）。私がお鍋の中でいちばん好きなのは"もつ鍋"。博多育ちなんで、ちいさい頃からもつ鍋は定番のお料理で。でも、上京してきてからは、なかなか食べられないのがちょっとだけ残念。今、おいしいお店を探してるところです。ちなみに秋と言えば果物もおいしい季節。果物は全般好きなので、ご飯を食べた後のデザートによく食べてます。秋の果物と言えば……やっぱり、柿ですね。私、柿も大好きで。柿を食べると、"ああ、秋が来たんだな"って思います。



fruitful days



秋はお出かけするのも楽しいです。

とは言え、夏休み中もたくさん遊んだんですけど（笑）。この夏はゆかたを着て友達とお祭りに行ったし、姉と姉の友人の方といっしょに、川でバーベQをしたりもしました。バーベQでは、私は焼きそばを担当。みなさんからは"手際がいいね"とほめられて。普段からよくお料理のお手伝いをしていたので、意外なところで役に立ちました（笑）。あ、そういえばこの間、お仕事で初めて秋田にも行ってきて。時間があまりなかったので観光まではできなかったんですけど、名物のきりたんぽを食べることができて良かったです（あれ、なんだか食欲の秋に話が戻ってるような……）。

Information

〈HP〉http://www.visionfactory.jp/ 〈ブログ〉『おしゃレシピー』http://mariya.vision-blog.jp/

フォト／久保田司　スタイリング／佐藤美仁子
ヘアメイク／岡本佳織（art factory）
衣裳／JILL by JILLSTUART（TEL03-5467-9881）、Dgrace（P/X　TEL03-5469-6420）、charlotte ronson（TEL03-5467-1889）



西内まりや、もともとスポーツ少女です。

小さい頃からバドミントンをやってきたので、スポーツは大好きです。最近は、週に1回、ダンスのレッスンに通ったりしていて。ジャンルはヒップホップ。ストレッチから始めて、全部で約1時間半くらいかな。いつもいい汗をかいてます。

芸術の秋、音楽の秋。

音楽は聴くのも、自分で演奏するのも楽しいですよね。聴く方は、洋楽だとニーヨさん、マイリー・サイラスさん、邦楽なら安室奈美恵さん、加藤ミリヤさんを聴くことが多いです。演奏する方はピアノ、それからギター。ピアノは小学2年生から中学2年生まで習っていたので、今でも家でよく弾いたりしています。ギターはと言えば……う〜ん、最近はちょっとご無沙汰してるので、またやり始めようかなと思ってるところ（笑）。ギターはアコースティック、エレキの両方を持っていて。ちなみにエレキギターのアンプは、姉からの誕生日プレゼントなんです。





深まる秋とともに、ファッションの季節もやってきます。

ファッションは私にとって、すごく大切なもののひとつ。これから深まってゆく秋に向けて、どんな格好をしようかなって、今考えているところです。ちなみに私、初めてブランドのイメージモデルを務めることになりました。名前は『Lindsay（リンジィ）』。ちょっと大人っぽいものからすごくかわいいものまでいろんな服が揃っていて、私自身も"これ、欲しい！"というものばかり。絶対におすすめなので、ぜひチェックしてみてください。9月26日には一日ショップ店長をすることも決定（※詳細はHPにて）したので、みなさん、遊びに来てくださいね。






mariya
nishiuchi



Shioli Kutsuna & Emi Takei

最終回

汐里＋咲の 表参道通信

第11回全日本国民的美少女コンテスト出身で、ともにドラマや映画などで活躍する忽那汐里ちゃんと武井咲ちゃん。このコーナーではそんな2人の情報をみなさんにお届けします。

Shioli Kutsuna
Emi Takei

Emi Takei Profile

生年月日／'93年12月25日 出身地／愛知県 血液型／A型 活動歴／第11回全日本国民的美少女コンテストモデル部門賞・マルチメディア賞W受賞<映画>『櫻の園』水田真紀役<ドラマ>『オトメン（乙男）』（フジテレビ／毎週土曜夜11時10分～　※10月より毎週火曜夜9時～）橘久利子役<雑誌>『SEVENTEEN』専属モデル

・ドラマ『オトメン』出演中・

――第9話からタイトルもあらたに、火曜夜9時よりOAになったドラマ『オトメン（乙男）』。

「タイトルやOA時間は変わりましたが、おもしろさは前と変わらずだと思います。むしろ、よりパワーアップしてるんじゃないかなと思いますね（笑）。私も視聴者のひとりとして、OAを見るのが毎回楽しみなんです」

――撮影現場の雰囲気も、相変わらずすごくいいんだってね。

「現場は明るくて、いつもほんとに笑いが絶えない感じです。スタジオで撮影してる時は前室（※撮影スタジオ前の控え室）に出演者の方が掲載されている雑誌が置いてあるので、その本を読みながら、みんなでわいわい盛り上がったり。私がモデルを務めている『SEVENTEEN』が置いてあった時は、それを見た共演者の方から〝久利子の時とは全然ちがうね〟って言われました（笑）」

――（笑）ところで咲ちゃんはこのドラマで初めてセットでの撮影を経験したそうだけど、その感想は？

「おもしろいなって思いました。例えば教室のセットは、画面を通してみると本当の教室みたいに見えるんだけど、実はその裏にはカメラやたくさんの機材があるんですよね。セットでの撮影とロケでの撮影がうまく組み合わされて、全く違和感なくお話ができあがってるのもいつもすごいなって思ってます」

――そんな教室のシーンにはお笑い芸人さんも多数登場。お笑い好きの咲ちゃんにとってはたまらないんじゃない？

「そうですね（笑）。みなさん、撮影合間はずっとボケとツッコミの繰り返しなので、私も笑いっぱなしです。みなさんすごくおもしろいんですけど、個人的にはハライチの澤部さんがお気に入りです。澤部さんはやること全部がおもしろくて、見ているだけでなんだか幸せな気分になります（笑）」

――そっか（笑）。では最後に、そんな咲ちゃんからメッセージを。

「季節はもう秋ということで、私もおなかいっぱい、おいしい秋の味覚を食べたいと思います。私が橘久利子役を演じているドラマ『オトメン（乙男）』も、ぜひ引き続き楽しく見てください！」

フォト／小澤太一　●ファンレターの宛て先→〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道ビル4F オスカープロモーション
●HP…http://www.oscarpro.co.jp

STARDUST GIRL PRESS
スタ★プレ

この連載『スタ☆プレ』では、スターダストプロモーションに所属している話題の美少女をご紹介。最終回となる今回は、5人組の美少女ユニット“私立恵比寿中学”が登場です。

最終回
私立恵比寿中学

——まずは、“私立恵比寿中学”について。

真山りか「かわいくて元気な、女の子5人組のユニットです」

瑞季「名前の通り、“私立恵比寿中学”のテーマは“学校”です」

奏音「私立だけに普段着る衣裳もちょっとお嬢さまっぽい感じかな」

宇野愛海「メンバーはみんな、明るくて楽しい女の子ばかりです」

宮﨑れいな「メンバー5人とも、すっごく仲良しなんです！」

——これからメンバー5人でどんなことをしてみたい？

れいな「ライブやイベントを中心にいろんな活動をしてみたいです」

りか「観に来てくれたみなさんに満足してもらえるよう、歌とダンスをがんばっていきたいです」

奏音「いつかライブで、自分たちが作った歌も唄ってみたいな」

愛海「ライブの他に、テレビや雑誌にもたくさん出てみたいです」

瑞季「できるだけたくさんの人にエビ中のことを知ってもらえるよう、がんばりたいと思います」

——ちなみに、それぞれ“私立恵比寿中学”では何委員なの。

奏音「私はエビ中の委員長です。でもしっかりしてるかと思いきや、メンバーに言わせると、ちょっと“天然”らしいです……（笑）」

瑞季「メンバーの中では副委員長をしています。みんなにツッコミを入れる役割です（笑）」

愛海「私はエビ中の図書委員をしています。メンバーの中ではどうも“不思議ちゃん”タイプみたいです」

れいな「私は給食当番になりました（笑）。キャラクターとしては“いやし系”だと思います」

りか「エビ中での役割は集会委員で、ライブのMCを務めています。普段の私は、ひとことで言うと“ハイテンションガール”ですね（笑）」

——では最後に読者へメッセージ！

愛海「エビ中の中で最年少の愛海です。持ち前の明るさでライブを盛り上げて、みなさんに楽しんでもらえるようにがんばりたいです」

奏音「マイペースでのんびり屋さんな奏音です。エビ中のメンバーのひとりとして、一生懸命がんばりたいと思います」

りか「ダンスがちょっと苦手なりかです。もっともっと練習して、みなさんにすごいと思ってもらえるようになりたいと思います」

れいな「メンバーの中でいちばん背が小さいれいなです。他のメンバーに負けないようにがんばるので、応援よろしくお願いします」

瑞季「歌にダンスに一生懸命がんばっている瑞季です。これからもエビ中のみんなで一致団結して活躍していきたいと思っているので、応援してください！」



★PROFILE★
- 奏音……生年月日／'97年2月7日　出身地／東京都　身長／155cm　血液型／A型
  活動歴／私立恵比寿中学出席番号1番　<PV>Crystal Kay『ONE』
  <雑誌>『ニコ☆プチ』（新潮社）モデル
- 瑞季……生年月日／'97年2月27日　出身地／神奈川県　身長／150cm　血液型／O型
  活動歴／私立恵比寿中学出席番号2番
- 宇野愛海……生年月日／'98年3月19日　出身地／栃木県　身長／148cm　血液型／A型
  活動歴／私立恵比寿中学出席番号3番
  <映画>YOSHIMOTO DIRECTOR'S 100『Whisper～だから彼女はささやいた～』（友近監督）
  <ドラマ>パナソニックドラマスペシャル『あるがままの君でいて』（TBS）榎本香織役
  <CM>東海漬物『きゅうりのキューちゃん～大釜篇～』
- 宮﨑れいな……生年月日／'97年8月24日　出身地／埼玉県　身長／145cm　血液型／O型
  活動歴／私立恵比寿中学出席番号4番　<雑誌>2009年度りぼんガール
- 真山りか……生年月日／'96年12月16日　出身地／東京都　身長／150cm　血液型／A型
  活動歴／私立恵比寿中学出席番号5番
  <テレビ>『お仕事タウン』（BS11）、『太田光の私が総理大臣になったら…秘書田中』（NTV）

フォト／小澤太一　●ファンレターの宛て先→〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町2-3コーポ天城201 スターダストプロモーション
●ブログ……『3年B組 School girl BLOG』http://ameblo.jp/schoolgirls
●HP…http://www.stardust.co.jp/section3/

授業料はKISS!?
ドラマ『イケない課外授業』



ケータイコミュニティサイトで人気投票第1位に輝いた最強のラブコメ・ドラマ『イケない課外授業』がDVDになって登場。主演のアイドリング!!!20号、大川藍ちゃんに観どころを聞きました！

――台本を読んでどう思った？

「まず、すごいなぁと（笑）。ドキッとするシーンが多くて。でも最後まで読むと、ドキッよりもキュンとくる感じの方が強かったです。主人公・茜と同年代の女の子が観ると、ワクワクできる、そんなドラマだと思いました」

――ドラマ出演は初？

「はい。この作品が初めてなので、すごく緊張しました。〝うまくできるかな〟という不安がありましたが、共演者の塩谷（瞬）さんが私の緊張をほぐすために、待ち時間にマジックをしてくださって（笑）。とても楽しい現場でした」

――ドラマを観た人の反響はどう？

「観ていてドキドキしたとか、あのシーンはどうやってたの？とか。私と同じ気持ちで観てくれた方が多くて、女の子が夢みるような〝ギュンキュン感〟を共感していただけたみたいです。ハグされてるのがおもしろかったって（笑）」

――茜ちゃんと似ているところは？

「おっちょこちょいなところです。茜ちゃんほどではないと自分では思っているんですけど（笑）。共通する部分が結構ありました。

――好きなシーンを教えて。

「聖くんと先生が私を取り合いするシーンです。茜ちゃんとしては緊迫したシーンなのに、大川藍としてだと優越感というか（笑）。〝俺のものだ〟なんて、人生ではないことです（笑）」

――役づくりは大変だった？

「お芝居をするのが初めてだったので、台本を何回読んでも棒読みになると思いました。だから〝茜ちゃんはこんな子〟というイメージをつくって本番にのぞみました」

――読者にメッセージを。

『イケない課外授業』はやっぱり〝イケない〟なんで（笑）、日常生活では起こらないようなことを体験できるドラマです。女の子が憧れるシーンがたくさんあるので、自分が茜ちゃんになった気持ちで観てくれたらうれしいです。

大川藍
A　I　O　K　A　W　A

Profile

生年月日／'93年7月17日　出身地／兵庫県　血液型／O型
活動歴／<CD>アルバム『Petit-Petit』（ポニーキャニオン）
<写真集>『アイドリング!!! 御一行様』（スクウェア エニックス）

フォト／野々村智夫

魔法のiらんどDVD イケない課外授業



STORY

彼と破局して落ち込んでいる茜は、気乗りしないまま参加した合コンで、謎のイケメンにくちびるを奪われた！ なんとそのイケメンの正体は……。

2009年9月25日（金）発売
価格：2,940円（税込）
発売元：アスミック
販売元：角川エンタテインメント





JURIAN BEAT CRISIS



15歳の現役女子高生・川上ジュリア率いる、高校生による高校生のためのロックバンド、JURIAN BEAT CRISIS（ジュリアン・ビート・クライシス＝JURI☆BE）が9月2日、デジタル・シングル『Go! Let, s Go!』でデビュー!!

―めっちゃ明るくて屈託ないんだけど、小さい頃はめっちゃ人見知りだったんだって？

「めっちゃ恥ずかしがり屋でした。それを直すために、（7歳の時に）ママが歌とダンススクールに入れてくれて。でも、いやいや通ってました。大好きなSPEEDさんの曲を歌う時も、マイクを隠しながら歌ってたり。だけど、小3の時に気づいたんです。あ、直りすぎたな～って（笑）」

―現在のジュリアにつながる道は、11歳の時に受けたオーディション『a-motion'05』からだよね。

「その時、友達は3次審査まで行ったけど、私は2次審査で落ちちゃって。それが悔しくて。それで本気になって、絶対友達よりも上に行く！って目標を持って、次の年の『a-motion'06』を受けたら……グランプリをいただきました」

―オーディション合格後もレッスンを重ねて、'09年9月2日、ロック・バンド【JURIAN BEAT CRISIS】のボーカルとして、リアルな高校生活を歌ったシングル『Go! Let, s Go!』（配信限定）でデビュー。10月21日には2ndシングル『ハリケーン☆ラブ』（配信限定）をリリース。今後、デビュー曲から12カ月連続配信。ちなみに【JURIAN BEAT CRISIS】のメンバーは、現在15歳の川上ジュリアのみ！（JURI☆BEと呼んでね！）

「『Go! Let, s Go!』は"スーパーオリジナル"な自分でいこう！というポジティブ元気になれる曲。主人公が私とめっちゃ近いな～って思ったんですけど、（作詞をした）渡瀬マキさん（LINDBERG）が、私をリサーチしてこの歌詞を書いてくださったと聞いて、なるほど～と（笑）。『ハリケーン☆ラブ』は恋のライバル出現！って感じ。叶わないとしても、夢みていたい、捨てたりしないっていうところが、恋に限らず共感できると思います。（12カ月連続配信の）全曲にPVが付くので、動くジュリアも観てもらいたい。なので、着うたフルをとりつつ、着ムービーも毎月とってもらいたいです（笑）」

―夢は？

「スーパーオリジナルな自分になる事です。誰かに似てるっていうのは嫌なので、自分らしさを出して、日本中の誰もが知っている【JURIAN BEAT CRISIS】になりたいです！」

Profile／川上ジュリア：「JURIAN BEAT CERISIS」のボーカル。'93年12月13日生まれ。北海道出身。血液型A型。好きな食べ物はばなな。9月2日配信、シングル『Go! Let's Go!』（ブルボン プチシリーズ TVCMソング）でデビュー。公式ホームページ　http://avex.jp/juribe/

高校生による、高校生のためのロックバンド

JURI☆BE デビュー!!

JURIAN BEAT CRISIS

フォト／野々村智夫

Kin-Topi

★アイドルの最新情報盛りだくさん!!★★★

AKB48

『AKB104 選抜メンバー組閣祭り』

AKB48初の日本武道館公演「AKB48 in 日本武道館 読売新聞135周年記念コンサート『AKB104選抜メンバー組閣祭り』」が8月22・23日に行われ、AKB48のチームA・チームK・チームB・研究生・SKE48のメンバーら総勢約100名が出席した。22日の公演前には、新曲『言い訳 Maybe』が報道陣に初披露。

前田「日本武道館という場所に立てるのは夢のまた夢でした。ここまで来れたのはファンの皆さんのおかげです」と語った。この日は新曲を含む30曲を熱唱。ファンに最高のパフォーマンスを見せた。







川島海荷 他

『携帯彼氏』



10月24日より全国ロードショーの映画『携帯彼氏』の完成披露記者会見と神田明神でのヒット祈願が8月11日行われ、川島海荷、朝倉あき、石黒英雄らが登場した。『携帯彼氏』とは、女子高生たちに口コミで広がった大人気携帯小説。

川島「驚くシーンをやったことがなくて、恐怖の表情は勉強しました。自分が怖いもの、ゴキブリをイメージしたり、監督から渡された恐怖の顔が集まっているDVDを見て絶叫しました」

神木隆之介 桜庭ななみ 他

映画『サマーウォーズ』大ヒット御礼舞台挨拶

8月1日に公開され、早くも観客動員数70万人突破を記念して、8月23日に大ヒット御礼舞台挨拶が行われた。神木隆之介、劇中の夏希をイメージした浴衣で登場した桜庭ななみ、そして細田監督が登壇。

桜庭「今日まで何度か舞台挨拶に立たせていただいたのですが、いつも沢山のお客さんが入っているので嬉しいです。『サマーウォーズ』を観たことが、皆さんの夏の思い出になったらいいな」



「64年の感謝をこめて Kindaiファイナルバックナンバーフェア」開催中!



最終号発売に合わせ、下記の書店におきまして、
Kindaiファイナルバックナンバーフェアを開催中です!
Kindaiのバックナンバーをゲットする最後のチャンスです。
ぜひ、足を運んでください! 期間：9/23～約1ヶ月間 (店舗により異なります)

開催書店一覧

【宮城県】仙台市／丸善仙台アエル店（022-264-0151）【東京都】千代田区／書泉ブックマート（TEL：03-3294-0011）書泉ブックタワー（03-5296-0051）／中央区／福家書店銀座店（03-3574-6993）【神奈川県】横浜市／栄松堂書店相鉄ジョイナス4F店（045-321-6831）【千葉県】千葉市／三省堂書店カルチャーステーション千葉（043-224-1881）【愛知県】名古屋市／星野書店近鉄パッセ店（052-581-4796）／豊橋市／精文館書店本店（0532-54-2345）【大阪府】大阪市／旭屋書店なんばCITY店（06-6644-2551）【岡山県】岡山市／本の森セルバ岡山店（086-234-6006）【広島県】広島市／紀伊國屋書店ゆめタウン広島店（082-250-6100）【福岡県】福岡市／りーぶる天神（092-713-1001）

【インターネット書店】JBOOK
http://www.jbook.co.jp/
携帯からはこちらから↓

画映代近 → Kindai

表紙でふりかえる History of 64 Years 64年間

Thank You!!

1945年12月、『近代映画』創刊。1996年6月号で誌名変更。そして2009年11月号まで、約64年間、その時代のスター、その時代のアイドルと『Kindai』は共に歩んできました。最後に、表紙を飾ってくださった約200人のスターの初表紙で64年を振り返ります。

Kindai Cover Gallery

1945



山田五十鈴：愛称は「デコちゃん」。1930年、映画『剣を越えて』でデビュー。2000年、日本の女優として初めての文化勲章を受章。代表作は、映画『祇園の姉妹』『母子像』、ドラマ『赤穂浪士』等。

1945年 創刊号 | **山田五十鈴** Kindai Cover Gallery #001

1946



藤田 進：1943年、黒澤明の監督デビュー作『姿三四郎』に主演。その後も黒澤作品で主要キャストを務めた。代表作は、映画『加藤隼戦闘隊』『虎の尾を踏む男達』『わが青春に悔いなし』等。

1946年 創刊2号 | **藤田 進・原 節子** Kindai Cover Gallery #002



上原 謙：1935年、映画『若旦那・春爛漫』でデビュー。佐分利信、佐野周二と「松竹三羽烏」と呼ばれた。代表作は、映画『浅草の灯』『愛染かつら』『めし』『煙突の見える場所』等。長男は加山雄三。

1946年 10月号 | **上原 謙・原 節子** Kindai Cover Gallery #003

1947



原 節子：戦前〜戦後の日本映画を代表する女優。1935年、映画『ためらふ勿れ若人よ』でデビュー。代表作は、映画『青い山脈』『麦秋』『めし』等。1962年、映画『忠臣蔵』を最後に引退。

1947年 2月号 | **原 節子** Kindai Cover Gallery #004



高峰秀子：愛称は「ベルさん」。1929年、映画『母』で子役デビュー。代表作は、映画『カルメン故郷に帰る』『二十四の瞳』等。映画『銀座カンカン娘』では主題歌を歌い歌謡史に残る大ヒット。

1947年 3月号 | **高峰秀子** Kindai Cover Gallery #005



浜田百合子：1946年、映画『民衆の敵』でデビュー。代表作は、映画『四つの恋の物語(第四話 恋のサーカス)』『四人目の淑女』『生さぬ仲』『荒木又右衛門 決闘鍵屋の辻』等。

1947年 6月号 | **浜田百合子** Kindai Cover Gallery #006



折原啓子：1946年、映画『彼と彼女は行く』でデビュー。代表作は、映画『花咲く家族』『娘十八嘘つき時代』『果しなき情熱』『恋しかるらん』『母の罪』『母系図』等。

1947年 11月号 | **折原啓子** Kindai Cover Gallery #007

1948



三浦光子：日劇ダンシングチームの一期生。1938年、映画界に転身。代表作は、映画『元禄忠臣蔵 前・後篇』『大曾根家の朝』『[illegible]妻』『明け富士 前・後篇』等。

1948年 2月号 | **三浦光子** Kindai Cover Gallery #008



高峰三枝子：1936年、映画『母を尋ねて』でデビュー。代表作は、映画『按摩と女』『暖流』等。歌う女優の草分けとして『純情二重奏』などが大ヒット。女優で初めてテレビ番組の司会も担当した。

1948年 5月号 | **高峰三枝子** Kindai Cover Gallery #009



木暮実千代：1939年、映画『愛染かつら』でデビュー。妖艶なヴァンプ女優として活躍。代表作は、映画『酔いどれ天使』『源氏物語』『祇園囃子』等。テレビのCMに出演した初の女優でもある。

1948年 6月号 | **木暮実千代** Kindai Cover Gallery #010



長谷川一夫：1927年、『稚児の剣法』で映画デビュー。主演作品が300本を超す大スター。代表作は、映画『雪之丞変化』『地獄門』『銭形平次捕物控』シリーズ等。没後、国民栄誉賞を受賞。

1948年 7月号 | **長谷川一夫・高峰秀子** Kindai Cover Gallery #011



轟 夕起子：1937年、宝塚少女歌劇団を退団すると同時に、『宮本武蔵 地の巻』で映画デビュー。代表作は、映画『ハナ子さん』『姿三四郎』『金色夜叉 前編・後編』『肉体の門』『細雪』等。

1948年 8月号 | **轟 夕起子** Kindai Cover Gallery #012

File #01 1945~1949



昭和の映画界を代表する伝説のスター

創刊2号（1946年）が表紙初登場。戦後、映画・娯楽の復興と歩みを共にした『近代映画』の表紙を最も飾ってくださったのが、戦前〜戦後の日本映画を代表する女優、原節子さんでした。1920年6月17日生まれ。『安城家の舞踏会』（1947年）、『青い山脈』（1949年）で戦争で痛めつけられた人々に大きな希望を与え、『晩春』（1949年）から小津安二郎監督と組んだ6作品は海外でも高評価。引退後は徹底的にマスコミを避け、伝説のスターとなりました。

原 節子 | Setsuko Hara



水戸光子：デビュー当初は活躍の機会に恵まれなかったが、1939年、映画『暖流』で清純な看護婦役に抜擢されて一躍スターの座に。代表作は、映画『女』『王将』『雨月物語』『大阪の宿』等。

1949年 12月号 | 水戸光子
Kindai Cover Gallery #016



三條美紀：1946年、映画『君かと思ひて』でデビュー。三益愛子の『母』シリーズ等に出演。代表作は、映画『母』『王将』『静かなる決闘』『流れる星は生きている』等。

1949年 9月号 | 三條美紀
Kindai Cover Gallery #015



月丘夢路：宝塚歌劇団に在団中の1940年、『誰の戦場』で映画デビュー。1942年、映画『新雪』に主演し、映画界でもスターに。代表作は、映画『晩春』『長崎の鐘』『二十四の瞳』『月蝕』等。

1949年 5月号 | 月丘夢路
Kindai Cover Gallery #014

1949



山口淑子：1938年、中国人スター「李香蘭」としてデビュー。女優・歌手として人気を獲得。戦後は本名の「山口淑子」に戻って活躍。代表作は、映画『白蘭の歌』『支那の夜』『醜聞』等。

1949年 1月号 | 山口淑子
Kindai Cover Gallery #013



乙羽信子：宝塚歌劇団退団後、1950年、『処女蜂』で映画デビュー。代表作は、映画『愛妻物語』『原爆の子』『裸の島』等。1979年、映画『絞殺』でヴェネツィア映画祭最優秀主演女優賞受賞。

1952年 4月号 | 乙羽信子
Kindai Cover Gallery #020

1952



津島恵子：[illegible]年、映画『安城家の舞踏会』でデビュー。代表作は、映画『悲しき口笛』『帰郷』『お茶漬の味』『ひめゆりの塔』『七人の侍』『足摺岬』『浮草日記』等。

1952年 3月号 | 津島恵子
Kindai Cover Gallery #019



角 梨枝子：初代・ミス広島に選ばれ映画界入り。1949年『[illegible]女記者』でデビュー。代表作は、映画『山の彼方に 第一部・第二部』『本日休診』『夏子の冒険』『放浪記』等。

1951年 12月号 | 角 梨枝子
Kindai Cover Gallery #018

1951



淡島千景：宝塚歌劇団を退団後、1950年、『てんやわんや』で映画デビューし、第1回ブルーリボン賞主演女優賞を受賞。代表作は、映画『麦秋』『にごりえ』『夫婦善哉』『駅前』シリーズ等。

1951年 7月号 | 淡島千景
Kindai Cover Gallery #017



若尾文子：1952年、映画『死の街を脱れて』でデビュー。1953年、映画『十代の性典』で人気女優に。代表作は、映画『祇園囃子』『赤線地帯』『浮草』『妻は告白する』『雁の寺』等。

1954年 4月号 | 若尾文子
Kindai Cover Gallery #024



有馬稲子：宝塚歌劇団在団中の1951年、『寶塚夫人』で映画デビュー。1953年、歌劇団を退団して映画界に転身。代表作は、映画『ひまわり娘』『東京暮色』『彼岸花』『浪花の恋の物語』等。

1954年 2月号 | 有馬稲子
Kindai Cover Gallery #023

1954



山本富士子：愛称は「お富士さん」。1950年、第1回「ミス日本」の栄冠に輝き、1953年、『花の講道館』で映画デビュー。代表作は、映画『婦系図 湯島の白梅』『夜の河』『猟銃』『私は二歳』等。

1954年 1月号 | 山本富士子
Kindai Cover Gallery #022



桂木洋子：松竹歌劇団に在団中の1948年、『肖像』で映画デビュー。同年、映画『破戒』に出演したのを期に歌劇団を退団。代表作は、映画『醜聞』『三つの結婚』『善魔』『日本の悲劇』等。

1952年 7月号 | 桂木洋子
Kindai Cover Gallery #021

1955



紙 京子：1950年代、青春路線を打ち出していた松竹映画で活躍。代表作は、映画『娘はかく抗議する』『乙女の診察室』『乙女のめざめ』『夜の歌謡シリーズ 伊勢佐木町ブルース』等。

1955年 1月号 | 紙 京子
Kindai Cover Gallery #028



南田洋子：1951年、映画『美女と盗賊』でデビュー。代表作は、映画『十代の性典』『太陽の季節』『サムライの子』等。夫・長門裕之と『ミュージックフェア』の司会を約16年間担当した。

1954年 12月号 | 南田洋子
Kindai Cover Gallery #027



八千草薫：宝塚歌劇団在団中の1951年、『寶塚夫人』で映画デビュー。代表作は、映画『宮本武蔵』『蝶々夫人』『美しさと哀しみと』、ドラマ『岸辺のアルバム』、舞台『女系家族』等。

1954年 10月号 | 八千草 薫
Kindai Cover Gallery #026



岸 惠子：1951年、映画『我が家は楽し』でデビュー。1953年、映画『君の名は』で人気女優に。1956年、日仏合作映画『忘れえぬ慕情』に出演。代表作は、映画『女の園』『ここに泉あり』等。

1954年 7月号 | 岸 惠子
Kindai Cover Gallery #025



司 葉子：1954年、美容家・メイ牛山と出会い、雑誌のモデルで登場。1954年、『君死に給うことなかれ』で映画デビュー。代表作は、映画『小早川家の秋』『用心棒』『紀ノ川』等。

1955年 7月号 | 司 葉子
Kindai Cover Gallery #032



野添ひとみ：1952年、映画『うず潮』でデビュー。代表作は、映画『姉妹』『ホガラカさん前・後篇』『くちづけ』『有楽町で逢いましょう』『巨人と玩具』等。夫は故・川口浩。

1955年 4月号 | 野添ひとみ
Kindai Cover Gallery #031



千原しのぶ：1952年、映画『忠治旅日記・逢初道中』でデビュー。1953年、映画『大菩薩峠 甲賀一刀』に抜擢されシリーズ出演。代表作は、映画『獅子丸一平』『水戸黄門漫遊記』シリーズ等。

1955年 3月号 | 千原しのぶ
Kindai Cover Gallery #030



高千穂ひづる：宝塚歌劇団在団中の1951年、『ホープさん』で映画デビュー。退団後、『笛吹童子』『紅孔雀』等の作品で東映時代劇の人気スターに。代表作は、映画『張込み』『ゼロの焦点』等。

1955年 2月号 | 高千穂ひづる
Kindai Cover Gallery #029

Kindai Cover Gallery

1956



田代百合子：1952年、映画『喧嘩安兵衛』でデビュー。映画『新諸国物語 笛吹童子』『里見八犬伝』等で東映のお姫さま女優として人気に。代表作は、映画『血槍富士』『月姫系図』等。

1956年1月号 | 田代百合子
Kindai Cover Gallery #036



美空ひばり：昭和を代表する大スター。愛称は「御嬢（おじょう）」。1949年、『河童ブギウギ』で11歳でレコードデビュー。同年、初主演映画『悲しき口笛』も大ヒットし一躍スターの座に。

1955年12月号 | 美空ひばり
Kindai Cover Gallery #035



青山京子：ヒロイン募集のオーディションに合格し、1952年、映画『思春期』でデビュー。代表作は、映画『潮騒』『麦笛』『生きものの記録』『江戸遊民伝』等。1967年、小林旭と結婚し引退した。

1955年11月号 | 青山京子
Kindai Cover Gallery #034



北原三枝：日劇ダンシングチーム退団後、映画『カルメン純情す』等に出演。1956年、映画『狂った果実』で後に夫となる故・石原裕次郎。と初共演。代表作は、映画『錆びたナイフ』等。

1955年9月号 | 北原三枝
Kindai Cover Gallery #033

1958



丘さとみ：1955年、映画『御存知怪傑黒頭巾・新選組追撃』でデビュー以降、東映時代劇で活躍した「東映城のお姫さま」。代表作は、映画『大菩薩峠』『宮本武蔵』『旗本退屈男』シリーズ等。

1958年1月号 | 丘さとみ
Kindai Cover Gallery #040



浅丘ルリ子：1954年、中学在学中に映画『緑はるかに』の主役公募で選ばれデビュー。小林旭『渡り鳥』シリーズや石原裕次郎『赤いハンカチ』等、日活アクション映画で多くのヒロインを演じた。

1957年7月号 | 浅丘ルリ子
Kindai Cover Gallery #039

1957



芦川いづみ：1953年、ファッションショー出演中、川島雄三監督に認められ『東京マダムと大阪夫人』で映画デビュー。代表作は、映画『乳母車』『あいつと私』等。1968年、藤竜也と結婚し引退。

1957年4月号 | 芦川いづみ
Kindai Cover Gallery #038



香川京子：1950年、映画『窓から飛び出せ』でデビュー。代表作は、映画『稲妻』『ひめゆりの塔』『山椒大夫』『近松物語』『悪い奴ほどよく眠る』『天国と地獄』、ドラマ『二十四の瞳』等。

1956年8月号 | 香川京子
Kindai Cover Gallery #037

1961



三田佳子：1960年、『殺られてたまるか』で映画デビュー。代表作は、映画『鮫』『廓育ち』『仇討』『Wの悲劇』等。1989年、1990年には2年連続で『NHK紅白歌合戦』の紅組司会を務めた。

1961年4月号 | 三田佳子
Kindai Cover Gallery #044



佐久間良子：1958年、映画『美しき姉妹の物語・悶える早春』でデビュー。代表作は、映画『人生劇場 飛車角』『五番町夕霧楼』『越後つついし親不知』、舞台『春の雪』『唐人お吉』等。

1959年8月号 | 佐久間良子
Kindai Cover Gallery #043

1959



大川恵子：1957年、映画『とんちんかん八百八町』でデビュー。東映時代劇黄金期はお姫さま役で活躍。代表作は、映画『新吾十番勝負』『人形佐七捕物帖』シリーズ等。

1959年5月号 | 大川恵子
Kindai Cover Gallery #042



桜町弘子：1957年、映画『隼人族の叛乱』でデビュー。東映時代劇黄金期はお姫さま役で活躍。仁侠路線になると『博奕打ち』シリーズ等で新境地を開く。代表作は、映画『関東やくざ嵐』等。

1958年11月号 | 桜町弘子
Kindai Cover Gallery #41

File #03

1950~1959



戦後の昭和史に残るスーパースター

1950年代の『近代映画』の表紙を最も飾ってくださったのが、昭和を代表する大スター、美空ひばりさんでした。1937年5月29日生まれ。天才少女歌手としてスタートし、『リンゴ追分』『柔』『悲しい酒』『川の流れのように』等、大ヒット曲を連発。女優としては10代後半、『伊豆の踊子』（1954年）等で新生面を開拓。『ひばり捕物帳』シリーズ等、ヒット映画にも恵まれました。1989年、52歳で死去。没後、女性で初めて国民栄誉賞が授与されました。

美空ひばり | Hibari Misora

File #02

1950~1959



映画黄金期を彩った永遠の大スター

映画黄金期、東映時代劇と人気を二分したのが日活アクション映画。その日活アクション映画最大のスターとして1950年代の『近代映画』の巻頭グラビアを幾度も飾ってくださったのが、石原裕次郎さんでした。

1934年12月28日生まれ。1956年、兄の石原慎太郎（現・東京都知事）の小説を映画化した『太陽の季節』でデビュー。翌年、映画『狂った果実』に主演し大スターに。その後も映画、ドラマ等で大活躍。1987年、53歳で死去。

石原裕次郎 | Yujiro Ishihara



笹森礼子：1960年、映画『青年の樹』でデビュー。映画『拳銃無頼帖』『渡り鳥故郷へ帰る』『早射ち野郎』等、赤木圭一郎、小林旭、宍戸錠ら日活スターが活躍する作品でヒロインを演じた。

1961年9月号 | 笹森礼子
Kindai Cover Gallery #048



岩下志麻：1958年、NHKドラマ『バス通り裏』でデビュー。1960年、『笛吹川』で映画デビュー。代表作は、映画『切腹』『秋刀魚の味』『五瓣の椿』『おはなはん』『はなれ瞽女おりん』等。

1961年8月号 | 岩下志麻
Kindai Cover Gallery #047



星 由里子：1958年、東宝シンデレラ娘のグランプリに輝き、翌年、映画『すずかけの散歩道』でデビュー。1961年から加山雄三主演の映画『若大将』シリーズでヒロイン役で演じ人気を集めた。

1961年7月号 | 星 由里子
Kindai Cover Gallery #046



吉永小百合：1957年、小6の時にラジオドラマ『赤胴鈴之助』でデビュー。1959年、『朝を呼ぶ口笛』で映画デビュー。1962年、映画『キューポラのある街』でブルーリボン賞主演女優賞を受賞。

1961年5月号 | 吉永小百合
Kindai Cover Gallery #045



倍賞千恵子：松竹歌劇団から1961年、『斑女』で映画デビュー。1963年、映画『下町の太陽』に主演し、同名主題歌で日本レコード大賞新人賞受賞。代表作は、映画『男はつらいよ』シリーズ等。

1963年8月号 | 倍賞千恵子
Kindai Cover Gallery #052



本間千代子：1961年、映画『恋と太陽とギャング』で本格デビュー。清純派として人気を集めた。1963年にはレコード[illegible]表作は、映画『君たちがいて僕がいた』『十七才のこの胸に』等。

1963年7月号 | 本間千代子
Kindai Cover Gallery #051



1963

和泉雅子：子役として活躍した後、1962年、『若い爪あと』で映画初主演。代表作は、映画『非行少女』『男の紋章』『二人の銀座』等。山内賢とのデュエット曲『二人の銀座』も大ヒットした。

1963年4月号 | 和泉雅子
Kindai Cover Gallery #050



1962

松原智恵子：1960年にミス16歳コンテストに入賞し、1961年、映画『明日に向って突っ走れ』で本格デビュー。代表作は、映画『東京流れ者』『無頼』シリーズ、ドラマ『時間ですよ！』等。

1962年4月号 | 松原智恵子
Kindai Cover Gallery #049



1966

内藤洋子：1965年、『赤ひげ』で映画デビュー。翌年、映画『あこがれ』とドラマ『氷点』に主演して人気を確立。代表作は、映画『伊豆の踊子』等。歌手としても『白馬のルンナ』が大ヒット。

1966年7月号 | 内藤洋子
Kindai Cover Gallery #056



1965

高田美和：父は俳優・高田浩吉。1962年、映画『青葉城の鬼』でデビュー。『座頭市兇状旅』等の時代劇映画では可憐な娘役として活躍。代表作は、『女系家族』『青いくちづけ』『大魔神』等。

1965年1月号 | 高田美和
Kindai Cover Gallery #055



姿 美千子：映画『すっとび仁義』の主演・橋幸夫の相手役募集に応募し、1961年、同作品でデビュー。代表作は、映画『すてきな16才』『若い樹々』『高校三年生』『幸せなら手をたたこう』等。

1964年4月号 | 姿 美千子
Kindai Cover Gallery #054



1964

五月みどり：1958年、『お座敷ロック』でレコードデビュー。1961年、『おひまなら来てね』が大ヒット。翌年、『NHK紅白歌合戦』に初出場。その後も『温泉芸者』等がヒットした。

1964年1月号 | 五月みどり
Kindai Cover Gallery #053

File

1960~1969 #04



トップ女優として輝き続けるスター

1960年代の「青春スター」として10年に渡り『近代映画』の表紙を飾り続けてくださったのが、吉永小百合さん。1945年3月13日生まれ。『キューポラのある街』（1962年）、『愛と死をみつめて』（1964年）等の映画に主演。また、橋幸夫とのデュエット曲『いつでも夢を』が日本レコード大賞を受賞する等、歌手としても活躍。「サユリスト」と呼ばれたファンに支えられ、不動の人気を獲得しました。現在もトップ女優として映画を中心に活躍中。

吉永小百合 | Sayuri Yoshinaga



酒井和歌子：小4の頃から子役や少女雑誌のモデルとして活躍。1966年の映画『これが青春だ！』等で注目を集め、1968年、『めぐりあい』で映画初主演。代表作は、映画『若大将』シリーズ等。

1967年8月号 | 酒井和歌子
Kindai Cover Gallery #058



1967

由美かおる：西野バレエ団出身。1967年、音楽番組『レ・ガールズ』（日本テレビ）に出演し、歌と躍りで話題を集めた。1973年の映画『同棲時代』『しなの川』の大胆なヌード姿も話題に。

1967年5月号 | 由美かおる
Kindai Cover Gallery #057



ザ・タイガース：1967年、シングル『僕のマリー』でデビュー。メンバーは、沢田研二、岸部一徳、加橋かつみ、森本太郎、瞳みのる。『君だけに愛を』等の大ヒット曲で熱狂的な人気を集めた。

1968年8月号 | 沢田研二・松原智恵子
Kindai Cover Gallery #060



1968

黛 ジュン：1967年、再デビュー曲『恋のハレルヤ』で人気をつかむ。1968年、『天使の誘惑』が大ヒットし、レコード売上は累計500万枚を記録。その年の日本レコード大賞に輝いた。

1968年7月号 | 黛 ジュン
Kindai Cover Gallery #059



オックス：1968年、シングル『ガール・フレンド』でデビュー。メンバーは、野口ヒデト、福井利男、赤松愛、岡田志郎、岩田裕二。代表曲は、『スワンの涙』等。失神パフォーマンスが話題に。

1968年12月号 | オックス・小山ルミ
Kindai Cover Gallery #064



萩原健一：愛称は「ショーケン」。1972年、映画『約束』で俳優として評価を獲得。代表作は、映画『青春の蹉跌』、ドラマ『傷だらけの天使』等。ロック・シンガーとしてカリスマ的人気も誇る。

1968年11月号 | 萩原健一・小川知子
Kindai Cover Gallery #063



沢田研二：愛称は「ジュリー」。1971年、シングル『君をのせて』でソロデビュー。代表曲は、『時の過ぎゆくままに』『勝手にしやがれ』等。映画『太陽を盗んだ男』等で俳優としても活躍。

1968年10月号 | 沢田研二・渡辺茂樹・黛ジュン
Kindai Cover Gallery #062



ザ・テンプターズ：1967年、シングル『忘れ得ぬ君』でデビュー。メンバーは、萩原健一、松崎由治、田中俊夫、高久昇、大口広司。『神様お願い』等がヒットし、ザ・タイガースと人気を競った。

1968年9月号 | ザ・テンプターズ 吉永小百合
Kindai Cover Gallery #061



いしだあゆみ：1964年、『ネェ、聞いてよママ』で歌手デビューし、ドラマ『七人の孫』出演。1969年、『ブルー・ライト・ヨコハマ』が大ヒット。代表作は、映画『青春の門・自立編』等。

1969年8月号 | いしだあゆみ
Kindai Cover Gallery #068



南美川洋子：1968年、『ある女子高校医の記録 妊娠』で映画デビュー。1960年代後半、大映性典映画で清純派のヒロインを演じた。代表作は、映画『千羽鶴』『与太郎戦記』『十代の妊娠』等。

1969年7月号 | 南美川洋子
Kindai Cover Gallery #067



今 陽子：1967年、15歳で『甘ったれたいの』で歌手デビュー。1968年、ピンキーとキラーズを結成。デビュー曲『恋の季節』が200万枚を超す大ヒット。翌年、『涙の季節』もオリコン1位を記録。

1969年4月号 | 今 陽子
Kindai Cover Gallery #066

1969



舟木一夫：1963年、学生服を着て歌ったデビュー曲『高校三年生』が大ヒットを記録。同年、同名の映画に主演。西郷輝彦、橋幸夫と「御三家」と呼ばれ人気を集めた。代表曲は、『絶唱』等。

1969年1月号 | 舟木一夫・酒井和歌子・黛ジュン
Kindai Cover Gallery #065



岡崎友紀：1970年、『しあわせの涙』で歌手デビュー。同年、ドラマ『おくさまは18歳』に主演。『なんたって18歳！』『ママはライバル』と続くこの人気シリーズ主演で国民的アイドルに。

1970年6月号 | 岡崎友紀
Kindai Cover Gallery #072

1970



吉沢京子：1967年、『燃えろ！太陽』で映画デビュー。1969年、ドラマ『柔道一直線』で人気を決定。1970年、『幸せってなに？』で歌手デビュー。清純派アイドルとして活躍した。

1970年3月号 | 吉沢京子
Kindai Cover Gallery #071



小川ローザ：1969年、猛スピードで走る自動車の風でミニスカートがめくれる丸善石油のCMで、「Oh！モウレツ」のコピーと共にセンセーションを起こした。レースクイーンとしても活躍。

1969年12月号 | 小川ローザ
Kindai Cover Gallery #070



梓 英子：1964年、映画『青い乳房の埋葬』でデビュー。1967年、ドラマ『悲しみよこんにちは』の主役で人気を得る。代表作は、映画『眠狂四郎 円月殺法』、ドラマ『どてらい男』等。

1969年11月号 | 梓 英子
Kindai Cover Gallery #069



児島美ゆき：1970年、映画『ハレンチ学園』で主演デビュー。その後、同シリーズやドラマ版にも主演。映画、ドラマで活躍し、日本テレビ「TVジョッキー」では初代アシスタントを務めた。

1970年12月号 | 児島美ゆき
Kindai Cover Gallery #074



柏木由紀子：1964年、『明日の夢があふれている』で映画デビュー。1965年に『若い真珠』でレコードデビュー。1966年、ドラマ『東京の人』ではヒロインを務めた。夫は故・坂本九。

1970年7月号 | 柏木由紀子
Kindai Cover Gallery #073



范 文雀：1968年、ドラマ『特別機動捜査隊』でデビュー。ドラマ『サインはV』（1969年）、『アテンションプリーズ』（1970年）で人気に。代表作は、映画『野良猫ロック』シリーズ等。

1971年7月号 | 范 文雀
Kindai Cover Gallery #076

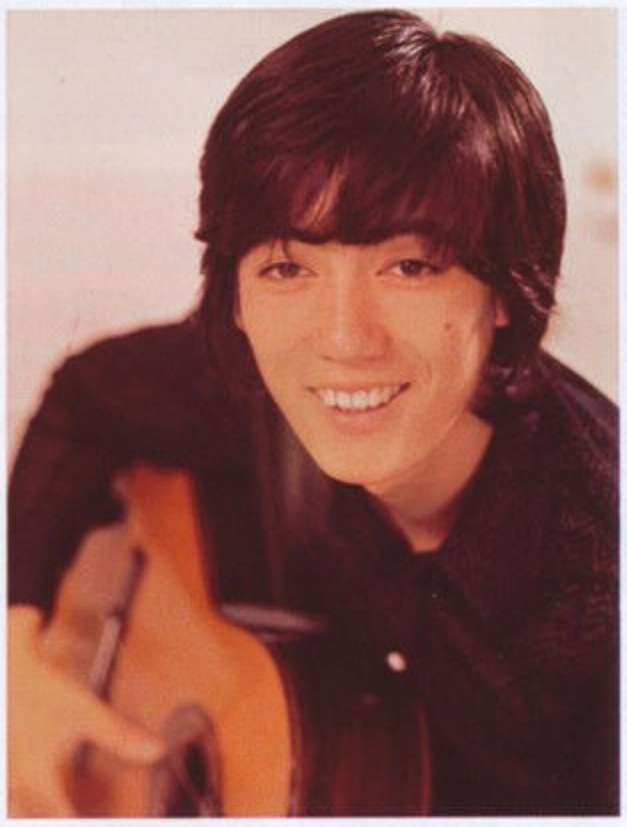
1971



新藤恵美：1965年、映画『俺たちの恋』でデビュー。1971年、ドラマ『美しきチャレンジャー』に主演し人気に。代表作は、映画『東京無宿』『剣と花』、ドラマ『魔女はホットなお年頃』等。

1971年3月号 | 新藤恵美
Kindai Cover Gallery #075

File **1960~1969** **#05**



GS人気No.1から華麗なソロ活動へ

1960年代後半、日本中を嵐を巻き起こした「グループ・サウンズ（GS）」ブーム。『近代映画』でも毎号のように特集を組みましたが、『近代映画』にGS勢で初めて表紙に登場したのが、No.1の人気を誇ったザ・タイガースのボーカル、沢田研二さんでした。1948年6月25日生まれ。ザ・タイガース解散後も『危険なふたり』『勝手にしやがれ』『TOKIO』等、大ヒット曲を連発。奇抜なファッションで話題をさらうと共に、俳優としても活躍。

沢田研二 | Kenji Sawada

Kindai Cover Gallery



天地真理：1971年、ドラマ『時間ですよ』に「隣のまりちゃん」役で出演。同年、『水色の恋』で歌手デビューし、一躍No.1アイドルに。『ひとりじゃないの』『恋する夏の日』等が大ヒット。

1972年4月号 | **天地真理**

Kindai Cover Gallery #080

1972



南 沙織：返還前の沖縄出身。愛称は「シンシア」。1971年、『17才』で歌手デビューし大ヒット。人気アイドルに。代表曲は『純潔』『色づく街』等。1978年、引退。夫は写真家の篠山紀信。

1972年3月号 | **南 沙織**

Kindai Cover Gallery #079



麻田ルミ：1970年、16歳の時にドラマ版『おさな妻』に主演し、初々しい演技で話題を集める。同年、『おさな妻』で歌手デビュー。その後、『明智探偵事務所』等のドラマに出演。

1971年11月号 | **麻田ルミ**

Kindai Cover Gallery #078



五十嵐じゅん：高校在学中からCMで注目され、1970年、TBS『日曜8時笑っていただきます』でデビュー。1975年、映画『阿寒に果つ』に主演。同年、芸名を「五十嵐淳子」に改名。夫は中村雅俊。

1971年10月号 | **五十嵐じゅん**

Kindai Cover Gallery #077



栗田ひろみ：1971年、ドラマ『さすらい』でデビュー。翌年、映画『夏の妹』の主役に抜擢されて注目を集めた。代表作は映画『放課後』『ときめき』、ドラマ『伊豆の踊り子』『6羽のかもめ』等。

1972年12月号 | **栗田ひろみ**

Kindai Cover Gallery #084



麻丘めぐみ：中学時代は雑誌モデルとして活躍。1972年、『芽ばえ』で歌手デビューし人気アイドルに。同年、日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞。代表曲は『わたしの彼は左きき』等。

1972年11月号 | **麻丘めぐみ**

Kindai Cover Gallery #083



松坂慶子：1969年、『ある女子高校医の記録 続・妊娠』で映画デビュー。1971年、『夜の診察室』で映画初主演。代表作は映画『事件』『青春の門』、ドラマ『白い滑走路』『水中花』等。

1972年10月号 | **松坂慶子**

Kindai Cover Gallery #082



関根恵子：1970年、映画『高校生ブルース』で主演デビュー。15歳の大胆な演技が衝撃を与えた大映最後のスター女優。代表作は映画『おさな妻』『青春の門』、ドラマ『太陽にほえろ！』等。

1972年6月号 | **関根恵子**

Kindai Cover Gallery #081



アグネス・チャン：香港出身。1972年、『ひなげしの花』で日本デビューし、澄んだ歌声と愛らしいルックスで人気アイドルに。代表曲は『草原の輝き』『ポケットいっぱいの秘密』等。

1973年11月号 | **アグネス・チャン**

Kindai Cover Gallery #088



桜田淳子：『スター誕生！』出身。1973年、『天使も夢みる』で歌手デビューし人気に。代表曲は『わたしの青い鳥』『はじめての出来事』等。1975年、『スプーン一杯の幸せ』で映画初主演。

1973年7月号 | **桜田淳子**

Kindai Cover Gallery #087



浅田美代子：1973年、人気ドラマ『時間ですよ』でデビュー。劇中歌『赤い風船』で歌手デビューも果たし人気アイドルに。代表作はドラマ『寺内貫太郎一家』、映画『しあわせの一番星』等。

1973年6月号 | **浅田美代子**

Kindai Cover Gallery #086

1973



森 昌子：1971年、13歳で日本テレビ『スター誕生！』の初代グランドチャンピオンに輝き、翌年、『せんせい』で歌手デビュー。山口百恵、桜田淳子と「花の中三トリオ」と呼ばれ人気に。

1973年3月号 | **森 昌子**

Kindai Cover Gallery #085

File

1970~1979 #07



1970年代、奇跡の偶像となった女神

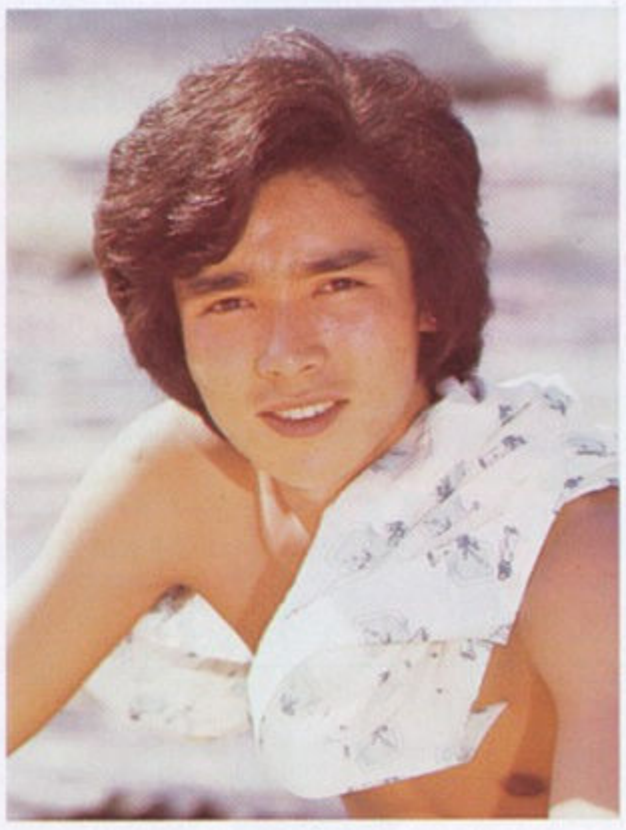
引退直前の1980年12月号で最後の表紙を飾ってくださるまで、山口百恵さんと『近代映画』は、共に歩んできた……と思える間柄でした。

1959年1月17日生まれ。『ひと夏の経験』に代表されるデビュー当時の「青い性」路線。人気ドラマ・赤いシリーズではヒロインを演じ、宇崎竜童さん、谷村新司さんらを起用してのアーティスト路線はアイドルの音楽に変化をもたらしました。1980年、三浦友和さんと結婚、引退。女神は伝説となりました。

山口百恵 | **Momoe Yamaguchi**

File

1970~1979 #06



今も輝きを失わない美少年アイドル

西城秀樹さん、野口五郎さんと共に「新御三家」と呼ばれて1970年代に一世を風靡したのが、郷ひろみさん。

1955年10月18日生まれ。デビュー曲『男の子女の子』がいきなり大ヒットし、トップアイドルに。ブロマイド年間売上がNo.1になる等、「新御三家」の中でも中性的な魅力も持つ美少年として、郷さんのアイドル性は突出していました。ドラマ『ちょっとしあわせ』（1974年）等に主演し、俳優としても活躍。輝きは今も失われていません。

郷 ひろみ | **Hiromi Go**



1974

山口百恵：『スター誕生！』出身。1973年、映画『としごろ』と同作の主題歌でデビュー。大胆な歌詞を歌った2ndシングル『青い果実』が話題を集め、翌年、『ひと夏の経験』で絶大な人気に。

1974年1月号 | 山口百恵
Kindai Cover Gallery #089



郷 ひろみ：1972年、NHK大河ドラマ『新・平家物語』でデビュー。歌手デビュー曲『男の子女の子』の大ヒットで、いきなりトップアイドルの仲間入りを果たした。代表曲は『よろしく哀愁』等。

1974年8月号 | 郷 ひろみ・桜田淳子
Kindai Cover Gallery #090



城みちる：『スター誕生！』出身。1973年、『イルカにのった少年』で歌手デビュー／**あいざき進也**：『あなたならOK！』第1回ドチャンピオン。1974年、『気になる17才』で歌手デビュー。

1974年9月号 | 城みちる・あいざき進也・浅田美代子
Kindai Cover Gallery #091



西城秀樹：1972年、『恋する季節』で歌手デビュー。代表曲は『情熱の嵐』『激しい恋』『傷だらけのローラ』等。1974年、『寺内貫太郎一家』でドラマ初出演。同年、『愛と誠』で映画初主演。

1974年10月号 | 西城秀樹・山口百恵
Kindai Cover Gallery #092



1975

野口五郎：1971年、『博多みれん』で歌手デビュー。西城秀樹、郷ひろみと「新御三家」と呼ばれ人気アイドルに。歌唱力も評価された。代表曲は『君が美しすぎて』『甘い生活』『私鉄沿線』等。

1975年1月号 | 野口五郎・桜田淳子
Kindai Cover Gallery #093



早乙女 愛：1974年、西城秀樹主演映画『愛と誠』のヒロイン公募で選ばれ、役名と同じ「早乙女愛」の芸名でデビュー。代表作は映画『続 愛と誠』『港のヨーコ ヨコハマ ヨコスカ』等。

1975年4月号 | 早乙女 愛
Kindai Cover Gallery #094



岡田奈々：1975年、ドラマ『うしろの正面』でデビュー。同年、『ひとりごと』で歌手デビュー。「ポッキー」のCMやドラマ『俺たちの旅』出演、『青春の坂道』のヒット等で人気アイドルに。

1975年11月号 | 岡田奈々
Kindai Cover Gallery #095



岩崎宏美：『スター誕生！』出身。1974年、『二重唱(デュエット)』で歌手デビュー。続く『ロマンス』が大ヒットし、この年の音楽新人賞を総なめ。代表曲は『センチメンタル』『思秋期』等。

1975年12月号 | 岩崎宏美
Kindai Cover Gallery #096



1977

ピンク・レディー：メンバーは、ミーとケイ。1976年、『ペッパー警部』でデビューし大旋風を起こす。代表曲は『ウォンテッド』『UFO』等。オリコンシングル1位獲得通算63週は今も記録。

1977年4月号 | ピンク・レディー
Kindai Cover Gallery #097



1978

榊原郁恵：1976年、第1回ホリプロスカウトキャラバングランプリ受賞。翌年、『私の先生』でデビュー。ドラマ『ナッキはつむじ風』に主演し人気アイドルに。代表曲は『夏のお嬢さん』等。

1978年4月号 | 榊原郁恵
Kindai Cover Gallery #098



石野真子：『スター誕生！』出身。1978年、『狼なんか怖くない』で歌手デビューし、愛くるしい八重歯で人気アイドルに。代表曲は『わたしの首領』『失恋記念日』『春ラ！ラ！ラ！』等。

1978年10月号 | 石野真子
Kindai Cover Gallery #099



1979

大場久美子：1974年、ドラマ『愛の山河』でデビュー。1977年、『あこがれ』で歌手デビュー。同年、映画『HOUSE ハウス』出演。1978年、ドラマ『コメットさん』に主演。人気アイドルに。

1979年1月号 | 大場久美子
Kindai Cover Gallery #100



1980

倉田まり子：NHK『レッツゴーヤング』のサンデーズの一員で活躍し、1979年、『グラジュエイション』で歌手デビュー。代表曲は『HOW! ワンダフル』等。アニメ『ナイン』では声優も務めた。

1980年3月号 | 倉田まり子
Kindai Cover Gallery #101



藤谷美和子：12歳の時に「カルビーポテトチップス」のCMでデビュー。1978年、ドラマ『ゆうひが丘の総理大臣』に出演し人気に。1984年のNHK朝ドラ『心はいつもラムネ色』ではヒロイン役。

1980年7月号 | 藤谷美和子
Kindai Cover Gallery #102



松田聖子：1979年、ドラマ『おだいじに』でデビュー。役名の「松田聖子」が芸名に。翌年、『裸足の季節』で歌手デビュー。続く『青い珊瑚礁』の大ヒットで1980年代を代表するアイドルに。

1980年10月号 | 松田聖子
Kindai Cover Gallery #103



1981

河合奈保子：「ヒデキの弟・妹募集オーディション」で選ばれ、1980年、『大きな森の小さなお家』で歌手デビュー。人気アイドルに。代表曲は『ヤング・ボーイ』『スマイル・フォー・ミー』等。

1981年1月号 | 河合奈保子
Kindai Cover Gallery #104



三原順子：1979年、ドラマ『3年B組金八先生』のツッパリ役で人気に。翌年、『セクシー・ナイト』で歌手デビュー。ドラマ『GOGO！チアガール』に主演。その後も映画『人形嫌い』等に主演。

1981年3月号 | 三原順子
Kindai Cover Gallery #105



伊藤つかさ：1980年、『3年B組金八先生 第2シリーズ』に出演し人気に。翌年、『少女人形』で歌手デビュー。代表作はドラマ『鞍馬天狗』『オサラバ坂に陽が昇る』、映画『未完の対局』等。

1981年6月号 | 伊藤つかさ
Kindai Cover Gallery #106



柏原よしえ：『スター誕生！』出身。1980年、『No.1』で歌手デビューし人気に。代表曲は『ハロー・グッバイ』『春なのに』等。1982年、「柏原芳恵」に改名。現・皇太子殿下がファンで話題に。

1981年8月号 | 柏原よしえ
Kindai Cover Gallery #107



1982

松本伊代：1981年、TBS『たのきん全力投球！』でデビュー。同年、『センチメンタル・ジャーニー』で歌手デビューし人気アイドルに。フジテレビ『オールナイトフジ』の司会も務めた。

1982年1月号 | 松本伊代
Kindai Cover Gallery #108

Kindai Cover Gallery

1983



中森明菜：1982年、『スローモーション』で歌手デビュー。続く『少女A』『セカンド・ラブ』で人気を決定。『ミ・アモーレ』『DESIRE』で1985年と1986年、2年連続で日本レコード大賞受賞！

1983年1月号 | 中森明菜
Kindai Cover Gallery #112



石川秀美：1981年、「ヒデキの弟・妹募集オーディション」で選ばれ、翌年、『妖精時代』で歌手デビュー。代表曲は『ゆ・れ・て湘南』『もっと接近しましょ』等。1990年、薬丸裕英と結婚、引退。

1982年12月号 | 石川秀美
Kindai Cover Gallery #111



小泉今日子：愛称「キョンキョン」。1982年、『私の16才』で歌手デビュー。代表曲は『渚のはいから人魚』『なんてったってアイドル』等。ドラマ、映画で活躍し、ファッションセンスも人気に。

1982年11月号 | 小泉今日子
Kindai Cover Gallery #110



堀 ちえみ：1981年、ホリプロスカウトキャラバンでグランプリ受賞。翌年、『潮風の少女』で歌手デビュー。代表曲は『リ・ボ・ン』等。1983年、主演ドラマ『スチュワーデス物語』が話題に。

1982年7月号 | 堀 ちえみ
Kindai Cover Gallery #109



斉藤由貴：1985年、『卒業』で歌手デビューし、主演映画『雪の断章 -情熱-』等で女優デビュー。同年、主演ドラマ『スケバン刑事』が人気に。1986年、NHK朝ドラ『はね駒』でヒロイン役に。

1985年7月号 | 斉藤由貴
Kindai Cover Gallery #116

1985



岡田有希子：1984年、『ファースト・デイト』で歌手デビュー。ドラマ『禁じられたマリコ』主演、『くちびるNetwork』の大ヒット等で順風と思われたが、1986年に自殺。まだ18歳だった。

1985年1月号 | 岡田有希子
Kindai Cover Gallery #115



菊池桃子：1984年、映画『パンツの穴』で主演デビューし、『青春のいじわる』で歌手デビュー。代表曲は『卒業 -GRADUATION-』等。代表作は映画『テラ戦士ΨBOY』『アイドルを探せ』等。

1984年9月号 | 菊池桃子
Kindai Cover Gallery #114

1984



倉沢淳美：1982年、『欽ちゃんのどこまでやるの!?』で誕生したユニット「わらべ」のメンバーに。デビュー曲『めだかの兄妹』が大ヒット。1984年、『プロフィール』でソロ・デビュー。

1984年6月号 | 倉沢淳美
Kindai Cover Gallery #113



国生さゆり：「おニャン子クラブ」会員番号8番として大人気に。1986年、『バレンタイン・キッス』でソロ・デビュー。ドラマ『キスより簡単』に主演する等、女優、タレントとしても活躍。

1986年6月号 | 国生さゆり
Kindai Cover Gallery #120



新田恵利：1985年、フジテレビ『夕やけニャンニャン』でデビュー。一世を風靡した「おニャン子クラブ」会員番号4番として大人気に。1986年、『冬のオペラグラス』でソロ・デビュー。

1986年4月号 | 新田恵利
Kindai Cover Gallery #119

1986



本田美奈子：1985年、『殺意のバカンス』で歌手デビュー。翌年、『1986年のマリリン』が大ヒット。1990年、ミュージカル『ミス・サイゴン』で歌唱力・演技が高評価された。2005年、38歳で死去。

1986年3月号 | 本田美奈子
Kindai Cover Gallery #118



中山美穂：1985年、ドラマ『毎度おさわがせします』で女優デビューし、『C』で歌手デビュー。ドラマ『すてきな片想い』主演、『世界中の誰よりきっと』の大ヒット等、女優、歌手として活躍！

1985年12月号 | 中山美穂
Kindai Cover Gallery #117

File

1980~1989

#09



1980年代の象徴 その全てがNo.1

1980年代は中森明菜さん、小泉今日子さんら花の82年組、おニャン子クラブ等がデビューしたアイドル全盛の時代でした。その幕開けとなる1980年に登場し、1980年代を代表するNo.1アイドルとなったのが、松田聖子さん。

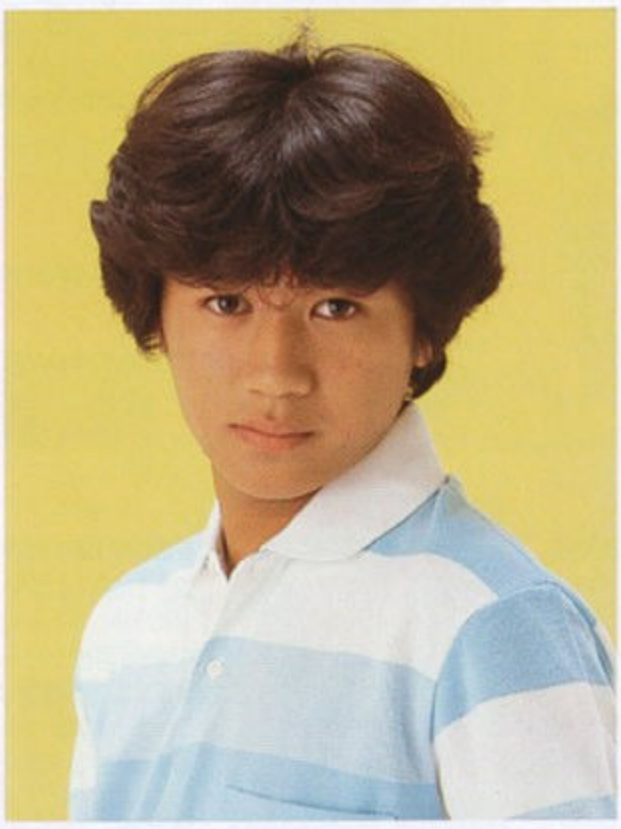
1962年3月10日生まれ。『風立ちぬ』『赤いスイートピー』等、24曲連続でオリコン1位を獲得したシングルは今も歌い継がれる名曲揃い。「ぶりっ子」「聖子ちゃんカット」等、その存在は文化にもなった。

松田聖子 | **Seiko Matsuda**

File

1980~1989

#08



衝撃のデビューで 1980年代を席巻

1980年代、『近代映画』誌上で男性アイドルらしく元気に爆走してくださったのが、近藤真彦さん。

1964年7月19日生まれ。愛称は「マッチ」。1979年、ドラマ『3年B組金八先生』でデビュー。田原俊彦、野村義男と共に「たのきんトリオ」として一躍人気に。1980年のデビューシングル『スニーカーぶる〜す』はオリコン史上初のデビューシングルで初登場1位を獲得。同名の映画にも主演した。現在は、歌手、俳優の他、レース活動も充実。

近藤真彦 | **Masahiko Kondo**

1987



西村知美：愛称は「トロリン」。1986年、『ドン松五郎の生活』で映画デビューし、同作品の主題歌『夢色のメッセージ』で歌手デビュー。愛らしさと天然ボケなキャラクターで人気アイドルに。

1986年 8月号 | **西村知美**
Kindai Cover Gallery #121



芳本美代子：愛称は「みっちょん」。1985年、『白いバスケット・シューズ』で歌手デビュー。代表曲は『ヴァニティ・ナイト』等。1996年、『月とスッポン』のヒロイン役でドラマデビュー。

1986年 9月号 | **芳本美代子**
Kindai Cover Gallery #122



高井麻巳子：「おニャン子クラブ」会員番号16番。岩井由紀子とユニット「うしろゆびさされ組」で活動し、1986年に『シンデレラたちへの伝言』でソロ・デビュー。1988年、秋元康と結婚、引退。

1986年 11月号 | **高井麻巳子**
Kindai Cover Gallery #123



南野陽子：1985年、『恥ずかしすぎて』で歌手デビュー。『楽園のDoor』等が大ヒット。1986年、ドラマ『スケバン刑事II 少女鉄仮面伝説』主演も人気に。映画『はいからさんが通る』等主演。

1987年 4月号 | **南野陽子**
Kindai Cover Gallery #124



渡辺美奈代：「おニャン子クラブ」会員番号29番。渡辺満里奈と人気を二分した。1986年、『瞳に約束』でソロデビュー。ドラマ『季節はずれの海岸物語』等に出演。女優、タレントとしても活躍。

1987年 7月号 | **渡辺美奈代**
Kindai Cover Gallery #125



渡辺満里奈：「おニャン子クラブ」会員番号36番。1986年、『深呼吸して』でソロ・デビュー。ドラマ『予備校ブギ』やバラエティー『とんねるずのみなさんのおかげです』等、多才に活躍。

1987年 8月号 | **渡辺満里奈**
Kindai Cover Gallery #126



後藤久美子：1986年、ドラマ『テレビの国のアリス』の主役で女優デビュー。「国民的美少女」として人気に。映画『ラブ・ストーリーを君に』、ドラマ『痛快！ロックンロール通り』等に主演。

1987年 11月号 | **後藤久美子**
Kindai Cover Gallery #127



浅香 唯：1985年、『夏少女』で歌手デビュー。翌年、ドラマ『スケバン刑事III 少女忍法帖伝奇』の主役に抜擢されて一躍人気に。1989年、映画『YAWARA！』に主演。代表曲は『C-Girl』等。

1987年 12月号 | **浅香 唯**
Kindai Cover Gallery #128

1988



工藤静香：「おニャン子クラブ」会員番号38番。1987年、『禁断のテレパシー』でソロ・デビュー。『黄砂に吹かれて』等が大ヒット。ドラマ『君の瞳をタイホする！』出演等、女優として活躍。

1988年 8月号 | **工藤静香**
Kindai Cover Gallery #129



小川範子：子役時代から数多くのドラマ、舞台で活躍。代表作は『魔夏少女』『スタンドバイミー〜気まぐれ白書〜』『はぐれ刑事純情派』等。1987年、『涙をたばねて』で歌手デビュー。

1988年 11月号 | **小川範子**
Kindai Cover Gallery #130



中村由真：1986年、ドラマ『スケバン刑事III 少女忍法帖伝奇』の風間三姉妹（長女・大西結花、三女・浅香唯）の次女役として主演。1987年、同作品の挿入歌「ジレンマ」で歌手デビュー。

1988年 12月号 | **中村由真**
Kindai Cover Gallery #131

1989



宮沢りえ：三井のリハウスの初代リハウスガールで注目を集め、1989年、『ぼくらの七日間戦争』で映画初主演し、『ドリームラッシュ』で歌手デビュー。1990年代初頭に大ブームを起こした！

1989年 7月号 | **宮沢りえ**
Kindai Cover Gallery #132



中山 忍：姉は中山美穂。1988年、ドラマ『オトコだろッ！』でデビューし、『小さな決心』で歌手デビュー。映画『ゴジラvsメカゴジラ』『ガメラ 大怪獣空中決戦』等に出演。女優として活躍。

1989年 8月号 | **中山 忍**
Kindai Cover Gallery #133

1990



田村英里子：1989年、『ロコモーション・ドリーム』で歌手デビュー。代表曲は『真剣（ほんき）』等。女優としても活動。ドラマ『私が愛したウルトラセブン』ではヒロインを演じた。

1990年 3月号 | **田村英里子**
Kindai Cover Gallery #134



CoCo：乙女塾出身の人気グループ。メンバーは、宮前真樹、羽田惠理香、大野幹代、三浦理恵子、瀬能あづさ。1989年、『EQUALロマンス』でデビュー。代表曲に『はんぶん不思議』等。

1990年 4月号 | **CoCo**
Kindai Cover Gallery #135



高岡早紀：1988年、『真夜中のサブリナ』で歌手デビュー。1989年、映画『バタアシ金魚』でヒロインを演じて注目を集める。代表作は映画『忠臣蔵外伝 四谷怪談』『KYOKO』等。

1990年 9月号 | **高岡早紀**
Kindai Cover Gallery #136



ribbon：乙女塾から誕生した人気アイドルグループ。メンバーは、永作博美、松野有里巳、佐藤愛子。1989年、『リトル☆デイト』でデビュー。代表曲は『あのコによろしく』等。

1990年 12月号 | **ribbon**
Kindai Cover Gallery #137

1991



西田ひかる：1988年、ミュージカル『小公子セディ』で舞台デビュー。同年、シングル「フィフティーン」で歌手デビュー。『ときめいて等が大ヒット。ドラマ『デパート！夏物語』等に出演。

1991年 4月号 | **西田ひかる**
Kindai Cover Gallery #138



三浦理恵子：乙女塾2期生。CoCoでレコードデビュー後、1991年、『涙のつぼみたち』でソロ・デビュー。『特命係長・只野仁』シリーズ、『THE夜もヒッパレ』等、女優、タレントで活躍。

1991年 8月号 | **三浦理恵子**
Kindai Cover Gallery #139



瀬能あづさ：乙女塾2期生。CoCoでデビュー後、1991年、『もう泣かないで』でソロ・デビュー。翌年、CoCoを脱退。ドラマ『積木くずし崩壊』ではヒロインを演じた。1995年、引退。

1991年 12月号 | **瀬能あづさ**
Kindai Cover Gallery #140

1993



東京パフォーマンスドール：1990年結成。メンバーは、木原さとみ、米光美保、篠原涼子、川村知砂、市井由理、穴井夕子、八木田麻衣。代表曲は『CATCH!!』等。ライブの評価が高く人気に。

1993年7月号 | 東京パフォーマンスドール
Kindai Cover Gallery #144



高橋由美子：1989年、『冬の旅・女ひとり』でドラマデビュー。翌年『Step by Step』で歌手デビュー。ドラマ『南くんの恋人』や映画『時の輝き』等に主演。20世紀最後の正統派アイドル。

1992年4月号 | 高橋由美子
Kindai Cover Gallery #143

1992



中嶋美智代：乙女塾3期生としてフジテレビ『パラダイスGoGo!!』等に出演し、CDデビュー前から人気を獲得。1991年、『赤い花束』で歌手デビュー。代表曲は『ひなげし』『初恋通り』等。

1992年3月号 | 中嶋美智代
Kindai Cover Gallery #142



牧瀬里穂：1989年、JR東海「クリスマス・エクスプレス」のCMで人気に。翌年から『東京上空いらっしゃいませ』『つぐみ』『幕末純情伝』連続で映画主演し、『Miracle Love』で歌手デビュー。

1991年12月号 | 牧瀬里穂
Kindai Cover Gallery #141



ともさかりえ：1992年、CMでデビュー。ドラマ『金田一少年の事件簿』でヒロインを演じて人気に。1996年、『エスカレーション』で歌手デビュー。同年、『友子の場合』で映画初主演。

1995年8月号 | ともさかりえ
Kindai Cover Gallery #148



菅野美穂：1992年、『桜っ子クラブ』でデビューし人気に。翌年、『ツインズ教師』でドラマデビュー。1995年、『恋をしよう！』で歌手デビュー。翌年の主演ドラマ『イグアナの娘』は話題に。

1995年5月号 | 菅野美穂
Kindai Cover Gallery #147

1995



坂井真紀：1992年、ドラマ『90日間トテナム・パブ』でデビュー。東京ビューティーセンターのCMで話題に。1994年、ドラマ『私の運命』に主演。代表作はドラマ『ひと夏のプロポーズ』等。

1995年3月号 | 坂井真紀
Kindai Cover Gallery #146

1994



穴井夕子：1990年、東京パフォーマンスドールのメンバーとなり人気を獲得。1991年、初ソロシングル『We should be dancing』をリリース。TPD卒業後は歌手、タレントとして活躍。

1994年12月号 | 穴井夕子
Kindai Cover Gallery #145



宝生 舞：1993年、『ツインズ教師』でドラマデビュー。1996年にドラマ『銀狼怪奇ファイル』、1997年にはドラマ『ぼくらの勇気 未満都市』に出演。代表作は『ショムニ』シリーズ等。

1996年8月号 | 宝生 舞
Kindai Cover Gallery #152

1996



KinKi Kids：メンバーは、堂本光一、堂本剛。1997年、シングル『硝子の少年』、アルバム『A album』（同時発売）でCDデビューし大ヒット。全シングルがオリコン初登場1位獲得、ギネス記録に。

1996年2月号 | KinKi Kids
Kindai Cover Gallery #151



内田有紀：1992年、ドラマ『その時、ハートは盗まれた』でデビュー。1994年、『時をかける少女』でドラマ初主演。同年、『TENCAを取ろう！～内田の野望～』で歌手デビューし大ヒット。

1995年12月号 | 内田有紀
Kindai Cover Gallery #150



安室奈美恵：1995年、シングル『TRY ME ～私を信じて～』が大ヒット。同年、『Chase the Chance』で初のオリコン1位を獲得。「アムラー」と呼ばれる女性ファンが急増して、一大ブームに！

1995年9月号 | 安室奈美恵
Kindai Cover Gallery #149

File #11

1990~1999



1990年代、新しいアイドル像を確立

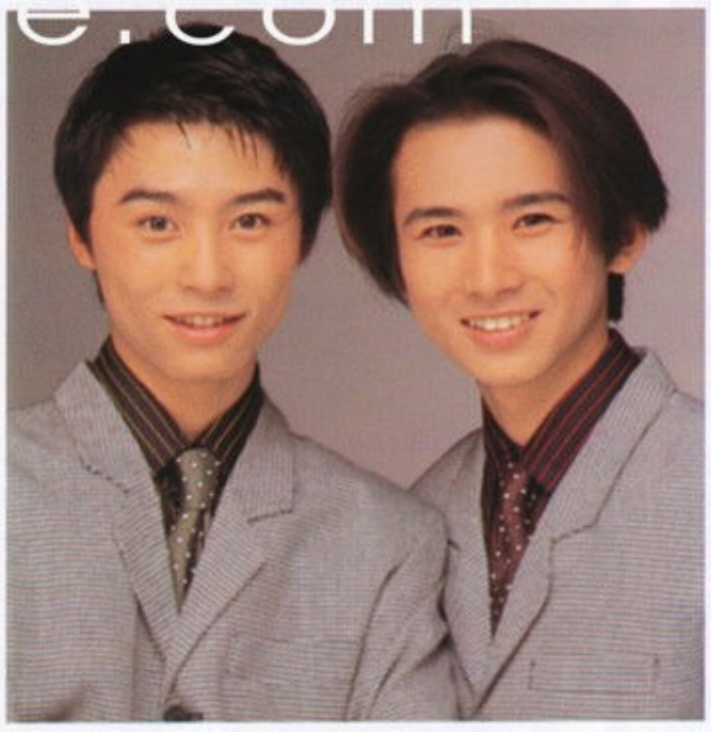
1990年代前半のアイドル冬の時代の後、新しいタイプのアイドルが続々と登場した。CMで注目を集めブレイクし、『Kindai』の表紙を数多く飾ってくださった、広末涼子さんもその一人。1980年7月18日生まれ。クレアラシルやNTTドコモのCMに出演し、明るく透明感のあるキャラクターで一躍人気アイドルに。1997年、大ヒットした『MajiでKoiする5秒前』で歌手デビュー。近年は映画『おくりびと』等の作品で女優として高く評価されています。

広末涼子 | Ryoko Hirosue

File #10

1990~1999

数多の記録を持つ不滅のデュオ



『近代映画』で初めて男性単独での表紙、そして『Kindai』と誌名を変更した1996年7月号でも表紙を飾ってくださったのが、KinKi Kids。

メンバーは、堂本光一さん（1979年1月1日生まれ）、堂本剛さん（1979年4月10日生まれ）。ドラマ『若菜のころ』等、数々の作品に主演。1997年、満を持してのデビューシングル『硝子の少年』とアルバム『A album』は共にオリコン初登場1位を獲得。以降、ギネスブックに認定される等数多くの記録を樹立。

KinKi Kids | KinKi Kids

Kindai Cover Gallery



二宮和也：1999年、嵐を結成し、『A・RA・SHI』でCDデビュー。ドラマ『流星の絆』や映画『硫黄島からの手紙』等に主演・出演／**生田斗真**：ドラマ『魔王』『魔女裁判』や多くの舞台で主演。

1997年8月号 ジャニーズJr. Kindai Cover Gallery #156

1997



吉川ひなの：中学生の頃からファッションモデルとして活躍。1997年、『ハート型の涙』で歌手デビュー。同年、『デボラがライバル』で映画初主演。代表作はドラマ『三姉妹探偵団』等。

1997年1月号 吉川ひなの Kindai Cover Gallery #155



MAX：メンバーは、Nana、Mina、Reina、Lina。1995年、『恋するヴェルファーレダンス～Saturday Night～』でCDデビュー。代表曲は『Give me a Shake』『Ride on time』『一緒に…』等。

1996年12月号 MAX Kindai Cover Gallery #154



広末涼子：1994年、クレアラシルのCMでデビュー。NTTドコモポケベルのCMで一躍大人気に。1995年、『ハートにS』でドラマデビュー。1997年、『MajiでKoiする5秒前』で歌手デビュー。

1996年11月号 広末涼子 Kindai Cover Gallery #153



滝沢秀明：2002年、タッキー＆翼を結成。アルバム『Hatachi』でCDデビュー。『オルトロスの犬』等でドラマ主演／**松本潤**：1999年、嵐を結成し、CDデビュー。『スマイル』等でドラマ主演。

1998年10月号 ジャニーズJr. Kindai Cover Gallery #160



奥菜 恵：1992年、映画＆ドラマ『パ★テ★オ』でデビュー。1997年、『ふたり』で連ドラ初主演。代表作はドラマ『若葉のころ』『青の時代』等。1995年、『この悲しみを乗り越えて』で歌手デビュー。

1998年8月号 奥菜 恵 Kindai Cover Gallery #159



榎本加奈子：1995年、ドラマ『家なき子2』でドラマデビューし注目を集める。1998年、『おそるべしっっ!!! 音無可憐さん』で連ドラ初主演。代表作はドラマ『P.A. プライベートアクトレス』等。

1998年6月号 榎本加奈子 Kindai Cover Gallery #158

1998



堂本 剛：『金田一少年の事件簿』シリーズや『若葉のころ』『ぼくらの勇気 未満都市』(共に堂本光一とW主演)、『青の時代』『33分探偵』等の作品に主演。アーティストとして音楽活動も。

1998年2月号 堂本 剛 Kindai Cover Gallery #157



深田恭子：1996年、ホリプロタレントスカウトキャラバンでグランプリを受賞し、翌年、『FiVE』で連ドラ初出演。1999年、『鬼の棲家』でドラマ初主演。同年、『最後の果実』で歌手デビュー。

1999年7月号 深田恭子 Kindai Cover Gallery #164



相葉雅紀：1999年、嵐を結成し、CDデビュー。今秋、『マイガール』で連ドラ初主演／**山下智久**：2003年、NEWSを結成。『NEWSニッポン』でCDデビュー。『ブザー・ビート』等でドラマ主演。

1999年6月号 ジャニーズJr. Kindai Cover Gallery #163

1999



鈴木あみ：1998年、テレビ東京『ASAYAN』のオーディションで選ばれ、同年、『love the island』で歌手デビュー。一躍大人気に。代表曲は『BE TOGETHER』等。その後、「鈴木亜美」に改名。

1999年5月号 鈴木あみ Kindai Cover Gallery #162



今井 翼：2002年、タッキー＆翼を結成しCDデビュー。ドラマ『ネバーランド』に主演／**渋谷すばる・村上信五**：2002年、関ジャニ∞を結成し、2004年、『浪花いろは節』でCDデビュー。

1998年12月号 ジャニーズJr. Kindai Cover Gallery #161



優 香：グラビアアイドルとして人気を集め、日本コカ・コーラ『ジョージア』のCM等でブレイク。2000年、『20歳の結婚』でドラマ初主演。2002年、映画『恋に唄えば♪』で映画初主演。

2000年12月号 優 香 Kindai Cover Gallery #168



内山理名：1998年、『美少女H』でドラマデビュー。ドラマ『美しい人』『GOOD LUCK!!』[illegible]主演。2003年『卒業』で映画初主演。2005年『大奥～華の乱～』で連ドラ初主演。

2000年6月号 内山理名 Kindai Cover Gallery #167

2000



藤井 隆：吉本新喜劇で人気を集め「HOT！HOT！」のギャグでブレイク。2000年には『ナンダカンダ』で歌手デビュー。バラエティー番組はもちろん、映画、ドラマ等、様々な舞台で活躍中。

2000年2月号 藤井 隆・奥菜 恵 Kindai Cover Gallery #166



加藤あい：1997年、『ギフト』でドラマデビュー。1999年、『ベストフレンド』でドラマ初主演。代表作はドラマ『池袋ウエストゲートパーク』『傷だらけのラブソング』、映画『海猿』等。

1999年9月号 加藤あい Kindai Cover Gallery #165



黒澤 優：祖父は映画監督の故・黒澤明。モデルとして活動後、2000年、『ISOLA』で映画デビュー。その後、ドラマ『伝説の教師』『F-17』等に出演。2002年、SOPHIAの松岡充と結婚し、引退。

2001年8月号 黒澤 優 Kindai Cover Gallery #172



星野真里：『3年B組金八先生』に金八先生の娘役で出演し注目される。1997年、『WHO!?』で連ドラ初主演。2001年、ドラマ『新・星の金貨』に主演し、主題歌『ガラスの翼』でCDデビュー。

2001年7月号 星野真里 Kindai Cover Gallery #171



後藤理沙：1998年、「ポカリスエット」CMで注目、『世界で一番パパが好き』でドラマデビュー。2001年、『死びとの恋わずらい』で映画初主演。代表作はドラマ『サイコメトラーEIJI2』等。

2001年4月号 後藤理沙 Kindai Cover Gallery #170

2001



鈴木 杏：1996年、9歳の時に『金田一少年の事件簿』でドラマデビュー。翌年、ドラマ『青い鳥』に出演し話題に。代表作はドラマ『がんばっていきまっしょい』、映画『花とアリス』等。

2001年1月号 鈴木 杏 Kindai Cover Gallery #169



Folder5：メンバーは、AKINA、ARISA、HIKARI、NATSU、MOE。2000年、シングル『SUPERGIRL』でデビュー。代表曲は『Believe』『STAY…』『Final Fun-Boy』『Magical Eyes』等。

2002年 5月号 | **Folder5**
Kindai Cover Gallery #176



上戸彩：2000年、ドラマ『涙をふいて』で女優デビュー。2002年、1stシングル『Pureness』リリース。代表作は映画『あずみ』、ドラマ『3年B組金八先生』『アテンションプリーズ』等。

2002年 4月号 | **上戸 彩**
Kindai Cover Gallery #175

2002



飯田圭織：1998年、モーニング娘。のメンバーとしてシングル『モーニングコーヒー』でメジャーデビュー。2003年、ソロ・アルバム『オザヴリオ』を発表。2005年、モーニング娘。を卒業。

2002年 3月号 | **飯田圭織**
Kindai Cover Gallery #174



瀬戸朝香：1992年、映画『湾岸バッド・ボーイ・ブルー』でデビュー。代表作はドラマ『君といた夏』『東京大学物語』『Age,35 恋しくて』『晴れ着、ここ一番』『となりの芝生』等。

2001年 12月号 | **瀬戸朝香**
Kindai Cover Gallery #173



AKINA：2002年、『Touch me』でソロ・デビュー。2003年、ドラマ『Stand Up!!』に出演。2008年、舞台『中野ブロンディーズ』では主役を務めた。歌手・女優として活躍中。

2002年 12月号 | **AKINA**
Kindai Cover Gallery #180



藤本美貴：2002年、『会えない長い日曜日』でCDデビュー。代表曲は『ロマンティック 浮かれモード』等。2003年、モーニング娘。に6期メンバーとして加入。2007年、モーニング娘。を脱退。

2002年 11月号 | **藤本美貴**
Kindai Cover Gallery #179



松本莉緒：1995年、『終らない夏』でドラマデビュー。代表作はドラマ『聖者の行進』『太陽の季節』、映画『東京フレンズ The Movie』等。女優、ファッションモデルとして活躍中。

2002年 7月号 | **松本莉緒**
Kindai Cover Gallery #178



ソニン：2000年、EE JUMPとしてシングル『LOVE IS ENERGY！』でCDデビュー。2001年、初ソロ・シングル『WINTER-寒い季節の物語-』をリリース。女優、タレントとして活躍中。

2002年 6月号 | **ソニン**
Kindai Cover Gallery #177



平山あや：1999年ドラマ『可愛いだけじゃダメかしら?』で女優デビュー。2003年、『ラヴァーズ・キス』で映画初主演。2005年、『はるか17』で連ドラ初主演。代表作は映画『バックダンサーズ!』等。

2003年 12月号 | **平山あや**
Kindai Cover Gallery #184



安倍麻美：2003年、『理由』でCDデビュー。代表曲は『Our Song』『きみをつれていく』等。『南くんの恋人』等のドラマに出演し女優としても活躍。姉は元モーニング娘。の安倍なつみ。

2003年 5月号 | **安倍麻美**
Kindai Cover Gallery #183



メロン記念日：メンバーは、斉藤瞳、村田めぐみ、大谷雅恵、柴田あゆみ。2000年、『甘いあなたの味』でCDデビュー。代表曲は『This is 運命』『さぁ！恋人になろう』『香水』『赤いフリージア』等。

2003年 4月号 | **メロン記念日**
Kindai Cover Gallery #182

2003



ZONE：オリジナルメンバーは、TAKAYO、MIYU、MAIKO、MIZUHO。2001年、『GOOD DAYS』でメジャーデビュー。代表曲は『secret base ～君がくれたもの～』等。2005年、解散。

2003年 1月号 | **ZONE**
Kindai Cover Gallery #181

Kindai Cover Gallery

Kindai Cover Gallery

Kindai Cover Gallery

Kindai Cover Gallery

Kindai Cover Gallery

File #13

2000~



様々なシーンで活躍 21世紀初のアイドル

2000年代に入り『Kindai』の表紙を最も飾ってくださったのが、上戸彩さん。1985年9月14日生まれ。1997年、第7回全日本国民的美少女コンテスト審査員特別賞受賞。2000年、ドラマ『涙をふいて』で女優デビュー。翌年、ドラマ『3年B組金八先生 第6シリーズ』で性同一性障害を抱えた中学生を演じ、、一躍大人気に。その後の女優、歌手としての活躍は周知の通り。近年ではソフトバンクモバイル「ホワイト家族24」のCMも話題に。

上戸 彩 | **Aya Ueto**

File #12

2000~

国民的人気のスーパーグループ



2000年代、『Kindai』巻頭グラビアに数多く登場してくださったのが、今や国民的人気の、嵐。メンバーは、大野智さん（1980年11月26日生まれ）、櫻井翔さん（1982年1月25日生まれ）、相葉雅紀さん（1982年12月24日生まれ）、二宮和也さん（1983年6月17日生まれ）、松本潤さん（1983年8月30日生まれ）。1999年、『A・RA・SHI』でCDデビュー。音楽、映画、ドラマ、舞台、バラエティー等、グループ、個々で大活躍。今年、デビュー10周年を迎えた。

嵐 | **Arashi**



2006

堀北真希：2003年、『COSMIC RESCUE』で映画デビュー。同年、『ケータイ刑事 銭形舞』でドラマ初主演。代表作はドラマ『クロサギ』『花ざかりの君たちへ』『イノセント・ラヴ』等。

2006年6月号 | **堀北真希**
Kindai Cover Gallery #188



玉置成実：2003年、『Believe』でCDデビュー。代表曲は、『Realize』『Reason』『Result』等。2006年には初舞台『スウィート・チャリティ』で主演を務めた。歌手、女優として活躍中。

2004年12月号 | **玉置成実**
Kindai Cover Gallery #187



石原さとみ：2003年、映画『わたしのグランパ』でデビュー。同年、NHK朝ドラ『てるてる家族』のヒロインに抜擢された。代表作は映画『フライング☆ラビッツ』、ドラマ『Nsあおい』等。

2004年9月号 | **石原さとみ**
Kindai Cover Gallery #186



2004

後藤真希：1999年、モーニング娘。に加入し『LOVEマシーン』でデビュー。2001年、『愛のバカやろう』でソロデビュー。同年、『マリア』でドラマ初出演。2002年、モーニング娘。卒業。

2004年8月号 | **後藤真希**
Kindai Cover Gallery #185



薮 宏太：ドラマ『3年B組金八先生 第7シリーズ』等出演／**八乙女光**：ドラマ『3年B組金八先生 第7シリーズ』等出演／**中島裕翔**：ドラマ『スクラップ・ティーチャー～教師再生～』等出演。

2007年2月号 | **ジャニーズJr.**
Kindai Cover Gallery #192



2007

Berryz工房：メンバーは、清水佐紀、嗣永桃子、徳永千奈美、須藤茉麻、夏焼雅、熊井友理奈、菅谷梨沙子。2004年、『あなたなしでは生きてゆけない』でデビュー。代表曲は『ピリリと行こう！』等。

2007年1月号 | **Berryz工房**
Kindai Cover Gallery #191



戸田恵梨香：2005年、ドラマ『エンジン』で本格デビュー。2006年、映画『デスノート』のヒロイン役が話題に。2007年、『LIAR GAME』で連ドラ初主演。代表作はドラマ『流星の絆』等。

2006年12月号 | **戸田恵梨香**
Kindai Cover Gallery #190



黒川智花：2002年、『愛なんていらねえよ、夏』でドラマ初出演。2005年、『雨と夢のあとに』で連ドラ初主演。『8.1』で映画初主演。代表作は『3年B組金八先生』『てるてるあした』等。

2006年8月号 | **黒川智花**
Kindai Cover Gallery #189



新垣結衣：愛称「ガッキー」。『ニコラ』の人気モデルから2005年、ドラマ『Sh15uya』で女優デビュー。2007年、『恋するマドリ』『恋空』で映画初主演。同年アルバム『そら』でCDデビュー。

2007年12月号 | **新垣結衣**
Kindai Cover Gallery #196



沢尻エリカ：2003年、『ホットマン』で連ドラ初出演。2005年、映画『パッチギ！』と初主演ドラマ『1リットルの涙』で数多くの新人賞を受賞。代表作はドラマ『タイヨウのうた』等。

2007年10月号 | **沢尻エリカ**
Kindai Cover Gallery #195



山田涼介：ドラマ『スクラップ・ティーチャー』等出演／**知念侑李**：ドラマ『スクラップ・ティーチャー』等出演／**森本龍太郎**：ドラマ『受験の神様』出演／森本慎太郎：ドラマ『恋して悪魔』等出演。

2007年9月号 | **ジャニーズJr.**
Kindai Cover Gallery #194



モーニング娘。：1997年、結成。現在のメンバーは、高橋愛、新垣里沙、亀井絵里、道重さゆみ、田中れいな、久住小春、光井愛佳、ジュンジュン、リンリン。最新シングルは『なんちゃって恋愛』。

2007年4月号 | **モーニング娘。**
Kindai Cover Gallery #193



2009

Hey!Say!JUMP：メンバーは、岡本圭人、山田涼介、中島裕翔、知念侑李、森本龍太郎、薮宏太、高木雄也、伊野尾慧、八乙女光、有岡大貴。2007年、『Ultra Music Power』でデビュー。

2009年2月号 | **Hey!Say!JUMP**
Kindai Cover Gallery #200



北乃きい：2005年、恋する日曜日『夏の記憶』でドラマ初主演。2007年、『幸福な食卓』で映画初主演。同年、『ライフ』で連ドラ初主演。代表作は映画『ラブファイト』『ハルフウェイ』等。

2008年8月号 | **北乃きい**
Kindai Cover Gallery #199



中山優馬：ドラマ『バッテリー』『恋して悪魔～ヴァンパイア☆ボーイ』等主演。2009年、中山優馬 w/ B.I.Shadow／NYCboysとして、両A面シングル『悪魔な恋／NYC』でCDデビュー。

2008年4月号 | **中山優馬**
Kindai Cover Gallery #198



2008

°C-ute：メンバーは、梅田えりか、矢島舞美、中島早貴、鈴木愛理、岡井千聖、萩原舞。2007年、『桜チラリ』でデビューし、日本レコード大賞最優秀新人賞受賞。代表曲は『都会っ子純情』等。

2008年3月号 | **°C-ute**
Kindai Cover Gallery #197

64年間ありがとうございました

月刊『近代映画』は昭和20年12月の創刊以来、64年に渡ってご愛読を頂きましたが、
本号をもって休刊することになりました。
映画のエンターテイメント雑誌としてスタート。原 節子さん、高峰三枝子さん、高峰秀子さん、
上原 謙さん、佐野周二さんなどが表紙を飾っていた映画俳優全盛時代。
そしてその後の昭和のスター、石原裕次郎さん、美空ひばりさん、吉永小百合さん時代から
御三家、沢田研二さんをはじめとするグループ・サウンズ時代、そして山口百恵さん、松田聖子さんなどや、
ジャニーズのアイドルたちが活躍するテレビ・歌謡アイドル時代などなど、終始時代と共に歩んできました。
『近代映画』から『Kindai』に変わった今日まで、出演してくださったスターの皆様、
読者の皆様、様々なスタッフや関係者の皆様にご支援を頂いたことに有り難く心より感謝申し上げます。

株式会社近代映画社
代表取締役　小杉修造
Kindai編集部一同

Thank you!!

64年間、
ありがとうございました!!

Kindai Last Present

サヨナラはわかれの言葉じゃなくて、再び逢うまでの遠い約束……なんて歌が昔ありました。Kindaiもその言葉を胸に……64年間、ありがとうございました!! Kindaiからのラスト・プレゼント。直筆サイン入りポラほかプレゼント!!

応募方法 P106のアンケートの答えをとじ込みハガキに書いて、希望の商品の番号と名前を明記して、応募して下さい。10月22日（当日消印有効）締め切りです。

01 新垣結衣 1名



04 ℃-ute 6名

※どのポラが欲しいか、ハガキに明記して下さい。（例：04-A）



03 北乃きい 3名



02 石原さとみ 2名



09 南沢奈央 2名



08 福田沙紀 2名



07 西内まりや 2名



06 桜庭ななみ 2名



05 足立梨花 2名



14 オリエンタルラジオ 2名



13 水野絵梨奈 1名



12 前田 愛 1名



11 蓮佛美沙子 1名



10 黒川智花 2名



18 RUN&GUN 2名



17 入江甚儀 2名



16 前田公輝 2名



15 斉藤祥太・斉藤慶太 3名



※どのポラが欲しいか、
ハガキに明記して下さい。
（例：15-A）

B V6：キーホルダー

5名

井ノ原快彦出演のテレビ朝日系ドラマ「新・警視庁捜査一課９係」の主題歌としてオンエアされていた、Ｖ６の36枚目のシングル「GUILTY」が好評発売中だ。R&Bのアプローチを取り入れ、叶わぬ恋を歌う新機軸の大人のSexy ダンス・チューン。現在の６人にふさわしい色気を感じさせる楽曲となっている。さらに、カップリングの「逢いたくて」は続編をイメージしたバラード。通常版にはさらに「Medecine」と「蜃気楼」の２曲の新曲も収録されている。GUILTYキーホルダーを３名様に。エイベックス提供。





A Kindai：バックナンバーセット

3名



今号で64年の歴史に幕を閉じる『Kindai』。そこで愛読してくださった読者の方に抽選で、2007年11月号～2009年10月号の2年分のバックナンバーをまとめてプレゼント。特に2008年3月号は売り切れて書店での入手は困難！　保存用としてぜひGETしてください！

19 AAA

2名



20 AKB48

※どのポラが欲しいか、ハガキに明記して下さい。（例：20-A）

6名



C 東方神起：サイン入りポスター

5名

東京ドーム公演で、ジェジュンとユチョンが歌った新曲を含んだ、2人のユニット『JEJUNG & YUCHUN（from 東方神起）』の両A面シングル『COLORS ～Melody and Harmony～ / Shelter』が9月30日にリリース。同日、東方神起 LIVE DVD『4th LIVE TOUR 2009～The Secret Code～ FINAL in TOKYO DOME』がリリースされるよ。そこでJEJUNG & YUCHUNのサイン入りポスターをプレゼント！（現在、ポスターがまだ完成していないのでどんなポスターになるのかはお楽しみに！）エイベックス提供。



23 JURIAN BEAT CRISIS

1名



22 9nine

2名



21 真野恵里菜

1名



28 武井 咲

2名



27 私立恵比寿中学

2名



26 姫ちゃん

2名



25 森三中

3名



24 ケンドーコバヤシ・NON STYLE

2名



33 坂田 彩・原 嶺衣奈 山内映美莉・笹丘明里

2名



32 日向千歩

3名



31 水崎綾女

3名



30 佐藤 唯

1名



29 立花彩野

1名





Kindai

CONTENTS 2009.11 November

表紙モデル/℃-ute
フォト/久保田司(本誌)
ヘアメイク/VANITES
デザイン/鵜飼大一













Kindaiと近代映画社の最新情報はホームページでゲット!!
http://www.kindaieigasha.co.jp

印刷・製版/大日本印刷株式会社　製版/株式会社光版社

近代映画社出版物のご案内

Kindai バックナンバー


'09.10月号 新垣結衣・Hey! Say! JUMP・山下智久・滝沢秀明・錦戸亮・八乙女光・薮宏太・中山優馬・Coming Century・テゴマス 580円


'09.9月号 中山優馬・滝沢秀明&錦戸亮・山下智久・薮宏太・八乙女光・森本慎太郎・中島健人・Kis-My-Ft2&屋良朝幸&内 博貴 570円


'09.8月号 北乃きい・KAT-TUN・20th Century・関ジャニ∞・ジャニーズJr.・山下智久・山田涼介・知念侑李・八乙女光 560円


'09.7月号 Berryz工房・櫻井 翔・横山 裕・二宮和也・松本 潤・生田斗真・Hey! Say! JUMP・田中 聖・上田竜也・石原さとみ 540円


'09.6月号 堀北真希・Hey! Say! 7・松本 潤・櫻井 翔・横山 裕・生田斗真・上田竜也・滝沢秀明・安田章大・新垣結衣・戸田恵梨香 540円


'09.5月号 中山優馬 w/ Hey!Say!7 WEST・松本 潤・二宮和也・相葉雅紀・上田竜也・上戸彩・モーニング娘。・JEJUNG 560円


'09.4月号 石原さとみ・生田斗真・堂本光一・山田涼介・中島裕翔・森本龍太郎・亀梨和也・大野 智・中丸雄一・上戸 彩 540円


'09.3月号 Berryz工房・Hey！Say！JUMP・KinKi Kids・NEWS・内 博貴・関西ジャニーズJr.・Jonnys' Countdown 08-09 610円


'09.2月号 Hey！Say！JUMP・ジャニーズJr.・関西ジャニーズJr.・大塚愛・KinKi Kids・山下智久・新垣結衣・石原さとみ 580円


'09.1月号 ℃-ute・二宮和也×錦戸亮・戸田恵梨香・中島×山田×知念×有岡・森田 剛・井ノ原快彦 <付録>℃-uteミニ写真集 590円


'08.12月号 戸田恵梨香・二宮和也×錦戸 亮・中島×山田×知念×有岡・関ジャニ∞・ジャニーズLive &Stage・新垣結衣 540円


'08.11月号 堀北真希・嵐・ジャニーズLive&Stage特集PART 2・モーニング娘。・二宮和也・錦戸 亮・新垣結衣・上戸 彩 580円


'08.10月号 Buono!・ジャニーズLive&Stage特集・山下智久・新垣結衣・戸田恵梨香・上戸 彩・石原さとみ・堀北真希 600円


'08.9月号 Hey! Say! BEST・少年隊・嵐・関ジャニ∞・山下智久・新垣結衣・戸田恵梨香・上戸 彩・石原さとみ・堀北真希 580円


'08.8月号 北乃きい・村上信五×丸山隆平×安田章大・山下智久・新垣結衣・大野 智・生田斗真・Hello!Project図鑑 540円


'08.7月号 モーニング娘。・Hey！Say！JUMP・「ごくせん」・中島裕翔・山田涼介・森本龍太郎・新垣結衣・大塚 愛 570円


'08.6月号 石原さとみ・関ジャニ∞・加藤成亮・内博貴・中山優馬・新垣結衣・上戸 彩・モーニング娘。・JEJUNG 540円


'08.5月号 上戸 彩・中島裕翔×山田涼介×森本慎太郎・中山優馬×高田 翔・ベリキュー対談・亀梨和也・田中 聖・薮宏太 570円


'08.4月号 中山優馬×森本慎太郎×高田 翔・亀梨和也×山田涼介・新垣結衣・成海璃子・生田斗真・内 博貴・上戸 彩 540円


'08.2月号 Hey! Say! 7・『3年B組金八先生』生徒名鑑・亀梨和也・生田斗真・上戸 彩・新垣結衣・℃-ute・Berryz工房 580円


'08.1月号 モーニング娘。・Hey! Say! JUMP・長瀬智也・大倉忠義・新垣結衣 <付録>モーニング娘。クリアファイル 630円


'07.12月号 新垣結衣・山下智久・金八先生特集・Hey! Say! JUMP・モーニング娘。・赤西 仁×横山裕×田口淳之介 580円


'07.11月号 上戸彩・滝沢秀明・ジャニーズJr.の大冒険07・亀梨和也・新垣結衣・戸田恵梨香・堀北真希・AAA 570円


'07.9月号 中島裕翔×山田涼介×知念侑李×森本龍太郎×森本慎太郎・モーニング娘。・二宮和也×桜井翔・生田斗真 600円

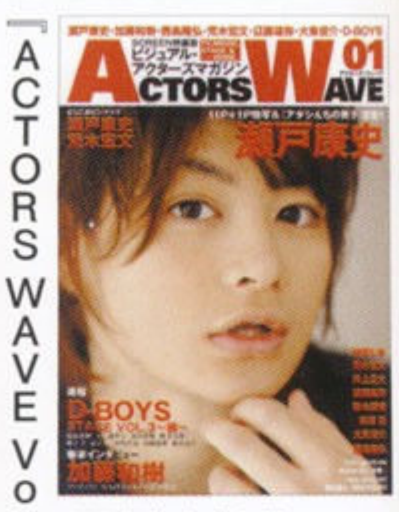

'07.8月号 堀北真希・二宮和也×桜井 翔・滝沢秀明・ジャニーズJr.・KAT-TUN・上戸 彩・石原さとみ・Berryz工房 540円


'07.7月号 戸田恵梨香・松本潤・山下智久・田中聖・ジャニーズLIVE特集・国分太一×香里奈・モーニング娘。 540円


'07.6月号 石原さとみ・松本潤・山下智久・田中 聖・戸田恵梨香・田口淳之介・新垣結衣・上戸彩・堀北真希・モーニング娘。 540円

注目の本


『声優プリンセス』
平野 綾・亀井絵里（モーニング娘。）・スフィア［寿 美菜子・高垣彩陽・戸松 遥・豊崎愛生］・小川真奈・中島 愛・MAKO・伊藤かな恵・明坂聡美・佐藤聡美・竹達彩奈・日笠陽子 1260円


ACTORS WAVE Vol.1
瀬戸康史・加藤和樹・D-BOYS STAGE・相葉弘樹・荒木宏文・井上正大・遠藤雄弥・桜田 通×阪本奨悟・大東俊介・西島隆弘（AAA） 1470円

↓写真集 etc. バックナンバー↓

- ●水野裕子 2835円
- ●仲間由紀恵 2625円
- ●ピンクレディー メモリアルブック 2900円
- ●KABA.ちゃん フォトエッセイ集 1785円
- ●ナキガオ 1680円
- ●石田未来『ありがと』 2625円
- ●柳 浩太郎『なぎランド』 2415円
- ●川島海荷『NU』 2940円
- ●黒川智花 フォトエッセイ集『With You』 2100円
- ●『モーニング娘。の かんたん！中国語BOOK』 1470円

↓Kindai バックナンバー↓

- '07.1月号 570円（表紙 Berryz工房・亀梨和也・田中聖・堂本光一・中島裕翔）
- '07.2月号 630円（表紙 薮宏太&八乙女光&中島裕翔・ジャニーズJr.・上戸彩）
- '07.3月号 630円（表紙 上戸彩・ジャニーズLIVE特集・堂本光一・松本潤）
- '07.4月号 580円（表紙 モーニング娘。・松本潤×小栗旬×松田翔太×阿部力）
- '07.5月号 580円（表紙 新垣結衣×菅澤美月×下垣真香×下田奈奈×川島海荷）

↓memew バックナンバー↓

vol.1～5	1029円	memewDX02	1575円
vol.6～7	1260円	memewDX03	
vol.8～18	1365円	(O-16plus、U-15)	1575円
vol.19、26、28	1785円	memewDX04	1575円
vol.20～25、27、29	1470円	memewDX THE SUN	1575円
vol.30～32、34、36、38	1680円	memewDX THE SEA	1575円
vol.33、35、37、39	1995円	memewDX07、08	1995円

↓今月のお知らせ↓

Kindaiのバックナンバー及び写真集・特集号は以下の書店でも取り扱っております。●書泉ブックマート（東京・神田神保町）●書泉グランデ（東京・神田神保町）●書泉ブックタワー（東京・秋葉原）●福家書店銀座店（東京・銀座）

↓お申し込み方法↓

『Kindai』バックナンバー、写真集ともご希望の品を明記（例：Kindai '09年4月号、水野裕子写真集 など）の上、定価に送料を添えて現金書留にて下記までお申し込み下さい。また送料はKindai、写真集とも何冊でもすべて400円です。また在庫僅少につき品切れになる場合もございます。商品到着まで、2週間程度かかりますのでご了承下さい。

↓お申し込み先↓

〒101-8560 東京都千代田区
神田須田町2-8-2プライム神田ビル
近代映画社 通信販売係

※お客さまのご住所は都道府県よりはっきりお書きください。表記の金額はすべて消費税（5%）を含んでおります。

↓インターネットからでも購入出来ます↓

近代映画社ホームページ
http://www.kindaieigasha.co.jp
近代映画社刊行物の新刊情報、イベント情報はホームページでチェック！

memew & AQUA★12 バックナンバー


memew vol.44 1680円 <巻頭>川島海荷


AQUA★12 vol.3 2100円 <巻頭>愛衣


memew vol.43 2100円 <巻頭>桜庭ななみ


memew vol.42 1680円 <巻頭>AKB48


AQUA★12 vol.2 1995円 <巻頭>小池里奈


DX2009 1995円 <巻頭>AKB48


memew vol.41 1995円 <巻頭>南沢奈央


memew vol.40 1680円 <巻頭>谷村美月


AQUA★12 vol.1 1995円 <巻頭>愛衣

1 Nov.

嵐9ページ特集ライブ&相葉雅紀

平成21年9月23日発売(毎月1回23日発売)

編集人・辻幸多郎

発行所・近代映画社



特別定価620円 本体590円

雑誌02821-11 ©2009 Kindaieiga-sha.

4910028211196
00590